

JSSI

The Japan Society of Seismic Isolation

一般社団法人 日本免震構造協会

MENSHIN

The Japan Society of Seismic Isolation

NO. **80**

2013. 5

一般社団法人日本免震構造協会出版物のご案内

2013年4月12日

タイトル	内 容	発行年月	会員価格
			非会員価格
会誌「MENSIN」	免震建築・技術に関わる情報誌、免震建築紹介、免震建築訪問記、設計例、部材の性能、免震関連技術等 【A4版・約90頁】	年4回発行 2月、5月、 8月、11月	¥2,500
			¥3,000
免震部材標準品リスト ≪改訂版≫―2009―	大臣認定された免震部材で、免震建築物の設計に必要な部材ごとの性能基準値を一覧表にまとめたもの（CD-ROM付き） 【A4版・760頁】	2009年11月	¥3,500
			¥4,000
免震建物の維持管理基準 ≪改訂版≫―2012―	免震建物では、地震時の変位が免震層に集中することから、免震層・免震部材を中心とした通常点検・定期点検など、免震建物維持管理のための点検要領などを定めた協会の基準（ユーザーズマニュアル付） 【A4版・29頁】	2012年10月	¥500
			¥1,000
設計・施工に役立つ問題事例 と推奨事例一点検業務から 見た免震建物―	免震建物の点検時に発見される設計や施工に起因する不具合事例について、推奨事例も含めて解説。チェック編と解説編から構成。建築計画、構造計画、配管・配線計画、施工計画、免震部材、維持管理について解説。 【A4版・20頁】	2007年8月	¥500
			¥1,000
積層ゴムの限界性能とすべり・ 転がり支承の摩擦特性の現状	積層ゴムアイソレーターの限界性能、すべり・転がり支承の摩擦特性に関する実データを集積し調査結果をまとめたもの 【A4版・46頁】	2003年8月	¥1,500
パッシブ制振構造設計・ 施工マニュアル ≪第2版 第2刷≫―2005―	わが国で唯一のパッシブ制振構造専門の設計・施工マニュアル 摩擦ダンパーも加わり第1版をさらに分かり易く改訂 【A4版・515頁】	2007年7月	¥5,000
JSSI 時刻歴応答解析による 免震建築物の設計基準・ 同マニュアル及び設計例≪改訂版≫	時刻歴応答解析法により免震建築物の耐震安全性を検証する際の設計マニュアル 【A4版・206頁】	2010年3月	¥2,000
			¥2,500
免震建築物の 耐震性能評価表示指針 及び性能評価例	免震建築物の地震に対する性能を時刻歴応答解析法により評価する具体的な方法を示すもので、性能評価例付き 【A4版・225頁】	2005年11月	¥2,000
			¥2,500
免震建物の建築・設備標準 ―2009―	免震建物の建築や設備の設計に関する標準を示すもの 【A4版・87頁】	2009年12月	¥1,000
			¥1,500
免震部材の接合部・取付け 躯体の設計指針	免震部材の接合部や取付け躯体の設計をする際のガイドライン 【A4版・48頁】	2009年7月	¥1,000
			¥1,500
免震建物の耐火設計ガイドブック	免震建物の耐火設計・免震装置の構成材料の温度特性・装置の耐火性・耐火被覆方法等に関する実務書 【A4版・185頁】	2012年3月	¥2,000
			¥3,000
免震建築物の耐風設計指針	高層建築物や塔状比の大きな建築物への免震構造適用の増加に伴い必要性が高まってきた免震構造の耐風設計指針・解説と関連技術情報を整備 【A4版・151頁】	2012年9月	¥2,000
			¥3,000
免震のすすめ	これから建物を建てようとする方々向けに大地震から人命・財産・日常生活を守る免震建物を分かり易く解説、メリット・装置の役割・コストと性能などを記したカラーパンフレット 【A4版・3ツ折】	2005年8月	30部まで無料 (31部以上 ご相談)
ユーザーズマニュアル	免震建物を使用または所有されている方への注意点をまとめたカラーパンフレット 【A4版・2ツ折】	2007年10月	30部まで無料 (31部以上 1部 ¥50)
地震から建物を守る免震 【和文、英文版】	免震建築の普及のため一般向けに免震構造を説明したカラーパンフレット 【A5版・6頁】	2009年9月	30部まで無料 (31部以上 1部 ¥100)
大地震に備える ～免震構造の魅力～ 【日本語・DVD】	免震建築の普及のため建築主向けに免震構造を分かり易く解説したもの 【DVD 約9分】	2005年8月	¥2,000
			¥2,500 ※Academy ¥1,500
大地震に備える ～免震構造の魅力～ 【英語・DVD】	【ナレーション・字幕/英語】 免震建築の普及のため建築主向けに免震構造を分かり易く解説したもの 【DVD 約9分】	2006年11月	¥1,500
			¥2,000 ※Academy ¥1,000

協会編集書籍のご案内(他社出版)

タイトル	内 容	発行年月	会員価格
			非会員価格
How to Plan and Implement Seismic Isolation for Buildings 【Ohmsha】	考え方進め方免震建築の英語版 【A5判・123頁】	2013年4月	¥5,800
			¥6,510
免震構造 ―部材の基本から設計・施工まで―	免震構造に携わる実務者必携の書。部材の基礎知識から免震構造の設計、免震層の施工、維持管理に関する実践的知識までを系統的に、かつ、平易に解説 【B5版・310頁】	2010年12月	¥4,700
			¥5,250
免震構造施工標準 ―2009―	免震構造の施工に関する標準を示すもので免震部建築施工管理技術者必携のもの 【A4版・110頁】	2009年8月	¥2,100
			¥2,500
考え方・進め方免震建築	建築家、建築構造技術者など免震建築の関係者対象の技術書。 Q&A方式で、免震建築全般にわたり、免震の基本から計画・設計・施工・維持管理など幅広く解説 【A5版・200頁】	2005年5月	¥2,600
			¥2,940
免震建築物の技術基準解説及び 計算例とその解説 【日本建築センター】	「免震告示（免震建物の構造方法に関する安全上必要な技術的基準（平成12年建設省告示第2009号）」）に関する解説書 【A4版・216頁】	2001年5月*1	¥3,500
			¥4,000
免震建築物の技術基準解説及び 計算例とその解説（戸建て免震 住宅） 【日本建築センター】	主に戸建て免震住宅に関して平成16年国土交通省告示第1160号により改正された「免震告示」の解説書 【A4版・195頁】	2006年2月*1	¥3,550
			¥4,100
耐震改修ガイドライン 【日本建築防災協会】	既存の主としてRC造建築の免震構法・制震構法を用いて耐震改修する際の手引書 【A4版・129頁】	2006年6月*2	¥3,800
			¥4,500

*1 協会の販売は2006年5月～

*2 協会の販売は2006年10月～

目次

巻頭言	もうひとつの道 ― コンドル先生と耐震構造 ―	1
	首都大学東京 教授	北山 和宏
免震建築紹介	東北大学復興建物計画	3
	久米設計	内山 晴夫
	梓設計	井上 啓
	日本設計	田中 浩一
		宮本 裕也
		大沢 和雅
		今富 陽子
	清水建設新本社	11
	清水建設	中川 健太郎
		島崎 大
	ガーデンシティ品川御殿山	15
	日建設計	白沢 吉衛
	大成建設	関 清豪
		有山 伸之
		菅野 貴孔
免震建築訪問記－⑧③（仮称）正栄食品工業本社		19
	出版部会	加藤 巨邦
	大成建設	小山 実
東北地方太平洋沖地震関連	2011年東北地方太平洋沖地震における免震建物の地震観測波分析とそれに基づく強震動予測及び免震建物の応答予測	25
	スターツCAM	古澤 健
		酒井 和成
		中西 力
		鈴木 利哉
		千田 卓
技術委員会報告－3	入力地震動小委員会	30
	入力地震動小委員会	
技術委員会報告－4	耐風設計部会活動報告	33
	耐風設計部会	
講習会報告	報告会 「応答制御建築物の今後の取組みに向けて－東北地方太平洋沖地震での課題－」	43
	清水建設	山本 祥江
報告	第17回「震災対策技術展」講演会	45
	普及委員会 委員長	須賀川 勝
理事会議事録		47
性能評価及び評定業務		50
国内の免震建物一覧表		51
委員会の動き	■運営委員会 ■技術委員会 ■普及委員会 ■国際委員会 ■資格制度委員会 ■原子力関係施設免震構造委員会 ■委員会活動報告（2013.1.1～2013.3.31）	78
会員動向	■新入会員 ■入会のご案内・入会申込書(会員) ■免震普及会規約・入会申込書 ■会員登録内容変更届	82
インフォメーション	■行事予定表 ■受賞のお知らせ ■会誌「MENSIN」広告掲載のご案内 ■寄付・寄贈	89
編集後記		104

CONTENTS

Preface

Another Way - Earthquake Resistant Design by Josiah Conder -
Kazuhiro KITAYAMA

Professor of Tokyo Metropolitan University

1

Highlight

The Reconstruction of Three Buildings of Tohoku Univ. which was Damaged by 2011 Tohoku Earthquake. 3

Haruo UCHIYAMA

Akira INOUE

Kume Sekkei Co., Ltd.

Koichi TANAKA

Yuya MIYAMOTO

Azusa Sekkei Co., Ltd.

Kazumasa OSAWA

Yoko IMATOMI

NIHON SEKKEI, Inc.

Shimizu Corporation Headquarters

11

Kentaro NAKAGAWA

Dai SHIMAZAKI

Shimizu Corp.

Garden City Shinagawa Gotenyama

15

Yoshie SHIRASAWA

Nikken Sekkei Ltd.

Kiyohide SEKI

Nobuyuki ARIYAMA

Takahiro KANNO

Taisei Corp.

Visiting Report-(83)

Shoei Foods Corp.

19

Hirokuni KATO

Publication Section

Minoru KOYAMA

Taisei Corp.

Report of the 2011 off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake

**Observed Response of Seismic Isolated Buildings , Surface Strong Motion Prediction and
Response Prediction of Isolated Buildings during the 2011 off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake** 25

Takeshi FURUSAWA

Kazunari SAKAI

Tsutomu NAKANISHI

Starts Construction and Asset Management Co., Ltd.

Toshiya SUZUKI

Taku SENDA

Report of Technology Committee-3,4

Strong Ground Motion Subcommittee

30

Strong Ground Motion Subcommittee

Wind-Resistant Design Committee

33

Wind-Resistant Design Committee

Report of Lecture

Report of Subject for Property Response Controlled Buildings in the 2011 EQ

43

Sachie YAMAMOTO

Shimizu Corp.

Report

Lecture Meeting of The 17th Earthquake Technology Expo

45

Masaru SUKAGAWA

Chairman, Diffusion Committee

Minutes of the Board of Directors

47

Reports of the Performance Evaluations

50

List of Seismic Isolated Buildings in Japan

51

Committees and their Activity Reports

78

○Steering ○Technology ○Diffusion ○Internationalization ○Licensed Administrative ○NPPF

○Activity Report of the Committees(2013.1.1~2013.3.31)

Brief News of Members

82

○New Members ○Application Guide & Form ○Rules of Propagation Members & Application Form ○Modification Form

Information

89

○Annual Schedule ○The Prize ○Guide of Symposium ○Advertisement Carrying ○Contributions

Postscript

104

もうひとつの道 — コンドル先生と耐震構造 —



首都大学東京 教授

北山和宏

コンドル先生は本郷にある東京大学・工学部一号館の前に立っておられる。颯爽として右手にはチョークを持っておいでである。130年前の造家学科の教室では、四人の日本の若者（辰野金吾、片山東熊、曾禰達蔵そして佐立七次郎）をまえにしてキングス・イングリッシュで講義をされていたのだろう。その後、日本最初の建築家となる若者達にとって、たいして歳の違わないコンドル先生はどんな教師だったのだろうか。

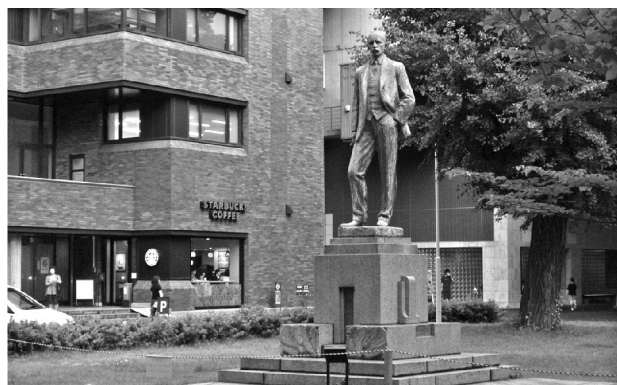


写真1 コンドル先生銅像（東京大学工学部）

ジョサイア・コンドル（Josiah Conder）先生は、明治維新後の日本に学問としての建築学を教授するために日本政府に雇われて明治10〔1877〕年来日され、工部大学校造家学科の唯一の教授として日本の建築界を産み出し、育てた恩人である。しかしそれから百年後、同じ学び舎で建築学を勉強していた私は、この銅像のジェントルマンが何者であるかということに気に留めることはほとんどなかった。製図室に泊まり込んで設計していた頃、黎明に疲れ果てて一号館の玄関から外に出ると、ひんやりとした空気のなかにぽつんとコンドル先生が立っておられた姿をなぜか憶えている。

私は卒業して紆余曲折の末に東京都立大学に籍を

得て、教養の授業を担当することになった。講義名は『建築と文化』である。私のように工学を学ぶものが「文化」を論ずるなど笑止であると思ったが、日本における耐震構造の発展史なら興味もあるし、ひとに教えることも出来そうだと、というふうに関心、そのための資料を作り始めた。ここではじめてコンドル先生について調べてみてはどうかと思うようになった。そこで、建築史を専門とする山田幸正先生（本学教授）からいろいろな書籍をお借りして調べたりしたが、残念ながら深く調べる時間はなかった。コンドル先生が地震国日本に来てから、耐震構造をどのように考えて実践されたのか知りたいとは思っていたが、多忙にかまけてその調査に着手できないでいた。

ところがやがて、日本の耐震構造の発展にコンドル先生が残した足跡を調べる研究に、ある卒論生が取り組んでくれることになった¹⁾。そのときに私が一番注目したのは、コンドル先生が煉瓦造建物を鉄材で補強する方法を考え、実践したという事実である。

小野木重勝先生による既往の研究²⁾にはコンドル先生の書簡（明治15〔1882〕年）が紹介されており、そのなかに煉瓦の壁体に水平および鉛直の鉄材を挿入して補強するという手法、およびそのときの煉瓦目地（石灰モルタル）の水平強度および水平鉄材（鍛鉄）の引張り強度が具体的に記されている。これをもとにコンドル先生が暗黙のうちに想定したであろう水平震度（ $k=Q/W$ ）を具体的に求めることはできないか、と考えた。幾つか仮定を設けざるを得なかったが、その結果得られた水平震度は1程度であり、結構大きな数字となった。すなわち、重力加速度と同程度の水平加速度が地震時に煉瓦造建物に作用しても壊れないくらいの強度を想定していたことになる。

ただしコンドル先生は、現代で言うところの保有水平耐力を考えていた訳ではなさそうである。先生の手簡によると、建物内の諸々の部位がその質量に依存して様々な周期で振動することから、壁体の連層開口の上下の横架材（短スパン梁に相当する部分）のように左右の重量物に挟まれた部位には大きな引張り力が作用するので、この部分に水平鉄材を挿入して補強すればよいと考えた。すなわち、純粋な引張り補強である。

現代に生きるわれわれは水平力を受ける煉瓦や鉄筋コンクリートの壁部材がせん断破壊する、という現象を知っているが、19世紀のコンドル先生はそんなことはご存じなかった、と思われる。地震のない英国では基本的には軸力に対して建物を設計すればよかったので、日本において地震対策を考えたとくにも軸力だけに対処すればよい、とお考えになったのではなからうか。その証拠にコンドル先生は、煉瓦造の壁体に挿入した鉛直鉄材は鉛直地震動による引張り力のみを受ける、と述べている。水平力にとりなって生じる曲げモーメントに起因する軸力については触れていないのである。

しかし当時は地震動によって建物がどのように振動するのかわからなかったし、鉄組補強煉瓦造どころか鉄筋コンクリート（RC）構造の力学挙動についても未解明であったらう（RC構造が誕生したのは1867年である）から、コンドル先生がこのような考えたのもやむを得ないかな、であらう。しかしコンドル先生は同じ手簡で、煉瓦壁体内の鉛直および水平鉄材がフレームを形成して各煉瓦ブロックを拘束するのに役立つ、とも述べており、煉瓦と鉄材とが協同して外力に抵抗する効果を想定していたとも思われる。

コンドル先生の時代には建物の構造力学が未成熟だったために、地震動に対して安全な建物を構築するための耐震構造を科学的に考えるには、まだ早過ぎた。結局、煉瓦という脆性材料を鉄材で補強するという一点において、その後の我が国における鉄筋コンクリート構造の導入を円滑にするのに役立った、ということであらうか。なお煉瓦造を鉄材で補強するという考え方にはいくつかの系譜があった³⁾ようだが、そのことについてはここでは触れない。

この後、明治24〔1891〕年に直下型地震である濃尾地震が発生して、煉瓦造の建物が甚大な被害を受けた。コンドル先生は、鉾山学者で日本地震学会を

設立したジョン・ミルン先生とともにその被害調査に出向いている（ついでだが、日本最初の全RC造建物を横浜に建設した建築家・遠藤於菟も、帝国大学学生としてこの調査行に参加した）。そのときミルン先生が残した写真集が『The Great Earthquake of Japan 1891』であり、煉瓦造建物の地震被害の様子が写っている。

この経験によって煉瓦造の建物が耐震構造には不向きであることが広く認識されるようになり、赤坂離宮（片山東熊設計、明治42〔1909〕年）や東京駅（辰野金吾設計、大正3〔1914〕年）などに鉄骨で補強された煉瓦造が大規模に使われたものの、やがて日本での煉瓦造の使用は急速に廃れていった。もうひとつの耐震構造として発展するはずだった鉄組補強煉瓦造は静かに消えたのである。

さらに時代は下って、佐野利器先生が『家屋耐震構造論』において世界最初の耐震設計法である震度法を提案したのは、20世紀に入った大正5〔1916〕年のことであつた。

----- ・ ----- ・ -----

最後にもう一度、先生の銅像に戻ろう。コンドル先生の背後にあるタイル貼りの建物は工学部11号館で、ここに建築学科の構造系の研究室が居を構えている。この1階には数年前にスターバックスコーヒーが開店して、雰囲気も随分変わった。

ちなみにコンドル先生の下の方座は伊東忠太の設計である。その台座の脚部には地震鬼が彫られていて、コンドル先生の足下に踏みつぶされている。これは、コンドル先生が日本において耐震構造の種をまき、それが発展した結果、地震を征服できたという功績を表わしているそうだ。ところでこの銅像が建てられたのは1923年の春である。そうである、この年の秋に関東大地震が発生したのである。踏みつけられた地震鬼の強烈な逆襲を喰らって、冥界のコンドル先生もさぞや御無念であつたことだらう。自然に対しては常に謙虚であれという教訓であると私は勝手に解している。

文献

- 1) 宮本香那：ジョサイア・コンドルの日本の耐震設計における技術的貢献に関する研究、首都大学東京建築都市コース2009年度卒業論文、2010年3月。
- 2) 小野木重勝：基礎仕様と耐震壁構法（コンドルの謁見所計画・IV）、日本建築学会論文報告集、第173号、昭和45年7月、pp.89-96。
- 3) 堀勇良：100年前の耐震技術、日本建築学会、建築雑誌、Vol.101、No.1242、1986年1月号、pp.34-37。

東北大学復興建物計画



内山 晴夫
久米設計



井上 啓
同



田中 浩一
梓設計



宮本 裕也
同



大沢 和雅
日本設計



今富 陽子
同

1 はじめに

2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震および、それに続く余震は、東日本大震災として東北地方から関東地方にかけて大きな災害をもたらしました。仙台市中心部からやや西に位置する東北大学青葉山キャンパスにおいても、多くの建物が被災しました。

その中でも、電子・応用物理系建物、マテリアル・開発系建物、および人間・環境系建物は被災の程度が大きく、継続使用が不可であると判定されたため、これら3系の建物は使用禁止となり、現在はプレハブ仮設建物に研究室を移している状況である。

東北大学では世界最先端の研究が行われており、世界的な開発競争の中で研究が止まることは大きな損失となる。また、建物内には非常に精密かつ高価な実験機器等を有している。

このため、キャンパス復興計画の第一弾として、建替えが行われる際、大地震後に速やかに研究の継続が出来ることを目的として免震構造を採用し、電

子・応用物理系建物は梓設計、マテリアル・開発系建物は久米設計、人間・環境系建物は日本設計がそれぞれ担当することとなった。また、以前より進められていた東北大学青葉山キャンパスの再整備の計画にも組み込まれる形で計画されている。

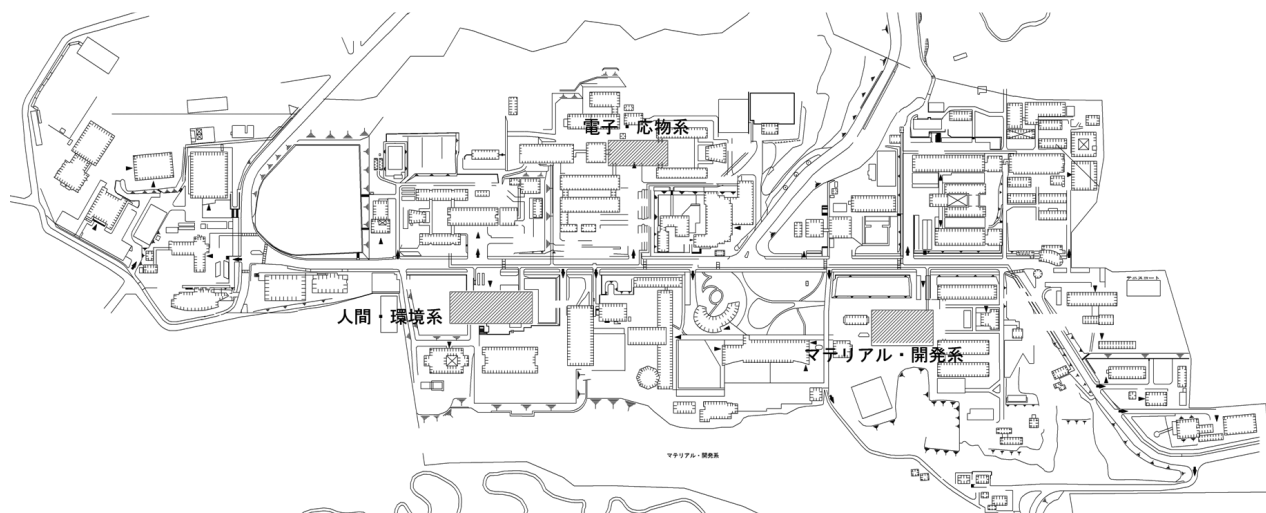
2 設計条件

同一キャンパス内の3建物同時の計画であり、基本的な設計条件を共通化している。

＜設計用地震動＞

既存3波、告示3波に加えて、プレート境界型の巨大地震として東北地方太平洋沖地震（Mw9.0）による人間・環境系建物における観測波、および直下型の断層地震として長町－利府断層を震源とする（Mw6.9）の地震を想定した模擬地震動をサイト波として採用している。

東北大学工学部キャンパスは青葉山の山頂部であ



東北大学青葉山キャンパス建物配置図

る標高150m付近に位置し、標高120m付近の工学的基盤における地震動を共通とし、表層地盤の地震波の増幅はそれぞれの建物直下の地盤に応じて検討した。

＜設計クライテリア＞

設計クライテリアは、告示による稀に発生する地震動、および極めて稀に発生する地震動に加えて、極めて稀に発生する地震動の1.25倍の地震動に対するクライテリアを設定した。クライテリアは3系で概ね揃えているが、各建物の特性に合わせて個別の設定を行っている。

＜基礎計画＞

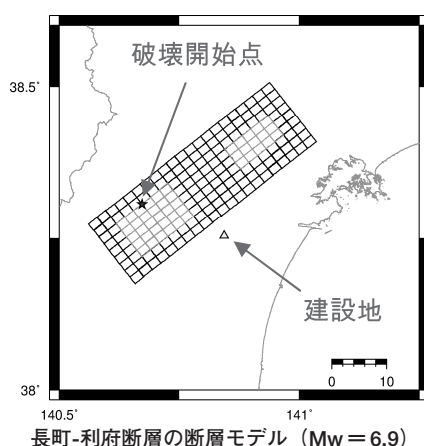
基礎は、工学的基盤に相当する標高120m付近に分布する凝灰質の岩を支持層とする杭基礎とした。

＜維持・監理方針＞

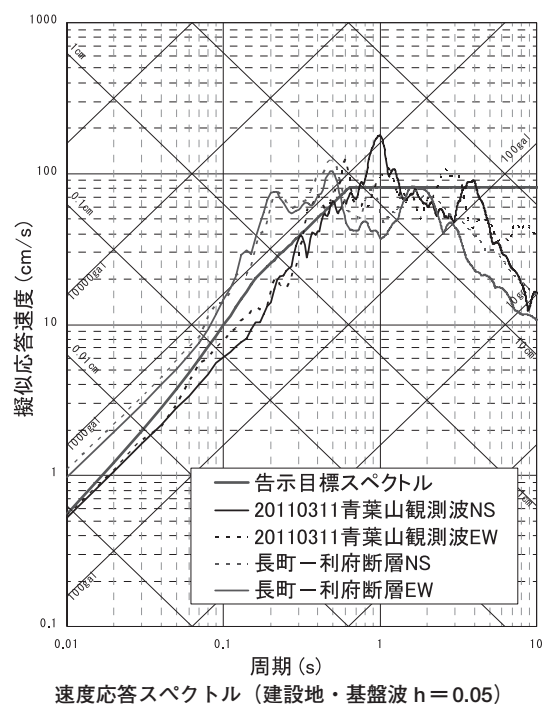
東北大学青葉山キャンパス内には約400棟に及ぶ建物が有るが、建築学科の実験用である免震構造実証建物を除くと初の免震建物であり、かつこれからも免震建物が建てられていくことが考えられるため、統一した維持・管理計画が求められた。

耐震性能目標（例：マテリアル棟）

入力地震動	性能目標		
	上部構造	免震材料	免震下部構造
稀に発生する地震動 (Level1)	応力度 $\leq$ 短期許容応力度 PC部材が破壊されない	変形 $\gamma \leq 125\%$ 他はLevel2に準じる	応力度 $\leq$ 短期許容応力度
極めて稀に発生する地震動 (Level2)	層間変形角 $\leq 1/300$ 居室階の応答加速度 $\leq 300\text{gal}$	変形 $\gamma \leq 250\%$ CLB・ODの限界ストローク以内 層間速度 1.5 m/s 以内 RB・LRBの面圧が基準面圧の2.0倍以内 RB・LRBの引抜側面圧が 1N/mm^2 以内 CLBの鉛直荷重が短期許容荷重以内(圧縮側・引張側共)	
重要度係数1.25を考慮した極めて稀に発生する地震動 (Level3)		$\gamma \leq 300\%$ 他はLevel2に準じる	応力度 $\leq$ 弾性限耐力



長町-利府断層の断層モデル (Mw=6.9)



3 マテリアル・開発系実験研究棟

マテリアル・開発系実験研究棟は、主に金属・材料などの最先端の研究が行われている。旧実験研究棟は1966年竣工の地上6階、延べ床面積約7200m²の建物であった。東北地方太平洋沖地震においては主要構造部に多くのせん断破壊が発生したため、建て替えを行うこととなった。

＜建物概要＞

建設地：仙台市青葉区荒巻字青葉6-6

建築主：国立大学法人 東北大学

建築・構造設計：(株) 久米設計

：国立大学法人 東北大学

設備設計：(株) テクノ工営

：国立大学法人 東北大学

主用途：実験・研究施設

建築面積：2139.49m²

延べ床面積：7955.38m²

階数：地上5F

軒高：21.222m

基準階階高：4.0m

＜建築計画概要＞

建物は5階建てで東西方向に約65m、南北方向に約32mの長方形の建物となっている。階による建物の構成は2F以下のパブリックなスペースと3F以上の研究室・実験室が入るスペースとに分割されている。

2F以下では建物中央部南北方向にエントランスの

吹抜けを有し、建物中央部東西方向の吹き抜けと合わせて十字型に吹抜けを有した構造となっている。

3F以上は建物南側に各教員の研究室、建物北側に実験室および学生の研究室を配置し、中間の東西方向に吹抜けを配している。吹抜けにはランダムに床が配置され、変化に富む空間としている。



外観パース



内観断面パース

<構造計画概要>

構造種別 鉄筋コンクリート造、

一部SRC造、PC造

構造形式 X方向：純ラーメン構造

Y方向：耐震壁付ラーメン構造

基礎工法：支持杭（鋼管杭）

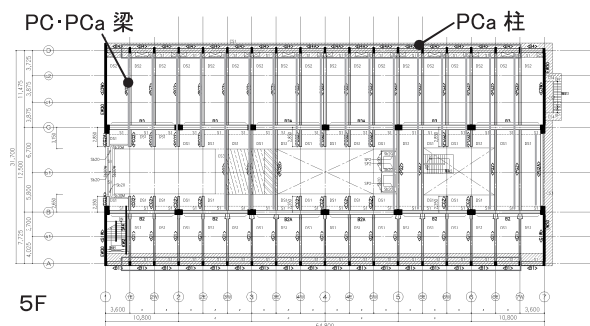
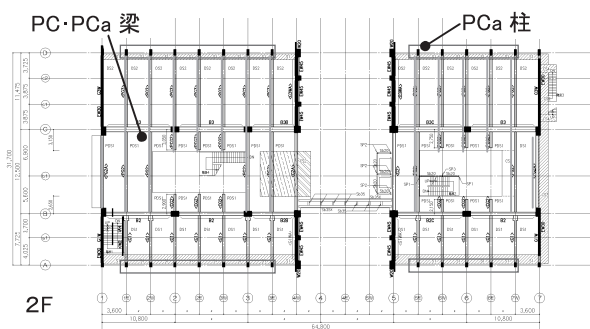
免震の形式：1F床下を免震層とする基礎免震

最大スパン：14.4m

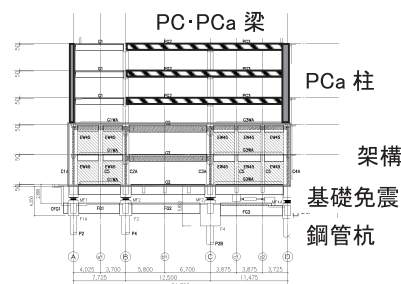
上部構造はX方向は純ラーメン構造となっている。スパンは両サイドで3.6m、中央の2構面は3.6m×3の10.8mを基本としている。中央エントランス部は14.4mの変則スパンで上部は陸立ち柱を受けている。このため3Fエントランス部はSRC構造としている。また、3.6mピッチとなる東西面の柱

はPCaとしてシャープなファサードを実現し、扁平な柱梁による格子状の架構は基本的に鉛直荷重を負担し、中央2構面が地震力の大部分を負担している。

Y方向は7.7m、12.5m、11.5mの3スパンの構成となっており、12.5m、11.5mのスパンは現場緊張のPC・PCa梁としている。両妻面および、1F～2Fは中央エントランス部2構面にさらに耐震壁を配置し、地震力のほとんどを耐震壁に負担させている。



架構平面図



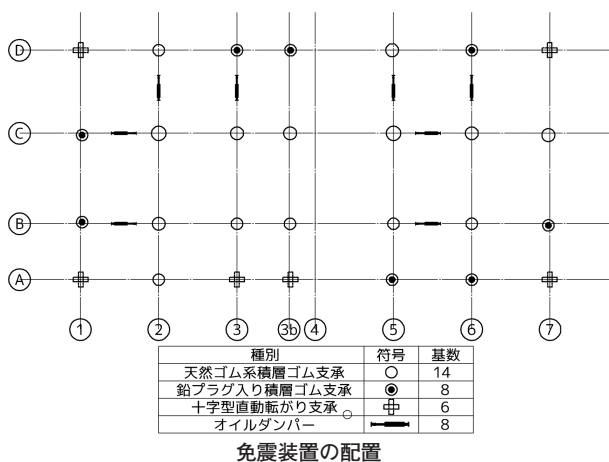
架構立面図

<免震層の概要>

免震層の概要は以下の通りとなっている。

天然ゴム系積層ゴム ϕ 800-100014基
鉛プラグ入り積層ゴム ϕ 8008基
十字型直動転がり支承6基
オイルダンパー（1000kN）X,Y方向各4基
免震層のクリアランス650mm

固有周期は $\gamma = 250\%$ 時に4.4秒と十分に長い周期を確保している。また、減衰力はオイルダンパー



が7割程度、鉛プラグ入り積層ゴムが3割程度とオイルダンパーの割合が大きく、免震層の長周期化と上部構造の応答加速度低減に寄与している。

＜時刻歴応答解析結果＞

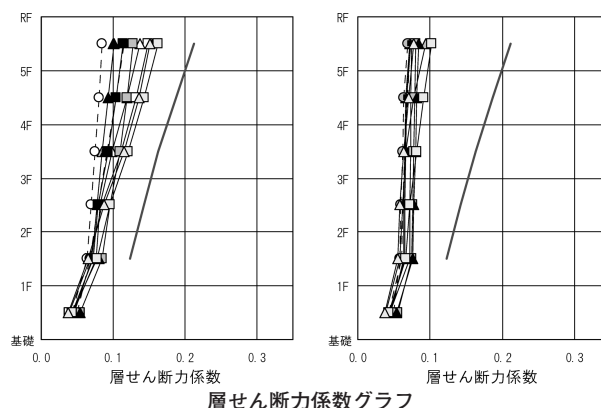
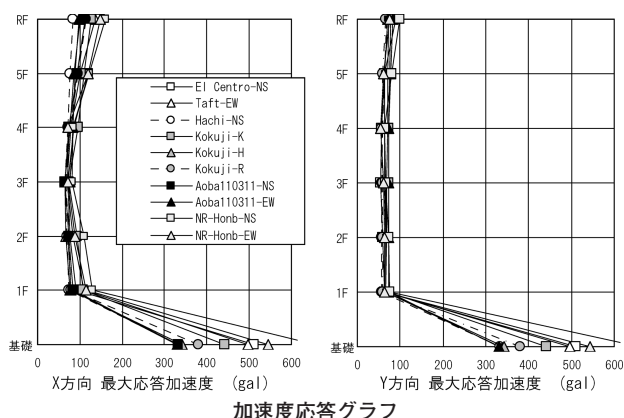
時刻歴応答解析は、上部架構を1次元質点モデルとし、免震層は各免震材料をモデル化している。

極めて稀に発生する地震動時にも、設計クライテリアに対して十分な性能を発揮しているといえる。

また、本建物は短辺方向に妻壁を有しているため、建物4隅部で引抜き力の発生が課題になると考えられた。しかし、耐震要素が「」状の形状となっていること、および低層部で中央部に2構面の耐震壁を有することにより、変動軸力を分散して、免震装置の引抜きを防いでいる。

応答結果（極めて稀に発生する地震動時:標準状態）

	X方向	Y方向	設計クライテリア
居室階応答加速度 (cm/s ²)	129.5	79.8	300 cm/s ²
層間変形角	1/768	1/7013	1/300
層間変位 (cm)	0.56	0.06	
1F 層せん断力係数	0.084	0.076	0.120 (設計用)
免震層層せん断力係数	0.055	0.055	
免震層変位 (cm)	25.2	26.3	39.0 cm (γ=250%)
免震層速度 (cm/s)	64.1	65.0	150.0 cm/s



3 電子・応物系実験研究棟

電子・応用物理実験研究棟は、主に電気・電子工学・通信などの最先端の研究が行われている。旧実験研究棟は1966年竣工の地上8階、延べ床面積約9200m²の建物であった。東北地方太平洋沖地震においては主要構造部に重大な損傷を受けたため、建て替えを行うこととなった。

＜建物概要＞

建設地：仙台市荒巻字青葉
 建築主：国立大学法人 東北大学
 建築・構造設計：(株) 梓設計
 ：国立大学法人東北大学
 設備設計：(株) 総合設備計画
 ：国立大学法人東北大学
 主用途：実験・研究施設
 建築面積：2118.34m²
 延べ床面積：10365.73m²
 階数：地上6階 塔屋1階
 軒高：25.727m
 基準階階高：4.1m

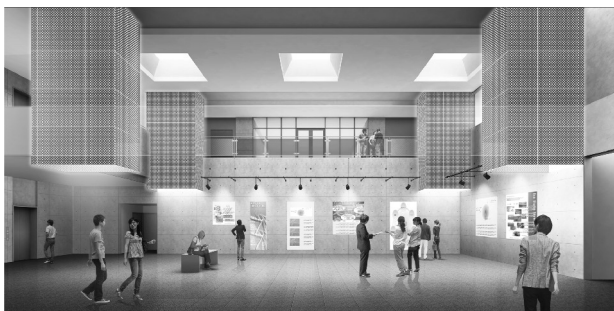
＜建築計画概要＞

全体をシンプルな矩形の複廊下型の平面形として、将来的な改編を容易にする計画としている。1,2階を共通実験室、講義室及び、会議室、事務室機能とし、3～6階に各研究室及び実験室の機能を配置する計画としている。建物中央部に3階から6階にわたり光庭をもうけ、採光および通風の効果を高め環境の向上、省エネルギー化を図っている。さらに配管カバーと日射抑制を兼ねた有孔折板の縦ルーバーを設け、外観上のアクセントとしている。

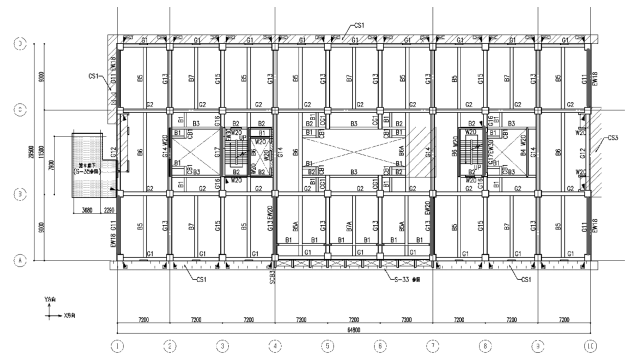
既存の情報工学科実験研究棟と本棟を一体利用するため、4層の渡り廊下を計画した。



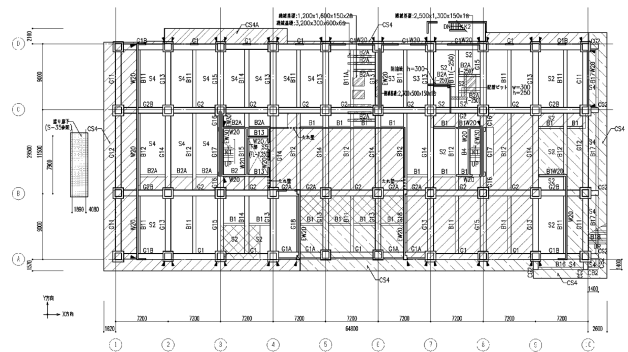
外観パース



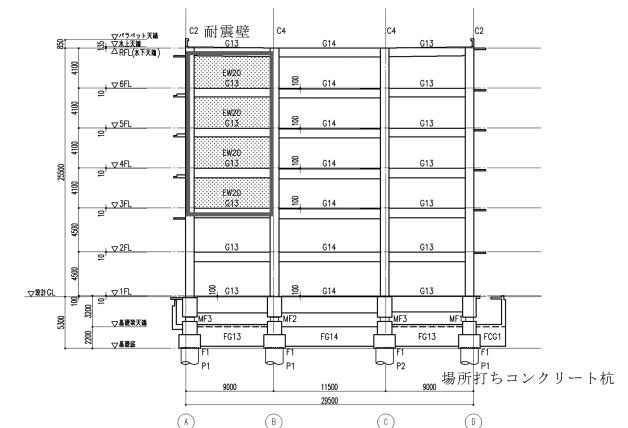
内観パース



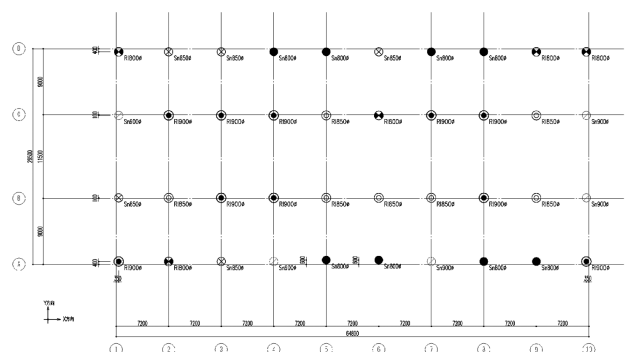
基準階架構平面図



1F階架構平面図



7通り架構立面図



免震材料	記号	符号	サイズ	基 数
天然ゴム系 積層ゴム支承材	●	R1800	φ800	5
	◎	R1850	φ850	7
	⊙	R1900	φ900	10
鉛プラグ挿入 積層ゴム支承材	●	Sn800	φ800	8
	⊗	Sn850	φ850	5
	⊘	Sn900	φ900	5

計 40 基

免震装置配置

＜構造計画概要＞

構造種別 鉄筋コンクリート造

構造形式 X方向：ラーメン構造

Y方向：耐震壁付きラーメン構造

基礎工法：支持杭（場所打ちコンクリート杭）

免震の形式：1F床下を免震層とする基礎免震

最大スパン：11.5m

構成スパンは、長辺方向が7.2m、短辺方向が9.0～11.5m、階高は4.2～4.5mである。

構造種別は鉄筋コンクリート造、架構形式は長辺方向は純ラーメン架構形式、短辺方向は耐震壁付きラーメン架構形式である。

免震計画をシンプルに行うため、ロングスパンとなり剛性が低くなると予想される短辺方向の外壁と階段壁を有効に利用して耐震壁を配置する計画とした。

1Fでは、外壁側をピロティとし、耐震壁を抜くことにより、免震装置に発生する引拔を極力小さくした。

西側に既存棟と本棟を接続する渡り廊下を有するが、EXP.Jを配置し、構造的に分離する計画とした。

＜免震層の概要＞

免震層の概要は以下の通りとなっている。

天然ゴム系積層ゴム支承φ800～φ900 ……22基
 錫プラグ入り積層ゴム支承φ800～φ900 ……18基
 免震層のクリアランス ……600mm

免震装置は、天然ゴム系積層ゴム及び錫プラグ入り積層ゴムで構成するシンプルな計画としている。固有周期は $\gamma = 250\%$ 時に3.65秒となっている。

<時刻歴応答解析結果>

時刻歴応答解析は、上部架構は1次元質点系等価せん断モデルとし、免震装置は各免震材料をモデル化している。極めて稀に発生する地震動時の設計クライテリアに対して、十分な免震効果を得られている結果となっている。

斜方向地震動時に4隅の柱に引拔が発生するため、浮き上り対策支承を用いて対処している。

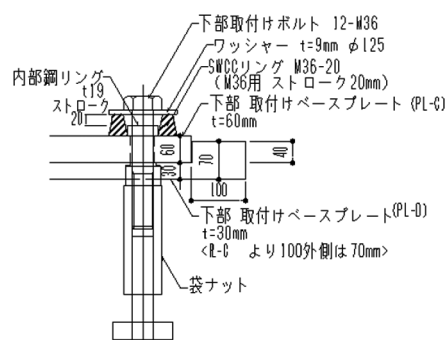


図10-10 浮き上り対策支承アンカーボルト詳細図

応答結果（極めて稀に発生する地震動：標準状態）

	X 方向	Y 方向	設計クライテリア
居室階応答加速度(cm/s^2)	247.3	224.9	250 cm/s^2
層間変形角	1/587	1/2085	1/200
層間変位(cm)	0.31	0.08	
1F 層せん断力係数	0.095	0.099	0.14(設計用)
免震層層せん断力係数	0.082	0.082	0.14(設計用)
免震層変位	28.03	28.04	50cm($\gamma=250\%$)

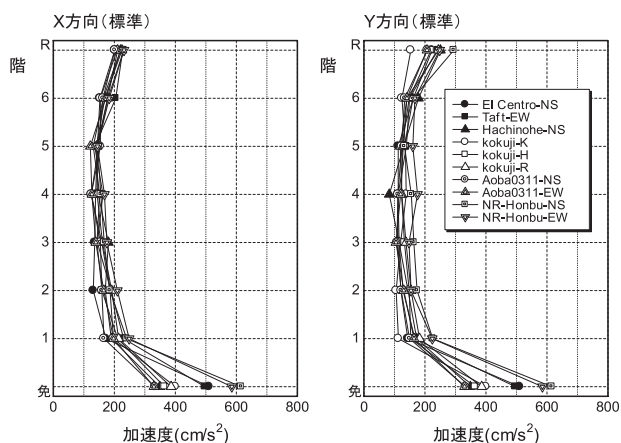


図10-11 応答加速度グラフ

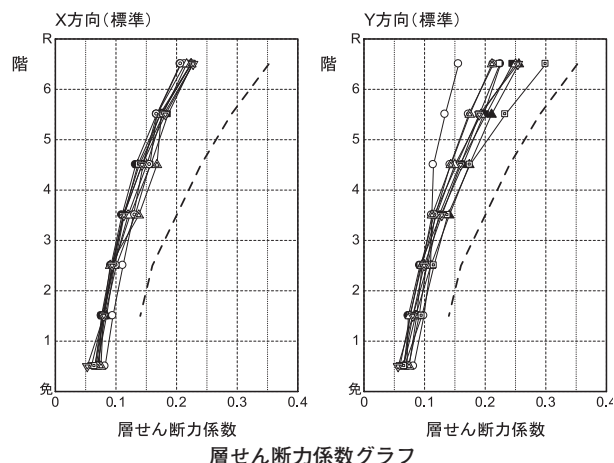


図10-12 層せん断力係数グラフ

5 人間・環境系実験研究棟

人間・環境系実験研究棟は、主に土木・建築工学などの最先端の研究が行われている。旧実験研究棟は1969年竣工（2000年耐震改修）の地上9階、延べ床面積約7300 m^2 の建物であった。東北地方太平洋沖地震においては主要構造部に重大な損傷を受けたため、建て替えを行うこととなった。

<建物概要>

建設地：仙台市青葉区荒巻字青葉6-6

建築主：国立大学法人 東北大学

建築・構造設計：(株) 日本設計

：国立大学法人 東北大学

設備設計：(株) T・S・G

：国立大学法人 東北大学

主用途：大学

建築面積：2552.73 m^2

延べ床面積：7586.58 m^2

階数：地上5階/地下0階/塔屋1階

軒高：19.50m

基準階階高：3.80m

<建築計画概要>

建物は5階建てで1階が東西方向に80m、南北方向に33.5mの長方形で2階以上はS字型の平面形状となっている。建物の構成は1階が事務室、講義室、2階が製図室、演習室で3～5階が研究室である。滞在時間の長い研究室をS字状に配置することで採光、通風、眺望に配慮した計画としている。

室内空間のフレキシビリティを確保するため、構造体はアウトフレームとしている。2～5階はS字の平面形状を連続したV字柱（トラス柱）により支える一体的な構造計画とし、特徴的な立面を構成している。



外観パース

＜構造計画概要＞

構造種別 鉄骨鉄筋コンクリート造

一部鉄骨造、鉄筋コンクリート造

構造形式 X方向：トラス柱付きラーメン構造

Y方向：トラス柱付きラーメン構造

基礎工法：場所打ちコンクリート杭

免震の形式：1F床下を免震層とする基礎免震

最大スパン：13.4m

1階は、X方向8m、12m、Y方向6.7m、13.4mを基本スパンとする純ラーメン架構である。2階以上の架構は、2階床が下弦、R階床が上弦となる大きなトラス架構となっており、1階柱頭からV字に2本の柱（トラス柱）を構成する。3～5階の外周梁は、トラス柱より内側にオフセットしており、トラス柱が強調される外観を形成している。

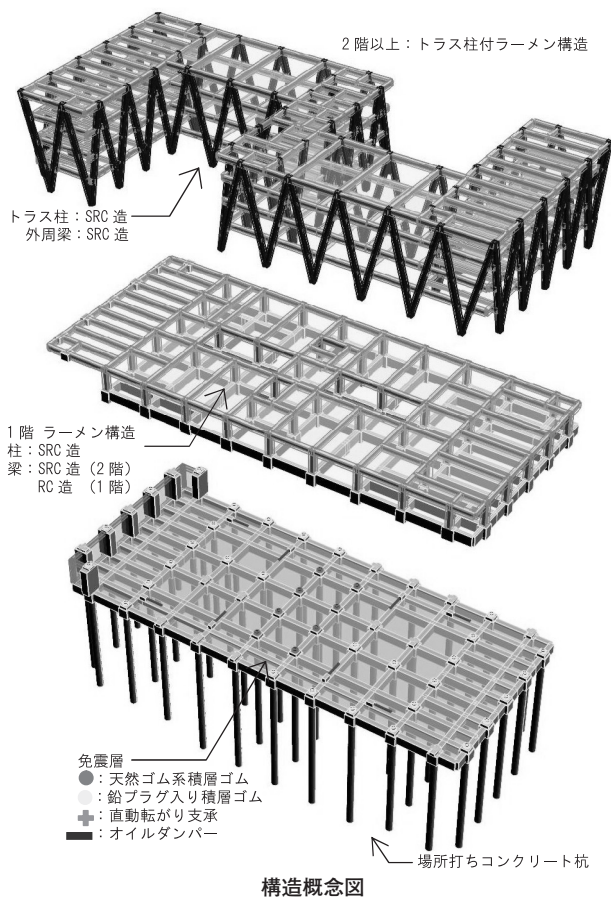
トラス柱には大梁のオフセットと柱の傾斜により捩れ応力が作用するため、コンクリート躯体部には主に捩れ応力への抵抗を期待して、軸力・曲げ応力等は鉄骨断面にて抵抗できるように部材設計を行っている。3～5階床を支持する梁は鉄骨小梁として外周SRC梁とはピン接合としている。

＜免震層の概要＞

免震層の概要は以下の通りとなっている。

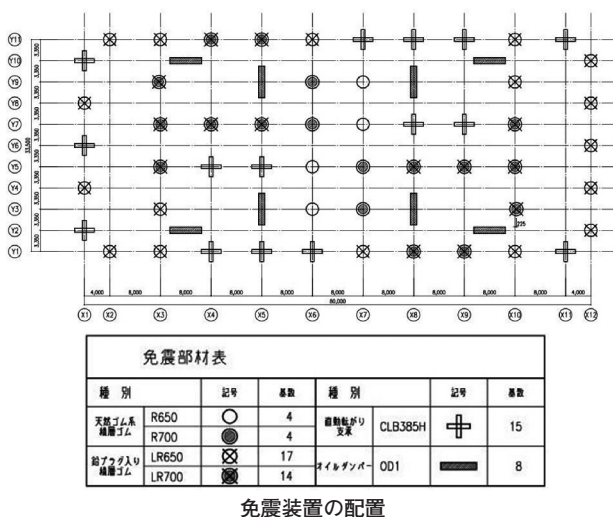
天然ゴム系積層ゴム ϕ 650,7008基
鉛プラグ入り積層ゴム ϕ 650,70031基
十字型直動転がり支承15基
オイルダンパー（1000kN）X,Y方向各4基
免震層のクリアランス500mm

本建物は柱軸力が比較的小さいため、小径の積層ゴムと直動転がり支承により長周期化を図っている。なお、小径の積層ゴムの場合は、水平変形能力が小さくなるため、二次形状係数を5.0として個体



としての水平変形能力を確保するとともに、オイルダンパーを設置して、応答変形を抑制している。

固有周期は $\gamma = 200\%$ 時に3.6秒となっている。また、減衰力は鉛プラグ入り積層ゴムが65%程度、オイルダンパーが35%程度となっている。



＜時刻歴応答解析結果＞

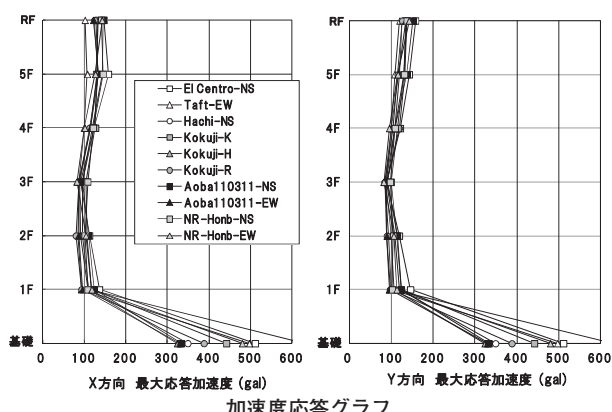
時刻歴応答解析は、平面形状および上部架構を考慮して非剛床の3次元立体骨組モデルとし、免震層についても各免震装置を個別にモデル化している。

極めて稀に発生する地震動時にも、設計クライテリアに対して十分な性能を発揮しているといえる。

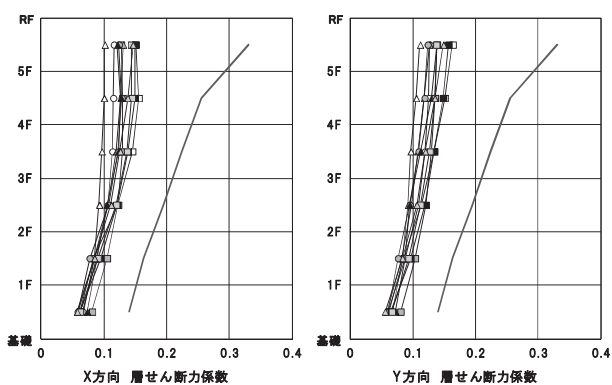
東北地方太平洋沖地震における強震記録については、二方向の地震動波形が得られているため、各記録波形を対応する方向に同時に入力した検討も実施した。最大方向の応答変位は21.2cmで、一方向入力時の最大応答変位20.5cmに対して4%程度の増加となっている。上部構造の応答層せん断力も若干増加するが、設計クライテリアを満足していることを確認した。

応答結果（極めて稀に発生する地震動時：標準状態）

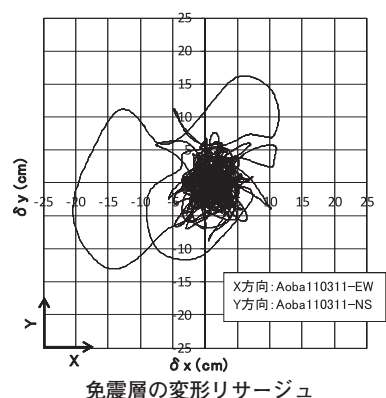
	X方向	Y方向	設計クライテリア
居室階応答加速度 (cm/s ²)	173.4	186.3	300cm/s ²
層間変形角	1/1934	1/2148	1/250
層間変位 (cm)	0.20	0.19	
1F 層せん断力係数	0.105	0.103	0.163 (設計用)
免震層層せん断力係数	0.081	0.080	0.140 (設計用)
免震層変位 (cm)	23.6	24.4	33.0cm($\gamma=250\%$)
免震層速度 (cm/s)	62.7	62.5	100.0cm/s



加速度応答グラフ



層せん断力係数グラフ



免震層の変形リサージュ

6 おわりに

震災から2年が経過した現在、ようやく復興に向けての第一歩となる3系実験研究棟の工事が始まりました。工事が開始したばかりのため、計画に関するレポートとのみとなりましたが、今後もよりよい建物とすべく努力していきたくと考えております。

また、今後予定されている建物を含めて、同一敷地内にこれほど多くの免震建物が計画されるのは初めてのケースではないかと思われます。大きな地震が起こる頻度が高い地域であることから、各建物における観測、記録の態勢を整えることによってさまざまな知見を得ることが出来ると思われます。このために、関係各様には是非ご協力を頂きたいと考えております。

7 謝辞

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震の観測波につきましては東北大学工学部 源栄正人教授より提供いただきました。

また、設計におきまして、東北大学復興推進室、東北大学施設部の皆様には多大なる助言・ご協力を頂きましたことを感謝いたします。

清水建設新本社



中川 健太郎
清水建設



島崎 大
同

1 はじめに

東京・京橋は、明治から大正、昭和へと続く激動の時代に、当社が約90年間、本社を構えていた場所である。創業100年にあたる1903（明治36）年、四代店主・清水満之助の時代に、日本橋本石町から京橋に本店を移転した。以後、1991（平成3）年に港区芝浦へ本社を移転したが、この度21年ぶりにこの地に戻る。

当社は非常時の事業継続機能（BCP）を確保した上で平常時の節電・省エネ、つまりecoを実現する「ecoBCP」というコンセプトを今の時代に求められる基本機能として提唱しており、新本社はこれを具現化した最新モデルである。



図1 建物外観

2 プロジェクト概要

建物の建設は、東京都で14番目の都市再生特別地区の認定を受けてスタートした。

輻射空調・タスクアンドアンビエント照明など最新の設備を導入し、建物からの年間CO₂排出量を50%以上削減すること（2005年東京都内事務所ビル平均比）を目標として設計をスタートし、運用初年度は目標値を超えるカーボン▲62%を予定している。その後更なる環境技術の最適制御を進め、2015年には▲70%、そして排出権プロジェクトで創出するCO₂クレジットにより、カーボン・ゼロを実現する計画である。

更に、RC免震構造として大地震後にも本社機能を維持するばかりでなく、建物に地域を守る防災拠点としての機能を持たせ、災害発生時には中央区と連携して帰宅困難者を支援する地域防災センターとなるよう計画した。震災対策の拠点となるべく備蓄品を含め災害に対する備えを充実させている。

所在地：東京都中央区京橋2-16-1
 建築主：清水建設株式会社
 設計：清水建設株式会社一級建築士事務所
 施工：清水建設株式会社
 敷地面積：2,728m²
 建築面積：2,170m²
 延床面積：51,356m²
 最高高さ：106m
 階数：地下3階 地上22階 塔屋1階
 構造：鉄筋コンクリート造
 （一部鉄骨造 免震構造）
 工期：2009年4月～2012年5月
 CASBEE Sランク／LEED ゴールド認証

3 建築計画

高さ100mを超す超高層オフィスにRC免震構造を採用した。免震構造に外壁のPC（プレキャストコンクリート）フレームと中心部のRCコアウォールを組合せることにより、地域の防災拠点として大地震後も建物の機能が維持できる優れた耐震性能を備えるとともに、基準階執務スペースに柱型の一切出ない空間（＝コラムレスオフィス）を実現して、窓廻りの有効活用スペースを向上させた（図2）。

建物の外周を覆うフレームはアルミキャスト（アルミの鋳物）の中にコンクリートを打設して一体化した3.2m×4.2mのPCパネルを工場製作し、現場で石垣のように組み上げた構造体である。外観のアルミキャストのザラリとした肌、どんよりとゆらぐ表面、地層のように積層する風合いなどは、アルミが液体から固体に変わる瞬間に現れるものであり、新しさの中に品格があり、落ち着いていてそこにずっとあるイメージが表現されると同時に高い耐久性・メンテナンス性を実現する。

また、奥行約90cmの彫りの深いPCは窓ガラスに深い陰影を落とし、外部負荷を50%削減する効果がある。開口部の一部には太陽光パネルが約2,000m²組み込まれており、この太陽光パネルの発電でオフィスの昼間の照明エネルギーを賄う計画である。

4 構造計画

4.1 上部架構

建築物の平面形は、短辺34.2m×長辺63mの整形な平面形状であり、基準階は中央コア部を囲うように配置されたコアウォールを芯とし、外周のPCフレームを殻として、建物を内と外から支える計画である（図3・図4）。

建物の外周に配置された鉄筋コンクリート架構は構造体と外装材の機能を一体化したPCフレームにより形成されている。通常、構造体PCは柱部材・

梁部材に分割されて計画されるが、本建物では窓ガラス・太陽光パネルを囲んだ3.2m×4.2mの田の字型のパネル形状とした。これは、窓ガラス・太陽光パネルをガasket・サッシによりPCに固定し、PCそのものはモノコックなアルミキャストにて覆うことにより、構造性能の確保と同時に外装材としての耐久性向上を目指した結果である。このPCパネルを基準階で58枚、建物全体で1426枚配置して外周フレームを構成している。

構造上はこのPCパネルの中央がフルPC柱であり、その両側がハーフPCである。ハーフPC部分は現場打ちコンクリートにて隣接するパネルを一体化する構造柱となり、PC建方完了時にはフルPC柱とハーフPC柱とが1.6m間隔で並ぶ架構が出来上がる。コンクリート強度は $F_c = 80 \sim 48 \text{ N/mm}^2$ とし、柱・梁主筋は全てSD490としD19～D35を用いている。

中央部のコアウォールは地下1階～21階までのエレベータ・階段室・設備シャフト等を囲むように厚さ700mmの鉄筋コンクリート造の壁を日の字型に配置されており、建物の「芯棒」として地震時の水平せん断力の約7～8割を負担し、建物全体に十分

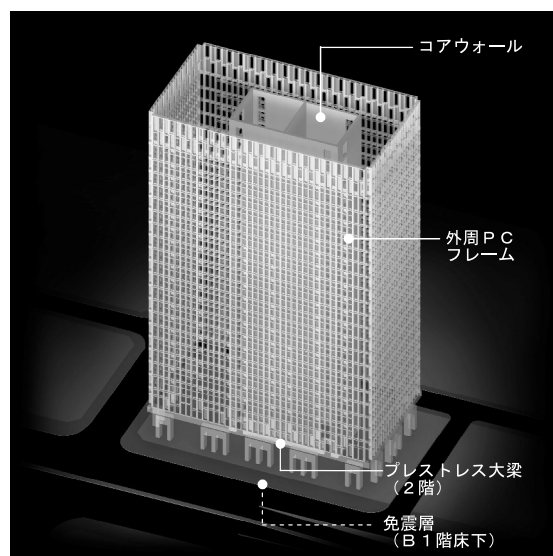


図3 構造アクソメ

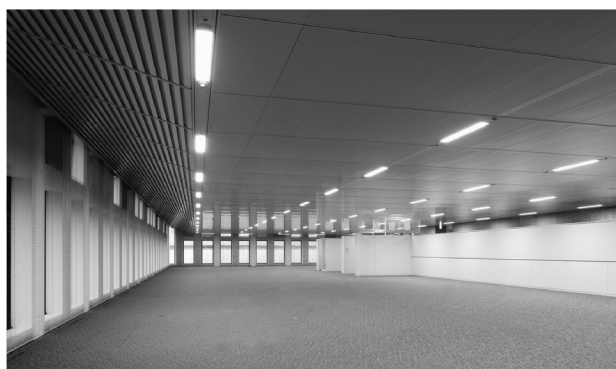


図2 基準階コラムレスオフィス

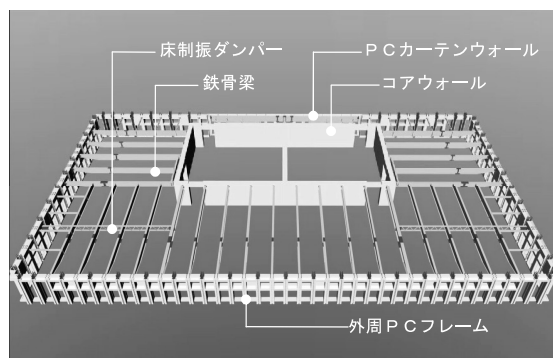


図4 基準階架構イメージ

な耐力と剛性を確保する役割を担っている。

コアウォールの低層部エントランスに面する一面は $F_c = 60\text{N/mm}^2$ の高強度コンクリートを本ざね型枠を用いた化粧打放しとして仕上げ、建設会社の顔として一般の来訪者に公開する計画とした。

コアが偏心しているため、外周全周を構造体のPCパネルで囲うことは避け、コアウォール裏側（トイレ部分）のみは地震力を負担しない鉄骨架構＋外装仕上げPCカーテンウォールを採用している。

床スラブを支える梁は地震力を負担しない両端ピン接合の鉄骨梁である。これを利用して建物外周部で梁端ハンチにより天井を外壁側へ斜めに折り上げ、太陽光を効率的に室内へ取り込めるよう配慮するとともにペリメーター部の輻射空調性能の向上を実現している。また、執務スペース隅角部には、床振動対策として回転慣性質量ダンパーによる制振システムを採用した。

外壁のPCフレームは2階床レベルにてプレストレスを導入した大梁により一旦支えられたのち、1階ピロティ部分で集約された柱へ荷重が流れ、さらに地下1階床下に配置される免震装置へと荷重が集約されていく。

4.2 免震構造

本建物は免震層が地下1階と地下2階の間に配置された中間階免震構造である。

免震装置には2次形状係数 $S_2 = 5$ タイプの鉛プラグ入り積層ゴム支承および天然ゴム系積層ゴム支承を計42台採用した。一般部は丸型の積層ゴム支承としたが、建物正面の昭和通り側には隣地境界に接

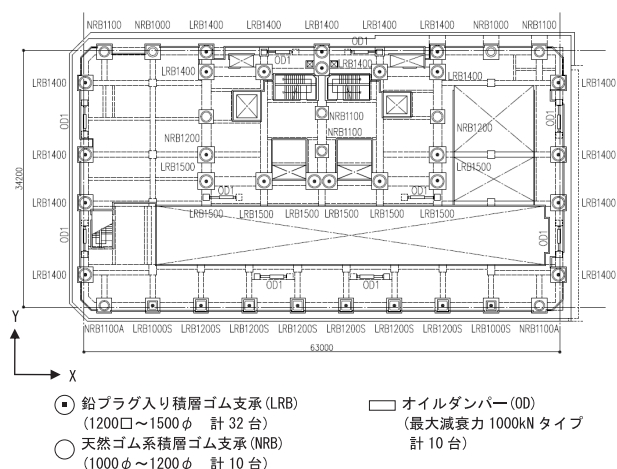


図5 免震装置配置図

する部分の免震クリアランスを最大限確保するため、省スペース化の目的で角形の積層ゴム支承を併用した（図5）。

コアウォール隅角部には免震装置を2台並列配置するほか（図6）、外周部の1階柱を建物隅角部から離して配置することで、地震時に作用する変動軸力を極力低減させて積層ゴム支承ですべての荷重を支持する計画とした。

長期の平均面圧は 13.8N/mm^2 であり、極めて稀に発生する地震時の等価剛性による1次固有周期は約5.4秒である。さらに、オイルダンパーをX方向6台・Y方向に4台配置し、実施設計当時に対策の必要性がうたわれるようになってきた長周期地震動にも対応できる十分な減衰性能を持たせている。なお、免震クリアランスは600mmとしている。

4.3 地下・基礎構造

地下部はRC耐震壁付ラーメン構造である。このうち、免震層下部の地下3階・地下2階の柱をPC柱とし、マットスラブ基礎を施工した後に柱のみを先行施工して免震層から上の階と地下階との同時施工が可能となる計画とした。

基礎はT.P.-21m以深のシルト質細砂層（江戸川層）を支持層としたマットスラブ直接基礎として計画した。地盤の長期許容支持力は平板載荷試験結果から 800kN/m^2 とした。

5 耐震設計概要

本建物の稀に発生する地震動（レベル1地震動）および極めて稀に発生する地震動（レベル2地震動）に対する耐震性能目標を表1に示す。

設計用入力地震動は、告示波3波・観測波3波・サイト波とし、想定以上の地震動に対する更なる安全性を確保するため、余裕度検討レベルとして告示



図6 コアウォール下部の免震装置

波の1.5倍の入力を想定し、これに対しても上部架構の層間変形が1/200以下であり、かつ免震層水平変位が免震クリアランス（600mm）以下となることを確認した。

地震応答解析に用いた解析モデルは地下3階基礎位置を固定とした27質点系の曲げせん断型のバネーマスモデルとし、免震層には免震装置のスウェー・ロッキングバネを考慮している。

振動系の内部減衰は、免震層上部構造と下部構造の各々の1次固有周期に対する初期剛性比例型として与え、免震層上下とも減衰定数2%とした。

これと並行して立体骨組弾塑性モデルを用いた応答解析も実施し、質点系モデルの地震応答の妥当性を確認するほか、振れ応答・45°方向入力に対する検討を行った。

上部建物はコアが東面に寄っている影響で偏心が生じるが、積層ゴム・鉛プラグの剛性を調整することで、免震層位置での偏心がほぼ無くなるよう計画されている。この結果、建物の1次モードはX・Y方向とも免震層の並進モードであり、1次固有周期はレベル2地震動時にX方向：5.2秒、Y方向：5.4秒、レベル1地震動時にX方向：4.7秒、Y方向：4.8秒である。なお、免震層固定時の上部建物の1次固有周期はX方向：1.3秒、Y方向：1.8秒であり、

表1 耐震性能目標

地震動レベル	レベル1地震動	レベル2地震動
定義	建物の供用期間中に数回経験する可能性のある地震動	建物の供用期間中に経験する可能性のある最大級の地震動
	再現期間50年程度	再現期間500年程度
採用する地震動	- 平12建告第1461号に定める「稀に発生する地震動」3波（告示波） - 過去に観測された標準的な地震動を0.25m/sに基準化した地震動（観測波）3波 El Centro/Taft/Hachinohe	- 平12建告第1461号に定める「極めて稀に発生する地震動」3波（告示波） - 過去に観測された標準的な地震動を0.50m/sに基準化した地震動（観測波）3波 El Centro/Taft/Hachinohe - 当該建設地で想定される地震動（サイト波）
建物の状態	機能維持	機能維持
層間変形角	1/500以下	1/300以下
上部構造	短期許容応力度以下	短期許容応力度以下
下部構造 基礎構造	同上	同上
免震装置	安定変形以下 積層ゴムに引張りが生じない（上下動と水平動の同時入力にて検証）	安定変形以下 積層ゴムの引張り：1N/mm ² 以下（上下動と水平動の同時入力にて検証）

コアウォールにより上部架構に高い剛性が付与されていることが分かる。

図7にレベル2地震動に対する応答解析結果を示す。コアウォール+外周PCフレームによる高剛性の上部構造が超高層ながら剛体的挙動を示すため、各階の応答加速度は免震層直上階から最上階までほとんど変化がなく、高い免震効果が得られることが確認できる。レベル2地震動を包絡するように決定した設計用層せん断力は免震層で0.075である。

レベル2地震時には、免震層では地震入力エネルギーの概ね75%を鉛プラグの塑性ひずみエネルギーにて、約20%をオイルダンパーの減衰力によるエネルギーにて吸収する計画である。

6 おわりに

次世代に相応しい省エネと快適性を両立し、地球環境に配慮した災害に強い建物を実現すべくスタートした本プロジェクトは、途中東日本大震災による資材調達難などに遭遇しながらも2012年5月に無事竣工した。ここに改めて、関係者の方々に感謝申し上げます。

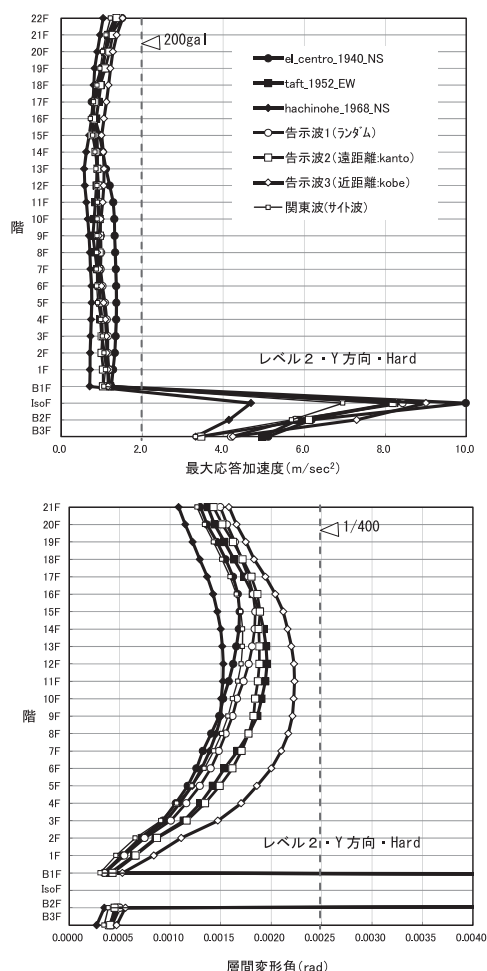


図7 レベル2地震動に対する応答解析結果

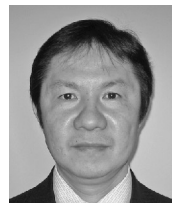
ガーデンシティ品川御殿山



白沢 吉衛
日建設計



関 清豪
大成建設



有山 伸之
同



菅野 貴孔
同

1 はじめに

本建物は、御殿山地区に計画された事務所・共同住宅等の開発プロジェクトの1棟で、オフィスビルである。敷地面積約28,000m²という大規模開発でありながらヒューマンスケールな親しみやすい街並みを創造するため、邸宅街の緑豊かな周辺環境・近隣街並みとの調和を基本コンセプトとしている。約180mに及ぶロングファサードを分節化し、スカイラインを統一し、コリドールを連続させることでヒューマンスケールの邸宅のようなオフィスを目指している。ここでは本建物の構造計画および免震計画について紹介する。

2 建物概要

本建物は、地上9階のテナントオフィスビルであり、B1階が駐車場、1階が店舗、2～9階が事務所となっている。基準階平面は、187.2m×50.4m、1フロア2500坪を超える床面積があり長大な平面形状を持つ。居室内をフレキシブルな空間とするためロングスパン18m×176mの連続する空間を構成し最大8つのテナント区画が可能である。超高層オフィスビルにおけるテナントの各フロアの分散化を避け、1フロアに集約化が可能となり、スペース効率を高めた新しいオフィス空間の方向性を提案している。

建 物 名 称：ガーデンシティ品川御殿山

建 設 地：東京都品川区北品川6丁目

建 築 主：積水ハウス株式会社

基本設計・監修：株式会社日建設計

実施設計・監理：大成建設株式会社一級建築士事務所

施 工 者：大成建設株式会社東京支店

用 途：事務所、店舗、駐車場

建 物 規 模：地上9階、地下1階
最 高 高 さ：36.05m（平均地盤面より）
建 築 面 積：9,159.3m²
延 床 面 積：63,979.4m²
施 工 期 間：2009年3月～2011年2月



写真1 建物外観

3 構造計画概要

大地震後においても構造体の安全性を確保し、建物機能を維持するため免震構造（B1階柱頭）を採用している。上部構造は、主体構造を純ラーメンRC造（一部鉄骨造）としている。耐震間柱を配した外周フレームおよび短辺方向のコア部フレームを主な耐震要素とすることにより建物全体の剛性を確保し、居室内空間の自由度を高めている。18mロングスパン部は、端部RC造・中央部S造の梁（C.S.Beam構法）を採用することにより軽量化と居住性を確保している。

工法計画として基準階となる3階以上においてプレキャスト工法により施工の合理化を図っている。特に外周梁では、石先付けのフルPCa工法を採用し、

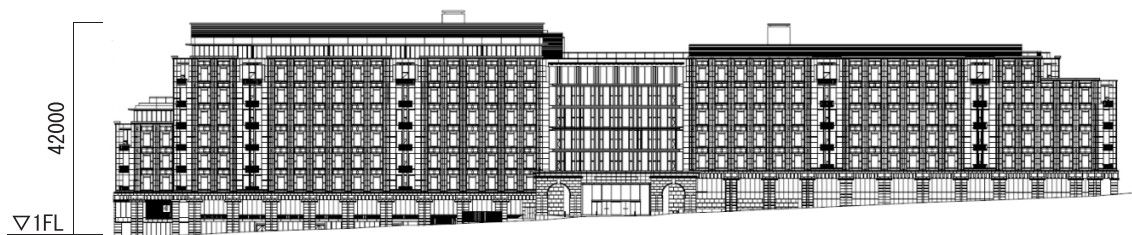


図1 南側立面図

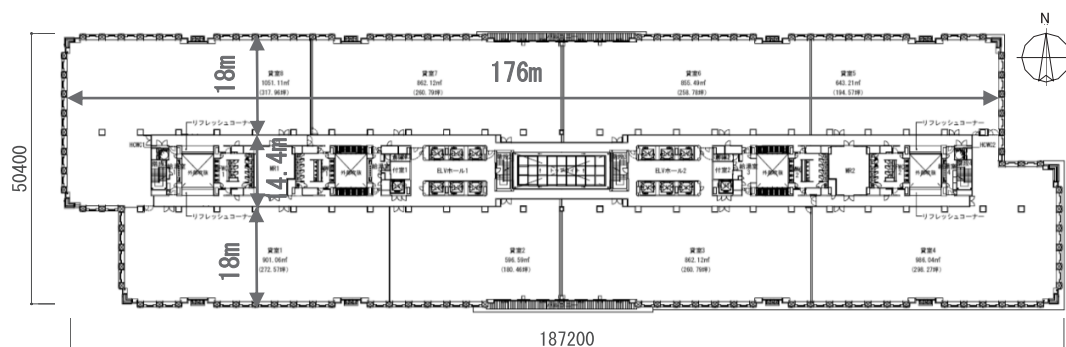


図2 基準階伏図

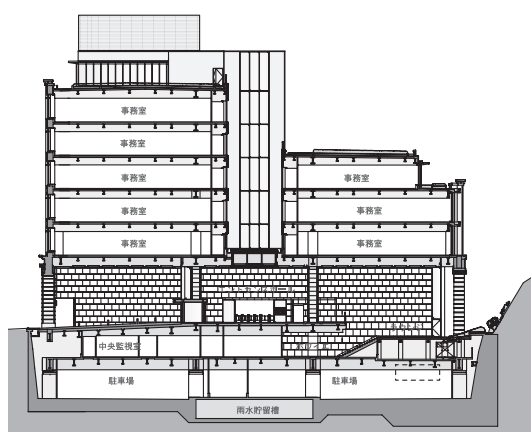


図3 断面図

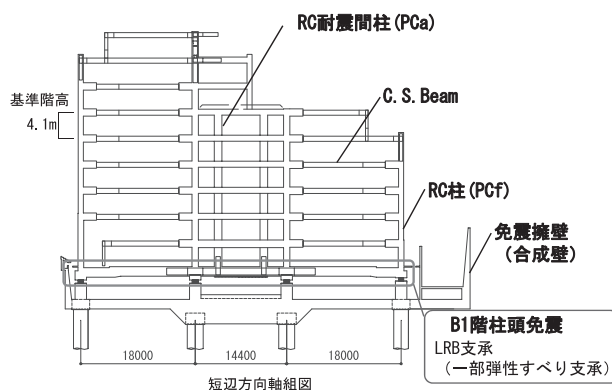


図4 構造計画の概要

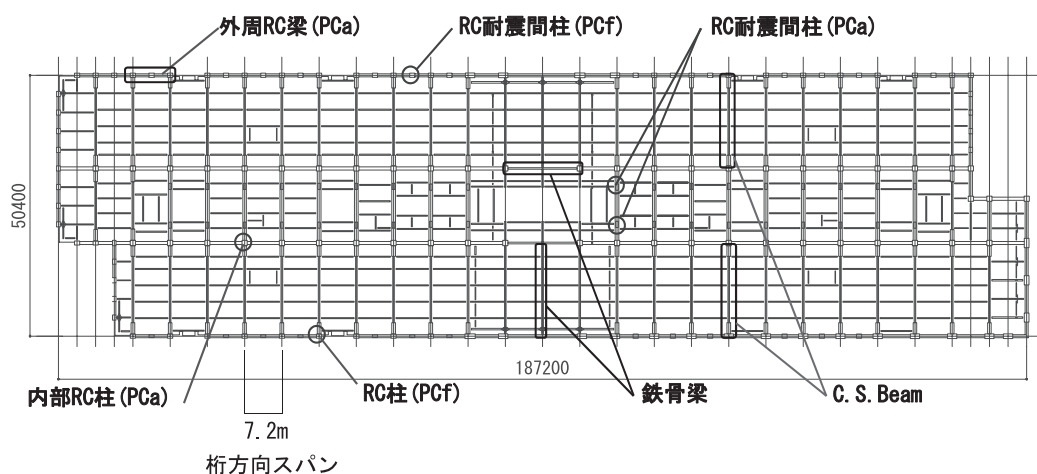


図5 基準階伏図

ファサードの美観・品質確保を図っている。

下部構造は、RC造の片持ち柱形式としている。
敷地の最大高低差が約13.5mあるため一部非常に高

い免震擁壁（約16m）が必要となり、SMW 芯材を
本設利用する合成壁（ $t = 1900$ ）を採用することにより
近接する隣地境界においても免震クリアランス

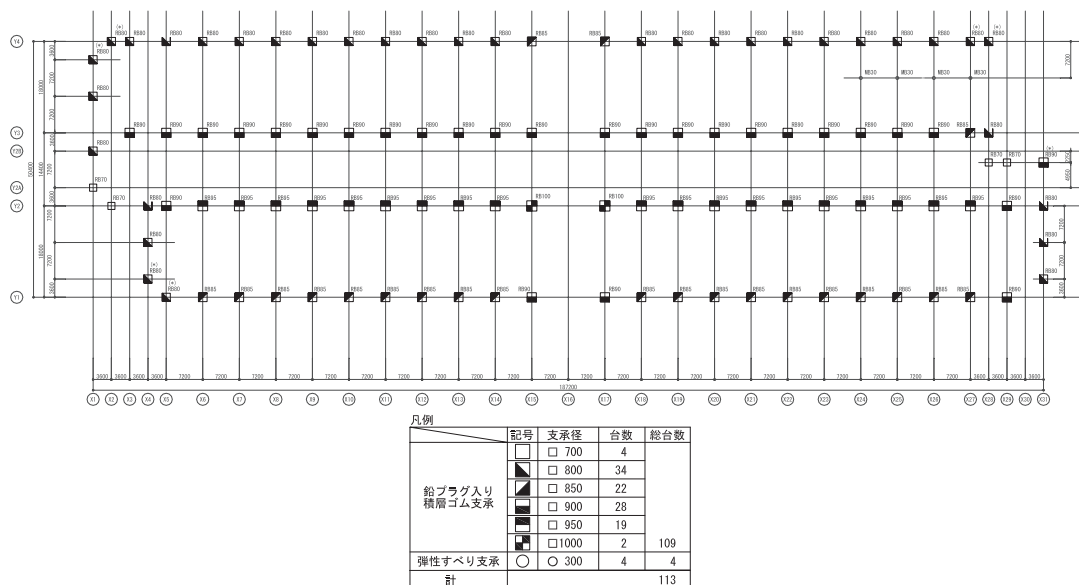


図6 免震装置配置図

を確保している。基礎は、マットスラブ形式（一部基礎梁）とし、杭は、土圧および水圧による引抜き抵抗を確保するため場所打ち杭を採用している。杭配置は、長期偏土圧による水平力の負担バランスを考慮した配置としている。

4 免震層の設計

本建物では、敷地高低差があるためB1階柱頭免震を採用することにより免震装置の設置レベルの統一化、かつ基礎掘削量の削減を図っている。免震装置は鉛プラグ入り積層ゴム支承（以下、LRB）を採用し、一部に弾性すべり支承を用いている。図6に免震装置の配置図を示す。LRBはスペースを効率化するため角型とし、支承径□-700～1000を重量バランスに合せて配置した。免震層の偏心率は3％程度となっている。免震層の弾性固有周期を1.26秒、降伏後の接線剛性に対する周期を4.53秒としている。LRBの鉛降伏荷重は、極めて稀に発生する風荷重時を上回るように決定し、降伏せん断力係数3.2％としている。免震擁壁とのクリアランスは最大応答変位（余裕度検討時）を考慮し、550mmと設定した。表1に目標耐震性能を示す。

5 地震応答解析結果

図7にレベル2時の免震装置のばらつきを考慮した応答解析結果の代表例を示す。観測波3波と告示波4波について地震応答解析を行い、各最大応答値が目標耐震性能を満足することを確認した。免震層の変形量は40cm以下、層間変形角は概ね1/300以下となっている。上記検討に加えて、上下動の検討、

表1 目標耐震性能

地震動のレベル	レベル1 稀に発生する地震動	レベル2 極めて稀に発生する地震動
上部構造	許容応力度以内 層間変形角：1/400以下	弾性限界耐力以内 層間変形角：1/200以下
免震層	鉛プラグ入り積層ゴム支承 ・せん断歪100%以下 ・支承に引抜きが生じない 弾性すべり支承 ・支承に浮上りが生じない	鉛プラグ入り積層ゴム支承 ・せん断歪225%以下 ・圧縮限界強度以内 ・引張限界強度1.0N/mm ² 以内 弾性すべり支承 ・すべり変位55cm以内 ・支承に浮上りが生じない
地下構造	許容応力度以内	許容応力度以内
基礎梁・マットスラブ	許容応力度以内	許容応力度以内
杭	許容応力度以内	終局耐力以内

ねじれ振動の検討および位相差入力の実験を行っている。位相差による影響は、建物端部においてレベル2時の最大応答変位差が3.2cm程度であり、免震支承の許容変形以内であることを確認している。

6 免震床躯体の乾燥収縮対応

本建物は、平面形状が長大であり、免震床躯体の乾燥収縮による免震装置の初期水平変位の影響が大きいため膨張コンクリートを採用した。図8に水平変位測定点を示す。膨張材無しの場合、PC規準により算出した建物端部の最大水平変位予測値が30mm程度に対して、膨張材有りの実測値では、最大で端部④位置における14mm程度となり、1/2程度の収縮低減効果を確認した。図9に温度補正後の躯体の長さ変化率を示す。1年後の乾燥収縮歪は、③④区間長さにおいて180μ程度で収束傾向であることを確認している²⁾。免震装置の初期変形量は、躯体の乾燥収縮だけでなく温度歪によっても影響が大きいことに留意する必要がある。

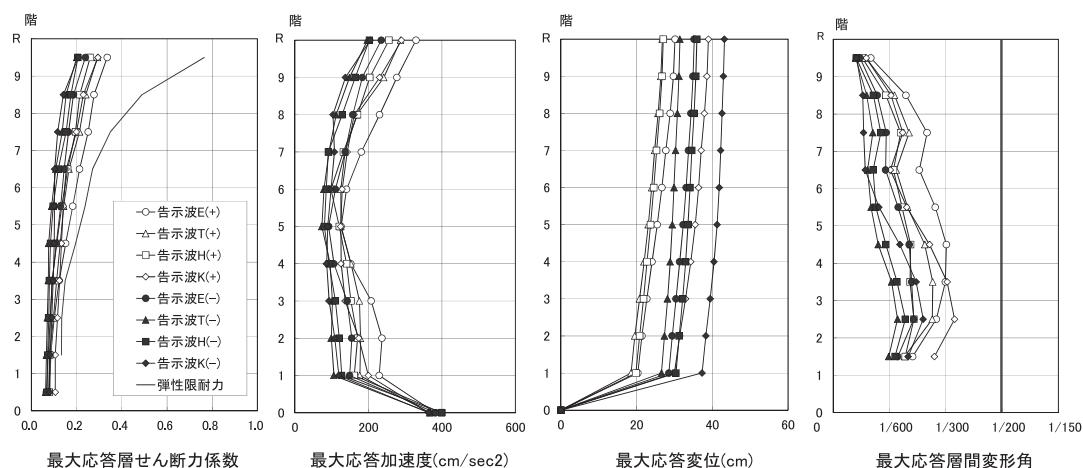


図7 地震応答解析結果（レベル2 短辺方向 変動考慮）

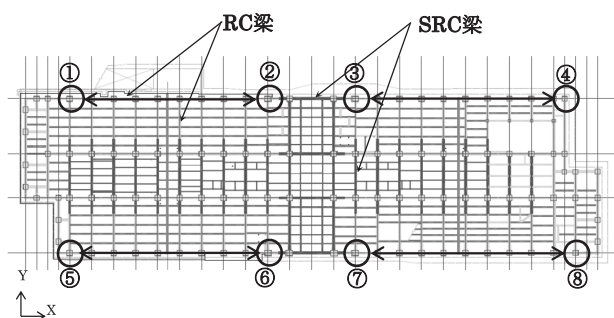


図8 水平変位計測点（1階床梁伏図）

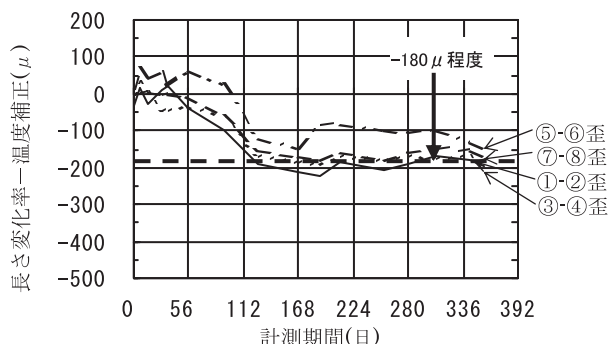


図9 免震直上躯体の長さ変化率（温度補正あり）

7 石先付けPCa梁の加力実験

本建物の外周梁には、石先付けフルPCa梁を採用している。PCカーテンウォールのような非構造部材とは異なり、構造部材に石を先付けする場合、地震時のフレーム変形による石材の変形追従性が問題となる。そこで柱梁接合部の実大試験体を製作し、載荷加力試験を行った。試験結果より、部材変形角1/300に対して石材には微細なひび割れが一部発生するが、除荷後は目視確認できない程度の軽微なものであること、1/100に対して石材が脱落しないことを確認した¹⁾。

8 おわりに

本建物では、竣工直後の2011年3月11日に東北



写真2 石先付けPCa梁の実大試験状況

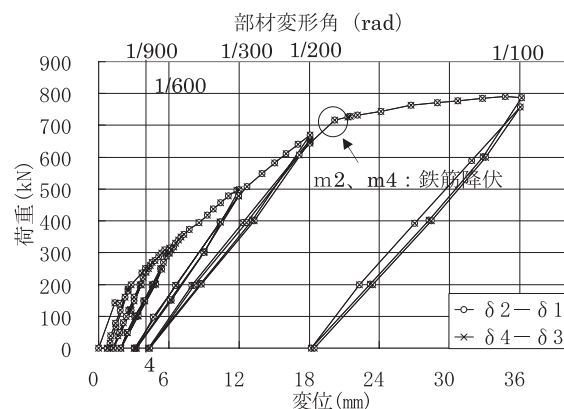


図10 PCa梁の荷重-変位関係

地方太平洋沖地震が発生し、震度5弱相当の揺れを受けたが、構造体および外装材には全く損傷がなかった。最後に本プロジェクト関係者の皆様方には多大なるご指導ご鞭撻を頂き、心より深くお礼申し上げます。

参考文献

- 1) 稲田博文他：石先付けプレキャスト梁の加力実験 日本建築学会大会学術梗概集、pp.1041～1042、2010
- 2) 中村俊之他：膨張コンクリートによる免震上部構造の乾燥収縮低減効果 日本建築学会大会学術梗概集、pp.853～854、2011

(仮称) 正栄食品工業本社



加藤 巨邦
出版部会



小山 実
大成建設

1 はじめに

今回は、2013年7月の竣工を目指して建設中の「正栄食品工業新本社ビル」を訪問致しました。正栄食品工業さんは、食品専門商社として、食材の輸出入、生産、流通・販売という3つの柱を軸にして事業展開されている会社で、当新本社ビルは、JR秋葉原駅より北の方向へ徒歩約7分という利便性が高い場所に位置しています。今回の訪問で久しぶりにJR秋葉原駅周辺へ足を運んだのですが、この辺りは、つくばエクスプレスの開業前後より高層ビルの建設が進んでおり、今では街の雰囲気がすっかり様変わりしていました。

訪問当日は少し肌寒い風が吹いていましたが、気持ちよく晴れた心地良い春の日にお伺いさせて頂き、鹿島建設建築設計本部の久保田聡様、齋藤一様、斎藤忠幸様、現場所長の長井勉様に御案内頂きました。

2 建物概要

本建物の敷地はJR線路敷に面した開放感の高い角地となっており、本社ビルとしてのシンボリックな外観を形成するため、北・西・南の3面が透明感の高いガラスファサードにて構成されています。ビジョン部にはLow-Eペアガラスを採用し、熱負荷への対応を行っているそうです。特に負荷の厳しい西面についてはダブルスキン構成としたユニットカーテンウォールとすることで、立地環境に呼応した眺望を確保しつつ、より高い省エネ性能をもつ環境配慮設計が行われています。

上記と合わせ、自然換気機構の採用や太陽光発電の採用、照明のLED化等を行うことで、本建物はCASBEE（建築環境総合性能評価システム）におけるSクラスの第三者認証を取得しているそうです。



図1 建物外観パース（完成時）

以下に本建物の概要を示します。

【建物概要】

建 設 地：東京都台東区秋葉原96番1
 主 要 用 途：事務所
 設計・監理：鹿島建設(株) 建築設計本部
 施 工：鹿島建設(株) 東京建築支店
 敷 地 面 積：826.00m²
 建 築 面 積：599.41m²
 延 べ 面 積：5,335.31m²
 階 数：地下一階、地上9階、塔屋1階
 最 高 高 さ：45.845m
 基 準 階 高：4.1m
 天 井 高：2.8m (基準階事務室)

3 構造概要

御説明頂いた資料によると、本免震建物の地震時応答性状は、上部構造の上層部においても増幅が少なく、建物全体に免震効果が十分に発揮されているようでした。理由としては、本建物の敷地は地盤が良く、また、直接基礎としているためではないかと思われます。

以下に本建物の構造概要と構造設計概要を示します。

【構造概要】

構造種別：上部架構がS造（梁：S、柱：CFT）の免震構造

※地下1階の柱からCFT柱とし、地上部は純ラーメン架構、地下1階の駐車場部分はブレースを配置して剛性を高めている。

基礎形状：直接基礎

※GL－6m以深の細砂層を支持地盤とする。

大梁端部：鹿島式梁端補強工法の採用

※本工法は、H形鋼梁の上下フランジ両サイドに補強リブを取り付けて全断面を有効とする工法。

免震部材：鉛プラグ挿入型積層ゴム支承

※800φ：1台、850φ：5台、900φ：4台、
 1000φ：2台 合計：12台

【構造設計概要】

時刻歴応答解析モデル：

- ・ 上部構造：部材レベルでモデル化した立体解析モデル、柱梁接合部にパネルを設置

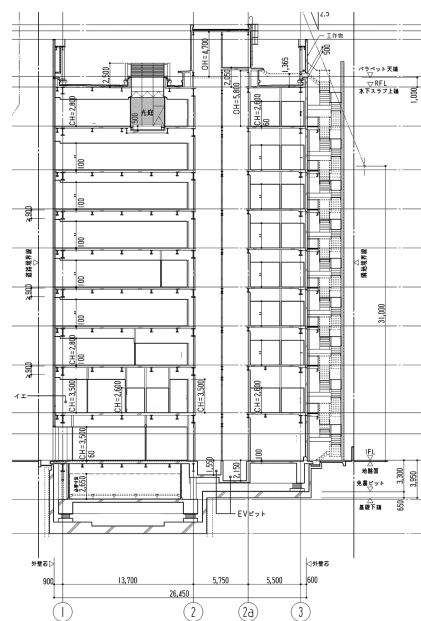


図2 断面図

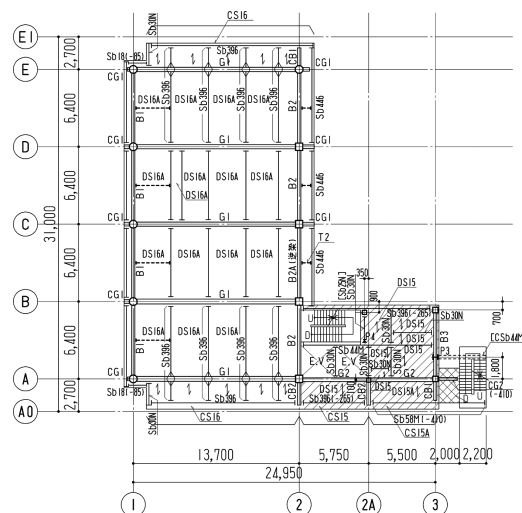


図3 基準階伏図

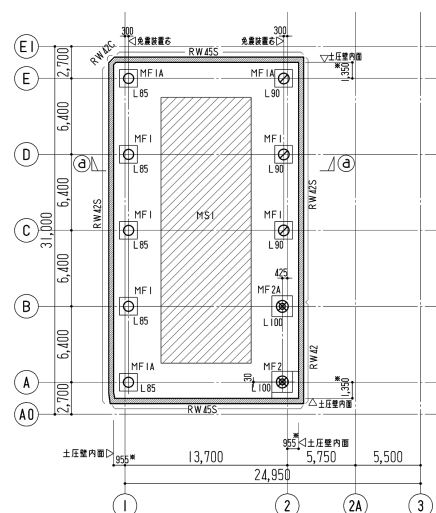


図4 免震層伏図

- ・免震層：水平方向 修正HDモデルのせん断ばね、鉛直方向 弾性の軸方向ばね
- ・地盤ばね、地盤減衰：線形スウェーローッキングばね、線形ダッシュポット、地盤ばね上部は剛体固有周期：
- ・基礎固定時：1.846秒（Y+捩れ）、1.680秒（X）
- ・免震部材（積層ゴム支承）100%ひずみ時：3.73秒構造設計における入力地震動：
- ・性能評価審査時（大臣認定時）の入力地震動は、標準観測3波と告示3波（八戸、神戸、乱数位相）を用いた。
- ・但し、施主様からの要望もあり、別途に、兵庫県南部地震の観測波と、東北地方太平洋沖地震の観測波を用いた振動解析も行い、耐震性能の確認を行っている。

レベル2地震動における応答結果：

- ・応答変位：免震層の最大値で30cm弱程度
- ・応答加速度：B1階から9階までの全ての階で200gal以下
- ・応答層間変形角：B1階から9階までの全ての階で1/200以下
- ・部材応力度：B1階から9階までの全ての部材で短期許容応力度以下

4 訪問記

はじめに、現場事務所において、当新本社ビルの設計・施工に関する内容について、ご用意頂いた資料と写真を元にして御説明頂きました。その後、建設現場へ移動して、地下の免震層から順次上階へと御案内して頂きました。以下に、訪問中の談義の一部をご紹介します。

- 1) 免震建築で設計を行うことになった経緯について
昭和46年に竣工した旧本社ビルは、老朽化が進んでいる事に加え、業務拡大に伴い執務スペースが手狭になった事から、本社ビルの建て替えが計画されたそうです。その際、施主様から、社員の安全確保や本社機能の維持のために、“より高い耐震性能を有する建物の設計を行って欲しい”との要望があり、当初は、建築基準法に則った通常の耐震性能に割り増し係数を掛けた“高耐震構造”で計画を進めていたそうです。しかし、その計画の最中に、ニュージーランドのカンタベリーで地震が発生したため（2011年2月22日発生）、その状況を受けて耐震性能

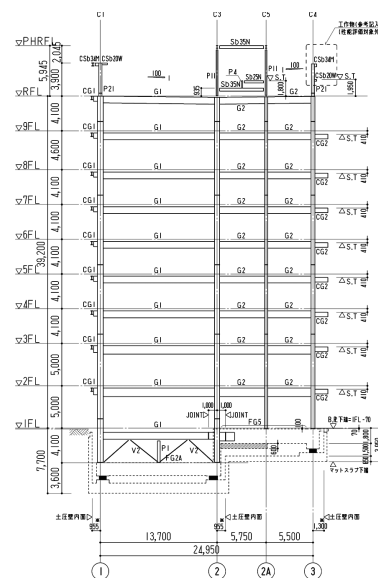


図5 スパン方向軸組図 (A通り)

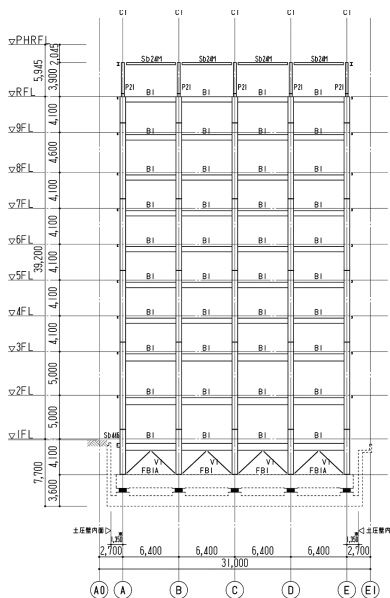


図6 桁方向軸組図 (1通り)



写真1 設備配管の取付状況

の見直しを行い、より耐震性能が高い“制震構造”で計画を立て直したそうです。しかし更に、2011年3月11日に東北地方太平洋沖地震が発生したため、耐震性能の再度の見直しを行い、社員の安全を第一に考え、その結果、更に耐震性能が高い“免震構造”を採用することに決定されたそうです。方針が決定した後は、当初の設計の遅れを取り戻すかのように、免震構造での設計が一気に進んだようでした。

2) 基礎免震になった経緯について

免震計画の初期段階では、地下1階と1階の間に免震装置を設ける中間階免震の考えも出たそうですが、“地下駐車場の社用車も含めて、全ての社有財産を大地震から守りたい。”との施主様からの要望もあり、最終的には、地下1階下に免震装置を設ける基礎免震になったとのことでした。

3) 1階レベルの免震建物可動部分の処置について

エントランスホールと駐車場の出入口を除いては、建物の周囲をGLより400mm下げて、グリーンベルトで覆うことにしたそうです。地震時に上部構造が水平移動した際には、建物の躯体が植栽を少し押し潰す事になりますが、建物の動き代部分に、将来的に何か物が置かれるとか、人が進入するとかの状態を作らないことを目的に、このような対処方法を採用したとのことでした。

4) 既存土圧壁の利用について

地下部分の解体に際しては全てを壊さずに、既存の土圧壁の一部を、新設の山留に利用する施工を行ったそうです。また、SMWの土圧壁部分についても敷地の有効利用等を考慮し、構造体の一部に利用したそうです。

5) 免震層のクリアランスについて

動き代部分のクリアランス寸法については、構造設計上必要な値を450mmとし、現場では施工上の誤差等も考慮して設計クリアランスを480mmと設定して施工を進めているそうです。クリアランス寸法は、地下部分を施工した後に実測して、設定値の480mmを確保できていることを確認しているとのことでした。



写真2 免震層の状況



写真3 免震層の施工状況



写真4 免震基礎の施工状況

尚、本建物は都心部での建設のため、敷地をいっぱいに使っており、且つ、地下1階下に免震部材を設置する基礎免震としているので、免震層の動き代部分を考慮しながら設備配管等を引き込まなければならなかった地下部分においては、取り合いに苦労されたようでした。(写真1参照)

6) 耐圧盤のマットスラブについて

外周部にはフラットビーム（梁せい：1200mm）を配置して、中央部のフラットスラブ部分は、スラブの天端を梁天端よりも400mm下げて配置したそうです（梁の下端とスラブの下端は一致している）。施工上は、スラブの天端を下げたことにより、型枠工事が入って一手間増えたそうです。しかし、免震層においては、将来にわたって、免震部材や設備配管等の維持管理点検業務を行う必要があるため、その作業を行う上では、このレベル差は大変有用であると思われました。(写真2参照)

7) 災害時の帰宅困難者の対策について

災害時に帰宅困難者が発生した場合には、当新本社ビルに勤務している全社員の約6割程度の社員が、約3日間（72時間程度）滞在可能であるように、オイルタンクの容量を設定し、各部署へは飲料水や食品等を備蓄する予定とのことでした。現段階では、基本的に社員を対象にしているとのことでしたが、実際の災害発生時には周辺の状況を含めて社会的な配慮についても考慮しているとのことでした。

8) 免震建築物であることの明示について

本建物が免震建築物であることを対外的に示す表示等は、設置義務以上については具体的な検討を行っていないそうですが、今後施主様との間で検討を行うべきか調整される予定とのことでした。

また、免震部材の取付時の状況等に関しても、写真を元にご説明頂きました。(写真3～写真5)

5 おわりに

JR線の車窓からも見る事が出来る当新本社ビルは、地上9階建ではありますが、縦のラインと横のラインが調和された素敵なファサードとなりました。

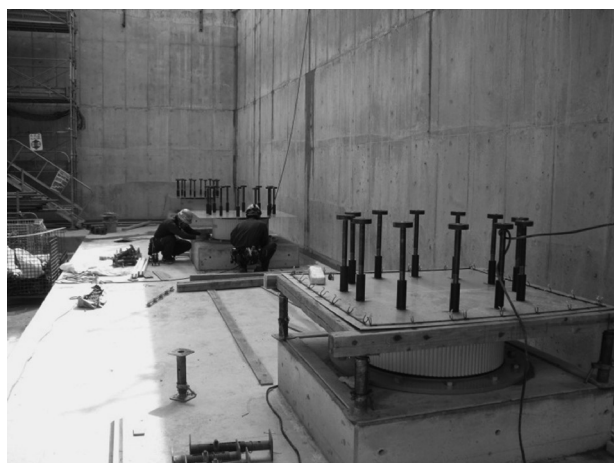


写真5 免震積層ゴムの設置状況

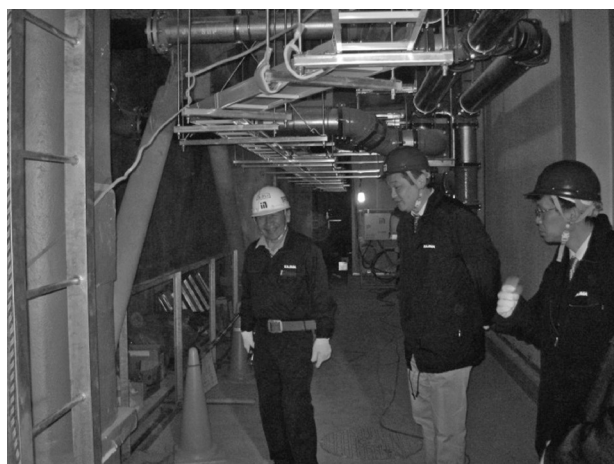


写真6 地下1階での説明の様子



写真7 集合写真

当ビルのオーナーである正栄食品工業さんは、緊急事態の発生に備えて独自のBCP（事業継続計画）を新本社運用に合わせて策定検討中だそうです。今回、当ビルに免震構造を採用されたことにより、BCPは確実に実行されて行くのではないかと考えられました。また、通常の耐震建物よりも免震建物は、上部構造の層間変形角や応答加速度が低減されるため、免震構造は、環境品質と環境負荷低減を推進している装置や機器類の耐用性向上にも寄与しているものと思われます。このことから、今回の免震構造の採用は、CASBEEの継続に対しても一助となるのではないかと考えられました。

最後になりましたが、お忙しい中、貴重なお話をお聞かせ頂きました関係者の方々に、厚く御礼申し上げます。



写真8 訪問時の建物外観

2011年東北地方太平洋沖地震における免震建物の地震観測波分析とそれに基づく強震動予測及び免震建物の応答予測



古澤 健
スターツCAM



酒井 和成
同



中西 力
同



鈴木 利哉
同



千田 卓
同

1 はじめに

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震における89棟の免震建物観測記録について、「MENSIN NO.73 (2011.8)」にて「東北地方太平洋沖地震における免震構造の観測記録と居住者のアンケート調査及び応急点検」と題して報告した。今回はその続編として、東北地方太平洋沖地震の観測波の特性分析とその考察を述べる。観測波の中には第3種地盤に位置する免震建物のGL-50mの工学的基盤の加速度波形が収録されている。これらの工学的基盤および地表面における観測波より、地表面の極めて稀に発生する設計用入力地震動およびそれによる免震建物の応答を予測する。

2 建物概要・地震計測概要

表1に建物概要と地盤特性及び地震観測記録が得られた地震計設置箇所を示す。各建物が建設された地盤の種別は、免震建物A、Cが第3種、免震建物Dが第2種、免震建物Eは第1種地盤である。免震装置は、天然ゴム系積層ゴム若しくは鉛入り積層ゴムとすべり支承との組み合わせとなっている。

地震計は、サーボ型加速度計で、各設置箇所の3方向成分を時間刻み0.01秒で計測している。地震計の設置箇所は、免震ピット部の免震装置用基礎付近と1階床上の柱近傍とし、免震建物Aでは、地表面と地中（GL-50m）にも追加している。地中（GL-

50m）の孔中加速度計は、同敷地に設置してある井戸（写真1）のポンプ部分中に入っている塩ビパイプ管内に設置している。

3 地質概要及び地盤解析モデル

揺れが特に大きかった免震建物Aが建つ東京都江戸川区の地質概要について述べる。GL-43.4m付近に出現する埋没段丘歴層以浅は、N値0～13の非常に柔らかい地層で、以深はN値50以上を示し、非常に密に締まっている。表2にPS検層結果及び物性値を示す。S波速度は、GL-43.4mを境に210m/s以下と380m/s以上になっており、この地盤が極端な2層構造であることが分かる。今回は、GL-49.5mを工学的地盤と想定した。GL-50m付近の工学的基盤の観測記録を地盤解析モデルのGL-49.5mレベルに入力



写真1 地中加速度計を設置している井戸

表2 PS検層結果一覧

層	各層の深度 (m)	土質名	V_p (m/s)	V_s (m/s)	密度 (t/m^3)	ポアソン比	剛性率 (kN/m^2)	ヤング率 (kN/m^2)
1	0.00～2.00	シルト・シルト質細砂	550	100	1.70	0.483	17,000	50,400
2	2.00～3.80	細砂	650	100	1.80	0.488	18,000	53,600
3	3.80～6.80	シルト質細砂	1,000	100	1.80	0.495	18,000	53,800
4	6.80～12.00	砂質シルト	1,210	110	1.75	0.496	21,200	63,400
5	12.00～24.50	粘土質シルト	1,210	110	1.50	0.496	18,200	54,400
6	24.50～33.50	粘土質シルト	1,470	170	1.50	0.493	43,400	130,000
7	33.50～36.50	砂質シルト	1,240	210	1.60	0.485	70,600	210,000
8	36.50～43.40	砂質シルト・有機質シルト	1,550	210	1.60	0.491	70,600	210,000
9	43.40～47.40	砂礫	1,820	380	2.00	0.477	289,000	854,000
10	47.40～49.50	シルト混じり細砂	1,720	380	1.90	0.474	274,000	808,000
11	49.50～51.00	シルト混じり細砂	1,750	400	1.90	0.472	304,000	895,000

表1 建物概要および地震計設置箇所

所在地	階数 (地上)	地盤種別	地盤の卓越周期 (sec)	設置箇所		
A 東京都江戸川区 (免震)	5	3	1.16	免震ピット	1階床	5階床
				地表面	地表-50m	
C 東京都足立区 (免震)	14	3	1.01	免震ピット	1階床	14階床
D 東京都府中市 (免震)	5	2	0.22	免震ピット	1階床	
E 東京都町田市 (免震)	8	1	0.17	免震ピット	1階床	

し、その応答解析結果と同建設地の表層地盤面の観測記録と比較することによる地盤解析モデルの妥当性の検証を行う。1m毎にバネを設置した地盤の地震応答解析を等価線形化法により行った。

4 観測記録と地盤の地震応答解析

免震建物A敷地にて、南北NS・上下UD方向の計2成分の加速度観測記録において、工学的基盤の時刻歴を図1に、地表面（免震地下ピット床）の時刻歴を図2に示す。工学的基盤・地表面とも、100秒近傍でピーク値となり、最大加速度は、工学的基盤がNS方向59.9cm/s²、UD方向44.1cm/s²、地表面がNS方向119cm/s²、UD方向63.9cm/s²である。工学的基盤から地表面までの加速度増幅率は、水平方向が1.75～2.05であった。地表面の観測記録と比較するため、Vs=400m/sのGL-49.5m以深を工学的基盤と仮定し、図1の加速度波形を入力波とした地盤の地震応答解析を行った。図3に地表面解析結果2方向の加速度時刻歴を示す。最大加速度は、NS方向123cm/s²、UD方向139cm/s²であり、水平方向で観測値に近い値となったが、上下方向では、観測値の2倍以上となった。図4に2方向それぞれについて、図1、図2、図3に示す加速度波形の応答スペクトルを示す。

解析値の地表面応答スペクトルは、水平方向が固

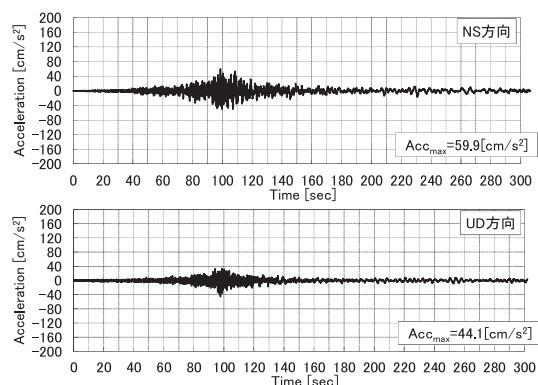


図1 加速度時刻歴（工学的基盤観測値）

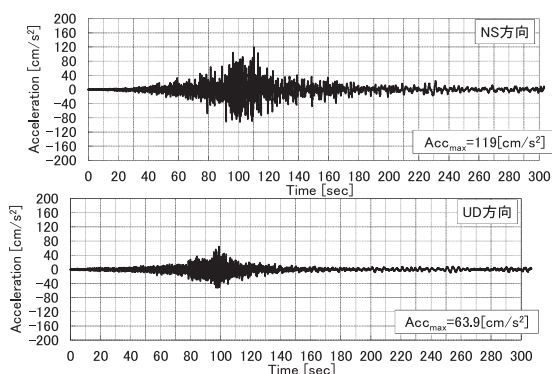


図2 加速度時刻歴（地表面観測値）

有周期1.0sec以上で、上下方向が固有周期0.5sec以上で観測値と近い値を示しているが、周期0.1～0.5sec程度において、水平方向が小さめに、上下方向が大きめの値となっている。これは、短周期成分に対する減衰定数の設定に起因するものと考えられるが、固有周期が0.5secを大きく上回る免震建物の設計用入力地震動としては、おおむね妥当であることが分かる。

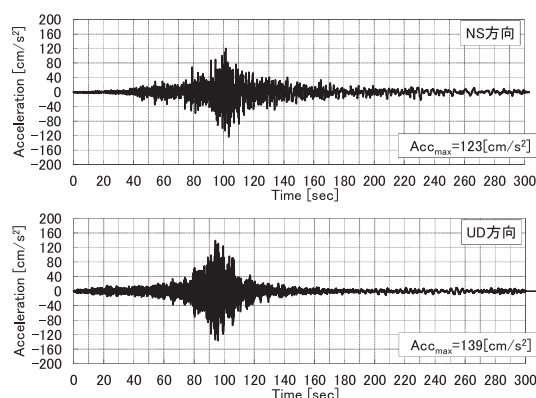


図3 加速度時刻歴（地表面解析値）

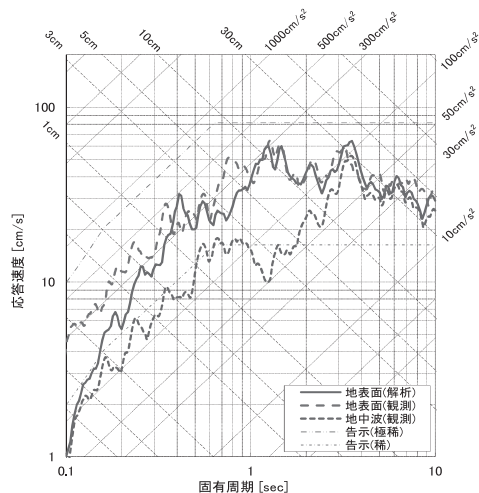


図4 (a) 応答スペクトル (h=0.05、NS方向)

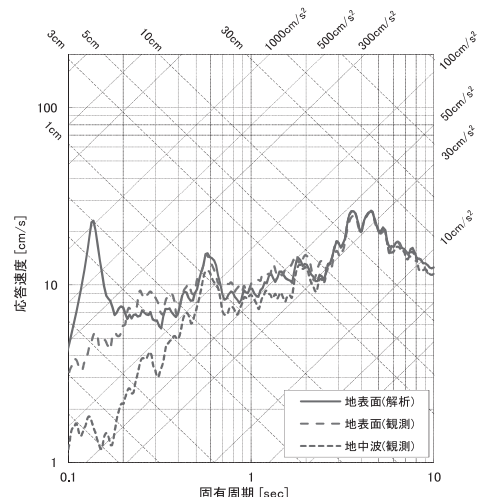


図4 (b) 応答スペクトル (h=0.05、UD方向)

5 各建設地の地盤と免震層変位

関東一都三県に建設された免震建物について、図5に各建設地の地盤種別図を、図6に各建設地の地盤卓越周期と東北地方太平洋沖地震時の免震建物けがき記録による免震層最大変位の関係を示す。特異点の影響を加味しないための術として、最大最小各3点を削除し、また地盤卓越周期の不明なものを除き、標本数は、 $n=46$ である。

各建設地における計測震度、各免震建物の上部構造質量・免震層の剛性・その他の影響を考慮していないため、ばらつきは大きい。免震層の最大変位は、地盤卓越周期が長いほど大きくなる傾向が伺え、式(1)の回帰式に相関性が認められることが分かる。

$$\delta_{\max} = 52.2T_g^{0.530} \quad (1)$$

$\delta_{\max}$ ：免震層最大変位[mm]、 T_g ：地盤卓越周期[sec]

図中に式(1)と1.75の積および式(1)を1.75で除した線を合わせて示す。免震層最大変位は、ほぼ全ての点がこの範囲内となっており、誤差を含めて予測できることが分かる。また、式(1)により、第2種地盤($T_g=0.20\sim0.75\text{sec}$)でも22.3mm～44.8mmと、地盤卓越周期により倍程度の値になると予測される。

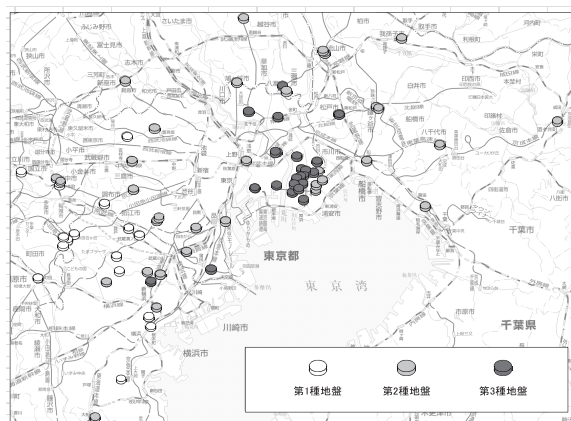


図5 けがき板設置各建設地の地盤種別図

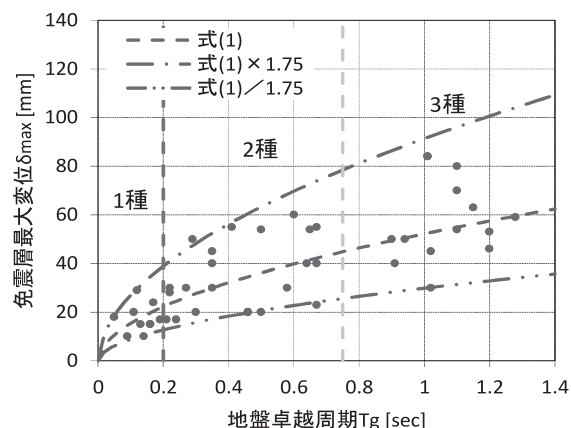


図6 地盤卓越周期と免震層最大変位

6 設計用入力地震動の予測

地盤卓越周期は、第3種地盤の免震建物A敷地が1.20sec程度、第2種地盤の免震建物D敷地が0.22sec、第1種地盤の免震建物E敷地が0.17secとなっている。図7に第3種地盤（免震建物A敷地）の工学的基盤（GL-50m）で観測されたNS方向の観測波、同波を100cm/sec相当に基準化した「観測増幅波」、および同波の位相を用いた極めて稀に発生する「告示波観測波位相」の速度応答スペクトルを示す。また参考に、中央防災会議にて公開されている当該地における「東京湾北部地震NS」工学的基盤の速度応答スペクトルを合わせて示す。

第3種地盤の工学的基盤における極めて稀に発生する設計用入力地震動は、上記3波を想定する。地盤の地震応答解析は、入力レベルの大きさから非線形地盤解析モデルとして地表面での地震動を予測する。なお、この解析では液状化の影響を考慮していない。

図8に第3種地盤の地震応答解析による地表面で極めて稀に発生する地震動の速度応答スペクトル、および第3種地盤の地表面における免震建物設計用の周期1～10secの目標スペクトルも合わせて示す。免震建物に対する応答値は、告示波で最も大きな値となっている。

目標スペクトルは、地表面の各地震動、および図9に示す日本免震構造協会にて提案されている第2種地盤aおよび第1種地盤の表層地盤の増幅特性を考慮した目標スペクトル²⁾を包絡する形状とした。図9に第3種地盤の地表面における免震建物設計用の周

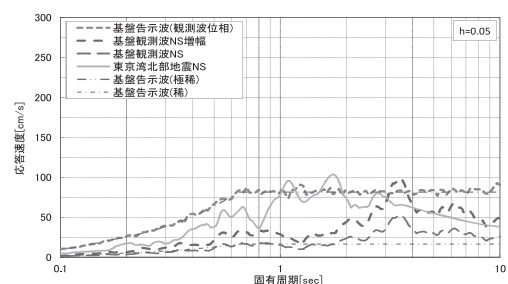


図7 速度応答スペクトル予測 第3種地盤：工学的基盤

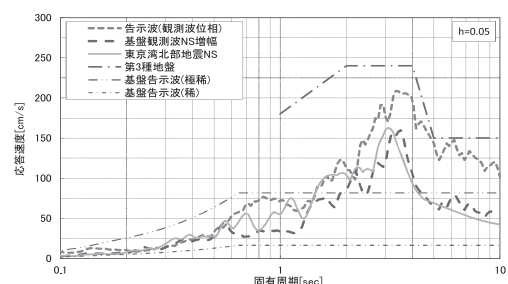


図8 速度応答スペクトル予測 第3種地盤：地表面

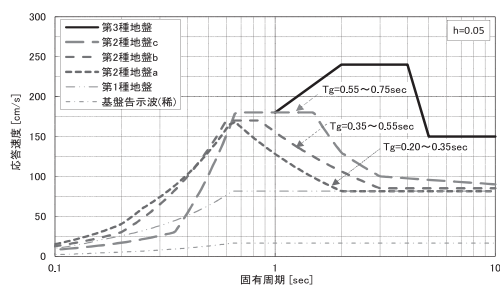


図9 表層地盤の目標速度応答スペクトル (h=0.05、Z=1.0)

期1～10sec目標スペクトルも合わせて示す。同様に第2種地盤（免震建物D敷地：目標スペクトルが図中に記載の日本免震構造協会にて提案されている第2種地盤a（地盤卓越周期 $T_g=0.20\sim0.35\text{sec}$ ）に相当）及び第1種地盤（免震建物E敷地）における極めて稀に発生する設計用入力地震動（「観測増幅波」および「告示波観測波位相」）の速度応答スペクトルを算出した。

7 免震層最大変位の予測

各地盤種別の観測波の変位応答スペクトルと計測値の比較、および観測値と告示波（観測波位相）の変位応答スペクトルにより予測する。表3に各種地盤に建設された免震建物について、免震層積層ゴムのせん断ひずみ $\gamma=0.5$ 、 $\gamma=1.0$ および $\gamma=2.0$ における1次固有周期を示す。各免震建物の固有周期は、地盤卓越周期の長い第3種地盤に建設された免震建物Aで最も長く、免震層の変位が最も大きくなることが予測される。

図10～図12に各種別の地盤に建設された免震建物について、免震ピットでの加速度観測波の減衰定数毎における変位応答スペクトルを示す。図中には、免震層のけがき記録（写真2）最大値（▲印）を合わせて示している。けがき記録の固有周期は、設計に用いた建物質量および観測値最大変位時の等価剛性より決定した。

稀に発生する地震において、免震層の等価粘性減衰定数は、第3種地盤が0.40程度、第2種地盤が0.20程度、第1種地盤が0.35程度であり、おおむね設計で想定している減衰性能を有していると予測される。

図13～図15に第3種・第2種・第1種地盤の各種別

表3 各免震建物の積層ゴムひずみ毎の固有周期

1次固有周期 [sec]	$\gamma 0.5$	$\gamma 1.0$	$\gamma 2.0$
免震建物A 第3種地盤	3.60	4.35	4.96
免震建物D 第2種地盤	2.51	3.05	3.51
免震建物E 第1種地盤	2.71	3.43	4.11

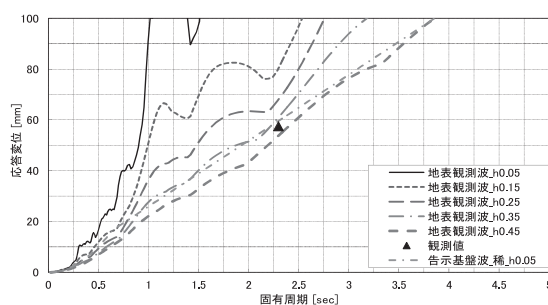


図10 観測波の変位応答スペクトルと観測値 第3種地盤

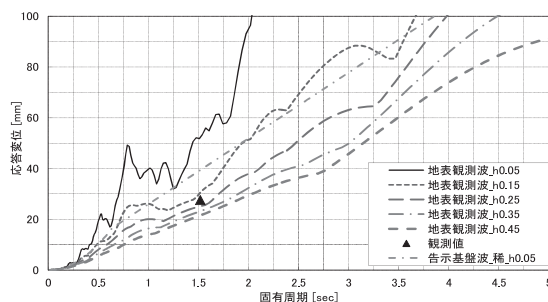


図11 観測波の変位応答スペクトルと観測値 第2種地盤

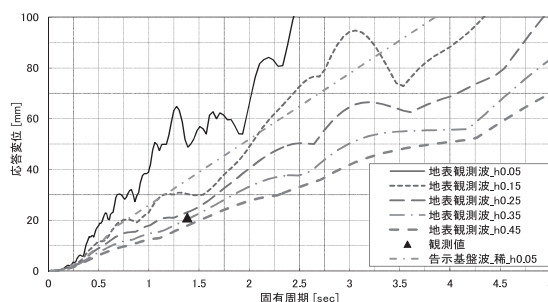


図12 観測波の変位応答スペクトルと観測値 第1種地盤



写真2 けがき板の計測軌跡

の地盤に建設された免震建物について、免震層の変位が最も大きくなると予測される告示波（観測波位相）の地表面で極めて稀に発生する地震動の減衰定数毎における変位応答スペクトルを示す。極めて稀に発生する地震動に対する免震建物の固有周期は、

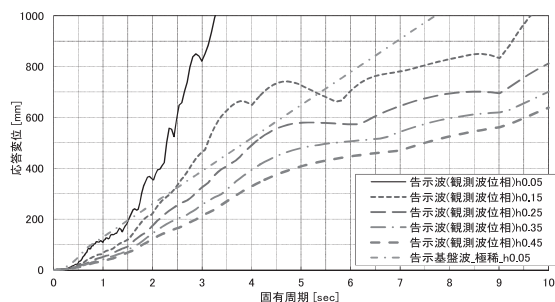


図13 告示波（観測波位相）の応答スペクトル 第3種地盤

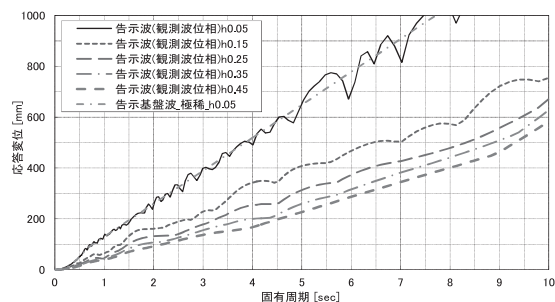


図14 告示波（観測波位相）の応答スペクトル 第2種地盤

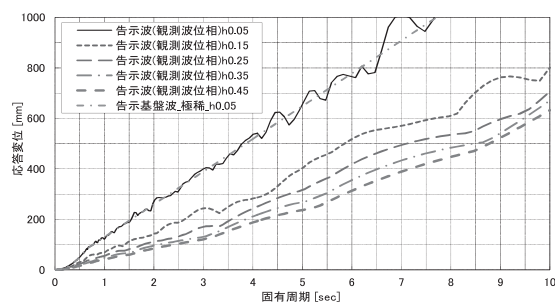


図15 告示波（観測波位相）の応答スペクトル 第1種地盤

第3種地盤の免震建物Aが $\gamma = 1.5 \sim 2.0$ で1次固有周期4.5～5.0sec程度、第2種地盤の免震建物Dが $\gamma = 1.0 \sim 1.5$ で1次固有周期3.0～3.2sec程度、第1種地盤の免震建物Eが $\gamma = 1.0$ 相当の1次固有周期3.4sec程度である。

第3種地盤の免震建物は、 $\gamma = 2.0$ において $h = 0.25$ 程度であり、500mmを超える変位が予測される。第2種地盤および第1種地盤の免震建物は、固有周期2sec以下で第2種地盤aの変位が大きくなるが、極めて稀に発生する地震動に対する固有周期が3.0～3.4sec程度、 $h = 0.30 \sim 0.35$ であり、免震層の変位が共に200mm程度に収まると予測される。図16に、けがき記録の最大値より予測した、関東地方における免震建物の免震層想定変位図を示す。

免震層の最大変位は、地盤の良好な東京都西部および中央部では、150～350mm程度に収まると予測されるが、軟弱地盤の多い東京都23区東部（江戸川

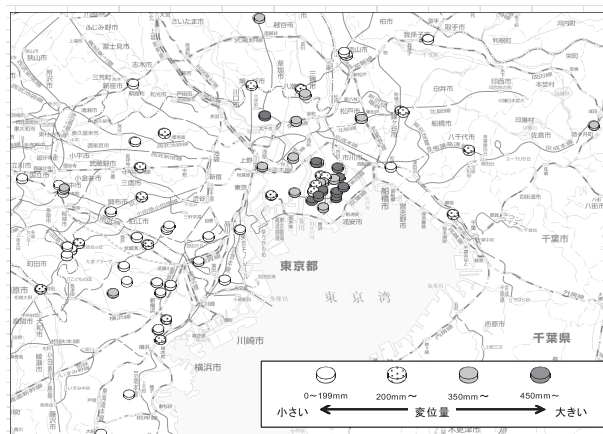


図16 告示波（観測波位相）の免震層想定変位図

区・江東区・足立区）において大きな値を示し、特に大きな場所で450mmを超えると予測される。

8 まとめ

東北地方太平洋沖地震における工学的基盤等の観測記録を用いて、地盤解析モデルの妥当性の検証を行った。また、各種別の地盤に建設された免震建物について、けがきおよび加速度観測記録を用いて、極めて稀に発生する地表面の地震動とそれによる免震建物の免震層の最大変位を予測した。

免震層の最大変位は、個々の建物の設計クライテリアにはほぼ収まる結果となった。今後観測データが採取される毎に、第3種地盤の設定目標スペクトルを見直し精度を上げていくこととする。また液化化地盤についての応答予測は今後の課題として挙げ、本稿を終える。

9 おわりに

今後もスターツグループの観測網を駆使し、観測データを取り続け、技術的には設計へのフィードバックや技術の公開を行い、またお客様への性能説明に利用し、免震構造の理解と普及により一層努めていきたい。データ収集に協力いただいた建築主および多くの関係者の皆様には、この誌面をお借りしてお礼申し上げます。

【参考文献】

- 1) 酒井他、「東北地方太平洋沖地震における免震構造の観測記録と居住者のアンケート調査及び応急点検」、日本免震構造協会MENSHIN NO.73 (2011.8)、p.23～28
- 2) 日本免震構造協会、免震建築物の耐震性能評価表示指針及び性能評価例、2005.11、p.16

入力地震動小委員会

技術委員会・免震設計部会・入力地震動小委員会（平成25年4月現在）

委員長	久田 嘉章	工学院大学
幹事	藤波 健剛	前田建設工業株式会社
	境 茂樹	株式会社安藤・間
委員	井川 望	株式会社鴻池組
	荻野 伸行	株式会社熊谷組
	加地 孝敏	株式会社免震エンジニアリング
	栗山 利男	株式会社構造計画研究所
	鈴木 光雄	株式会社山下設計
	床 圭司	株式会社奥村組
	中澤 俊幸	株式会社東京建築研究所
	仲林 健	株式会社ピーエス三菱
	人見 泰義	株式会社日本設計
	樋渡 健	東亜建設工業株式会社
	山崎 久雄	ユニオンシステム株式会社
	吉井 靖典	株式会社フジタ

まず入力地震動小委員会の活動を簡単に紹介したい。本委員会は技術委員会設計小委員会のWGとして1998年に発足し、最新の強震動研究の成果や社会の動向を踏まえつつ、免震建築における合理的な入力地震動について合意形成を目的として活動を行っている。その成果は、2005年11月に刊行した「免震建築物のための設計用入力地震動作成ガイドライン」¹⁾として結実している。その後、震源断層を特定した地震の強震動予測手法（「レシピ」）がほぼ実用の域に達し²⁾、国や自治体によるハザード評価や地震被害想定で標準手法として使用され、建築物の設計用地震動としても使用されてきている³⁾。また長周期地震動に関して、国土交通省が超高層建築物等に対する対策試案を公表し、検討用の地震動を提示している⁴⁾。さらに、様々な機関で活断層や地盤構造、強震波形記録が公表されており、設計用地震動の策定の際、有用な情報として利用可能になっている。一方、2011年にはM9という超巨大地震である東北地方太平洋沖地震が発生し、多くの貴重な教訓が得られている。例えば広大な震源断層において長周期と短周期の地震動の発生域が異なると指摘されており、震源の想定やモデル化が大きな課題となった。また地震

規模の割には地震動の破壊力はあまり強くはなく、巨大地震は振幅よりも長い継続時間に大きく寄与することも確認された。さらに首都圏で観測された長周期地震動の振幅レベルは、地震規模の割に大きくはなく、これまで伊豆方面の地震で見られるような明瞭な卓越周期を持つ長周期地震動の増幅効果は見られなかった。また東京湾岸地域では厚い表層地盤により長周期地震動が著しく増幅されることが確認され、さらに仙台市や大阪市では明瞭な地盤の卓越周期が現れたサイトがあり、共振した建物の被害例が報告されている。以上のように近年の地震では活断層や海溝型巨大地震など震源特性や、地盤の増幅特性など「サイト特性」による強震動特性に与える影響の重要性が再認識されており、本委員会としても、得られた最新の知見を鋭意収集している。

上記を背景に、本委員会では2013年度に「免震建築物のための設計用入力地震動作成ガイドライン」の改訂版の発行を予定しており、2012年5月に行った「第6回技術報告会」は、その中間報告と位置づけ、報告を行った。ガイドラインの原稿は2013年3月末時点でほぼまとまっており、図1と表1は、それぞれ入力地震動策定のフローと、地震動

作成手法の概要の案を示す。入力地震動策定のフローは、「告示に基づく方法」と、「サイト特性を考慮する方法」に分け、後者ではさらに「経験的手法」と、「半経験的・理論的・ハイブリッド手法」に分けている（表1を参照）。前回のガイドラインと比べ、今回はサイト特性を考慮した地震動の作成法と、その計算事例の紹介、さらには様々な機関で公開されている地盤や強震記録のデータベースの紹介などを充実する予定である。免震構造は非常に優れた耐震性能を有し、殆どの場合では告示波などの一般的な入力地震動で対応可能である

が、震源（特に活断層）の近傍や長周期地震動が卓越する地盤などは告示波のレベルを凌駕する可能性があり、注意を払う必要がある。この場合、サイト特性を考慮した地震動による検討が望まれており、新ガイドラインでは、複雑な震源パラメータや強震動計算法などを、できるだけ分かりやすく記述するよう心がけている。新ガイドラインは2013年度に様々な機会を通じて紹介する予定であるが、不明な点や気がついた点などがあれば、遠慮なく意見を頂ければ幸いである。

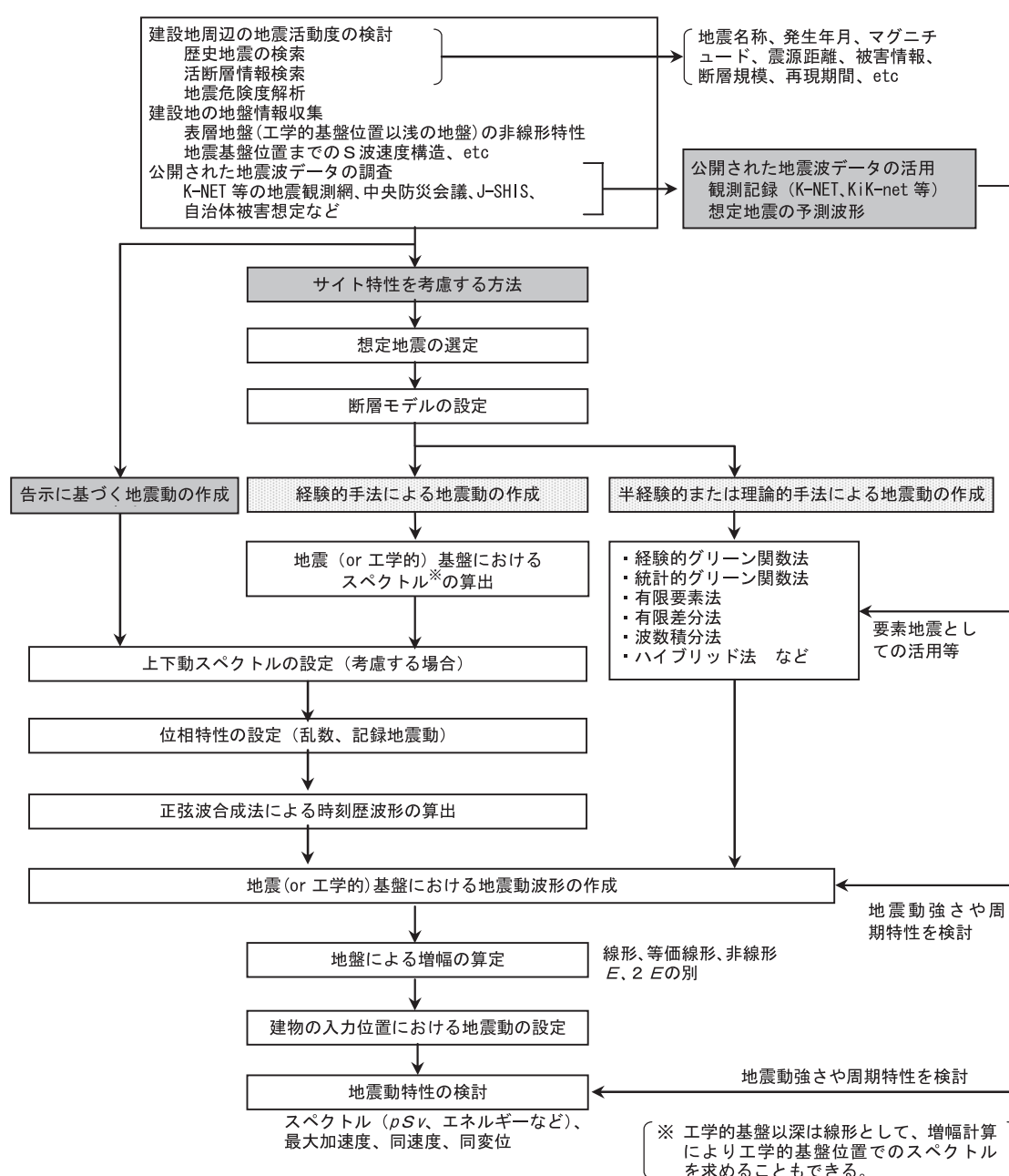


図1 「免震建築物のための設計用入力地震動作成ガイドライン（2013年度版）」における入力地震動の策定フロー（案）

参考文献

- 1) 日本免震構造協会、免震建築物のための設計用入力地震動作成ガイドライン、2005
- 2) 地震調査研究推進本部、震源断層を特定した地震の強震動予測手法（「レシピ」）、2008
- 3) 日本建築学会、最近の地盤震動研究を活かした強震波形の作成法、2009
- 4) 国土交通省・「超高層建築物等における長周期地震動への対策試案について」に関するご意見募集について、2011、http://www.mlit.go.jp/report/press/house05_hh_000218.html

表1 「免震建築物のための設計用入力地震動作成ガイドライン（2013年度版）」における地震動作成手法の概要（案）

手 法			概 要	長所・短所	必要情報
告示に基づく方法			建設省告示第千四百六十一号の第四号に規定される解放工学的基盤における加速度応答スペクトルを目標スペクトルとして作成する方法	・ サイト特性が反映できない	・ 既往波の位相特性
サイト特性を考慮する方法	経験的手法		強震記録の統計解析から得られた距離減衰式に基づく応答スペクトルを目標スペクトルとして作成する手法	・ 地震動の平均的特性を反映 ・ 単純な震源特性に限定される	・ 回帰式と周期に応じた回帰係数 ・ 既往波の位相特性
	半経験的手法	経験的グリーン関数法	小地震の観測波形を震源・伝播経路・サイトの特性が反映された一種のグリーン関数と考え、これを重ね合わせて大地震の地震動を推定する手法	・ 震源の破壊過程やサイト特性を反映できる ・ 観測記録がないと使えない	・ 想定断層を対象とした観測記録 ・ 震源パラメータ
		統計的グリーン関数法	S波の遠方近似解と震源の ω^2 モデルに適合する小地震の地震波形を人工的に作成し、これを経験的グリーン関数法と同様に重ね合わせて大地震の地震動を推定する手法	・ 観測記録がなくても使える ・ 震源の破壊過程やサイト特性を反映できる ・ 長周期成分が含まれない ・ 不整形地盤の特性が反映できない	・ 震源パラメータ ・ 地盤構造モデル
	理論的手法		地震波の発生・伝播を理論的に数式を用いて表現し、数値モデル化した震源断層と地盤構造に基づいて地震動を計算する手法 波数積分法、有限差分法、有限要素法などがある。	・ 震源の破壊過程や広域な地下構造を反映したやや長周期の地震動を評価できる ・ 短周期領域での評価は困難 ・ 詳細な深部地盤構造モデルが必要 ・ データ作成、解析時間の負荷が大きい	・ 震源パラメータ ・ 地盤構造モデル
	ハイブリッド法		上記の理論的手法と半経験的手法を組み合わせる手法	・ 短周期から長周期までの地震動評価ができる ・ 広帯域の評価が出来る ・ マッチングフィルター、接続周期により結果が異なる ・ 詳細な深部地盤構造モデルが必要 ・ データ作成の負荷が大きい	・ 震源パラメータ ・ 地盤構造モデル

耐風設計部会活動報告

技術委員会・耐風設計部会（平成25年4月現在）

部会長	大熊 武司	神奈川大学
幹事	竹中 康雄	鹿島建設株式会社
	吉江 慶祐	株式会社日建設計
委員	北村 春幸	東京理科大学
	田村 和夫	千葉工業大学
	松井 正宏	東京工芸大学
	安井 八紀	株式会社泉創建エンジニアリング

耐風設計部会は2007年9月に発足し、「免震建築物の耐風設計指針の作成」を主たる目的として活動を進め、昨年9月に「免震建築物の耐風設計指針」を刊行し、合わせて東京（9月）、大阪（10月）に解説講習会を実施した。

これまでに、2009年5月技術報告会にて指針の骨格と免震建物の風応答性状の検討などの活動成果を報告した。さらに、2011年に本会会誌MENSIN（2011年2月号）で、「免震建築物の耐風設計指針（案）」として指針の本文と本文を理解するために必要と思われる解説を公開した。この時点では、まだ設計に必要となる全てが解明されていたり、情報が整ったりしていたわけではないが、指針案の整備を通して、設計として許容できること、あるいは現在は見過ごされてしまっているが安全性に影響しそうな事象などが明らかとなり、免震建築物の耐風設計に早い段階で適用されることが望ましい事項も含まれていると考え、「免震建築物の耐風設計指針（案）」として紹介したものである。しかし、2011年3月11日、東北地方太平洋沖地震により「東日本大震災」がもたらされた。本協会は早速、応答制御建築物調査委員会を設置し、この地震に対する免震・制振建築物の挙動について、調査・解析・評価し、効果の確認と課題の抽出を行なった。本部会では、これらの調査結果や報告の中で、指針に盛り込むべき事項がないかの検討を加えた。

本報では、「免震建築物の耐風設計指針」（以下「本指針」）の本文を紹介するとともに、指針に掲載した付録から、

「暴風の継続時間」
「暴風の累積作用時間の簡易評価方法」
「免震層の簡易風応答評価方法」
「免震層の風応答評価例」
の4題を紹介する。

I. 免震建築物の耐風設計指針・本文

以下に「免震建築物の耐風設計指針」本文を掲載する。本文以外の解説にも免震建築物の耐風設計を進めるうえで重要な事項を説明しているので、実際に免震建築物の設計を行う際には参照して頂きたい。

1. 一般

1.1 適用範囲

- (1) 本指針は免震建築物（中間層免震構造、戸建て免震構造を除く）の免震層の耐風設計に適用する。
- (2) 本指針は、対象とする免震建築物の免震部材の速度依存性、振幅依存性、温度依存性及び風力の平均成分のような静的な外力によりクリープを生じる部材（以下、クリープ性部材とする）を考慮した、地震時の応答特性とは異なる免震建築物特有の風応答性状を実用的に評価する方法を提示する。

1.2 指針策定の基本方針

- (1) 極めて稀な暴風時の安全性の確保を目的とする。
- (2) 風荷重に対する最大応答量だけでなく、長時間の繰返しによる損傷の累積に対する設計・検証方法を提示する。
- (3) 風荷重は建築基準法告示に準拠して設定することを原則とする。
- (4) 免震層の挙動に注目し、はじめに免震層全体の応答を予測し、次に予測された免震層の応答挙動に対して各免震部材の安全性の検証を行うことを基本とする。

- (5) 風荷重に対する免震層の応答レベル（静的な力の釣り合いから求まる最大応答値）を3段階に分け、それぞれのレベルについて検証すべき事項を示す。

1.3 免震建築物の耐風設計上の留意事項

- (1) 免震建築物では同規模の一般建築物に比べ、風直交方向・振れ振動の影響を受けやすくなるので、慎重に風荷重の設定を行わなくてはならない。また、アスペクト比（ H ：建物高さ、 B ：建物の見付け幅、 D ：建物の奥行き長さ）が3以上となる場合は、風荷重の組合せ（風方向・風直交方向・振れ）を考慮する。
- (2) 免震部材の安全性評価は、免震部材の適切な繰返し加振実験、もしくはそれに基づく評価方法によって行う。
- (3) 長期荷重を支持する積層ゴムや滑り支承などの免震支承は交換が不要となるように、極めて稀な暴風の作用後も免震支承の性能の変化・劣化を小さく留めることを原則とする。
- (4) ストッパーや風トリガー（鋼製のシアキーやロック機能付きオイルダンパなどで、強風時に免震層の変形を抑制し、免震部材の過大な水平変形や残留変形、損傷を防止するための機構）を採用する場合には、これらの機構が所定の性能を有しているかの検証が必要である。また、これらの機構が不動作あるいは誤作動したときの強風に対する最低限の安全性が保証されなければならない。
- (5) その他の留意事項
免震建築物は、同規模の非免震建築物と比べ、風荷重の影響を受けやすいので、たとえば下記の項目など慎重に設計する必要がある。
- 1) 居住性レベルの応答
 - 2) 空力不安定振動

2. 風荷重の設定

- (1) 風荷重は、免震建築物の形状、振動特性、免震層の復元力特性、建設地および周辺の状況等を考慮して算定する。この場合、水平面内の風向と直交する方向および振れ方向の振動並びに免震層を含めて風荷重の影響が顕著な部位の振動を適切に考慮する。
- (ア) 上記の評価に際して用いる風力係数は、告示や荷重指針に規定された値を用いるか、または風洞実験等よく吟味された方法によって求める。
- (2) 風荷重算定の基準となる地上10mにおける平均風速（基準風速）は下記とする。
- (ア) 稀に生じる暴風時の基準風速は建築基準法施行令第87条第2項の規定に従って地表面粗度区分を考慮して求めた数値以上とする。
- (イ) 極めて稀に生じる暴風時の基準風速は、稀に生じる暴風時の基準風速の1.25倍とする。
- (3) 風荷重の継続時間については、建設地における気象条件や供用期間中の免震部材の取り換え等を含む維持管理条件等を吟味し適切に設定する。
- (4) 風荷重の算定は、建築基準法などに準拠することを原則とするが、周波数応答解析や時刻歴応答解析などに基づくことができる。

3. 免震層の設計

3.1 評価項目

- (1) 免震建築物では同規模の一般建築物に比べ、風直交方向・振れ振動の影響を受けやすくなるので、風荷重の組合せをふくめ、それらの影響を十分に考慮する必要がある。

3.2 耐風安全性の検証

- (1) 極めて稀な暴風時の免震層の応答状態として以下の3段階に分類して、耐風安全性の検証を行う。

i) ランクA：

免震層の風荷重に対して、免震層が弾性挙動するケース（すべての免震部材が降伏応力を超えない場合。免震部材にクリープ性部材やすべり支承を含む場合は、クリープ性部材・すべり支承を除いた免震層の復元力特性が風荷重に対して弾性限以内に留まる場合やすべりの摩擦力のみで風荷重を上回る場合を含む）

- ・免震層の各部（免震層を構成する免震部材のこと）を弾性範囲に留める設計であり、上記状態を確認することで、風荷重に対する免震建築物の健全性が確認されるものとする。
- ・全ての免震部材が降伏応力を超えない場合は、風荷重に対する特段の検討は必要ない。
- ・クリープ性部材・すべり支承を除いた免震層の復元力特性により風荷重に対する検討を行う場合は、別途、この復元力特性から求まる免震層の変形に対して、クリープ性部材・すべり支承の変形追従性を確認し、クリープ性部材・すべり支承の継続使用に支障のないことを確認する。

ii) ランクB：

免震層の風荷重（平均成分+変動成分）に対して、免震層は弾性限を越えるが、風荷重の変動成分に対しては弾性挙動をするケース

- ・風荷重を平均成分と変動成分に分離し、それぞれに対応する免震層の復元力特性を用いて、静的な力の釣合から求めた最大変形や塑性変形により構造安全性を検証することができる。その際、平均成分に対しては静的な荷重と見なしてクリープ性部材・すべり支承を除いた免震層の復元力特性を、変動成分に対しては地震時の復元力特性を用いることができる。
- ・風荷重による最大変形時に免震層を構成する主要免震部材が弾性範囲に留まることを確認するほか、降伏応力を超える免震部材の変形追従性、損傷度を評価し、構造安全性を検証する。
- ・風荷重の長時間繰返しを考慮し、風荷重が2～3時間連続相当の繰返しに対して、使用する免震部材が健全であることを確認する。
- ・クリープ性部材・すべり支承を含む場合は平均成分により生じる変形が残留変形として残るが、その変形に対して各部が長期荷重に対して安全かつ建物の機能を損なわないことを確認するか、原位置に戻すなどの適切な対応を行う。

iii) ランクC:

免震層の風荷重（平均成分+変動成分）に対して、免震層は弾性限を超え、風荷重の変動成分に対しても弾塑性挙動をするケース

- ・原則として、時刻歴応答解析による検証を行い、免震部材などの最大変形、疲労損傷の評価を行い、構造安全性を確認する。
- ・免震部材の疲労損傷評価やエネルギー吸収量に対する評価などが必要となるため、風荷重の大きさだけでなく、継続時間を含めた風荷重の詳細な設定が必要となる。
- ・風応答により生じた変形が残留変形として残る場合、その変形に対して各部が長期荷重に対して安全かつ建物の機能を損なわないことを確認するか、原位置に戻すなどの適切な対応を行う。
- ・極めて稀に生じる暴風時だけでなく、建物供用期間中の累積疲労損傷評価を行い、供用期間中の健全性を確保する必要がある。

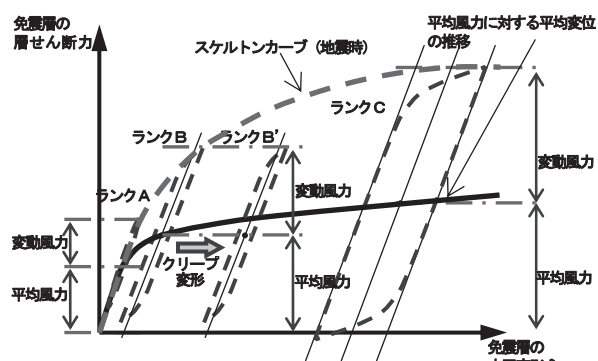


図1 風荷重に対する免震層の応答の概念図と免震層のランク

4. 免震部材の設計

4.1 評価項目

- (1) 免震部材の設計において、極めて稀な暴風時およびその事象後も免震部材がその機能を保持できることを耐風安全性評価により確認しなければならない。
- (2) 耐風安全性の評価においては、風荷重変動成分による長時間繰返し変形に対する疲労損傷、温度上昇の影響による剛性低下、耐力低下および小振幅時復元力特性、さらに風荷重平均成分によるクリープ変形特性や長時間変形の影響など風荷重時に特徴的な評価項目が適切に考慮されなければならない。
- (3) 温度上昇の影響や繰返し変形による免震部材力学特性の変化は限界値を超えてはならない。また、その特性変化が応答値に影響する場合には、風応答値の評価においてこれを考慮する必要がある。
- (4) 鋼材の疲労など、供用期間中の地震や頻度の高い強風により損傷が累積する免震部材においてはこれを考慮して健全性の評価を行なうものとする。
- (5) 暴風の後の水平残留変形を評価し、安全性の評価を行わなければならない。

II. 暴風の継続時間

1. 暴風の累積的作用の評価

免震部材は弾塑性の性質を活かしたダンパー等が用いられるため、一般的な建築物で実施される部材の最大応力度による安全性照査に加えて、総エネルギー入力または累積疲労損傷度等の暴風の累積的作用を的確に評価し、安全性を検証する必要がある。このための風速の継続時間に関する情報は十分に整理されているとはいえない。以下に継続時間の評価方法の1案について解説する。

免震構造物に累積的に作用する風の影響としては、

- 1) 供用期間中の中弱風
- 2) 年1度程度の強風（主として居住性を評価する、再現期間1年程度）
- 3) 稀に生じる暴風（再現期間50年程度）
- 4) 極めて稀な暴風（再現期間500年程度）

等が考えられる。

1) については、過去10年程度の最寄りの気象官署の観測記録をワイブル分布等で近似する手法が環境アセスメントで風環境を評価する際に良く用いられ、参考にすることができる。2)～4) については、日本建築学会「建築物荷重指針・同解説2004」¹⁾（以下、荷重指針）等や建築基準法の規定により荷重を評価することができる。ただし、これらのうち、供用期間中の累積作用を評価する上で必要な継続時間等に関する情報を利用できるのは、1) のみであり、2)～4) については、別途何らかの方法でその継続時間を評価しなければならない。ここでは、一つの強風イベントを対象に、その等価継続時間を評価する方法について解説する。

2. 等価継続時間の評価

気象官署における観測記録等に基づく10分毎の平均風速の時間変化を有する強風イベント下での総エネルギー入力や累積疲労損傷度を考える。等価継続時間は、その強風イベントの（10分間平均）最大風速が継続した場合に、その強風イベントによる総エネルギー入力や累積疲労損傷と等価になるような継続時間 T_{eq} として次式により求める。

$$T_{eq} = E_{total} / e_{U_{max10}} \quad (1)$$

ただし、 E_{total} は強風1イベントの総エネルギー入力（または、累積疲労損傷）、 $e_{U_{max10}}$ は、強風1イベントの最大風速（10分間平均風速）が単位時間作用した時のエネルギー入力（または、累積

疲労損傷)。

ここでは、 E_{total} や eU_{max10} を便宜的に構造物の代表高さにおける設計風速と応答の関係が近似的にべき関数で表わされる場合が多いことを利用して、以下の様に見積もる。

単位時間（例えば10分間）当たりのエネルギー入力 E は、運動エネルギーに比例し、運動エネルギーは速度応答の2（= m_E ）乗に比例する。また、速度応答は風速の2～3（= n_v ）乗に比例すると見積もられる。

$$E = C_1 U^{m_E n_v} \quad (2)$$

ここで、 $m_E=2$ 、 $n_v=2\sim3$ 程度の値をとる。

一方、単位時間当たりの疲労損傷度 D は、両対数表現したS-N曲線の勾配（= m_s ）と風速のべき（= n_d ）乗に比例する応答変位の変動成分から、下式のように、風速の $m_s n_d$ 乗に比例すると見積もられる²⁾。

$$D = C_2 U^{m_s n_d} \quad (3)$$

ここで、 $m_s=2\sim3$ 程度の疲労曲線で決まる値、 $n_d=2\sim3$ 程度の値をとる。

以下では、東京気象官署における強風イベントに対する等価継続時間の評価例を示す。

この他いくつかの気象官署での計算も行い、これらの計算例から、最大風速の増加と共に等価継続時間は短くなる傾向にあり、概ね2～3時間程度であることを確認した。

表1 東京管区気象台観測記録による等価継続時間の値

年月日	最大風速 (m/s)	等価継続時間(分)		強風イベント
		$mn=4.4$	$mn=9.0$	
2001.09.11	17.7	51	18	台風0115号
2004.12.05	17.5	57	20	
1997.05.08	15.4	117	31	
2007.09.06	14.9	302	97	台風0709号
2008.02.24	14.2	207	71	

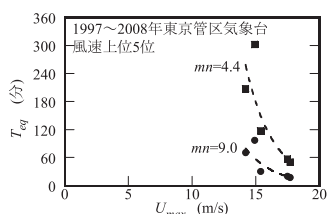


図2 東京管区気象台における最大風速 U_{max} と等価継続時間 T_{eq} との関係

3. 仮想台風による設計用風速時刻歴の生成

台風による暴風時の風速時刻歴を生成する手法について解説する。

風速の時間変化を検討するには、台風シミュレーションのみによる方法も考えられるが、複雑な地形の影響などがある場合には、再現性の高いシミュレーションは困難である。そこで松井ら³⁾は、実観測記録をベースに台風モデルに基づくスケールリングを適用した再現性の高い台風時の風速を合成する手法を提案している。この手法は、照査対象地点における過去の台風時の風速観測記録から代表的な風速時刻歴を要素記録として選択し、その台風の気圧場パラメータが変化した場合の仮想的な台風時の風速を求める方法である。

はじめに設計対象地点最寄りの気象官署等の顕著な台風の観測記録を要素記録とし、その台風の経路情報および気象台における地上気圧観測記録から、気圧場のパラメータ（中心気圧低下量、最大旋衡風速半径、移動速度等）を同定する。

次に想定する台風（以下、仮想台風）を、要素記録の台風（以下、要素台風）と同一の経路をたどるものとし、仮想台風の中心気圧、最大旋衡風速半径、移動速度等は、要素台風と異なる値をとることができるものとして、最大風速が設計風速となるようパラメータチューニングを行う。詳しくは文献3) および本指針の付.3を参照されたい。以下に、鹿児島地方気象台における過去の日最大風速順位2位の風速を生じさせた台風9612号を要素台風として、設計風速を機器設置高さに換算した45.1m/sとした仮想台風の計算例を示す。

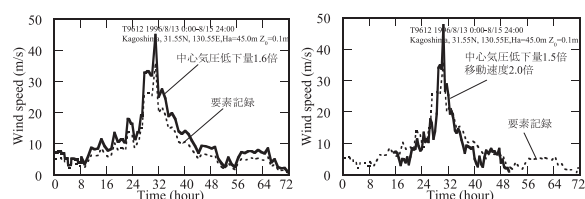


図3 鹿児島気象台における要素記録（9612号）と仮想台風による風速時刻歴

次に、羽田アメダス（AMeDAS）記録をもとに極めて稀な暴風に相当する仮想台風を計算し、仮想台風風速および観測記録に対する等価継続時間を以下に示す。観測記録は2004年台風22号の羽田アメダス観測地点における10分間平均風速時刻歴を用いる。同観測記録は、同観測地点における歴代1位の最大風速をもたらししている。設計風速は、極稀に発生する暴風42.5m/s（= $1.25 \times V_0$ 、 $V_0=34$ m/s）とする。パラメータチューニングの結果、

生成された風速時刻歴を図4に示す。

羽田アメダスにおける台風時の観測記録、また図4の仮想台風による風速波形に対して、(1)式から求めた等価継続時間を表2に示す。同じ強風イベントの風速時刻歴でも、累積荷重効果を与える風速のべき指数 mn が大きいほど、等価継続時間が短く評価される。 mn は構造物が風に対して敏感な場合に大きな値をとることが予想されるため、一般的な構造物の mn の値に対して等価継続時間を評価しておけば、より風に敏感な建物には安全な設定になることが期待される。

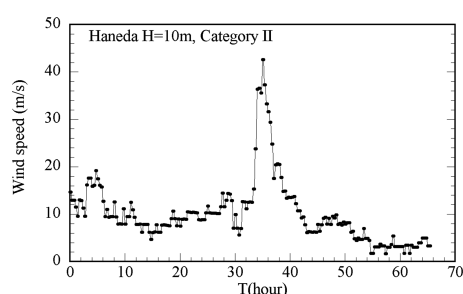


図4 生成された仮想台風時の風速時刻歴地点：羽田アメダス、要素記録：台風0422、MA-ON

表2 強風イベントの等価継続時間

強風イベント	等価継続時間 (min.)		
	(累積荷重効果を与える風速のべき指数 mn)		
	$(mn=6)$	$(mn=8)$	$(mn=10)$
仮想台風による風速 (図5)	64.	49.	40.
羽田アメダス T0422 最大風速：29m/s (図5の要素記録)	33.	25.	21.
羽田アメダス T0709 最大風速：27m/s	146.	83.	54.

4. 注意事項

本指針の付3では、注意事項として、

- ①最終的な安全性を検討する場合は、強風のみならず、他の荷重効果による累積的影響を評価する必要がある。
- ②継続時間の評価に当たっては、単一の強風イベントについて考慮することはもとより、引き続き同じ免震部材を使用し続ける場合は、供用期間における累積的な影響も考慮する必要がある。などを挙げているので、参照されたい。

Ⅲ. 暴風の累積作用時間の簡易評価方法

暴風の累積的な作用効果を評価する際にその対象となる暴風としては、Ⅱ.において取り上げた1

つの強風イベントの他に、ある期間における全暴風が考えられる。また、この算定する期間には、ダンパーのように取換可能な部材を対象とした期間、積層ゴムのように取換が困難な部材を対象とした期間が考えられるが、現状いずれも法的に特定されるものではない。ここでは、照査の対象期間という意味で照査期間と呼ぶこととする。また、後述するように、ここで対象とする暴風は台風だけでなく台風以外を要因とする暴風も含み、その再現期間は1年～500年と広範囲の風速を含んでいる。その意味では暴風と呼ぶ程には高い風速ではないものも含まれるが、ここでは、これら全てを含めて暴風と呼ぶこととする。以下に、暴風の累積作用時間を簡易に評価する方法⁴⁾を示す。ただし、ここで評価される風速は年最大級の風速のみであり、日常的な風の作用時間は含まれない。照査期間が長い場合や免震部材の疲労特性によっては、日常的な風速を含めた累積作用時間の評価が必要となる場合も考えられるので、留意が必要である。

1. 簡易評価方法の概要

照査期間における暴風の累積作用時間の簡易評価方法は、以下の2つの簡易評価方法によりなっている。以降に、その概要を示す。

- ①照査期間における暴風の最大風速の簡易評価方法
- ②暴風の風速の時間変化の簡易評価方法

なお、この簡易評価方法は、伊豆諸島、薩南諸島、大東諸島、先島諸島および小笠原諸島を除く日本全国について適用できる。

1.1 照査期間における暴風の最大風速の簡易評価方法

照査期間における暴風の最大風速の簡易評価方法は、「荷重指針」¹⁾を用いるものであり、設計風速との対応が明確な点に特徴がある。その具体的な評価方法の概要は、以下の通りである。

- ①照査期間 N 年における暴風の再現期間 r 年の評価には、修正Jansen & Frank法およびHazenプロットに基づく経験的再現期間を用いる。
- ②再現期間 r 年の最大風速 U_r は荷重指針の基本風速 U_0 、再現期間500年の風速 U_{500} および再現期間換算係数 k_{rw} より算定する。

修正Jansen & Frank法による照査期間 N 年における i 番目に大きな最大風速の経験的再現期間 r_i は、年

平均の暴風数を m としてHazenプロットを適用すると下式のように表わされる。

$$r_i = N/(i - 0.5) \quad (i=1, \dots, mN) \quad (4)$$

この式で表わされる上位 N 個の再現期間は $2N$ 年から約1年に相当し、年平均の暴風数 m が1以上であれば、再現期間は年平均の暴風数 m に依存しない。

したがって、照査期間 N 年における i 番目に大きな最大風速 U_{ri} の経験的再現期間 r_i が式(4)によって得られるので、その結果を荷重指針による下式に代入すれば、順次最大風速が得られることになる。

$$U_r = U_0 k_{rw} \quad (5)$$

$$k_{rw} = 0.63(\lambda_U - 1) \ln r - 2.9\lambda_U + 3.9 \quad (6)$$

$$\lambda_U = U_{500}/U_0 \quad (7)$$

式(4)で示したように、照査期間 N 年における1番目に大きな最大風速の経験的再現期間は $2N$ 年に相当する。すなわち、照査期間が250年未満の場合には「極めて稀に発生する暴風」は含まれないことになり、「極めて稀に発生する暴風」に対する安全性の検証と累積疲労損傷度に対する安全性の検証に不整合が生じる。そこで、ここで評価する累積作用時間は、照査期間が250年未満の場合でも、照査期間 N 年に発生する上位 N 個の暴風に加えて1つの「極めて稀に発生する暴風」を加えた累積作用時間とする。

1.2 風速の時間変化の簡易評価方法

暴風の風速の時間変化の簡易評価方法は、台風シミュレーション結果から再現期間1年～500年の風速の時間変化を抽出し、台風の最大風速に対する風速比－時間の関係をモデル化したものであり、以下のような手順による。

- ①対象地点の緯度 θ_N (°) をパラメータとし、時間変化を表わす係数を式(8)および式(9)または式(10)および式(11)より算定する。

$$C_1 = \min(-0.532 + 0.0192\theta_N, 0.217) \quad (8)$$

$$C_2 = \min(-0.444 + 0.0210\theta_N, 0.375) \quad (9)$$

$$C_3 = \min(-0.05653 + 0.00201\theta_N, 0.0199) \quad (10)$$

$$C_4 = \min(-0.196 + 0.008870\theta_N, 0.135) \quad (11)$$

- ②係数 C_1 および C_2 の場合には式(12)で、係数 C_3 および C_4 の場合には式(13)で風速比 $r_U(t)$ －時間 t (h) の関係を評価する。

$$r_U(t) = (1 + C_1 t) / \exp(C_2 t^{0.70}) \quad (12)$$

$$r_U(t) = (1 + C_3 t^{2.2}) / \exp(C_4 t^{1.2}) \quad (13)$$

- ③先に算定した各暴風の最大風速に式(12)ある

いは式(13)を乗じて、10分毎の風速を算定する。

因みに、式(12)で算定される作用時間は、式(13)で算定されるそれよりやや安全側となる程度の差で、大きな差異は生じない。

以下の条件について、簡易評価方法による照査期間の累積作用時間を算定する。さらに、照査期間における累積疲労損傷度と等価となる「極めて稀に発生する暴風」の継続時間を「等価累積継続時間」と呼び、これを計算する。付3で示した「等価継続時間」は、1つの強風イベントにおいて、その累積的な影響が一致する最大風速の等価な継続時間を意味しており、区別して頂きたい。

建設地 : 東京 (緯度: 35.6°)

地表面粗度区分: Ⅲ ($Z_G=450\text{m}$, $\alpha=0.2$)

基本風速 U_0 : 38m/s $U_{500}=43\text{m/s}$

照査期間 N : 100年

建物高さ : 80m

なお、表3の最下段の合計に示すように、疲労損傷度の観点からみると「極めて稀に発生する暴風」は、再現期間500年の風速が約1時間連続した場合と等価となり、「極めて稀に発生する暴風」を除く照査期間100年の全暴風は「極めて稀に発生する暴風」の約3個分に相当することになる。

表3 暴風の累積作用時間と疲労損傷に関する等価累積継続時間

U_m (m/s)	極めて稀に発生する 暴風		極めて稀に発生する 暴風以外の暴風		合計	
	累積作用 時間(min)	等価累積継続 時間(min)	累積作用 時間(min)	等価累積継続 時間(min)	累積作用 時間(min)	等価累積継続 時間(min)
52	10	10.0	0	0.0	10	10.0
51	0	0.0	0	0.0	0	0.0
50	0	0.0	0	0.0	0	0.0
49	10	5.9	0	0.0	10	5.9
48	0	0.0	10	4.9	10	4.9
47	10	4.0	0	0.0	10	4.0
46	10	3.3	0	0.0	10	3.3
45	20	5.4	10	2.7	30	8.2
44	10	2.2	20	4.4	30	6.7
43	20	3.6	10	1.8	30	5.4
42	30	4.4	40	5.9	70	10.2
41	20	2.4	30	3.5	50	5.9
40	30	2.8	50	4.7	80	7.5
39	30	2.3	80	6.0	110	8.3
38	40	2.4	90	5.3	130	7.7
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計		56.3		146.7		203.0

IV. 免震層の簡易風応答評価方法

風外力には平均風力が存在し、継続時間が長いといった地震力とは異なった特性がある。これらの風外力の特性によって、免震部材に無視し得ない大きさでクリープ変形が生じる場合があることが近年の研究によって明らかになってきている。

ここで示す簡易風応答評価方法は、このクリープ変形を考慮した免震建物の簡易な風応答の評価方法である。

免震システムは、以下の4種類の免震部材の全てもしくは積層ゴムを含むそれら一部の組合せで構成されると仮定する。

- ・積層ゴム
- ・クリープ性を有しない弾塑性ダンパー（鋼棒ダンパーなど）
- ・クリープ性を顕著に有する弾塑性ダンパー（鉛ダンパーや鉛プラグ入り積層ゴムの鉛プラグ、錫プラグ入り積層ゴムの錫プラグなど）
- ・流体系ダンパー（オイルダンパーなど）

ここにいう「クリープ性を顕著に有する」とは、そのダンパーが風荷重の平均成分に対して全く抵抗できないと仮定できることを意味し、各種の免震部材は風荷重の平均成分および変動成分に対する特性によって表4のように分類できる。なお、すべり支承はクリープ性を有する免震部材ではないが、滑動時の剛性（2次剛性）がないことや軸力変動などによる摩擦力変動の影響を受けることから、風荷重により滑動が生じる場合においてクリープ性を顕著に有する弾塑性ダンパーとして扱うことが望ましい。

表4 各免震部材の風荷重に対する特性

免震部材の種類	平均成分	変動成分
積層ゴム	有効	有効
クリープ性のない弾塑性ダンパー	有効	有効
クリープ性の顕著な弾塑性ダンパー	無効	有効
流体系ダンパー	無効	有効

それぞれの免震部材の復元力特性として、積層ゴムの線形バネ、弾塑性ダンパーの復元力特性（クリープ変形非考慮）、流体系ダンパーの速度－減衰力関係を以下とする。なお、弾塑性ダンパーの履歴曲線はMasingの履歴則に従うものとする。

$$Q = K_R X \quad (\text{積層ゴム}) \quad (14)$$

$$Q = F_S(X) \quad (\text{クリープ性のない弾塑性ダンパー}) \quad (15)$$

$$Q = F_L(X) \quad (\text{クリープ性の顕著な弾塑性ダンパー}) \quad (16)$$

$$Q = F_F(\dot{X}) \quad (\text{流体系ダンパー}) \quad (17)$$

風荷重は、平均荷重 Q_m と最大変動荷重 Q' を有し、その最大荷重 $Q_{\max}$ は $Q_{\max} = Q_m + Q'$ であるとする。さらに、免震層最大変位は、平均荷重 Q_m による平均

変位 X_m と最大変動荷重 Q' に対する最大変動変位 x' からなり、最大変位 $X_{\max}$ は $X_{\max} = X_m + x'$ で評価できるものとする。

このような仮定により、平均荷重 Q_m と最大変動荷重 Q' に対する釣り合い式は以下のように表わすことができる。

$$Q_m = K_R X_m + F_S(X_m + x') - F_S(x') \quad (18)$$

$$Q' = K_R x' + F_S(x') + F_L(x') + \Delta Q_F \quad (19)$$

ここに、 ΔQ_F は次式で表わされる変動最大荷重 Q' と流体系ダンパー以外の免震部材による最大水平力の差で、流体系ダンパーがない場合やその影響が小さい場合には0とすることができる。

$$\Delta Q_F = \max[K_R x(t) + F_S(x(t)) + F_L(x(t)) + F_F(\dot{x}(t))] - [K_R x' + F_S(x') + F_L(x')] \quad (20)$$

したがって、平均荷重 Q_m と最大変動荷重 Q' が与えられた場合には、まず(19)式を解いて最大変動変位 x' を求め、次に、(18)式を解いて平均変位 X_m および最大変位 $X_{\max} = X_m + x'$ を求めることができる。

ここでは、天然ゴム系積層ゴム、鋼棒ダンパーおよび鉛ダンパーの3種から構成される免震システムについて取り上げる。各部材のスケルトンカーブを図5に示すように、積層ゴムは弾性、鋼棒ダンパーと鉛ダンパーはバイリニアであるとする。

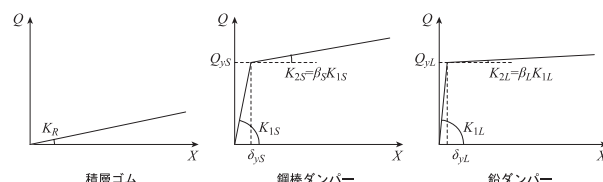


図5 部材のスケルトンカーブ

(18)・(19)式は各部材の状態に応じて以下の5組に分類される。この5組の状態では平均＋変動荷重および変動荷重に関する釣り合い式をたて、それぞれ解くことで、最大変動変位 x' 、平均変位 X_m および最大変位 $X_{\max} = X_m + x'$ が得られる。

- (1) 鉛ダンパーも鋼棒ダンパーも降伏を経験していない状態
- (2) 最大変動荷重によって鉛ダンパーも鋼棒ダンパーも降伏しないが、鋼棒ダンパーは降伏の経験がある状態
- (3) 最大変動荷重によって鉛ダンパーのみ降伏し、鋼棒ダンパーは降伏の経験がない状態
- (4) 最大変動荷重によって鉛ダンパーのみ降伏し、鋼棒ダンパーは降伏の経験がある状態

(5) 最大変動荷重によって鉛ダンパーおよび鋼棒ダンパーが降伏する状態

V. 免震層の風応答評価例

1. 検討建物概要

検討建物は、超高層集合住宅の基礎免震構造物とし、風荷重に対して免震層がランクB以下となるように設計する方針とする。

上部構造は地震・風に対して弾性範囲内に留まるものとし、ここでは上部構造の検討は省略する。

1) 建設地・建物諸元

- ・建築物用途：住宅
- ・構造種別：RC造（基礎免震構造）
- ・建設地：東京都23区内。地表面粗度区分はⅢ。
- ・建物形状：図6参照。
- ・上部構造の1次固有周期： $T_{n1}=1.5\text{sec}$ （ $=0.02H$ ）

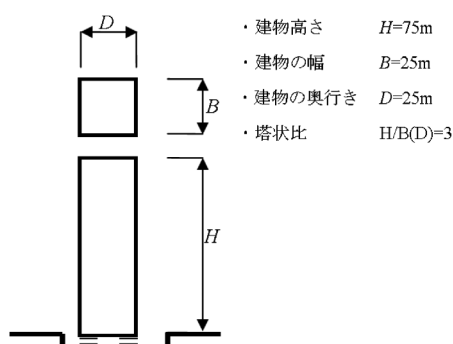


図6 検討対象建物概要

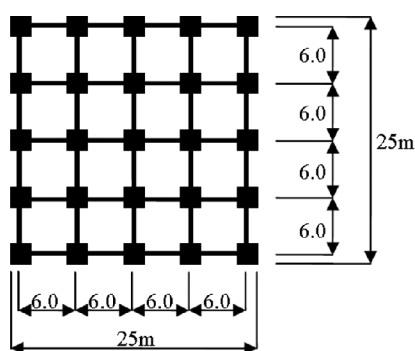


图7 略床梁伏图

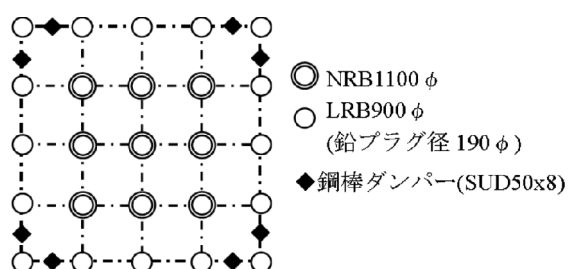


図8 免震部材配置

2) 振動解析モデル諸元

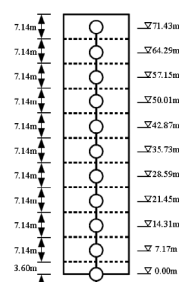


図9 振動解析モデル

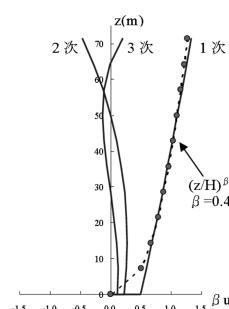


図10 固有モード（免震層弾性時）

表5 固有周期（並進成分・免震層彈性時）

1 次	2 次	3 次
2.02sec	0.76sec	0.46sec

※振れは、上部構造のみ $T_{uR}=1.31\text{sec}$
免震層を含めた建物全体 $T_{R}=1.73\text{sec}$

2. 応答評価の方針・風荷重の評価

冒頭でも説明したとおり本算定例では、上部構造は地震・風に対して弾性範囲内に留まるものとし検討を省略する。

- (1) 検討は、極めて稀な暴風時の風荷重に対して行う。
- (2) 風荷重の算定は、建築基準法を基本とし、風直交方向など建築基準法では評価されない荷重については日本建築学会「建築物荷重指針」¹⁾（以下「荷重指針」）による。
荷重指針の算定は再現期間を500年とし、風向係数 $K_D=1.0$ とする。
- (3) 免震層の風方向応答は、免震部材のクリープ変形を考慮するため「Ⅳ.免震層の簡易風応答評価方法」によって評価する。
- (5) 風方向と風直交方向・振れの風荷重の組み合わせは、荷重指針による。この場合、風方向の風荷重も荷重指針による。

算定した免震層での層せん断力 ${}_wQ$ 、捩れ荷重 ${}_wM_T$ を下表に示す。

表6 免震層での風荷重【並進成分 (kN)】

	最大値	平均	変動・最大	変動ms
告示 (極稀)	6651	3167	3484	—
AIJ 風方向 500 年	7034	3137	3897	1130
AIJ 風直交方向 500 年	5201	0	5201	1466
AIJ 振り 500 年	24160	0	24160	6724

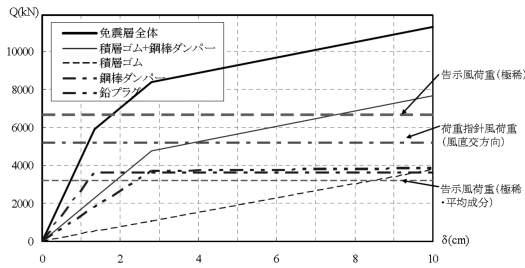


図11 免震層の復元力特性

表7 風荷重の組合せ

組合せケース	風方向組合せ荷重	風直交方向組合せ荷重	振り組合せ荷重
組合せなし	$W_D=7034 \text{ kN}$	$W_L=5201 \text{ kN}$	$W_T=24160 \text{ kN}\cdot\text{m}$
1	W_D =7034 kN	$0.4W_L$ =2081 kN	$0.4W_T$ =9664 kN・m
2	$(0.4+0.6/G_D)W_D$ =4696 kN*	W_L =5201 kN	$(\sqrt{2+2\rho_{LT}}-1)W_T$ =13269 kN・m
3	$(0.4+0.6/G_D)W_D$ =4696 kN*	$(\sqrt{2+2\rho_{LT}}-1)W_L$ =2857 kN	W_T =24160 kN・m

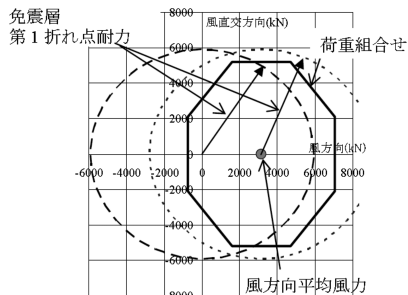


図12 免震層での風荷重の組合せ（振り風力の影響は考慮していない）

3. 風応答評価

1) 風方向

簡易応答評価法を用いて評価する。免震層の最大変形は $\delta_{\max}=2.65\text{cm}$ 、うちクリープ変形は 1.13cm 。下図に簡易応答評価法による算定結果を示す。

2) 風方向

免震層の最大変形は $\delta_{\max}=1.19\text{cm}$

3) 振れ成分

振れによる隅柱直下の積層ゴムの変位

$${}_R\delta_{\max}=0.47\text{cm}$$

このように振れ応答は、決して小さくなく、表7に示す風荷重の組合せを考慮した隅柱直下の積層

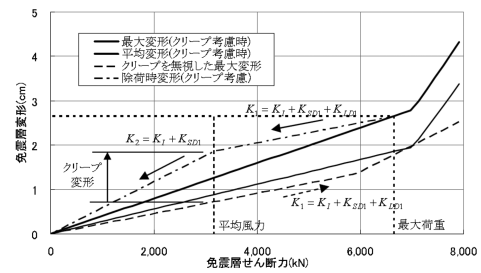


図13 簡易応答評価法による風方向風荷重に対する免震層の変形
注) 本方法は荷重が与えられた時の変形を求めるので、横軸を荷重、縦軸を応答変位としている。

ゴム (LRB) の変形は表8となり、並進成分の変動荷重による応答変位はLRBの弾性範囲に留まるが、振れを考慮すると一部の免震部材が風荷重の変動成分に対して降伏することがわかる。ただし、この場合でも、免震層全体では風荷重の変動成分に対して弾性的に挙動する範囲にあると判断でき、風荷重の評価には問題ないと考えられる。いずれにしても、免震建築物は同程度の非免震構造物と比べて、振れ応答に対して十分に注意するべきである。

表8 風荷重の組合せを考慮した隅柱直下の応答変位

組合せケース	風方向	風直交方向	振り	合計 (最大)	変動成分振幅
1	$(1.86 \pm 0.79, 0.00)$	$(0.00, \pm 0.48)$	$(\pm 0.13, \pm 0.13)$	$(1.86 \pm 0.92, \pm 0.61)$	1.13cm
2	$(0.71 \pm 0.36, 0.00)$	$(0.00, \pm 1.19)$	$(\pm 0.18, \pm 0.18)$	$(0.71 \pm 0.54, \pm 1.37)$	1.47cm
3	$(0.71 \pm 0.36, 0.00)$	$(0.00, \pm 0.65)$	$(\pm 0.33, \pm 0.33)$	$(0.71 \pm 0.69, \pm 0.98)$	1.20cm

注) 合計は各荷重による変形の単純和、変動成分振幅はx・y方向変形のベクトル和、変動成分と変動成分振幅の工差は、LRBの降伏変形を超えているが、塑性化の影響を無視して算定した値である。

4. 時刻歴風応答解析

本節では、風方向・風直交方向の時刻歴風応答解析により、1) 応答結果と簡易評価法との比較、2) 免震部材（ダンパー）の疲労評価の例示を行う。

検討用の風力時刻歴波形は、荷重指針による風方向、風直交方向の変動風力のパワースペクトル密度をもとに、高さ方向の空間相関を仮定し三角級数モデルを用いて作成した³⁾。図10に1次モード風力の時刻歴波形例を示す。

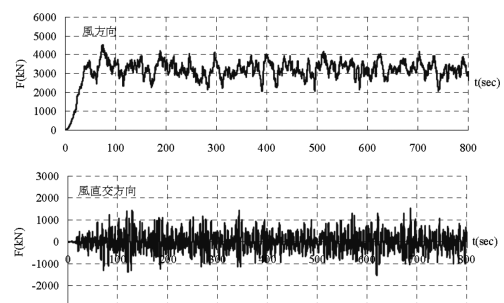


図14 検討用変動風力波形例（1次モード風力）

時刻歴波形は1ケースにつき約800秒で30ケース発生させ、先頭の50秒にcos関数によるテーパをつけている。応答解析の評価は100～700秒の600秒間を対象とし、30ケースのアンサンブル平均により行った。

4.1 時刻歴風応答解析結果

図15に時刻歴風応答解析結果のうち5ケースの免震層応答変形－層せん断力関係を重ねて示す。図中の●印は全ケースの最大応答変形・層せん断力のアンサンブル平均を、誤差バーは応答結果のばらつき $\pm 1\sigma$ を示している。▲印は前節の簡易評価法で求めた風方向・告示（極稀）と風直交方向（荷重指針500年）時の最大応答を示している。図16に風方向・風直交方向入力時の免震層応答変位のリサージュを示す。

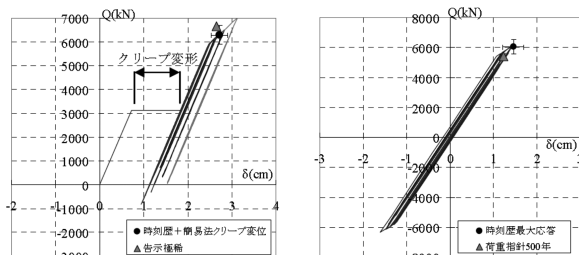


図15 免震層応答変形－層せん断力関係

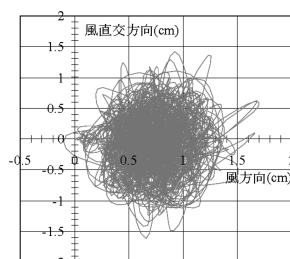


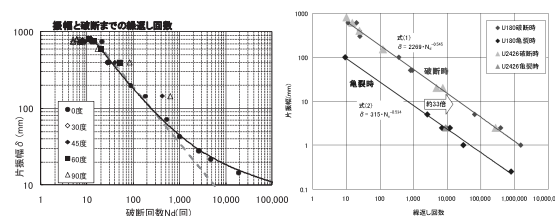
図16 免震層の応答変形リサージュ（風方向・風直交方向入力時）

4.2 免震部材（ダンパー）の疲労評価

風方向（平均有）・風直交方向の免震層応答変位波形（30ケース）をレインフロー法により応答振幅（全振幅に相当）を抽出し、免震部材の疲労評価を例示する。疲労評価は極めて稀に生じる暴風に相当する台風1回分として、再現期間500年の設計風速が3時間継続するものとして、マイナー則による累積疲労損傷度D値を求める。

LRBの疲労性能曲線は、指針刊行時点ではまだ整備されていなかったため、免震層にU型鉛ダンパーがあったものとして、U型鋼材ダンパーとU型鉛

ダンパーそれぞれのD値を求めた。図17に免震部材の疲労性能曲線を示す。なお、LRBの長時間繰返しに対する健全性は、指針・付2の技術資料をもとに評価可能である。



(a) U型鋼材ダンパー (b) U型鉛ダンパー
図17 免震ダンパーの疲労性能曲線

時刻歴応答解析結果から再現期間500年の設計風速が3時間継続時の鋼材ダンパー・鉛ダンパーの累積疲労損傷度D値を表9に示す。風方向と風直交方向を比べると、変動成分の大きい風直交方向のD値の方が鋼材ダンパーで70倍程度、鉛ダンパーで5倍程度大きな値となっている。ほぼ弾性域にある鋼材ダンパーは風直交方向の3時間継続時でも0.01以下と非常に小さな値に留まるが、降伏点を大きく超える振幅となる鉛ダンパーは3時間継続時の風直交方向が0.1程度となり、直ちにダンパーの機能を損なうことはないと思われるが、免震層がランクBとなる場合は、疲労損傷が問題になる可能性があることを示しており、慎重に検討・確認を行う必要があることがわかる。

表9 時刻歴応答解析結果による免震部材の累積疲労損傷度

	10 分間の D 値		3 時間の D 値	
	鋼材ダンパ	鉛ダンパー	鋼材ダンパ	鉛ダンパー
風方向	0.000005	0.00097	0.00009	0.0175
風直交方向	0.000383	0.00462	0.00689	0.0831

参考文献

- 1) 日本建築学会：建築物荷重指針・同解説（2004）、2004
- 2) 松井正宏、田村幸雄：風応答による構造部材の累積疲労損傷特性、日本建築学会大会、B-1、pp.277-278、2008
- 3) 松井正宏、大熊武司、田村幸雄：経験的風況特性を用いた仮想台風による風速時刻歴の生成方法、日本建築学会大会学術講演梗概集 B-1分冊、pp.115～116、2009
- 4) 安井八紀、大熊武司、吉江慶祐、鶴見俊雄：供用期間における暴風の累積作用時間の簡易評価方法 その1、その2、日本建築学会関東支部研究報告集I、pp.421-428、2012.3
- 5) 大熊武司他：動的天秤データを利用した高層建物の時刻歴風応答解析（その1～4）、日本建築学会大会学術講演梗概集、構造 I PP.63-70、1992.9

報告会 「応答制御建築物の今後の取組みに向けて —東北地方太平洋沖地震での課題—」



清水建設
山本 祥江

1 報告会概要

日時：2013年2月28日（木） 13時～17時

会場：工学院大学 新宿キャンパス5階 A-0542教室（東京都新宿区西新宿1-24-2）

2 プログラム

司会：応答制御建築物調査委員会 委員長 三菱地所設計 深澤 義和

時間割	内容	講師 (敬称略)
13:00 ～ 13:05 (5分)	主催者挨拶	日本免震構造協会 会長 西川 孝夫
13:05 ～ 13:10 (5分)	免震構造設計部会	東京理科大学 北村 春幸
13:10 ～ 13:30 (20分)	アイソレータの小振幅試験結果	鹿島建設 竹中 康雄
13:30 ～ 14:00 (30分)	履歴系ダンパーの変状対策と残存疲労性能評価	熊谷組 荻野 伸行
14:00 ～ 14:10 (10分)	休憩	
14:10 ～ 15:00 (50分)	免震エキスパンションジョイントガイドライン	清水建設 北村 佳久 鹿島建設 羽田 尚広
15:00 ～ 15:10 (10分)	休憩	
15:10 ～ 15:25 (15分)	免震建物用けがき計の推奨	日建設計 山本 裕
15:25 ～ 15:45 (20分)	構造ヘルスマモニタリングの考え方	慶應義塾大学 三田 彰
15:45 ～ 16:35 (50分)	先端構造建物の応答記録分析	東京工業大学 笠井 和彦
16:35 ～ 17:00 (25分)	質疑	

3 報告会の内容

2011年3月に発生した東北地方太平洋沖地震に対し、免震構造協会は「応答制御建築物調査委員会」を設置し、免震・制振建築物に関する調査検討を行い、2012年1月にその結果を報告した。本報告会は、その時の課題、およびその後の調査結果をまとめて報告を行い、これに対する討論を通して、今後の免震技術の進展に寄与することを趣旨とする。応答制御建築物調査委員会では、免震構造設計部会、免震構造地震応答評価部会、制振構造調査部会の三つの部会において調査検討が実施され、本報告会では各部会における調査・検討結果が報告された。報告の概要を以下に示す。

3.1 免震構造設計部会報告

(1) アイソレータの小振幅試験結果

鉛プラグ入り積層ゴムおよび錫プラグ入り積層ゴムに対し、鉛ダンパーの破断繰返し数と同程度、および3.5～10倍の繰返し数の小振幅繰返し加振試験を実施し、健全性を検証した。それぞれ試験終了後に試験体を切断し、プラグの状態を確認したところ亀裂等の損傷は認められなかった。

(2) 履歴系ダンパーの変状対策と残存疲労性能評価

鋼材ダンパーに対しては、前回報告会において提案された変形追従性の良い新塗装について促進劣化試験を行い、促進劣化後も塗装初期状態と遜色のない変形追従性を示すことを確認した。また、2方向の影響を考慮した残存性能評価について、観測されたけがき記録を用いた評価事例が示された。鉛ダンパーに対しては、亀裂対策としてリチウム複合石鹸グリースを塗布した試験体の疲労特性確認試験を実施し、 $\pm 1\text{mm}$ 、 $\pm 2\text{mm}$ の振幅において繰返し耐久性の改善を確認した。

(3) 免震エキスパンションジョイントガイドライン

2011年の東北地方太平洋沖地震においては、免震建物の30%で免震Exp.Jに被害が見られた。損傷事例から、損傷の原因と適切な性能を発揮するための対策をまとめ、ガイドラインを作成。ガイドラインでは、建物の重要度や使用箇所に応じて適切に免震Exp.Jのグレードを設定することとし、免震Exp.Jのグレードは、事前にどれだけ可動試験による性能確認を行ったかにより設定されることを示した。

(4) 免震建物用けがき計の推奨

けがき計による免震建物の応答観測においては、感圧紙の破損やけがき針の圧調整不良等の設置状態の問題によって良い記録を得られないケースが見られた。今後の改善を目的に、けがき計の種類、メーカー、特徴、設置時の注意点等の情報の収集とまとめが行われ、発注時の特記仕様例が示された。

3.2 免震構造地震応答評価部会報告 「構造ヘルスマニタリングの考え方」

免震構造における構造ヘルスマニタリングについて、建物の履歴管理、地震時の避難の要・不要の判断の点からも、免震構造においても観測装置の設置が望ましい。観測網の整備に加え、データの管理・活用についても仕組みを整える必要があり、免震構造協会に期待する役割についても示された。

3.3 制振構造調査部会報告 「先端構建造物の応答記録分析」

9棟の建物について、観測記録から建物特性を評価し、それに基づく解析モデルにより、免震・制振の効果について検証を行った。この観測記録を活用した解析的検証から重要な知見が得られ、今後の免震・制振技術の進歩には記録の公表が重要であることが示された。

4 質疑応答

今後の課題を中心に意見が交わされ、免震構造のモニタリングについて、免震構造協会にとりまとめ役としての期待が大きいとの意見が出された。また、免震構造については日本の技術力は高く、知見の蓄積も多いことから、もっと海外に向けて発信すべきとの意見が出された。



写真1 応答制御建築物調査委員会 委員長
深澤 義和氏（三菱地所設計）



写真2 会場内風景

第17回「震災対策技術展」講演会

普及委員会 委員長
須賀川 勝

1 概要

第17回「震災対策技術展」（主催同実行委員会、当協会後援）が2月7日、8日の2日間、パシフィコ横浜で開催された。寒い日にもかかわらず会場には多くの人が訪れており、間もなく2年目を迎える東日本大震災の影響の大きさを実感させられた。会場内もかなりの人が参加されていて自由に展示物を見られないくらい混雑しているブースもいくつかあった。

会場には協会会員企業も出展しており、展示会場の他に講演会のための会場も用意されていた。ここに紹介する講演会の会場は50名弱の定員であったが、満席の状態に参加者の中には展示会場での展示に参加している企業の人もおり、それらしい作業服装で来ていた。

本稿では普及委員会社会環境部会久野委員長が「東北地方太平洋沖地震で実証された免震構造」というテーマで講演していたので報告する。

2 講演内容

免震構造の一般的な原理、現在までの実績などをイントロに使い、免震構造と在来工法との地震時の違いなどは映像を使って判り易く解説されていた。免震構造が耐震補強にも使われていることなどまず基本的な説明をし、その後以下のように進められた。

① 東日本大震災時における建物被害と免震建物の挙動

被害の特徴として構造体以外の天井、外壁など非構造部材と設備機器の被害を事例の紹介

② 防災拠点として機能を発揮した石巻赤十字病院の事例紹介

- ・震災直後から患者を受け入れ、救援活動の実施が可能であったことなど病院としての機能継続に免震構造が役立っていたことを強調
- ・棚の転倒、キャスターの破損など一部軽微な被害も紹介

③ 地震リスクと地震対策方法

事業継続を図るためには構造体の安全に加えて機

能維持などトータルな地震対策の必要性

④ ソリューションとしての免震建物

- ・免震建物の現状として建設件数の推移、用途別の実績等のデータによる解説
- ・東日本大震災時の建物居住者へのアンケート調査の実施
アンケート項目は（体感、居住者心理、内容収容物、事業継続）
- ・東日本大震災における免震建物（被害調査）アンケート結果の紹介
- ・東日本大震災における免震建物居住者アンケート結果の紹介

居住者が建物を免震構造にすることで事業継続ができたことに満足

講演の最後のまとめとして事業継続のソリューションの最良の方法は建物を免震構造にすることが強調されていた。

講演後、質疑の時間があり、すぐに出た質問は積層ゴムの耐久性についてであった。次に変位が大きくなって建物が損傷しないかということと、エキスパンションジョイントに関する質問であった。

質問者への回答は問題なく済み、回答内容の確認など活発な雰囲気であったが、質問の内容はいずれも良く出る質問であり、常時一般社会に向けて発信しておくべき情報の一部でもあり、広報の必要性を感じた。

3 まとめ

講演会主催者側のアンケート調査結果によると、アンケート回答者の20%が大変満足、70%以上の方が満足されていたという結果であった。講演者の努力もさることながら、免震構造に寄せる一般社会の関心の高さも出ていたと思われる。

講演終了後に感じたことだが、今回のような講演や説明会などでは協会の共通資料が用意されている方が講師の負担軽減にもなり、協会の存在感も

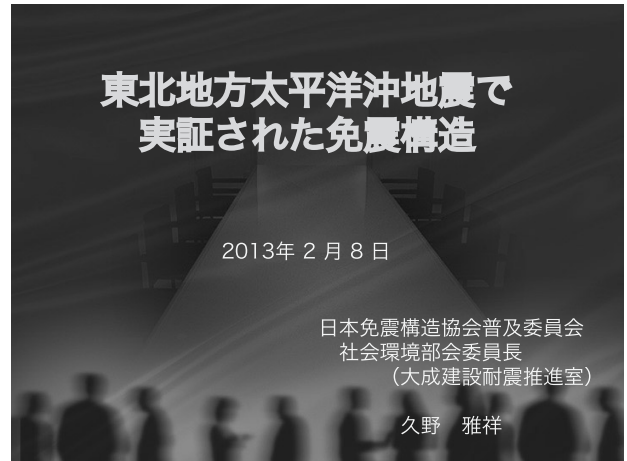
報告

増すのではないかと思います。一般聴衆の方たちも協会が作成している客観的なデータなどの方が、関心が高いはずである。

今回の講演会に出席して感じたことを記してまとめとする。



講演中の久野講師



講演内容タイトル

平成24年度第2回 理事会議事録

日 時 平成25年3月14日（木）
15:00～17:15
場 所 明治記念館 1階「なでしこの間」
東京都港区元赤坂2-2-23
出席者 会 長：西川孝夫
副会長：深澤義和、丑場英温
専務理事：可児長英
理 事：大熊武司、大八木邦彦、小谷俊介、
沢田研自、鈴木重信、島崎和司、
谷口 元、西村 功、能森雅己、
野中康友、細澤 治、山口昭一、
山崎眞司
監 事：梅野 岳、竹内 徹
事務局：小林哲之、佐賀優子
欠席者 副会長：池永雅良
理 事：安達俊夫、石川孝重、北村春幸、
壁谷澤寿海、曾田五月也、
常木康弘、和田 章
監 事：市川 康

配布資料

- 資料① 免震部建築施工管理技術者登録者／勤務先一覧と都道府県別分布
- 資料② 応答制御建築物調査委員会報告会について
- 資料③ 平成24年度収支報告（2月末現在）
- 資料④ 新入会及び委員会委員長と委員委嘱の件について
- 資料⑤ 補欠監事について
- 資料⑥ 創立20周年記念事業について
- 資料⑦ 平成25年度事業計画（案）・予算（案）について

◇開 会

定刻になり、事務局より開会が告げられ、引き続き、西川会長の挨拶があった。

◇定足数の報告

事務局より、本日の理事会は理事の過半数の出席（出席17名／総数25名）があり、定足数を満たしているため、理事会が成立する旨が告げられた。定款第34条により西川会長が議長となった。

◇議事録署名人

定款第37条により、西川孝夫代表理事と出席監事の梅野 岳監事、竹内 徹監事の2名が議事録署名人になった。

◆報告事項

1) 12月開催の審議員会報告について

12月5日に、第2回審議員会を開催した。前回に引き続き、免震・制振構造技術に関する今後の取り組みについて、討議を行った。3月25日に、第3回審議員会を開催する。その後、取り纏めをして、会長に答申する予定である旨の報告があった。

2) 平成24年度免震建物点検技術者講習・試験について

1月26日（土）に実施し、314名の受験者のうち、299名が合格した。

3) 免震部建築施工管理技術者登録者／勤務先一覧と都道府県別分布……………資料①

現在、3423名の登録者の勤務先一覧で、上位5社で1465名となり、全体に占める割合は4割強となっている。また、都道府県別分布については、登録者のいない県はなくなったが、都会に集中している。

4) 応答制御建築物調査委員会報告会について

……………資料②

2月28日に、工学院大学で上記委員会の最終報告会を行った。「免震設計部会」より、けがき計推奨があり、「観測部会」より、観測計器の推奨と協会での観測データ集積の提案があった。また、「制振構造調査部会」より、制振効果のあることが報告された。

参加者182名と盛況であった。

5) 平成24年度性能評価事業について

昨年10月より担当となった、小林性能評価業務部長より、本年度の事業の報告があった。構造性能評価は30件・変更21件、材料性能評価は4件と、今までで一番多い件数であった。収入合計は、28,700千円になる見込みである。ただ、申請者がほぼ一社に偏っているため、あらためて、理事と監事に向けて支援のお願いがあった。

6) 平成24年度収支報告(2月末現在) …資料③

2月末現在の経常収益の合計は113,885千円で、内訳は、事業収益70,229千円・会費42,063千円・入会金1,075千円・雑収益518千円。経常費用の合計は、103,844千円で、内訳は事業費84,470千円・管理費19,374千円で、2月末現在の経常増減額は10,041千円となっている。予算比は、経常収益108%、経常費用103%である。3月の決算までは、あと一ヶ月を残しているため、経常増減額は、これより少なくなる見込みである。

7) 平成25年度年会費請求書発行について

2月1日に、会費の請求書を発行した。納入は5月末日までをお願いしている。

8) 協会賞の応募について

今回は、功労賞はなく、作品賞9件、技術賞3件であった。

9) その他

- ①書籍「考え方進め方免震建築英語版」を、4月頃にオーム社より刊行する。
価格は6,500円。

②免震関連告示改正の件

近々、免震材料の告示の改正が行われることにより、既存不適格を生じる事が心配される旨の報告があった。

◆審議事項

第1号議案 総会の日時及び場所について

事務局より、平成25年度の総会を、6月4日(火)16:00より、場所は明治記念館「鳳凰の間」で開催する提案がなされ、異議なく承認された。

第2号議案 新入会員と委員会委員長及び委員の委嘱について …資料④

事務局より、第2種正会員2名・賛助会員3社の入会と、創立20周年記念事業委員会「広報部会」委員長に、加藤晋平氏、「イベント部会」立道郁生氏、資格制度委員会「免震部建築施工管理技術者更新部会」海老原和夫氏、委員委嘱15名について説明があった。審議に入り異議なく承認された。

第3号議案 「原子力関係施設免震構造委員会」の継続について …資料回覧

事務局より、上記委員会は、今までの活動で周辺施設の建物に対する免震構造の適用に於いて検証しほぼ骨子は固まった。引き続き、ガイドライン等を完成させたいので2年間継続する提案がなされ、審議に入り異議なく承認された。

第4号議案 補欠監事について …資料⑤

事務局より、東洋ゴム工業(株)の川田道弘氏が補欠監事になっているが、当社は社名変更し、東洋ゴム化工品(株)になったため、継続の有無を確認することが了承された。川田氏に継続の意志がない場合は、改めて総会で新しい補欠監事を選出する必要がある。

第5号議案 創立20周年記念事業に向けて …資料⑥

事務局より、資料に沿って記念事業の計画及び収支予算書案の説明があった。事業の実施時期は、平成25年4月から平成26年6月まで、事業内容については、平成25年度は、記念見学会・世界免制振会議・記念イベントを、平成26年度は、記念講演会・記念特集号を予定している。この中で、9月開催の「世界免制振会議」について、コメントがあった。

アブストラクトの締め切りが3月31日までなので、その後、人数が確定すると思われるので、運営の仕方、予算について、5月の理事会に再度、資料を提出すること、また、その他の事業についても事業毎の詳しい資料を提出することで了承された。

第6号議案 平成25年度事業計画(案)・予算(案)について …資料⑦

事務局より、平成25年度の実業計画としては、創立20周年記念事業を実施すること、倫理規定に対する検討、適合判定機関になることに対する検討、地震計測のデータ集積の検討が、新しく加わった。普及活動のなかに、研究助成についても記載すべきとの指摘があり、追記することになった。予算については、経常収益の合計は113,530千円で、内訳は、事業収益70,240千円・会費42,260千円・入会金510千円・雑収益520千円。

経常費用の合計は、118,698千円で、内訳は事業費98,798千円・管理費19,900千円で、経常増減額は

5,168千円。記念事業の収支については、若干の訂正があることを含めて、審議に入り承認された。

◇閉 会

以上ですべての議案の審議並びに報告を終了し、17:15に閉会した。

平成25年3月14日

議 長（代表理事）	西川 孝 夫
議事録署名人（監事）	梅野 岳
議事録署名人（監事）	竹内 徹

日本免震構造協会 性能評価及び評定業務

日本免震構造協会では、平成16年12月24日に指定性能評価機関の指定(指定番号:国土交通大臣 第23号)を受け、性能評価業務を行っております。また、任意業務として、申請者の依頼に基づき、評定業務を併せ行っております。

ここに掲載した性能評価及び評定完了報告は、日本免震構造協会の各委員会において性能評価及び評定を完了し、申請者より案件情報開示の承諾を得たものを掲載しております。

建築基準法に基づく性能評価業務のご案内

◇業務内容

建築基準法の性能規定に適合することについて、一般的な検証方法以外の方法で検証した構造方法や建築材料については、法第68条の26の規定に基づき、国土交通大臣が認定を行います。これは、日本免震構造協会等の指定性能評価機関が行う性能評価に基づいています。

◇業務範囲

日本免震構造協会が性能評価業務を行う範囲は、建築基準法に基づく指定資格検定機関等に関する省令第59条各号に定める区分のうち次に掲げるものです。

①第2号の2の区分(構造性能評価)

建築基準法第20条第一号(第二号ロ、第三号ロ及び第四号ロを含む)の規定による、高さが60mを超える超高層建築物、または免震・制震建築物等の時刻歴応答解析を用いた建築物

②第6号の区分(材料性能評価)

建築基準法第37条第二号の認定に係る免震材料の建築材料の性能評価

◇業務区域

日本全域とします。

◇性能評価委員会

日本免震構造協会では、性能評価業務の実施に当たり区分毎に専門の審査委員会を設けています。

①構造性能評価委員会(第2号の2の区分) 原則として毎月第1水曜日開催

②材料性能評価委員会(第6号の区分) 原則として毎月第1金曜日開催

◇評価員

構造性能評価委員会

委員長	和田 章	(東京工業大学)
副委員長	壁谷澤寿海	(東京大学)
	山崎 真司	(東京電機大学)
委員	大川 出	(建築研究所)
	島崎 和司	(神奈川大学)
	瀬尾 和大	(東京工業大学)
	曾田五月也	(早稲田大学)
	田才 晃	(横浜国立大学)
	中井 正一	(千葉大学)

材料性能評価委員会

委員長	寺本 隆幸	(東京理科大学)
副委員長	高山 峯夫	(福岡大学)
委員	曾田五月也	(早稲田大学)
	西村 功	(東京都市大学)
	山崎 真司	(東京電機大学)

◇詳細案内

詳しくは、日本免震構造協会のホームページをご覧ください。

URL: <http://www.jssi.or.jp/>

国内の免震建物一覧表

国土交通省から公表された大臣認定取得免震建物のうち、ビルディングレター(日本建築センター)に掲載されたもの、及び当協会免震建物データ集積結果により作成しています。間違いがございましたらお手数ですがFAXまたはe-mailにて事務局までお知らせください。また、より一層の充実を図るため、会員の皆様からの情報をお待ちしておりますので、宜しくお願いいたします。

出版部会 URL: <http://www.jssi.or.jp/> FAX: 03-5775-5734 E-MAIL: jssi@jssi.or.jp

免震建物一覧表

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材
							構造	階	地下	建築面積(m ²)	延べ床面積(m ²)			
1	MNNN - 0646	2003/2/12	GBRC建評-02-11A-006	市立西脇病院	日建設計	日建設計	S	6	-	9240.0	23548.0	27.0	兵庫県西脇市	鉛入り積層ゴム
2	MFNN - 0648	2003/1/28	GBRC建評-02-11A-008	千種台センター地区(仮称)	大林組	大林組	RC	14	1	5574.7	24983.5	47.3	名古屋市中種区	弾性すべり支承 鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
3	MNNN- - 0652	2003/1/15	BCJ基評-IB0345-01	TKC高根沢事務所	鹿島建設	鹿島建設	SRC	3	-	1889.5	5317.8	13.0	栃木県塩谷郡	鉛入り積層ゴム
4	MNNN- - 0656	2003/1/27	BCJ基評-IB0344-01	津島市民病院(病棟増築)	中建設計	中建設計	RC	6	-	1690.2	8076.3	23.3	愛知県津島市	天然積層ゴム 鉛ダンパー オイルダンパー
5	MNNN- - 0661	2003/2/24	BCJ基評-IB0301-02	榛原総合病院	久米設計	久米設計	RC	7	1	9033.3	37924.4	27.2	静岡県榛原郡	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承 鋼棒ダンパー 転がり系支承 オイルダンパー
6	MNNN- - 0663	2003/2/28	BCJ基評-IB0347-1	(仮称)パンペール岡山公園	矢作建設工業	矢作建設工業 構造計画研究所	RC	8	1	860.4	4350.3	22.7	愛知県豊橋市	高減衰 オイルダンパー
7	MNNN - 0664	2003/2/24	BCJ基評-IB0343-01	金沢大学医学部付属病院中央診療棟・外来診療棟	神奈川大学施設部 佐藤総合計画	神奈川大学施設部 佐藤総合計画	RC	4	2	27.6	28.9	19.0	石川県金沢市	天然積層ゴム すべり支承 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
8	MFNN - 0676	2003/3/13	ERI-J02007	(仮称)杏林大学医学部付属病院・手術棟建設計画	杏林学園	竹中工務店	RC	5	2	2634.1	14692.5	19.5	東京都三鷹市	鉛入り積層ゴム
9	MNNN - 0681	2003/3/14	BCJ基評-IB0351-01	NHK新山放送会館	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	3	-	2337.5	5380.0	15.2	山口県山口市	天然積層ゴム 十字型直動転がり支承 摩擦型系減衰材
10	MFNB - 0686	2003/3/10		(仮称)神宮前四丁目地区第一種市街地再開発事業	安藤忠夫建築研究所・ 入江三宅設計事務所・ 森ビル	金箱構造設計事務所	SRC RC S	3	3		33916.1		東京都渋谷区	
11	MNNN - 0687	2003/3/14	ERI-J02006	ちば県民保健予防財団ビル	久米設計	久米設計	RC	6	-	2628.6	10056.8	27.0	千葉県美浜区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 鋼棒ダンパー 直動転がり支承
12	MNNN - 0696	2003/3/17	ERI-J02009	(仮称)広島市民病院新棟(外来診療棟・東病棟)	久米・村田相互設計JV	久米・村田相互設計JV	SRC	11	1	11568.4	31945.6	44.4	広島市中区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承 鋼棒ダンパー オイルダンパー
13	MFNN - 0700	2003/3/28	GBRC建評-02-11A-007	(仮称)高麗橋ビル	ブランテック総合計画	アルファ構造デザイン 竹中工務店	S	8	1	1124.6	9612.8	32.1	大阪府中央区	天然積層ゴム すべり支承
14	MFNB- - 0701	2003/4/22	BCJ基評-IB0532-01	マブチモーター株式会社新社屋	日本アイ・ビー・エム	日本設計	SRC	4	1	4804.7	19388.6	19.8	千葉県松戸市	鉛プラグ入り積層ゴム
15	MNNN - 0702	2003/3/17	GBRC建評-02-11A-010	NHK神戸新放送会館	大林組 日本設計	大林組	S	3	-	2074.0	5222.0	15.0	神戸市中央区	鉛プラグ入り積層ゴム 摩擦血ばね支承 両面転がり支承
16	MNNN - 0707	2003/3/17	BCJ基評-IB0359	(仮称)亀田総合病院K棟	フジタ	フジタ	RC	13	-	3886.6	2300.1	56.6	千葉県鴨川市	鉛プラグ入り積層ゴム
17	MNNN - 0712	2003/4/17	BCJ基評-IB0361-01	栃木県庁本館(曳家及び改修)	日本設計	日本設計	RC	4	-	677.0	2638.0	18.8	栃木県宇都宮市	天然積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
18	MNNB - 0715	2003/5/14	BCJ基評-IB0346-01	NHK福島新放送会館	NTTファシリティーズ 平木建築設計事務所JV	NTTファシリティーズ 平木建築設計事務所JV	RC	4	1	2043.7	5688.0	21.0	福島県福島市	鉛入り積層ゴム 直動転がり支承 オイルダンパー
19	MNNN - 0718	2003/4/17	GBRC建評-02-11A-009	徳島赤十字病院	日建設計	日建設計	SRC	9	-	4905.0	29081.0	37.9	徳島県小松島市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
20	MNNN - 0724	2003/4/17	ERI-J02008	(仮称)掛川マンション	川島組	道央設計	RC	15	-	739.5	4772.1	43.9	静岡県掛川市	高減衰積層ゴム
21	MNNN- - 0732	2003/5/14	BCJ基評-IB0365-1	(仮称)ネオマイム高根町	松尾工務店	松尾工務店 エヌバス建築事務所	RC	11	-	419.9	3577.2	30.6	神奈川県横浜市中区	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承 弾塑性系減衰材 流体系減衰材
22	MNNN - 0750	2003/5/28	BCJ基評-IB0332-02	吉田ダム管理庁舎	内藤廣建築設計事務所	内藤廣建築設計事務所 空間工学研究所	RC	2	1	1451.0	2324.1	10.8	岡山県吉田郡	鉛入り積層ゴム
23	MFNN - 0753	2003/6/13	BCJ基評-IB0373-01	(仮称)千駄ヶ谷4丁目計画	清水建設	清水建設	RC	14	1	778.0	7974.9	44.1	東京都渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム
24	MNNN - 0756	2003/6/13	BCJ基評-IB0371-01	岩手県立磐井病院及び南光病院	横河建築設計事務所	横河建築設計事務所 織本匠構造設計研究所	S	5	1	17227.5	46373.5	23.0	岩手県一関市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ挿入型積層ゴム
25	MNNN - 0761	2003/6/13	GBRC建評-03-11A-001	労働福祉事業団 中部労災病院	日建設計	日建設計	RC	9	-	7150.0	33765.0	38.8	名古屋市中港区	直動転がり支承 天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
26	MNNN - 0765	2003/6/16		(仮称)順天堂大学医学部附属練馬病院	清水建設	清水建設	RC S RCSS	8	1	4696.0	30373.0	34.6	東京都練馬区	高減衰積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
27	MNNN- - 0766	2003/6/16	BCJ基評-IB0379-01	(仮称)ラッシュレ久米川	ジーシーエムコーポレーション 一級建築士事務所	カムラ建築構造設計	RC	13	-	308.1	2960.5	38.0	東京都東村山市	高減衰積層ゴム支承
28	MNNN - 0775	2003/7/31	ERI-J03001	ProLogis Parc Osaka Project	清水建設	清水建設 ABSコンサルティング	鉄骨ブレース付 PC	7	-	26218.0	157643.0	48.2	大阪府住之江区	天然積層ゴム 一体型U型ダンパー
29	MNNN - 0784	2003/7/28	BCJ基評-IB0389-01	(仮称)パンペール豊橋Ⅲ	矢作建設工業	矢作建設工業 構造計画研究所	RC	14	1	700.6	6944.2	40.5	愛知県豊橋市	高減衰ゴム系積層ゴム 流体系減衰材
30	MNNN - 0798	2003/7/31		財団法人仙台市医療センター仙台オーブン病院外来棟	榊梓設計	榊梓設計	SRC	S	2	1708.5	1129.08	9.3	宮城県仙台市	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 鋼棒ダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件 名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ (m)	建設地 (市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)					延べ床面積 (㎡)
31	MNNN - 0800	2003/7/31	BCJ基評-IB0353-02	新潟第2合同庁舎A棟	国交省北陸地方整備局 福井川紀章建築都市設計事務所	国交省北陸地方整備局 林織本匠構造設計事務所	SRC	8	0	3099.0	16428.7	37.1	37.9	新潟県	鉛プラグ挿入型積層ゴム 転がり系支承 オイルダンパー
32	MFNN - 0805	2003/8/19		(仮称)パークマンション千島ヶ淵(九段南2丁目計画)	鹿島建設	鹿島建設	RC	15	2		16874.0			東京都千代田区	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
33	NFEB - 0808	2003/9/3		(仮称)深谷地区消防本部・深谷消防署庁舎	日本設計	日本設計	RC	3	-	3755.0	6110.0	12.7	18.3	埼玉県深谷市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 直動転がり支承
34	MNNN - 0825	2003/9/19	ERI-J03002	(仮称)ル・シェモア井天島	東畑建築事務所	大豊建設	RC	14	-	741.2	7899.7	41.7	42.9	静岡県浜名郡	鉛入り積層ゴム すべり支承
35	MNNN - 0827	2003/9/12	ERI-J03004	(仮称)メディカルセンター	野村不動産 佐藤総合計画	野村不動産	SRC	7	1	1241.5	8847.3	30.0	33.3	東京都千代田区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
36	MNNN - 0831	2003/9/19	ERI-J03003	新発田病院・リウマチセンター・新発田病院附属看護専門学校	山下設計	山下設計	SRC RC	11	-	10542.0	49066.0	55.7	56.2	新潟県新発田市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 鋼棒ダンパー
37	MFNN - 0837	2003/9/19	BCJ基評-IB0401-01	(仮称)東京青果秋葉原ビル	竹中工務店	竹中工務店	S	8	1	1265.0	10914.0	33.8	39.0	東京都千代田区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ挿入型積層ゴム
38	MNNN - 0838	2003/9/19	BCJ基評-IB0402-01	郵船航空サービス成田ロジスティックセンター	郵船不動産	日本設計	CFT柱 S梁	8	-	12758.2	30210.1	36.4	40.2	千葉県山武郡	鉛プラグ入り積層ゴム
39	MNNN - 0846	2003/10/29	GBRC建評-03-11A-003	新千里桜ヶ丘住宅1番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	14	-	477.6	5392.7	41.6	43.3	大阪府豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
40	MNNN - 0847	2003/10/31	GBRC建評-03-11A-004	新千里桜ヶ丘住宅2番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	18	1	613.1	9741.3	56.1	61.7	大阪府豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
41	MNNN - 0848	2003/10/31	GBRC建評-03-11A-005	新千里桜ヶ丘住宅3番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	19	-	727.1	11746.3	57.6	63.2	大阪府豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
42	MNNN - 0849	2003/10/31	GBRC建評-03-11A-006	新千里桜ヶ丘住宅4番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	18	1	718.3	11182.2	55.7	61.3	大阪府豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
43	MNNN - 0850	2003/10/29	GBRC建評-03-11A-007	新千里桜ヶ丘住宅5番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	9	1	707.2	5732.3	29.2	30.9	大阪府豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
44	MNNN - 0851	2003/10/29	GBRC建評-03-11A-008	新千里桜ヶ丘住宅6番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	10	-	690.4	5563.8	30.6	32.3	大阪府豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
45	MNNN - 0852	2003/10/29	GBRC建評-03-11A-009	新千里桜ヶ丘住宅7番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	9	-	630.0	4332.5	27.0	28.7	大阪府豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
46	MNNN - 0853	2003/10/29		(仮称)伊東マンションV	スターツ	スターツ	RC	10	0	1349.0	7437.0	30.5		東京都江戸川区	
47	MFNN - 0855	2003/10/22	BCJ基評-IB0407-01	(仮称)西新宿KSビル	大林組	大林組	CFT柱 S梁	12	1	883.4	9911.1	53.7	54.5	東京都新宿区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
48	MNNN - 0856	2003/11/10	ERI-J03005	モアグレース簡井	名工建設	名工建設 飯島建築事務所	RC	13	-	237.3	2247.3	38.6	41.6	名古屋市中区	高減衰積層ゴム
49	MNNN - 0880	2003/11/19	ERI-J03013	堺サンホテル石津川	平成設計	塩見	RC	13	-	196.4	2079.0	36.5	43.8	大阪府堺市	鉛入り積層ゴム
50	MNNN - 0881	2003/11/27	ERI-J03008	(仮称)プレシアスコート長久手・A棟	青島設計	青島設計	RC	13	-	1730.4	13749.1	35.9	36.7	愛知県愛知郡	天然積層ゴム 鋼棒ダンパー 鉛ダンパー 直動転がり支承
51	MNNN - 0882	2003/11/27	ERI-J03009	(仮称)プレシアスコート長久手・B棟	青島設計	青島設計	RC	11	-	728.4	5881.3	33.1	33.6	愛知県愛知郡	同上
52	MNNN - 0883	2003/11/27	ERI-J03010	(仮称)プレシアスコート長久手・C棟	青島設計	青島設計	RC	14	1	1175.7	14098.0	45.1	44.7	愛知県愛知郡	同上
53	MNNN - 0884	2003/11/27	ERI-J03011	(仮称)プレシアスコート長久手・D棟	青島設計	青島設計	RC	14	1	1600.6	14624.2	41.8	42.3	愛知県愛知郡	同上
54	MNNN - 0902	2003/12/12	GBRC建評-03-11A-010	医療法人良秀会(仮称)高石藤井病院	プラスPM	戸田建設	RC	10	1	1437.6	8098.0	39.1	43.7	大阪府高石市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
55	MNNN - 0916	2003/12/26	BCJ基評-IB0416-01	(仮称)近喜第一ビル	日東建設	構造計画研究所	RC	13	-	273.8	2622.0	39.0	40.3	愛知県名古屋市中区	積層ゴム支承 流体系減衰材
56	MNNN - 0936	2003/12/26		(仮称)銀座5丁目寿一会ビル	大成建設	大成建設	S・RC	10	1	63.0	598.0	47.7		東京都中央区	
57	MNNN - 0950	2004/1/9		JR東海病院(仮称)	山下設計	山下設計	RC・S	10	1	5556.0	29127.0	44.0		愛知県	天然ゴム系積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承、転がり支承 鋼材ダンパー
58	MNNN - 0957	2004/2/4	BCJ基評-IB0419-01	(仮称)山田ビル	マルタ設計	マルタ設計	RC	12	0	483.0	4211.0	36.7	38.2	東京都葛飾区	天然積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
59	MNNN - 0969	2004/3/2	ERI-J03018	NHK沖縄放送会館	山下設計 大林組	山下設計 大林組	S	3	-	2450.0	5939.0	15.4	20.6	沖縄県那覇市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承 摩擦ダンパー
60	MNNN - 0987	2004/2/4	BCJ基評-IB0597-01	(仮称)さいたま市民医療センター	共同建築設計事務所	東京建築研究所	RC	6	1	7999.2	29165.4	28.2	31.8	埼玉県さいたま市	鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承 オイルダンパー
61	MNNN - 0989	2004/3/4		石巻赤十字病院(仮称)	日建設計	日建設計	RC	7	1		32485.0			宮城県石巻市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 積層ゴム一体型U型ダンパー U型ダンパー
62	MNNN - 1000	2004/3/11		(仮称)名鉄イン金山	平成設計	平成設計	RC	14	-		4467.0	39.2		愛知県名古屋市中区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
63	MNNN - 1001	2004/3/11	ERI-J03021	エクセルイン小山	平成設計	塩見	RC	12	-	301.7	2817.4	36.7	41.0	栃木県小山市	天然積層ゴム U型ダンパー 鉛ダンパー
64	MNNN - 1023	2004/4/14	BCJ基評-IB0435-01	(仮称)シティコーポ鳩岡Ⅱ	浅沼組	浅沼組	RC	10	-	1317.3	9326.4	29.9	30.4	愛知県名古屋市中区	天然積層ゴム U型ダンパー 鉛ダンパー
65	MNNN - 1025	2004/5/10	GBRC建評-03-11A-012	徳島市新病院	大阪山田守建築事務所	大阪山田守建築事務所	RC	11	1	4265.1	30182.3	45.3	54.3	徳島県徳島市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承 転がり支承
66	MNNN- - 1027	2004/5/10	BCJ基評-IB0436-01	滋賀県警察本部庁舎	日本設計	日本設計	SRC柱 S梁	10	2	3178.9	28384.1	44.3	59.0	滋賀県大津市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
67	MNNN - 1030	2004/5/10	ERI-J03023	新潟市市民病院	伊藤喜三郎建築研究所	伊藤喜三郎建築研究所	CFT柱 S梁	11	-	11123.5	49681.5	49.4	50.5	新潟県新潟市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
68	MNNN - 1039	2004/5/14	GBRC建評-03-11A-015	三菱京都病院	美紀設計	荒川構造計画 竹中工務店	RC	5	1	4701.6	19983.7	19.4	23.0	京都市西京区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承
69	MNNN - 1045	2004/5/10	ERI-J04002	新苫小牧市立総合病院	久米設計	久米設計	SRC	6	-	10508.9	28009.4	27.7	34.3	北海道苫小牧市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承 U型ダンパー オイルダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要					軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材
							構造	階	地下	建築面積(m ²)	延べ床面積(m ²)				
70	MFNN - 1050	2004/5/17	BCJ基評-IB0366-02	慶應義塾大学(三田)新校舎(仮称)	大成建設	大成建設	RC	13	3	2200.0	18650.0	48.4	53.4	東京都港区	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承 流体系減衰材
71	MNNN - 1055	2004/5/10	GBRC建評-03-11A-014	(仮称)西宮南園町マンション	竹中工務店	竹中工務店	RC	14	-	3960.2	21995.9	41.1	41.6	兵庫県西宮市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
72	MNNN - 1057	2004/5/10	GBRC建評-03-11A-013	大阪市消防局庁舎(西消防署併設)	大阪市住宅局 安井建築設計	大阪市住宅局 安井建築設計	RC	8	-	3151.5	17795.2	42.8	51.3	大阪市西区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承 オイルダンパー
73	MFNN - 1058	2004/5/28	BCJ基評-IB0415-01	(仮称)帝国データバンク東京支社ビル	鴻池組	鴻池組	CFT柱 S梁	9	1	683.6	6376.1	36.1	42.7	東京都新宿区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
74	MNNN - 1068	2004/5/21	BCJ基評-IB0446-01	シティコーポ正木(仮称)	矢作建設工業 構造計画研究所	矢作建設工業 構造計画研究所	RC	15	-	485.2	5919.5	44.2	44.7	愛知県名古屋市中区	高減衰ゴム系積層ゴム 流体系減衰材
75	MNNN - 1074	2004/6/8	BCJ基評-IB0385-02	財団法人山形市医療センター山台オープン病院新病棟	榊梓設計	榊梓設計	S	2	-	1708.5	1129.1	9.3	9.9	宮城県仙台市	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承 鋼棒ダンパー
76	MFNN - 1084	2004/6/8	ERI-J04004	(仮称)鶴川神楽マンション	朝日建設	朝日建設 酒井建築工学研究室 山上構造企画	RC	12	-	1038.5	4877.2	40.0	40.5	東京都町田市	天然積層ゴム U型ダンパー 鉛ダンパー
77	MNNN - 1087	2004/6/23	ERI-J04003	西伯町国民健康保険西伯病院	佐藤総合企画	佐藤総合企画	RC	5	-	5200.0	15651.4	20.5	23.0	鳥取県西伯町	天然積層ゴム 転がり支承 U型ダンパー オイルダンパー
78	MNNN - 1088	2004/7/8	GBRC建評-04-11C-001	(仮称)桂地蔵寺	スペースグラフィティ	竹中工務店	木造	1	-	280.4	224.5	5.3	10.2	京都市西京区	曲面すべり支承
79	MNNN - 1099	2004/7/8	ERI-J04006	(仮称)幕張ベイタウンSH-3①街区B棟	UG都市建築 隈研吾建築都市設計 藤本壮介建築設計	フジタ	RC	8	-	695.3	4060.8	24.9	25.4	千葉県美浜市	鉛入り積層ゴム
80	MNNN - 1122	2004/8/16		近江八幡市民病院整備運営事業 病院施設	内藤建築事務所・大林組	内藤建築事務所・大林組	S・RC	5	-		33841.0			滋賀県近江八幡市	天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承
81	MNNN - 1131	2004/8/16	ERI-J04008	長野松代総合病院 診療棟・病棟増築計画	エーシーエ設計	構造計画プラスワン	RC	8	-	2132.9	12126.1	30.4	33.2	長野県長野市	天然積層ゴム すべり系支承 U型ダンパー 鉛ダンパー
82	MNNN - 1135	2004/8/16	BCJ基評-IB0456-01	(仮称)多摩水道改革推進本部庁舎	佐藤総合企画		RC	10	1		12983.0	43.2		東京都立川市	
83	MNNN - 1149	2004/8/31	BCJ基評-IB0467-01	(仮称)千葉みなと計画	ピーエス三菱	ピーシー建築技術研究所	PC RC	19	-	973.0	13992.0	59.1	64.8	千葉県千葉市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然積層ゴム
84	MNNB - 1164	2004/9/7	BCJ基評-IB0463-01	清水建設技術研究所新風洞実験棟	清水建設	清水建設	RC	2	1	911.4	1253.0	13.8	13.9	東京都江東区	高減衰積層ゴム
85	MNNN - 1165	2004/8/31		名古屋掖済会病院救命救急センター	日本設計	日本設計	RC (PC)	4	0		9157.0			愛知県名古屋市中区	天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承
86	MFNN - 1172	2004/9/28		千葉県警察本部新庁舎	日本設計	日本設計	S	11	2		43530.0			千葉県千葉市	鉛プラグ入り積層ゴム
87	MNNN - 1180	2004/10/6		沢井製薬株式会社 本社・研究所ビル	竹中工務店	竹中工務店	柱SRC 梁S	10	-		13303.9	60.0		大阪府	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承
88	MFNN - 1208	2004/11/16	BCJ基評-IB0473-01	H16名古屋第2地方合同庁舎(耐震改修)	国土交通省中部地方整備局 営繕部 梓設計		SRC	8	2		24378.0	29.7		愛知県名古屋市中区	
89	MNNN - 1212	2004/11/4	ERI-J04017	(仮称)西早稲田2丁目ビル	叶設計	佐藤工業	RC	11	2	677.1	5841.8	43.1	46.4	東京都新宿区	鉛入り積層ゴム
90	MNNN - 1223	2004/11/30	ERI-J04018	県立こども病院周産期施設・外科病棟	日建設計	日建設計	RC	6	-	2320.0	12785.0	26.2	37.9	静岡県静岡市	天然積層ゴム すべり系支承
91	MNNN - 1230	2004/11/30	ERI-J04020	(仮称)ル・シェミアニの丸	東畑設計	大豊建設	RC	13	-	440.3	4691.3	39.6	41.0	静岡県静岡市	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
92	MNNN - 1248	2005/1/12	ERI-J04019	町田市市民病院	内藤建築事務所	内藤建築事務所	SRC RC	10	1	4975.0	41413.5	41.6	43.5	東京都町田市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承
93	MFNF - 1253	2004/12/27		大阪弁護士会新会館	日建設計	日建設計	S・SRC	14	2	2251.0	17005.0			大阪府大阪市	オイルダンパー・鋼材ダンパー による免震に似た構造
94	MNNN - 1263	2004/12/21	BCJ基評-IB0492-01	サンコート砂田橋3棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	9	-	1359.0	8595.6	27.5	29.5	愛知県名古屋市中区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
95	MNNN - 1264	2004/12/27	BCJ基評-IB0239-02	群馬県立がんセンター	日本設計	日本設計	RC	7	-		29246.0	31.6		群馬県田市	
96	MNNN - 1268	2005/1/21	ERI-J04021	(仮称)御茶ノ水セントヒル	大東建託	大東建託 山本設計コンサルタン 特木建築設計事務所	RC	11	-	213.4	1752.2	32.6	35.2	東京都文京区	鉛入り積層ゴム すべり系支承
97	MNNN - 1269	2005/1/28	BCJ基評-IB0490-01	名古屋市住宅都市局 営繕部 エヌ・ティ・ティファシリティーズ	名古屋市住宅都市局 営繕部 エヌ・ティ・ティファシリティーズ	名古屋市住宅都市局 営繕部 エヌ・ティ・ティファシリティーズ	SRC	13	3	2347.1	39688.6	49.6	54.2	愛知県名古屋市中区	鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 オイルダンパー
98	MNNN - 1272	2005/1/28		和歌山県庁南別館(仮称)	梓・高松設計共同体	梓・高松設計共同体	RC	10	-		11751.0	50.1		和歌山県和歌山市	
99	MNNN - 1277	2005/1/28		NHK新鹿児島放送会館	竹中工務店、松田平田設計、 渡辺組、春園組特定建設工事 設計連合体	竹中工務店、松田平田設計、 渡辺組、春園組特定建設工事 設計連合体	RC	4	-	2587.8	5978.1	22.9		鹿児島県鹿児島市	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承、U型ダンパー オイルダンパー
100	MFNN - 1278	2005/1/31		日本総合地所高輪本社ビル	大成建設	大成建設	RC・SRC・S	10	2		8778.0	52.2		東京都	天然ゴム 鋼製ダンパー
101	MNNN - 1279	2005/1/28	ERI-J04024	埼玉医科大学 国際医療センター	伊藤嘉三郎建築研究所 鹿島建設 竹中工務店	伊藤嘉三郎建築研究所 鹿島建設 竹中工務店	RC	6	-	16873.8	66960.3	26.5	28.3	埼玉県日高市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
102	MFNN - 1286	2005/7/6		東京競馬場新スタンド 連絡歩道橋その2	日本競馬施設株式会社、株式会社 松田平田設計	日本競馬施設株式会社、株式会社 松田平田設計	S、RC	1	-	910.1	910.1	11.8		東京都	鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承
103	MFNN - 1287	2005/7/6		東京競馬場新スタンド 連絡歩道橋その1	日本競馬施設株式会社、株式会社 松田平田設計	日本競馬施設株式会社、株式会社 松田平田設計	S、RC	1	-	1131.1	1133.8	11.8		東京都	鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承
104	MNNN - 1290	2005/2/8	eHo.04.E11-003-05	(仮称)一之江高齢者介護施設	新東京建築設計事務所	スタートCAM ダイミックスデザイン	RC	5	-	1189.1	4812.6	15.8	19.7	東京都江戸川区	回転機構付すべり系支承 天然ゴム系積層ゴム
105	MNNN - 1299	2005/2/21		大館市立総合病院	岡田新一設計事務所	岡田新一設計事務所	RC	11	-		28659.0			秋田県大館市	
106	MNNN - 1313	2005/3/2	ERI-J04027	(学)東京女子医科大学附属八千代総合 医療センター入院棟	日建設計	日建設計	RC	6	-	4384.8	20215.4	27.9	32.5	千葉県八千代市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム U型鋼材ダンパー
107	MNNN - 1314	2005/3/2	ERI-J04028	(学)東京女子医科大学附属八千代総合 医療センター外来棟	日建設計	日建設計	RC	4	-	3236.6	11463.5	19.6	24.5	千葉県八千代市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム U型鋼材ダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要					軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材
							構造	階	地下	建築面積(㎡)	延べ床面積(㎡)				
108	MNNN - 1316	2005/2/21		八千代市消防本部・中央消防署庁舎	岡設計	岡設計	S	3	-		4299.0			千葉県八千代市	
109	MNNN - 1318	2005/3/14	ERI-J04022	浜松労災病院本館	岡田新一設計事務所	岡田新一設計事務所 シーエス設計	RC	6	-	9213.5	21805.5	26.2	33.2	静岡県浜松市	鉛入り積層ゴム
110	MNNN - 1321	2005/3/14	ERI-J04031	(仮称)豊橋広小路三丁目A-1地区優良建築物等整備事業施設建築物	賛同人建築研究所	賛同人建築研究所	RC	18	-	646.2	6860.7	56.3	61.5	愛知県豊橋市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー
111	MNNN - 1325	2005/2/21	BCJ基評-IB0501-01	株式会社ムラコシ事務所	須山建設	須山建設	S	3	-		819.0	12.3		静岡県磐田郡	
112	MNNN - 1331	2005/3/14	BCJ基評-IB0502-01	松戸市紙敷43街区土地利用計画	清水建設	清水建設	RC	16	1	3344.0	22087.4	58.3	62.8	千葉県松戸市	鉛プラグ入り積層ゴムアイソレーター 天然ゴム系積層ゴムアイソレーター 弾性すべり支承
113	MNNF - 1332	2005/3/3	ERI-J04029	NTN総合技術センター	竹中工務店	竹中工務店	S	5	-	3698.7	16846.0	24.3	27.4	静岡県磐田郡	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
114	MNNN - 1338	2005/3/17	EHo.04.E11-009-05	(仮称)榎本様マンション	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	775.9	3505.9	15.1	15.1	東京都江戸川区	回転機構付すべり支承 天然ゴム系積層ゴム
115	MFNN - 1343	2005/3/18		名古屋市役所西庁舎	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	SRC	13	3	2347	39688.0	49.6		愛知県名古屋市	鉛入り積層ゴム 転がり支承 粘性ダンパー
116	MFNN - 1348	2005/3/25		海城学園校舎	前川建築設計事務所	横山建築構造設計事務所 竹中工務店の共同設計	既存RC 増築S	8	-		9277.9	31.9		東京都新宿区	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー
117	MNNN - 1349	2005/3/14		岩国市新庁舎	佐藤総合計画	佐藤総合計画	SRC	7	1		24325.0	30.7		山口県岩国市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承 直動転がり支承
118	MNNN - 1358	2005/4/8	BCJ基評-IB0504-01	松野靖邸	かねと建設	かねと建設 テクノウェーブ	木造	2	-		241.0	10.0		静岡県富士市	
119	MNNN - 1364	2005/3/17	ERI-J04040	榊松田会 有料老人ホーム エバーグリーンシティ・寺岡	東北設計計画研究所	東北設計計画研究所 大林組	RC	12	1	2516.4	18068.1	46.3	51.4	宮城県仙台市	鉛プラグ入り挿入型積層ゴム 両面転がり支承
120	MNNN - 1368	2005/4/8	ERI-J04038	(仮称)姫路市防災センター	昭和設計	昭和設計	RC	6	-	1281.8	6614.9	28.2	39.0	兵庫県姫路市	鉛プラグ入り積層ゴム 転がり支承 粘性減衰装置
121	MFNB - 1371	2005/4/8		日本放送協会 新秋田放送会館	大成建設・日建設計他JV	大成建設・日建設計他JV	RC							秋田県	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼種ダンパー 鉛ダンパー
122	MNNN - 1373	2005/4/8	BCJ基評-IB0510-01	秋葉清隆邸	秋葉清隆	MAY設計事務所 テクノウェーブ	木造	2	-		145.0	8.3		栃木県宇都宮市	
123	MNNN - 1375	2005/4/20	ERI-J04035	(仮称)新砂物流センター	鹿島建設	鹿島建設	PCaPC	7	-	19547.7	101632.2	48.0	50.4	東京都江東区	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
124	MNNN - 1376	2005/4/20	ERI-J04042	医療法人豊田会 刈谷総合病院 病棟建替計画	竹中工務店	竹中工務店	RC	12	1	1606.4	18714.1	44.8	50.3	愛知県刈谷市	鉛プラグ入り積層ゴム ゴム物性
125	MNNN - 1377	2005/4/20	ERI-J04041	医療法人韓純会 武内病院 人口腎センター	清水建設	清水建設	RC	4	-	1263.7	4074.4	16.1	16.7	三重県津市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム ゴム物性
126	MFNN - 1400	2005/5/17	GBRC建評-04-11A-005	京阪神不動産御堂筋ビル	日建設計	日建設計	S	14	1	1405.2	20084.5	56.9	60.0	大阪府中央区	天然積層ゴム 弾性すべり支承 鋼種ダンパー 鉛ダンパー
127	MNNN - 1414	2005/6/2	ERI-J04043	ヤマハ浜松ビル	ワイビー設備システム	和田建築技術研究所	RC	8	-	321.0	2384.0	33.8	36.9	静岡県浜松市	天然積層ゴム ゴム物性
128	MNNN - 1416	2005/6/2	TBTC基評11B-04001	東京建設コンサルタント新本社	清水建設	清水建設	RC	7	1	855.4	5996.6	33.0	37.0	東京都豊島区	鉛入り積層ゴム
129	MNNN - 1418	2005/6/2	BCJ基評-IB0515-01	川越町新庁舎	日本設計		RC	4	-		9534.0			三重県三重市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承 直動転がり支承 オイルダンパー
130	MNNN - 1423	2005/6/9		四日市南警察署 庁舎棟	三重県総務局宮崎課 安井・打田特定建築設計企業体	安井・打田特定建築設計企業体	RC造	5	-		5668.6	21.9		三重県四日市市	天然系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
131	MNNN - 1430	2005/6/10	ERI-J05001	(仮称)高見地区分譲住宅・C-1棟	三菱地所設計 大成建設	三菱地所設計 大成建設	RC	13	-	784.2	8636.0	39.4	40.6	愛知県名古屋市	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承 天然ゴム
132	MNNN - 1431	2005/6/10	ERI-J05002	(仮称)高見地区分譲住宅・C-2棟	三菱地所設計 大成建設	三菱地所設計 大成建設	RC	13	-	785.3	8427.1	39.4	40.6	愛知県名古屋市	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承 天然ゴム
133	MNNN - 1432	2005/6/10	ERI-J05003	(仮称)高見地区分譲住宅・D棟	三菱地所設計 大成建設	三菱地所設計 大成建設	RC	13	-	773.9	8441.6	39.4	40.7	愛知県名古屋市	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承 天然ゴム
134	MNNN - 1439	2005/6/13		味の素株式会社(仮称)食品研究開発新棟	大成建設	大成建設	RC	5	-	4350.0	16902.3	22.3	29.8	神奈川県川崎市	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 耐すべり支承
135	MNNN - 1442	2005/6/13	eHo.04.E11-014-05	(仮称)本澤様マンションⅡ	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	406.9	1574.9	15.5	15.9	東京都江戸川区	回転機構付すべり支承 天然ゴム系積層ゴム
136	MNNN - 1443	2005/6/10		大成建設株式会社 札幌支店	大成建設	大成建設	RC・S	8	1	770.7	6970.4	34.6		北海道札幌市	
137	MNNN - 1444	2005/6/13		中日新聞社健康保険組合 中日病院	日建設計	日建設計	SRC	7	-		12449.0	30.0		愛知県	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
138	MNNN - 1449	2005/6/13		和歌山県警察本部庁舎	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	RC	5	1		4071.0	19.5		和歌山県	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 滑り支承 オイルダンパー
139	MNNN - 1450	2005/6/15		新「東京警察病院」	日建設計	日建設計	SRC	9	2		38676.0	44.3		東京都	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
140	MNNN - 1453	2005/6/13	BCJ基評-IB0519-01	船越陽一郎	三菱地所ホーム	三菱地所ホーム テクノウェーブ	木造	2	1	116.1	227.9	6.2	8.9	東京都杉並区	転がり支承 オイルダンパー
141	MNNN - 1463	2005/7/6	ERI-J05008	日本赤十字社血液事業本部・東京都赤十字血液センター合同社屋(仮称)	現代建築研究所	織本匠構造設計研究所	RC	6	-	3612.5	18372.8	29.5	30.2	東京都江東区	鉛入り積層ゴム 転がりローラー支承 オイルダンパー
142	MNNN - 1465	2005/7/6	BCJ基評-IB0533-01	山田典正邸	金子建設 テクノウェーブ		木造	2	-		206.0	8.8		東京都杉並区	
143	MFNF- - 1474	2005/6/15	BCJ基評-IB0532-01	(仮称)鹿島ウエストビル	鹿島建設	鹿島建設	S、一部CFT	14	2	911.8	15208.0	57.9	63.5	東京都港区	鉛プラグ入り積層ゴム
144	MNNN - 1476	2005/7/6		土佐市立土佐市民病院	日本設計	日本設計	RC	7	-		13147.0	28.8		高知県	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件 名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ (m)	建設地 (市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)					延べ床面積 (㎡)
145	MNNN - 1477	2005/7/25	BCJ基評-IB0531-01	Kライブ M-1	Kライブ、テクノウェーブ		木造	2以下	-		500以下	13以下		沖縄を除く 全国	
146	MNNN - 1479	2005/7/6	GBRC建評-05-11A-002	(仮称)北堀江ビル	日建設計	日建設計	S	7	1	1903.6	14422.4	30.9	41.6	大阪府 西区	天然積層ゴム U型鋼材ダンパー 鉛ダンパー
147	MNNN - 1482	2005/7/11	BCJ基評-IB0536-01	大本山永平寺別院山門	亀津建築設計事務所 翔栄建築設計事務所		木造	1	-		118.0	7.5		愛知県 名古屋	U型ダンパー付き天然ゴム系積 層ゴムアイソレータ 鉛ダンパー
148	MNNN - 1497	2005/7/11	ERI-J05011	D'クラディア清水駅前	イトー設計事務所	浅沼組 構造計画研究所	RC	14	-	539.6	6876.0	43.8	44.4	静岡県 静岡市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
149	MNNN - 1509	2005/8/2	GBRC建評-05-11A-001	鳥取県立厚生病院外来・中央診療棟	日建・安本設計JV	日建・安本設計JV	S	7	1	5206.6	10760.5	31.7	34.2	鳥取県 倉吉市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
150	MNNN - 1513	2005/8/2		グランドホーム とも	西森建築設計	構造計画研究所	RC	5			4784.0			高知県	高減衰積層ゴム オイルダンパー
151	MNNN - 1518	2005/8/2	ERI-J05016	(仮称)日神ハレステージせんげん台	IAO竹田設計	真柄建設	RC	14	-	384.3	3696.9	42.7	43.3	埼玉県 越谷市	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
152	MNNN - 1524	2005/8/9	BCJ基評-IB0535-01	医学書院新本社ビル	石本建築事務所		RC	9	1		7238.0	39.9		東京都 文京区	
153	MFNN - 1538	2005/8/17		武蔵野市防災・安全センター(仮称)	日建設計	日建設計	S	8			4487.0	31.9		東京都 武蔵野市	
154	MFNN - 1539	2005/8/17		静岡病院新館	久米設計	久米設計	S・RC・SRC	13	1	48.1	31109.0			静岡県	弾性すべり支承 天然ゴム系積層ゴム
155	MNNN - 1542	2005/8/24	ERI-J05014	経済産業省総合庁舎別館(耐震改修)	国土交通省大臣官庁官庁営繕部 山下設計	国土交通省大臣官庁官庁営繕部 山下設計	SRC	11	2	4812.9	59741.0	42.9	51.4	東京都 千代田区	鉛プラグ入り積層ゴムアイソレータ 天然ゴム系積層ゴムアイソレータ
156	MNNN - 1543	2005/8/24	ERI-J05018	(仮称)コレクション豊田	澤田建築事務所	奥村組	RC	14	-	622.4	6776.3	44.4	45.9	愛知県 豊田市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム
157	MNNN - 1547	2005/8/24		(仮)三井倉庫味深川仲庫ビル	竹中工務店	竹中工務店	柱SRC 梁S・窓 補剛ブ レース	7	-		11618.0	30.1		東京都 江東区	高減衰系積層ゴム 滑り支承
158	MNNN - 1548	2005/8/24	ERI-J05021	(仮称)創路常舞橋ホテル	戸田建設	戸田建設	RC	13	-	693.0	7372.6	41.7	44.7	北海道 釧路市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
159	MNNN - 1553	2005/9/1	ERI-J04036-01	医療法人貞心会 西山堂病院	大和ハウス工業	構造計画研究所 大和ハウス工業	S	4	-	1463.3	4928.4	14.7	15.3	茨城県 常陸太田市	天然系積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー
160	MNNN - 1555	2005/9/12	BCJ基評-IB0546-01	高知高須病院(増築)	THINK建築設計事務所	ダイナミックデザイン	S SRC	7	-		14619.0	28.4		高知県 高知市	
161	MNNN - 1569	2005/9/12	ERI-J05023	県立志摩病院 外来診療棟	石本建築事務所	石本建築事務所	RC	4	1	9261.8	25798.5	22.7	23.4	三重県 志摩市	高減衰積層ゴム 直動転がり支承 鉛ダンパー
162	MNNB - 1570	2005/9/13	BCJ基評-IB0547-01	(仮称)滑川市民交流プラザ	三四五建築研究所	織本匠構造設計研究所	RC	5	-	1449.9	5450.0	26.5	33.0	富山県 滑川市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
163	MNNN - 1571	2005/9/12		(仮称)センチュリーみらい平	東建	東建	RC	18	-	10103.9	74358.2			茨城県 つくばみらい市	
164	MNNN - 1572	2005/9/20		豊田信用金庫本店	久米・青島設計企業体	久米・青島設計企業体	SPC	9	1			43.2		愛知県 豊田市	
165	MNNN - 1577	2005/9/26	E11-00000100-05	(仮称)足立東和PJ	スターツCAM	スターツCAM 織本匠構造設計研究所	RC	6	-	484.9	2052.8	18.0	18.4	東京都 足立区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
166	MNNN - 1578	2005/9/26		公立小浜病院高度医療施設整備事業第2期建築工事(高度医療棟)	石本・垣本 設計共同企業体	石本・垣本 設計共同企業体	RC	9		3505.0	17518.0			福井県 小浜市	
167	MNNN - 1590	2005/9/30	BCJ基評-IB0553-01	木本 博之邸	三菱地所ホーム	三菱地所ホーム テクノウェーブ	木造	2	-		116.0	8.0		東京都 三鷹市	
168	MFNN - 1598	2005/9/30		(仮称)原宿プロジェクト(A敷地)	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	9	2		22.966	30.09		東京都 渋谷区	天然ゴム系積層ゴム 剛すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
169	MFNN - 1599	2005/9/30		(仮称)原宿プロジェクト(B敷地)	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム								東京都 渋谷区	天然ゴム系積層ゴム 剛すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
170	MNNN - 1603	2005/10/14		(仮称)西新井駅西口地区(F1街区)賃貸住宅A～C棟	スターツCAM・石本建築事務所	石本建築事務所	RC	14	-		26137.0			東京都 足立区	鉛プラグ入積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 机頭すべり支承
171	MNNN - 1611	2005/10/14		浜松赤十字病院移転計画			RC	5	-	9566.8	26776.9	21.6	31.0	静岡県 浜松市	鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承
172	MNNN - 1624	2005/10/19		(仮称)アルファグランデ新潟安芸番街	スターツ	桂設計	RC	10	-		10431.0				鉛プラグ入積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
173	MNNN - 1625	2005/10/19		(仮称)紙与薬院ビル	日建設計	日建設計	RC	10	1		11886.6				
174	MNNN - 1629	2005/10/25	ERI-J05031	磐田駅前地区第一種市街地再開発事業	共同組合 都市設計連合	共同組合 都市設計連合 エスバス建築事務所	RC	16	-	586.1	7628.9	49.8	55.2	静岡県 磐田市	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承 鋼材ダンパー 鉛ダンパー
175	MNNN - 1632	2005/10/25	BCJ基評-IB0559-01	白河厚生総合病院	日建設計	日建設計	RC	8	1	11187.2	38900.2	36.5	41.5	福島県 白河市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼製U型ダンパー 鉛ダンパー
176	MNNN - 1637	2005/10/25	ERI-J05030	(仮称)センコー御浦和PDセンター	釣谷建築事務所 黒澤建築 ティール・アール・エー		PC造	6	-	16691.9	70426.2	30.2	30.6	埼玉県 さいたま市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
177	MNNN - 1638	2005/10/25		(仮称)バンベル月島	矢作建設工業	矢作建設工業 エスバス建築事務所	RC	11	1		3584.7	32.8		愛知県	高減衰積層ゴム オイルダンパー
178	MNNN - 1639	2005/10/25	ERI-J05034	四日市商工会議所 新会館	日建設計	日建設計	RC	4	-	820.0	3200.0	17.5	21.5	三重県 四日市市	鉛プラグ入り積層ゴム
179	MNNN - 1640	2005/11/4		(仮称)白金山ロビビル	竹中工務店	竹中工務店	CFT RC	12	-		1400.5	38.4		東京都	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
180	MNNN - 1644	2005/11/4		IC PROJECT	大成建設	大成建設	S	4	1		3894.1	23.0		大阪府	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
181	MNNN - 1646	2005/11/4	BCJ基評-IB0555-01	パナホームR免震住宅	パナホーム	パナホーム テクノウェーブ	RC	1又は2	-	54～500	54～500	9以下	13以下	-	ベアリング支承 オイルダンパー
182	MNNN - 1652	2005/11/4	ERI-J05035	全労済埼玉県本部会館(仮称)	エヌ・ティ・ティファシリティーズ	エヌ・ティ・ティファシリティーズ	RC	8	-	398.8	2970.4	30.5	34.5	埼玉県 さいたま市	鉛プラグ入り積層ゴム 十字型直動転がり支承 オイルダンパー 増幅機構付減衰装置
183	MNNB - 1653	2005/11/28		学校法人獨協学園 獨協大学創立40周年記念館(仮称)	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	RC	4	-		12688.0	25.3		埼玉県	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 球体転がり支承 オイルダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件 名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材
							構造	階	地下	建築面積(m ²)	延べ床面積(m ²)			
184	MNNN - 1662	2005/11/28		〈仮〉プロロジス大阪Ⅱプロジェクト	清水建設	清水建設RSI	PCaPC	8	0		169125.0	54.6	大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
185	MNNN - 1665	2005/11/28	BCJ基評-IB0560-01	金原 孝行邸	三菱地所ホーム テクノウェーブ		木造	2	-		210.0	8.9	宮城県仙台市	
186	MNNN - 1671	2005/11/28		自治医科大学附属大宮医療センター病院棟	伊藤喜三郎建築研究所	伊藤喜三郎建築研究所	Pca-Pc	7	-	3304.0	17398.3	28.9	埼玉県埼玉市	天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承 U型鋼材ダンパー オイルダンパー
187	MNNN - 1675	2005/11/28		横河電機相模原事業所	竹中工務店	竹中工務店	柱SRC 梁S	5	-		27187.0	21.7	神奈川県相模原市	天然ゴム系積層ゴム 粘性体ダンパー オイルダンパー
188	MNNN - 1679	2005/11/28		〈仮称〉パークハウス常盤松	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	6	1		2709.5	19.4	東京都	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ挿入型積層ゴム
189	MNNN - 1680	2005/12/13	ERI-J05038	愛知県厚生連加茂病院	久米設計	久米設計	OFT	5	1	18398.76	54809.0	34.9	愛知県豊田市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り天然ゴム 弾性すべり支承 鋼製U型ダンパー オイルダンパー
190	MNNN - 1686	2005/12/13		岩手県立花巻厚生・北上統合病院	(株)久米設計	(株)久米設計	RC	6	1	12412.0	29470.0	28.4	岩手県	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り天然ゴム 弾性すべり支承 鋼製U型ダンパー
191	MNNN - 1696	2006/1/5	BCJ基評-IB0585-01	〈仮称〉南麻布四丁目計画	竹中工務店		RC	5	2		5.1	15.0	東京都港区	
192	MNNN - 1700	2006/1/10	BCJ基評-IB0567-01	阪上 直人邸	三菱地所ホーム テクノウェーブ	三菱地所ホーム テクノウェーブ	木造	2	-		171.0	8.8	神奈川県藤沢市	
193	MNNN - 1720	2006/1/23	BCJ基評-IB0571-01	和歌山労災病院	佐藤総合計画	佐藤総合計画	RC	6	-	8003.6	21888.0	29.1	和歌山県和歌山市	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム支承 球体転がり支承 減衰こま
194	MFNN - 1723	2006/1/30	BCJ基評-IB0572-01	清水建設技術研究所セキュリティセンター	清水建設		RC S	4	-		214.0	17.8	東京都江東区	
195	MNNN - 1728	2006/1/23		〈仮称〉大分キャンパリアリアル第2拠点建設計画	鹿島建設	鹿島建設	RC				109320.0		大分県大分市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
196	MNNN - 1729	2006/2/20	ERI-J05045	野村證券静岡支店	野村ファシリティーズ	塩見	RC	4	1	748.9	3489.6	18.2	静岡県静岡市	鉛入り積層ゴム
197	MNNN - 1730	2006/2/20	ERI-J05046	〈仮称〉ドッグラン幸町	幸田設計	奥村組 技術協力 塩見	RC	15	-	324.2	3546.8	44.7	長崎県諫早市	鉛入り積層ゴム
198	MNNN - 1731	2006/1/23	ERI-J05047	〈仮称〉美浜区高洲3丁目プロジェクト	戸田建設	戸田建設	RC	10	-	582.3	4508.7	32.7	千葉県千葉市	天然積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
199	MNNN - 1738	2006/2/6	BCJ基評-IB0573-01	〈仮称〉共同通信社 研修・交流センター	鹿島建設	鹿島建設	RC (一部S)	4	-	2225.4	5087.6	16.0	東京都中央区	鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承 流体系減衰材
200	MNNN - 1740	2006/2/13		〈仮称〉一番町13-6計画	トルテック都市建築設計事務所	構造計画研究所	RC	19	2		9725.0	60.0	東京都千代田区	高減衰ゴム積層 オイルダンパー
201	MNNN - 1744	2006/2/13	BCJ基評-IB0575-01	〈仮称〉日本通運東京海外引越支店 東京トラクルーム	日通不動産		RC	5	-		21908.0	32.6	東京都品川区	
202	MNNN - 1746	2006/2/13	ERI-J05049	垂水消防署新庁舎	エーアンドディ設計企画	エーアンドディ設計企画	RC	4	-	1141.8	3144.4	14.2	兵庫県神戸市	高減衰積層ゴム
203	MNNN - 1747	2006/2/13	ERI-J05048-01	西尾市新庁舎	久米設計	久米設計	SRC	7	1		18283.0	33.2	愛知県西尾市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼製ダンパー オイルダンパー
204	MNNN - 1757	2006/2/20	eHo.05.E11-00800400-05	〈仮称〉西葛西ホテル	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	14	-	526.6	4321.5	42.7	東京都江戸川区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム
205	MNNN - 1759	2006/2/20	JSSI-構評-05003	〈仮称〉大沢3丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 機本匠構造設計研究所	RC	8	-	174.5	1255.8	23.8	埼玉県越谷市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
206	MNNN - 1764	2006/2/20	GBRC建評-05-11A-016	〈仮称〉ワコーレ大開通マンション	鴻池組	鴻池組	RC	17	-		20462.0	53.2	兵庫県神戸市	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
207	MNNN - 1767	2006/2/28	BCJ基評-IB0574-01	名古屋市役所本庁舎	名古屋市住宅都市局営繕部 営繕課 三菱地所設計	名古屋市住宅都市局営繕部 営繕課 三菱地所設計	SRC	5	1	4483.9	25760.4	22.1	愛知県名古屋市	鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 オイルダンパー
208	MNNN - 1772	2006/2/28	BCJ基評-IB0581-01	日本大学理工学部駿河台校舎5号館(改修)	清水建設	清水建設	SRC	9	1	561.1	5785.8	31.0	東京都千代田区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 粘性流体ダンパー
209	MNNN - 1774	2006/2/28	VHEC構備-構17009	〈仮称〉平河町一丁目計画	戸田建設	戸田建設	RC	14	1	353.0	4771.2	44.1	東京都千代田区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
210	MNNN - 1776	2006/2/28		中外製薬湘麻枝工場 固形剤棟建設計画	鹿島A/E	鹿島A/E	ニュー NEOS	4F	-		28834.0		静岡県藤枝市	高減衰積層ゴム 剛滑り支承
211	MNNN - 1784	2006/3/15	BCJ基評-IB0582-02	防災拠点有明の丘地区本部施設棟(仮称)	日建設計	日建設計	RC(一部S)	2	-		9411.7	13.7	東京都江東区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼材ダンパー 鉛ダンパー
212	MNNN - 1786	2006/3/15	BCJ基評-IB0587-01	大分市医師会立アルメイダ病院	佐藤総合計画	佐藤総合計画	RC	7	-		22210.0	29.7	大分県大分市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
213	MNNF - 1794	2006/3/30	ERI-J05056-01	プロロジスパークセントレア	竹中工務店	竹中工務店	RC	5	-		83301.0	36.5	愛知県常滑市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
214	MNNN - 1800	2006/3/27	BCJ基評-IB0590-01	〈仮称〉アグラ浜松ビル	清水建設名古屋支店		S(柱 OFT造)	8	-		5015.0	42.0	静岡県浜松市	
215	MNNN - 1801	2006/3/27	BCJ基評-IB0589-01	〈仮称〉四日市駅前PJ[B敷地]	IOA竹田設計	大林組	RC	18	-	1139.0	14636.6	57.9	三重県四日市市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
216	MNNN - 1802	2006/3/30	BCJ基評-IB0570-02	三菱ホーム免震住宅PIANISSMO(ピアノシモ)		三菱地所ホーム テクノウェーブ	木造	3	-		100~500	13以下	沖縄を除く 全国	
217	MNNN - 1803	2006/3/30		〈仮称〉JS西葛西ビル	東レ建設	東レ建設	RC	9	-		5361.0	32.9	東京都江戸川区	高減衰ゴム オイルダンパー
218	MNNN - 1807	2006/3/30	BCJ基評-IB0588-01	愛知県厚生連江南新病院	日本設計・共同建築設計事務所 共同企業体	日本設計	S(一部 SRC)	8	-	20970.7	66551.0	37.0	愛知県江南市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり系支承 直動転がり支承
219	MNNN - 1809	2006/3/30	ERI-J05058	〈仮称〉三共銀座プロジェクト	清水建設	清水建設	RC	11	1	573.0	5586.0	52.2	東京都中央区	鉛入り積層ゴム
220	MNNN - 1813	2006/4/6	BCJ基評-IB0591-01	〈仮称〉博多駅前共同ビル計画	三菱地所設計	三菱地所設計	RC S	11	1	1062.3	11255.8	44.6	福岡県福岡市	鉛プラグ入り積層ゴム
221	MNNN - 1816	2006/4/6		〈仮〉26街区共同ビル	賛同人建築研究所	賛同人建築研究所	RC	18	-		8141.37	59.55	静岡県浜松市	

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件 名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高 さ (m)	建設地 (市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)					延べ床面積 (㎡)
262	MNNN - 1993	2006/9/20	GBRC建評-06-11A-006	(仮称)奈良工事事務所	奥村組	奥村組	RC 一部S	2	-		483.0	6.3		奈良県 奈良市	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
263	MNNN - 1994	2006/10/19		静岡北口ホテル	レーモンド設計事務所	構造計画研究所	RC	12	-		2365.0			静岡県 静岡市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
264	MNNN - 1996	2006/10/10	BCJ基評-IB0628-01	清水建設技術研究所守衛所	清水建設	清水建設	S RC	1	-	25.2	25.2	2.8	3.1	東京都 江東区	天然ゴム系復元ゴム すべり系支承 転がり系支承
265	MNNN - 2000	2006/10/5		日本銀行本店2・3号館(耐震改修)	松田平田設計	松田平田設計									鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
266	MNNN - 2008	2006/11/7	BCJ基評-IB0626-01	横浜市庁舎行政棟(耐震補強)	既存・村野・森建築事務所 東畑建築事務所	東畑建築事務所	SRC	8	1	2700.0	22000.0	30.8	37.3	神奈川県 横浜市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 積層ゴム一体型免震U型ダンパー
267	MNNN - 2012	2006/10/23	ERI-J06010	(仮称)大洋建設本社ビル	久米設計・大洋建設 設計共同企業体	久米設計	RC	5	-		1225.1	17.8		神奈川県 横浜市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鋼製ダンパー 直動転がり支承
268	MFNN - 2016	2006/10/2	UHEC評価-構18015	(仮称)ナイス小杉3丁目計画	エイワ設計コンサルタント	ティー・アール・エー	RC	16	-	1102.4	11316.0	53.6	59.8	神奈川県 川崎市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
269	MFNN- - 2019	2006/10/12	JSSI-構評-06004	(仮称)新横浜三丁目ビル	大成建設	大成建設	RC	11	1	896.8	10106.5	51.9	51.9	神奈川県 横浜市	積層ゴム支承 弾性すべり支承
270	MNNN - 2030	2006/10/23	ERI-J06013	航空保安大学校本校移転整備等事業 (学生寮棟)	大成建設 山下設計	大成建設 山下設計	RC	14	-	858.5	7933.8	44.7	44.8	大阪府 泉佐野市	天然積層ゴム 弾性すべり支承
271	MNNN - 2030	2006/10/23	ERI-J06013	航空保安大学校本校移転整備等事業 (校舎棟)	大成建設 山下設計	大成建設 山下設計	S RC	3	-	4088.8	11218.8	14.1	14.3	大阪府 泉佐野市	天然積層ゴム 弾性すべり支承
272	MNNN - 2047	2006/11/16		(仮称)中外製薬(株)浮間事業所 第2製 剤治験薬棟	鹿島A/E	鹿島建設	KIP	6	-		9879	33.3		東京都 北区	高減衰積層ゴム
273	MNNN - 2048	2006/11/16	ERI-J06016	名古屋学生専用賃貸マンション	鹿島建設	鹿島建設	RC	15	-		4185			愛知県 名古屋市中区	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
274	MNNN - 2049	2006/11/16	UHEC評価-構18017	(仮称)千代田区岩本町一丁目計画	淺沼組	淺沼組	RC	16	-	371.8	5328.5	49.5	55.0	東京都 千代田区	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 免震U型ダンパー
275	MNNN - 2050	2006/11/20		ライオンズマンション日本橋浜町共用部 改善計画	久米エンジニアリングシステム	三井住友建設	SRC	13	1		3319	37.3		東京都 中央区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承 粘性ダンパー
276	MNNN - 2052	2006/11/16	JSSI-構評-06006	(仮称)牡丹3丁目Ⅲ期計画	新東京建築設計事務所	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	7	-	394.9	1815.1	21.2	21.7	東京都 江東区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
277	MNNN - 2053	2006/11/16	JSSI-構評-06007	(仮称)株式会社八島鉄工所様マンショ ン	スターツCAM	スターツCAM 構造計画研究所	RC	11	-	159.8	1575.4	33.0	33.2	東京都 台東区	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
278	MNNN - 2057	2006/11/16	BCJ基評-IB0639-01	(仮称)ブリヂストン化工品新試験セン ター	日本設計	日本設計	SRC、 S、RC	5	-	60797.2	141163.2	24.6	35.3	神奈川県 横浜市	高減衰系積層ゴム
279	MNNN - 2069	2006/12/12	JSSI-構評-06008	(仮称)水野橋ビル	スターツCAM	スターツCAM 概本構造設計	RC	10	-	240.1	1835.0	30.5	32.6	千葉県 市川市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
280	MNNN - 2070	2006/11/10	BCJ基評-IB0638-01	芝園小学校及び芝園中学校	清水建設・シーラカン&H・ 三四五建築研究所設計共同 企業体	清水建設	RC (一部 SRC、 S)	4	1		23847.0	22.0		富山県 富山市	
281	MNNN - 2077	2006/12/12		(仮称)ももち浜計画(病院施設)	医療福祉建築機構	メイ建築研究所 JTE構造設計	SRC	11	2		45044			福岡県 福岡市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承
282	MFNN - 2079	2006/12/15	BCJ基評-IB0633-01	日本赤十字社医療センター	久米設計	久米設計	S RC	13	3	7907.3	80253.6	57.6	60.1	東京都 渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 剛すべり支承 オイルダンパー
283	MNNN - 2082	2007/1/10	JSSI-構評-06009	株式会社前川製作所新本社ビル	大成建設	大成建設	S	8	-	1255.9	9304.1	31.1	35.1	東京都 江東区	積層ゴム
284	MNNN - 2083	2007/1/10	JSSI-構評-06011	(仮称)春日3丁目免震マンション	スターツCAM	スターツCAM エス・エス・エス建築事務所	RC	7	-	599.7	3367.0	20.0	21.1	大阪府 吹田市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
285	MNNN - 2084	2007/1/10	JSSI-構評-06012	(仮称)見花山プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	6	-	293.8	1195.9	18.9	19.3	神奈川県 横浜市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム
286	MNNN - 2085	2007/1/10	JSSI-構評-06013	(仮称)城田様プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	400.2	1532.7	14.7	15.2	神奈川県 横浜市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム
287	MNNN - 2094	2007/1/9	ERI-J06019	(仮称)瀬戸プロジェクトⅡ	矢作建設	矢作建設	RC	14	-	1037.4	8705.2	42.2	42.7	愛知県 瀬戸市	高減衰積層ゴム
288	MNNN - 2115	2007/1/9		(仮称)常陽つくばビル	三菱地所設計	三菱地所設計	S	10	1		16541			茨城県 つくば市	積層ゴム 直動転がり支承
289	MNNN - 2117	2007/1/9		いちい信用金庫本店	日建設計	日建設計	SRC・S・ PC	12	-		10200	51.1		愛知県 一宮市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼材ダンパー
290	MFNN - 2124	2007/1/10	ERI-J06006	奥村三田ビル	奥村組 (既存・村野・森建築事務所)	奥村組 (既存・村野・森建築事務所)	SRC	9	3		9739.0	33.9		東京都 港区	高減衰積層ゴム オイルダンパー
291	MNNN - 2131	2007/1/22	JSSI-構評-06015	(仮称)片平計画	スターツCAM	スターツCAM 山下設計	RC	5	-	533.8	2181.4	16.1	16.1	神奈川県 川崎市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム
292	MNNN - 2132	2007/1/22	JSSI-構評-06016	(仮称)神明町プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	8	-	167.0	918.5	23.9	24.3	愛知県 豊田市	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
293	MNNN - 2133	2007/1/22	UHEC評価-構18025	カルソニックカンセイ開発・本社ビル移転 計画	日建設計 大成建設	日建設計 大成建設	RC (一部 S)	7	-	6267.0	38001.0	31.0	31.9	埼玉県 さいたま市	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承
294	MNNN - 2138	2007/1/9	BCJ基評-IB0648-01	栄国寺庫裏	魚津建築設計事務所	魚津社寺工務店	S	3	-		380.0	11.9		愛知県 瀬戸市	
295	MNNN - 2140	2007/1/9	GBRC建評-06-11A-010	(仮称)新大阪EMビル	日建設計	日建設計	SRC S	14	2		30543.0	59.1		大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 減衰こま
296	MNNN - 2141	2007/1/9		(仮称)千歳金新本社ビル		竹中工務店	SRC	10	1		8.243			大阪府 大阪市	オイルダンパー
297	MFNN - 2143	2006/12/27	BCJ基評-IB0646-01	(仮称)01プロジェクト	アム・ザイン	鹿島建設	CFT造 一部 SRC	12	2	1351.7	18211.9	54.1	58.9	東京都 品川区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ挿入型積層ゴム すべり系支承
298	MNNN - 2153	2006/12/27	BCJ基評-IB0661-01	(仮称)加賀二丁目計画	鹿島A/E	鹿島建設	RC	14	-		27564.0	43.5		東京都 足立区	
299	MNNN - 2158	2007/1/31	BCJ基評-IB0662-01	(仮称)愛媛新聞社新社屋	松田平田設計	松田平田設計	S RC	7	-	1133.4	7260.3	29.3	45.0	愛媛県 松山市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 弾塑性系減衰材 オイルダンパー
300	MNNN - 2159	2007/1/31	BCJ基評-IB0660-01	ディスコR&Dセンター増築棟	大林組	大林組	SRC	14	1		28485.0	59.0		東京都 大田区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鋼製U型ダンパー
301	MNNN - 2160	2007/1/31		ラフィネ松本清	峯生庵	構造計画研究所	RC	14			3428.0			長野県 松本市	鉛プラグ入り積層ゴム

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積(m ²)					延べ床面積(m ²)
302	MNNN - 2166	2007/1/31		(仮称)小田栄2丁目マンション計画(A棟)	テチュル設計企画	前田建設工業	RC	17	1		76668.0			神奈川県川崎市	
303	MNNN - 2167	2007/1/31		(仮称)小田栄2丁目マンション計画(B棟)	テチュル設計企画	前田建設工業								神奈川県川崎市	
304	MNNN - 2168	2007/1/31		(仮称)小田栄2丁目マンション計画(C棟)	テチュル設計企画	前田建設工業								神奈川県川崎市	
305	MNNN - 2169	2007/1/31		(仮称)小田栄2丁目マンション計画(D棟)	テチュル設計企画	前田建設工業								神奈川県川崎市	
306	MNNN - 2172	2007/1/24	GBRC建評-06-11A-011	木津町新庁舎	日建設計	日建設計	RC	7	-	約2,200	約10,000	27.7		京都府木津川市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
307	MNNN - 2182	2007/3/15	JSSI-構評-06014	国立大学法人浜松医科大学医学部附属病院病棟	久米設計	久米設計	SRC+S	9	1		29633.0	39.1		静岡県浜松市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼製ダンパー オイルダンパー
308	MNNN - 2186	2007/2/22	JSSI-構評-06018	(仮称)湊新田2丁目計画	スターツCAM	スターツCAM 織本構造設計	RC	8	-	202.7	1338.6	24.5	25.4	千葉県市川市	鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支承 オイルダンパー
309	MNNN - 2189	2007/2/23	GBRC建評-06-11A-012	近畿労働金庫新本部ビル	日建設計	日建設計	S	13	1		13423.7	58.0			鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー
310	MNNN - 2193	2007/3/2	BCJ基評-IB0668-01	(仮称)エフエム福岡・西日本シティ銀行共同ビル	三菱地所設計 西日本技術開発		SRC	8	-		6043.0	34.4		福岡県福岡市	
311	MFNN - 2195	2007/3/15		(仮称)月寒東計画	住友不動産	織本構造設計 三井住友建設								北海道	弾性滑り支承 他
312	MNNN - 2196	2007/3/15	BCJ基評-IB0658-01	北島病院	アトリエ・Kuu 構造計画研究所		RC	4	1		4119.0	19.7		高知県高岡市	
313	MNNN - 2203	2007/3/29	ERI-J06022	モノレール旭橋駅周辺第一種市街地再開発事業(南地区)D-1街区 施設建築物	モノレール旭橋駅周辺地区再開発計画設計共同企業体	モノレール旭橋駅周辺地区再開発計画設計共同企業体	RC	18	-	1345.0	11437.4	55.8	60.6	沖縄県那覇市	高減衰積層ゴム
314	MNNN - 2205	2007/3/14	GBRC建評-06-11A-014	九州労災病院本館	日建設計	日建設計	SRC・RC一部S	8	-		36471.4	35.5		福岡県福岡市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼材ダンパー 鉛ダンパー
315	MNNN - 2207	2007/3/14		(仮称)平野町三丁目ビル			S・RC・SRC	14	2		20,987	60.00		大阪府大阪市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
316	MNNN - 2208	2007/3/15	JSSI-構評-0617	独立行政法人国立病院機構 高崎病院	久米設計	久米設計	RC	7	1		33168.7	28.6		群馬県高崎市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
317	MFNN - 2213	2007/3/15		(仮称)杉並区高井戸計画D棟	鹿島建設	鹿島建設	RC	6	1		13813.55	19.97		東京都杉並区	
318	MFNN - 2214	2007/3/15		(仮称)杉並区高井戸計画E棟	鹿島建設	鹿島建設	RC	6	1		11781.67	19.97		東京都杉並区	
319	MNNN - 2216	2007/1/9	BCJ基評-IB0637-01	東京女子医科大学第一病棟	日建設計 現代建築研究所	織本匠構造設計研究所	RC	9	3		20587.0	35.4		東京都新宿区	
320	MNNN - 2224	2007/3/29		シスメックステノクパーク計画 研究・開発棟	竹中工務店	竹中工務店	S	10	-		23664	46		兵庫県	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
321	MNNN - 2231	2007/3/29	JSSI-構評-06019	(仮称)吹上プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM エスバス建築事務所	RC	10	-	181.2	1649.4	30.5	30.9	愛知県名古屋市	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
322	MNNN - 2232	2007/3/29	JSSI-構評-06020	(仮称)矢島様マンション	スターツCAM	スターツCAM エスバス建築事務所	RC	5	-	351.7	1459.9	17.3	17.8	東京都府中市	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
323	MNNN - 2238	2007/3/29		県立新加古川病院	内藤建築事務所	織本構造設計	RC	6	1		29400			兵庫県加古川市	天然ゴム系積層ゴム 増幅機構付粘性ダンパー
324	MNNN - 2241	2007/3/29	HP評-06-011	(仮称)高見地区(2期)分譲住宅(D棟)	三菱地所設計 大成建設	三菱地所設計 大成建設	RC	13	-		12166.0	39.3		愛知県名古屋市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
325	MNNN - 2242	2007/3/29	HP評-06-012	(仮称)高見地区(2期)分譲住宅(E棟)	三菱地所設計 大成建設	三菱地所設計 大成建設	RC	13	-		8347.0	39.4		愛知県名古屋市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
326	MNNN - 2245	2007/3/29	ERI-J06024	プロロジスパーク成田Ⅲプロジェクト	竹中工務店	竹中工務店	柱RC梁S	6	-		82275.37	46.5		千葉県山武市	高減衰ゴム 天然ゴム系積層ゴム
327	MNNN - 2254	2007/3/19	ERI-J06025	四日市市中消防署中央分署・消防活動支援センター	竹下一級建築士事務所	飯島建築事務所	RC	3	-	1015.6	2704.3	14.6	15.2	三重県四日市市	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
328	MNNN - 2260	2007/4/3	BCJ基評-IB0672-01	名古屋大学医学部附属病院外来診療棟	名古屋大学施設管理部 NITフアンリテアーズ		RC	4	-		17268.0	20.8		愛知県名古屋市	
329	MNNN - 2263	2007/3/26	ERI-J06029	(仮称)AMB鶴見ディストリビューションセンター	東亜建設工業	東亜建設工業	SRC	5	-	19735.7	69695.3	36.0	37.8	神奈川県横浜市中区	天然ゴム系積層ゴム アイソレータ 鉛プラグ入り積層ゴムアイソレータ 弾性すべり支承
330	MNNN - 2267	2007/4/3	JSSI-構評-06022	(仮称)西荻谷4丁目計画	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	6	-	424.4	1855.9	17.4	18.4	東京都大田区	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム
331	MNNN - 2268	2007/4/11	JSSI-構評-06023	(仮称)大島様マンション	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	4	-	232.4	822.6	12.7	13.2	神奈川県川崎市	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
332	MNNN - 2276	2007/4/3	ERI-J06028	中外製薬工業(株)宇都宮工場 第3注射剤棟	鹿島A/E	鹿島建設	CFT	7	-		11963			栃木県宇都宮市	高減衰積層ゴム 剛滑り支承
333	MNNN - 2277	2007/4/3		公立学校共済組合 東海中央病院	教育施設・総合設備設計共同体	教育施設研究所	RC	8			3,876	33.0		愛知県各務原市	LRB
334	MNNN - 2280	2007/4/3	BCJ基評-IB0677-01	(仮称)笠井様マンション	新東京建築設計事務所	スターツCAM 日本設計	RC	12	-	394.7	3298.3	38.7	39.3	東京都江戸川区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
335	MNNN - 2283	2007/4/3	BCJ基評-IB0680-01	(仮称)関西ユビキタス	ブランテック総合計画事務所	アルファ構造デザイン事務所	S	9	-		8809.0	41.1		大阪府大阪市	
336	MNNN - 2290	2007/4/26		(仮称)白井駅前マンション計画	熊谷組	熊谷組	RC	10	-		12735.75	29.4		千葉県白石市	高減衰ゴム 弾性すべり支承
337	MNNN - 2292	2007/4/27	BCJ基評-IB0676-01	(仮称)駐日本韓国文化院	日本設計		SRC S	8	1		7902.0	44.3		東京都新宿区	
338	MNNN - 2296	2007/4/26		(仮称)一番町計画(A館:(仮称)真澄寺東京別院、B館:(仮称)一番町オフィスビル)	大成建設	大成建設	S	8	2		7369.92	36.89		東京都千代田区	天然ゴム すべり支承 転がり支承 オイルダンパー
339	MNNN - 2297	2007/4/26	BCJ基評-IB0678-01	(仮称)平塚市明石町21番マンション計画	小田急建設	小田急建設 ピーシー建築技術研究所	RC	17	-	676.0	7856.2	51.9	58.0	神奈川県平塚市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
340	MNNN - 2299	2007/4/26	BCJ基評-IB0679-01	志摩市庁舎	大建設計	大建設計	SRC S	7	-	2319.0	10186.2	26.3	30.8	三重県志摩市	鉛プラグ挿入型積層ゴム 弾性すべり支承
341	MNNN - 2302	2007/4/3		南町28-5地区優良建築物等整備事業(仮称)グラントマンション南町	石本建築事務所	石本建築事務所	RC	16			10314.7	53.7		静岡県静岡市	天然積層ゴム 弾性すべり支承
342	MFNN - 2308	2007/5/31		(仮称)Akebono日本橋本店プロジェクト	ブランテック総合計画事務所	ブランテック総合計画事務所	RC	9			8713.0			東京都中央区	鉛プラグ入り積層ゴム

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積(㎡)					延べ床面積(㎡)
343	MNNN - 2309	2007/5/16		中外製薬工業㈱宇都宮工場 第2倉庫・エネルギー棟	鹿島A/E	鹿島建設	S	2	-		6621			栃木県宇都宮市	高減衰積層ゴム剛滑り支承
344	MNNN - 2312	2007/5/31	JSSI-構評-06025	(仮称)島田様マンション	新東京建築設計事務所	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	290.1	1311.6	14.5	14.7	東京都江戸川区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム
345	MNNN - 2333	2007/6/15	BCJ基評-IB0682-01	多摩広域基幹病院(仮称)及び小児総合医療センター(仮称)	日建設計	日建設計	RC	11	1		129715.0	50.3		東京都府中市	
346	MNNN - 2335	2007/6/15		秋田県厚生農業協同組合連合会 鹿角総合総合病院	久米設計	久米設計	RC	5			20538			秋田県鹿角市	積層ゴム 直動転がり支承
347	MNNN - 2345	2007/6/15	BCJ基評-IB0669-01	広島市南消防署	広島市財政局営繕課	松田平田設計	RC	6	1	536.2	2579.4	23.2	34.7	広島県広島市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
348	MNNN - 2347	2007/6/22	ERI-J07002	岡山市西消防署(仮称)	黒川建築設計事務所	塩見 黒川建築設計事務所	SRC (一部S)	5	-	1163.0	4148.2	21.3	57.0	岡山県岡山市	天然ゴム積層ゴム すべり支承 U型鋼棒ダンパー 鉛ダンパー
349	MNNN - 2348	2007/6/22		中外製薬株式会社 浮間事業所 第2生物実験棟	鹿島A/E	鹿島建設	SRC+S	6	-		9879	33.3		東京都北区	高減衰
350	MNNN - 2353	2007/6/22	JSSI-構評-07001	(仮称)小暮様マンション	スターツCAM	スターツCAM エスパス建築事務所	RC	5	-	281.2	1095.7	15.1	15.5	東京都府中市	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
351	MNNN - 2360	2007/7/3	JSSI-構評-07002	(仮称)須賀様マンション	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	301.8	1142.2	14.4	15.4	千葉県浦安市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム
352	MNNB - 2379	2007/7/24	BCJ基評-IB0681-01	横浜山下町地区B1街区施設建築物	都市再生機構 青山・アプル総合・アプルデザイン設計共同体	MUSA研究所 構造計画研究所	RC SRC S	10	1		23974.0	50.0		神奈川県横浜市	
353	MNNN - 2382	2007/7/3	BCJ基評-IB0688-01	(仮称)足立区梅田八丁目マンション計画B-a棟		INA新建築研究所 エスパス建築事務所	RC	16	1		22304.0	48.6		東京都足立区	
354	MNNN - 2383	2007/7/3	BCJ基評-IB0689-01	(仮称)足立区梅田八丁目マンション計画B-b棟		INA新建築研究所 エスパス建築事務所	RC	18	1		21575.0	54.5		東京都足立区	
355	MNNN - 2396	2007/7/9		土佐中・高等学校	安井建築設計事務所 ・西森建築設計 設計共同体	安井建築設計事務所 ・西森建築設計 設計共同体	RC	5			19274			高知県高知市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
356	MNNN - 2399	2007/7/3	BCJ基評-IB0692-02	(仮称)足立区梅田八丁目マンション計画B-c棟		INA新建築研究所 エスパス建築事務所	RC	15	-		11198.5	45.7		東京都足立区	
357	MNNN - 2400	2007/7/18		銀座7丁目新橋会館(仮称)	山下設計	山下設計	RC	9	1					東京都中央区	鉛プラグ入り積層ゴム
358	MNNN - 2402	2007/7/25	BCJ基評-IB0697-01	(仮称)足立区梅田八丁目マンション計画A-a棟		INA新建築研究所 エスパス建築事務所	RC	7	-		5184.0	21.6		東京都足立区	
359	MNNN - 2403	2007/7/25	BCJ基評-IB0698-01	(仮称)足立区梅田八丁目マンション計画A-b棟		INA新建築研究所 エスパス建築事務所	RC	9	-		6675.0	27.4		東京都足立区	
360	MNNN - 2404	2007/7/25	BCJ基評-IB0699-01	(仮称)足立区梅田八丁目マンション計画A-c棟		INA新建築研究所 エスパス建築事務所	RC	7	-		1836.0	21.6		東京都足立区	
361	MNNN - 2405	2007/7/23	BCJ基評-IB0695-02	グランドステージ川崎大師マンション(建替)	安藤建設		RC	9	-		3179.9	27.8		神奈川県川崎市	
362	MNNN - 2407	2007/7/23	BCJ基評-IB0693-01	北秋田市民病院		日建設計	SRC (一部S)	4	1		24948.0	23.0		秋田県北秋田市	
363	MNNN - 2412	2007/7/31	BCJ基評-IB0696-01	県立多治見病院新西棟(仮称)	共同建築設計事務所 熊谷設計	東京建築研究所	S	8	1	4730.5	26915.3	32.1	35.8	岐阜県多治見市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
364	MNNN - 2414	2007/7/31		いちい信用金庫新本店	日建設計	日建設計	SRC・S・PC	12	-		10,200	51.10		愛知県一宮市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼材ダンパー
365	MNNN - 2415	2007/7/31		(仮称)グローリオ多賀城駅前	INA新建築研究所	INA新建築研究所	RC	18			12281			宮城県多賀城市	積層ゴム 直動転がり支承
366	MNNN - 2416	2007/7/31		(仮称)もち浜計画(病院施設)	医療福祉建築機構	メイ建築研究所 JET構造成計	SRC	11	2		45,044			福岡県福岡市	鉛プラグ入積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承
367	MNNN - 2417	2007/8/7	UHEC評価-構19001	会津中央病院新館	羽深隆雄・構工房設計事務所	機本構造成計	RC	7	1	1743.9	11315.0	24.6	26.2	福島県会津若松市	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承 弾性すべり支承 オイルダンパー
368	MNNN - 2418	2007/8/7	UHEC評価-構19002	(仮称)サーバス稲川	間組	間組	RC	17	-	800.0	9900.8	55.2	61.7	静岡県静岡市	高減衰積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
369	MNNN - 2419	2007/8/7	UHEC評価-構19003	(仮称)東陽3丁目計画	竹中工務店 東京一級建築士事務所	竹中工務店 東京一級建築士事務所	RC	12	-	950.5	8235.0	37.8	40.2	東京都江東区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 摩接系ダンパー 粘性体系ダンパー
370	MNNN - 2420	2007/8/7	JSSI-構評-07004	(仮称)四天王寺駅前プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	7	-	193.6	1245.8	23.5	23.7	大阪府大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム
371	MNNN - 2424	2007/7/23		(仮)祐天寺 書院 保存補強免震改修計画	エースコーポレーション(株)	竹中工務店東京一級建築士事務所	木	1	-		396	4.7		東京都目黒区	直動転がり支承 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
372	MNNN - 2425	2007/8/13	ERI-J07009	(仮)MSC深川ビル2号館	竹中工務店	竹中工務店	柱RC 梁S	6	-		22148.66	31.9		東京都江東区	高減衰積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
373	MNNN - 2427	2007/8/13		三菱倉庫株式会社(仮称)飛鳥配送センター	鹿島建設	鹿島建設	RC	4						愛知県海部郡	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
374	MNNN - 2430	2007/8/13	BCJ基評-IB0691-01	中央合同庁舎1号館北別館(耐震改修)		国土交通省大臣官房官庁営繕部 久米設計	SRC	8	1		14139.0	31.7		東京都千代田区	
375	MNNN - 2431	2007/8/20		西部医療センター中央病院(仮称)	日建設計	日建設計	S	8	1		42590	36.39		愛知県名古屋市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 転がり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
376	MFNN - 2465	2007/9/28	GBRC建評-07-0228-003	株式会社奥村組名古屋支店	奥村組	奥村組	S (CFT柱)	6	1		2379	23.2		愛知県名古屋市	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
377	MNNN - 2469	2007/9/27	ERI-J07014	(仮称)上池台石井レジデンス	デベロッパデザイ	MUSA研究所 構造計画研究所	RC	9	-	480.1	1887.2	29.3	29.8	東京都大田区	高減衰積層ゴム
378	MNNN - 2472	2007/9/6	BCJ基評-IB0709-01	兵庫県新庁舎	梓設計	梓設計	RC (一部PC)	5	-	1410.9	6690.32	24.6	25.6	兵庫県 兵庫県 兵庫県	鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
379	MNNN - 2475	2007/9/27	BCJ基評-IB0708-01	(仮称)ファンケルホームライフビル	大林組	大林組	S RC	9	1		4757.9	40.0		神奈川県横浜市	
380	MNNN - 2489	2007/10/4	ERI-J07015	東京都医学系総合研究所(仮称)	伊藤喜三郎建築研究所	伊藤喜三郎建築研究所	PCaPC	5	-	5518.2	19981.7	23.8	24.4	東京都世田谷区	天然ゴム積層ゴム すべり支承 鋼製ダンパー(U型ダンパー) オイルダンパー
381	MNNN - 2512	2007/9/20		(仮称)白井駅前マンション計画	熊谷組	熊谷組	RC	10			12735.75	29.4		千葉県白井市	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
382	MNNN - 2540	2007/11/12	JSSI-構評-07008	(仮称)節直ビル	新東京建築設計事務所	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	4	-	175.4	535.1	12.7	14.5	東京都江東区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件 名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ (m)	建設地 (市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)					延べ床面積 (㎡)
383	MNNN - 2545	2007/11/16		(仮称)ミオカステール熱海銀座町	イナバ設計	構造計画研究所	RC	19	1					静岡県熱海市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
384	MNNN - 2560	2007/11/12	BCJ基評-IB0711-01	ニューシティ横浜ロジスティクスパークA棟	鹿島建設	鹿島建設	PCaPC RC	7	-	19019.0	132361.0	47.7	53.1	神奈川県横浜市	高減衰系積層ゴム
385	MNNB - 2563	2007/11/19	ERI-J7004-02	立川市庁舎	野沢正光・山下設計 設計共同体		PCPCa	4	1		26019.3	18.91		東京都立川市	天然ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 剛すべり支承
386	MNNN - 2564	2007/11/5	JSSI-構評-07007	(仮称)舎人5丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	11	-	496.4	3549.9	35.7	36.4	東京都足立区	鉛プラグ入り積層ゴム
387	MNNN - 2568	2007/11/12	ERI-J07019	松坂警察署	山下設計	山下設計	RC (PS)	4			4850	17.5		三重県松阪市	天然ゴム系積層ゴム 鋼材ダンパー-体型積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
388	MNNN - 2581	2007/12/3	BCJ基評-IB0710-01	福岡大学病院新診療棟 (仮称)	日本設計		RC	7	1		26224.7	31.8		福岡県福岡市	
389	MNNN - 2611	2007/12/11	UHEC評価-構19008	シティコーポ小坂(仮称) 南棟	松村・浦野特別共同企業体	松村・浦野特別共同企業体 ダイナミックデザイン	RC(一部SRC)	10	-	902.1	7115.4	30.5	31.0	愛知県名古屋	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付きすべり支承
390	MNNN - 2613	2007/12/11	JSSI-構評-07009	(仮称)小崎榎葉輪町3丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 船勢建築構造研究所	RC	3	-	644.5	1496.1	8.7	9.2	神奈川県横浜市	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
391	MNNN - 2623	2007/12/17	ERI-J07023	(仮称)ベルギー大使館建替計画(大使館棟)	竹中工務店	竹中工務店	SRC	8	2		7509.6	45.21		東京都千代田区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
392	MNNN - 2631	2007/12/26	BCJ基評-IB0715-01	砂川市立病院	大建設計 織本構造設計		SRC S	7	-	8991.3	34865.1	37.4	37.4	北海道砂川市	鉛プラグ入り積層ゴム 転がりローラー支承 減衰こま
393	MNNN - 2632	2007/12/26	BCJ基評-IB0714-01	小林市立市民病院	内藤建築事務所	内藤建築事務所 織本構造設計	RC	5	-	4246.3	10715.6	22.5	27.5	宮城県小山市	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承 転がりローラー支承
394	MNNN - 2633	2007/12/26		姫路警察署庁舎棟	日本設計	日本設計	RC	7	1		8818	33.55		兵庫県姫路市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
395	MNNN - 2646	2008/1/11		(仮称)ピ・ウェル北本町3丁目	和建設	和建設	RC	14			7557			高知県高知市	高減衰積層ゴム
396	MNNN - 2659	2008/1/11	BCJ基評-IB0720-01	京都大学積貞棟(病棟)	日本設計	日本設計	RC	8	1		20379.3	30.9		京都府京都市	
397	MNNN - 2662	2007/10/19	BCJ基評-IB0718-01	会津オリナス	戸田建設	戸田建設	S CFT	5	-	5969.3	22598.0	30.0	30.7	福島県会津若松市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 剛すべり支承 オイルダンパー
398	MNNN - 2671	2007/12/21	BCJ基評-IB0713-01	中央労働会庫本店	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	S	9	1		5847	37.53		東京都千代田区	鉛プラグ入り積層ゴム 直動転がり支承 オイルダンパー
399	MNNN - 2681	2008/1/24		三重大学医学部附属病院病棟・診療棟	岡田新一設計事務所・ORS	岡田新一設計事務所・ORS	SRC	12			41528				積層ゴム 直動転がり支承
400	MNNN - 2694	2008/1/24	ERI-J07028	(仮称)アルファステイツ橋	現代建築計画事務所	構造計画研究所	RC	15	-	325.6	3993.2	43.8	44.8	高知県高知市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
401	MNNN - 2695	2008/1/24	ERI-J07025	(仮称)アルファステイツ新屋敷	伸建築工房	構造計画研究所	RC	12	-	379.0	3127.8	36.5	40.0	高知県高知市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
402	MNNN - 2696	2008/1/24	ERI-J07027	株豊田自動機械グローバル研修センター計画	竹中工務店	竹中工務店	S RC	7	-	4510.7	13472.1	28.5	29.5	愛知県豊田市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
403	MNNN - 2702	2008/1/24	BCJ基評-IB0712-01	(仮称)神戸市東灘区本庄町1丁目マンション	浅井謙建築研究所	三井住友建設	RC	7	-		5662.9	21.9		兵庫県神戸市	
404	MFNN - 2711	2007/12/26	BCJ基評-IB0719-01	青梅市新庁舎	佐藤総合計画	佐藤総合計画	RC SRC (一部S CFT)	7	1	4896.6	22097.8	29.5	29.5	東京都青梅市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承 転がり系支承 U型鋼棒ダンパー
405	MNNB - 2712	2008/2/8	BCJ基評-IB0684-02	(仮称)スカパー東京メディアセンター計画	竹中工務店	竹中工務店	S RC	6	1	3939.6	17579.9	30.6	34.5	東京都江東区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
406	MNNN - 2725	2008/1/31		(仮称)ブルデンシャル生命保険ドライデンカスタマーセンター新館	大林組	大林組	S	2			3046			宮城県仙台市	積層ゴム 球体転がり支承
407	MNNN - 2744	2008/2/4	UHEC評価-構19019	医療法人 里仁会 興生総合病院移転新築計画	フジタ	フジタ 高環境エンジニアリング	RC	8	1	3569.4	23239.9	32.6	40.9	広島県三原市	鉛入り積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 すべり系支承 流体系ダンパー
408	MNNN - 2746	2008/2/4		クラヤ三星堂 神奈川IALC(仮称)	大成建設㈱	大成建設㈱	S	3	-						
409	MNNN - 2748	2008/2/4	ERI-J07033	システムプラザ磯子3号館	鹿島建設	鹿島建設	PCaPC+ S	7	-		10754.0	30.32		神奈川県横浜市	高減衰積層ゴム
410	MNNN - 2757	2008/2/5	JSSI-構評-07011	(仮称)南塚崎町2丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 船勢建築構造研究所	RC	6	-	388.9	1701.6	18.5	19.0	東京都江戸川区	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
411	MNNN - 2758	2008/2/5	JSSI-構評-07013	(仮称)恵田番幸様ビル	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	7	-	406.4	2055.4	21.3	23.1	千葉県流山市	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
412	MNNN - 2759	2008/2/5	UHEC評価-構19020	コルセ・カレ日向	安藤建設	五洋建設	RC	14	-	775.5	8288.4	43.8	44.6	宮城県日向市	高減衰積層ゴム支承 弾性すべり支承
413	MNNN - 2760	2008/2/5	BCJ基評-IB0726-01	内閣本府 A棟		国土交通省大臣官庁官庁営繕部 日本設計	RC	6	1		18384.5	23.8		東京都千代田区	
414	MNNN - 2767	2008/2/5		(仮称)総合あんしんセンター		梓設計	RC	5	-		約12,200			高知県高知市	すべり支承
415	MNNN - 2774	2008/2/13	ERI-J07035	(仮称)大分・金池マンション	新生設計	構造計画研究所	RC	14	-	271.5	2394.0	39.0	40.0	大分県大分市	高減衰積層ゴム
416	MNNN - 2783	2008/1/29	BCJ基評-IB0582-02	有明の丘基幹的広域防災拠点施設(防災拠点有明の丘地区本部施設棟(仮称))	日建設計	日建設計	RC (一部S)	2	-	6110.3	9411.7	11.0	73.3	東京都江東区	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承 鋼製U型ダンパー 鉛ダンパー
417	MNNN - 2792	2008/2/15	ERI-J07038	(仮称)長岡市消防本部・消防署合同庁舎建設計画	松田平田設計	松田平田設計	RC	4	-		7377.9	17.554		新潟県長岡市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
418	MFNN - 2800	2008/3/12	BCJ基評-IB0721-02	和歌山工業高校新館		松田平田設計 構造計画研究所	RC	6	-		9523.3	28.9		和歌山県和歌山市	
419	MNNN - 2821	2008/2/29	ERI-J07041	犬山市役所庁舎	久米設計	久米設計	SRC	7	1	2448.8	9754	27.9	32.8	愛知県犬山市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承 U型鋼材ダンパー
420	MNNN - 2830	2008/3/5		湘南鎌倉総合病院	新都設計	熊谷組 構造計画研究所	RC	15	1		57948			神奈川県鎌倉市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
421	MNNN - 2835	2008/3/3	ERI-J07040	ラフォーネ上田	窪田建設	構造計画研究所	RC	12	-	413.8	3942.9	35.5	36.0	長野県上田市	鉛プラグ挿入型積層ゴム

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件 名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材
							構造	階	地下	建築面積(m ²)	延べ床面積(m ²)			
422	MNNF - 2841	2008/3/27	BOJ基評-IB-0741-01	つくば市新庁舎	山下設計	山下設計	PCa PC	7	-		21434	32.2	茨城県 つくば市	天然ゴム・鋼材ダンパー・LRB
423	MNNN - 2847	2008/3/11	JSSI-構評-07014	(仮称)船橋市本町7丁目PJ	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	5	-	256.2	1127.8	15.5	千葉県 船橋市	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
424	MNNN - 2849	2008/3/11	BOJ基評-IB0740-01	熊本大学医学部附属病院病棟	日本設計	日本設計	SRC	13	1		45045.3	56.7	熊本県 熊本市	
425	MNNN - 2855	2008/2/13	UHEC評価-構19015	(仮称)仙台中央第一生命ビルディング	竹中工務店	竹中工務店	RC・SRC	7	1		6902.56	27.265	宮城県 仙台市	高減衰ゴム すべり支承
426	MNNN - 2860	2008/3/31		(仮称)新端橋マンション 西棟	鹿島建設	鹿島建設	RC	14	0		13,897	42.86	愛知県 名古屋	HDR 弾性すべり
427	MNNN - 2860	2008/3/31		(仮称)新端橋マンション 東棟	鹿島建設	鹿島建設	RC	14	0		7,868	42.86	愛知県 名古屋	HDR 弾性すべり
428	MNNN - 2862	2008/3/31		知多厚生病院診療棟	日本設計	日本設計								
429	MNNN - 2867	2008/3/31	K-0811-8	(仮称)研修・食堂棟	日建設計	日建設計	S	8	-		13565	39.7	静岡県 静岡市	天然ゴム系・鉛ダンパー
430	MNNN - 2871	2008/3/31		(仮称)モントレー福岡空港駅寄館	おおたに設計		RC	14			27,000		福岡県 糟屋郡	RB SLR
431	MNNN - 2886	2008/3/31		長谷川香料総合研究棟	大成建設	大成建設	RC	6	1		9234.65	29.7	神奈川県 川崎市	天然ゴム すべり支承
432	MNNN - 2887	2008/3/31	JSSI-構評-07015	(仮称)篠崎高齢者賃貸住宅	新東京建築設計事務所	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	657.7	2806.6	15.9	東京都 江戸川区	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ入積層ゴム
433	MNNN - 2912	2008/4/23	UHEC評価-構19024 変1	独立行政法人理化学研究所／(仮称)次世代スーパーコンピュータ施設計算機・研究棟計算機ゾーン・熱源機械棟・特高施設	日建設計	日建設計	S	6	1		19,502	28.05	兵庫県 神戸市	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
434	MNNN - 2941	2008/5/7	BOJ基評-IB0743-01	(仮称)白山京建替計画	清水建設	清水建設	RC	3	1	810.2	2847.0	9.1	東京都 文京区	高減衰系積層ゴム
435	MNNN - 2943	2008/5/7	UHEC評価-構19029	在日フランス大使館新事務所構計画	竹中工務店	竹中工務店	S	4	1		8,130	17.85	東京都 港区	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
436	MNNN - 2948	2008/5/15		(仮称)宮崎市神宮東一丁目マンション	塩見設計	塩見設計	RC	19	-		13025.08	57.51	宮崎県 宮崎市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承 天然ゴム オイルダンパー
437	MNNN - 2973	2008/5/22	ERI-J07051	NTN新鋭名研究開発センター(仮称)：(研究本館)	大林組	大林組	S	6	-		10400	28.565	三重県 桑名市	鉛プラグ挿入型積層ゴム 直動転がり支承 弾性すべり支承 鋼製U型ダンパー
438	MNNN - 2976	2008/5/22	JSSI-構評-07017	(仮称)用賀1丁目計画	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	3	-	413.8	1042.5	9.4	東京都 世田谷区	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
439	MNNN - 2980	2008/5/22	UHEC評価-構19030	(仮称)LCVデータセンター棟	日建設計	日建設計	SRC	3	-	428.4	1223.2	13.6	長野県 諏訪市	天然ゴム系積層ゴム 低摩擦弾性すべり支承 鉛ダンパー
440	MNNN - 2993	2008/5/22	ERI-J08003	(仮称)サーバス盛高	穴吹工務店 テクトウケー 免震エンジニアリング	穴吹工務店 テクトウケー 免震エンジニアリング	RC	14	-	555.7	6083.2	42.6	岩手県 盛岡市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承
441	MNNN - 3000	2008/5/22	ERI-J08002	品川区総合庁舎	山下設計	山下設計	SRC	8	2	5295.7	31022.3	29.9	東京都 品川区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承
442	MNNN - 3002	2008/5/22	UHEC評価-構19028	安曇野赤十字病院	日建設計 宮本忠長建築設計事務所	日建設計	RC	6	-	5802.1	21658.1	26.7	長野県 安曇野市	天然ゴム系積層ゴム 免震レギュレーター すべり支承
443	MNNN - 3003	2008/5/22		福岡大学病院診療棟(仮称)	日本設計	日本設計	SRC	7			26,224	31.0	福岡県 福岡市	天然ゴム系積層ゴム 他
444	MNNN - 3008	2008/6/2	BOJ基評-IB0745-01	K氏邸	旭化成ホームズ	旭化成ホームズ えびす建築研究所	RC	3	-	75.9	150.3	9.0	東京都 杉並区	剛すべり支承 天然ゴム系積層ゴム
445	MNNN - 3009	2008/6/2	BOJ基評-IB0746-01	(仮称)ディスコ長野事業所第1期	大林組	大林組	S	6	0		20,293	28.00	長野県 茅野市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
446	MNNN - 3015	2008/6/2	ERI-J08004	(仮称)鶴間E棟	朝日建設	酒井建築工学研究室	RC	11	-	407.1	2195.3	32.5	神奈川県 大和市	高減衰積層ゴム
447	MNNN - 3040	2008/6/2	GBRC建評-08-022B-004-01B	関西医科大学香里病院	日本設計	竹中工務店	RC	8	1		15,136	36.72	大阪府 寝屋川市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
448	MNNN - 3052	2008/6/9	BOJ基評-IB0752-01	(仮称)ディスコ泉畑工場新A棟	大林組	大林組	SRC	8	-		63846.86	44.95	広島県 呉市	天然積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム ディスクダンパー
449	MNNN - 3054	2008/6/16	JSSI-構評-08001	(仮称)船堀4丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	5	-	323.8	1244.4	14.9	東京都 江戸川区	鉛入り積層ゴム 回転機構付きすべり支承
450	MNNN - 3080	2008/6/20	ERI-J08013	(仮称)茨木EWビル計画	奥村組	奥村組	S	4	-	284.1	1132.3	16.0	大阪府 茨木市	回転機構付きすべり支承 復元ゴム
451	MNNB - 3108	2008/7/25		大門中央通り地区市街地再開発ビル新築工事	コンテンポラリーズ	A.S.Associates	RC	5	1		11,890		長野県 塩尻市	高減衰ゴム オイルダンパー
452	MNNN - 3109	2008/7/9	ERI-J08010	(仮称)石神井計画	Add設計工房	塩見	RC	10	-	291.9	1817.7	33.8	東京都 練馬区	鉛プラグ挿入型積層ゴム
453	MNNN - 3111	2008/7/9	JSSI-構評-08003	(仮称)遠田様免震マンション	スターツCAM	スターツCAM エスバス建築事務所	RC	8	-	574.6	2795.4	24.2	埼玉県 八潮市	鉛入り積層ゴム 回転機構付きすべり支承
454	MNNN - 3133	2008/6/16	BOJ基評-IB0637-02	東京女子医科大学 第一病棟	日建設計 現代建築研究所	織本構造設計	RC	9	3	1778.5	20488.0	40.5	東京都 新宿区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
455	MNNN - 3135	2008/6/16	ERI-J07001	慶應義塾大学(日吉)第4校舎綱島街道側	鹿島建設	鹿島建設	S	6	1	4,870	18,400	30.89	神奈川県 横浜	積層ゴム 弾性すべり オイルダンパー
456	MNNN - 3136	2008/7/9		小千谷小学校		細貝建築事務所	RC	3	-		13,752.12		新潟県 小千谷市	高減衰積層ゴム
457	MNNN - 3137	2008/7/9	GBRC建評-08-22B-002	(仮称)彩都E-117街区集合住宅	竹中工務店大阪 一級建築士事務所	竹中工務店大阪 一級建築士事務所	RC	14	1		14398.3	38.0	大阪府 茨木市	高減衰ゴム
458	MNNN - 3142	2008/7/9	ERI-J08007	(仮称)ナイス川崎南幸町	協立建築設計事務所	協立建築設計事務所 塩見	RC	13	-	346.7	3400.0	38.5	神奈川県 川崎市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承
459	MNNN - 3150	2008/7/25		(仮称)岐阜市民病院新棟	山下設計・岐創設計JV	山下設計	S	11	-		22,685	49.5	岐阜県 岐阜市	鉛プラグ入積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承 増幅機構付粘性ダンパー
460	MNNN - 3159	2008/6/30	UHEC評価-構19025	会津中央病院	羽深隆雄・柁工務設計事務所	織本構造設計	RC	8	1		9,066	27.38	福島県 会津若松市	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件 名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ (m)	建設地 (市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)					延べ床面積 (㎡)
461	MNNN - 3160	2008/7/25		(仮称)ゼスタ浄水Ⅱ		野口建設	RC	21	-	1,604.1	9,302			愛知県 豊田市	高減衰積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
462	MNNN - 3167	2008/7		北海道新聞社 函館新工場		山下設計	S	3	1		5,889			北海道 函館市	すべり支承
463	MNNN - 3177	2008/6/11	ERI-J08014	四万十市新庁舎	大建設計	大建設計	RC	7	1		9,858	35.97		高知県 四万十市	鉛プラグ入り積層ゴム 直動転がり支承
464	MNNN - 3188	2008/8/6	JSSI-構評-08005	(仮称)エリタージュⅡ	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	7	-	108.5	691.2	20.02	22.565	千葉県 松戸市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
465	MNNN - 3196	2008/8/6	ERI-J08012	(仮称)榎木町マンションプロジェクト	矢作建設工業	矢作建設工業	RC	15	1		4517.15	42.25		愛知県 名古屋市中 区	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
466	MNNN - 3212	2008/8/6		株式会社東芝 電力システム社 横浜事業所320号棟		鹿島建設	S	6	-	4,624	22,125.06			神奈川県 横浜市	高減衰積層ゴム
467	MNNN - 3235	2008/8		マブチモーター株式会社独身寮新築計画	大成建設	大成建設	RC	4	0		1,858	11.50		千葉県 松戸市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
468	MNNN - 3277	2008/8/21	ERI-J08027	リサイクル燃料備蓄センター(第一棟)新築工事の内事務建屋	東電設計	東電設計 小堀輝二研究所 酒井建築工学研究室	S	2	0		1,846	8.7		青森県 むつ市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
469	MNNN - 3301	2008/8/26	ERI-J08026	SF高島台免震マンション	OKI建築事務所	イケ建築事務所	RC	4	-	114.9	384.6	12.8	13.3	神奈川県 横浜市	弾性すべり支承 天然積層ゴム
470	MNNN - 3316	2008/8/26	BCJ基評-IB0765-01	(仮称)KK免震重要棟	東電設計	東電設計 小堀輝二研究所 鹿島建設	SRC (一部S)	3	0		3,970	11.81		新潟県 柏崎市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
471	MNNN - 3328	2008/8/26		創価学会SGI国際文化センター	日建設計	日建設計	SRC一部S	3	1		5,524	14.55		東京都 新宿区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼材ダンパー 鉛ダンパー
472	MNNN - 3331	2008/8/26	K-0811-3	市役所新庁舎	日建設計	日建設計	SRC	10	-		28,036	38.90		愛知県 刈谷市	天然ゴム系積層ゴム 転がり支承 鉛ダンパー鋼材ダンパー
473	MNNN - 3336	2008/8/21		(仮称)新台東病院等	日総建	日総建	RC	8	1	2,636	17,328	32.9	37.9	東京都 台東区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
474	MNNN - 3377	2008/9/18	GBRC建評-08-022C-001	岸和田市消防本部庁舎	松田平田設計	松田平田設計	RC	4	0		3,855	14.40		大阪府 岸和田市	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 鉛ダンパー 鋼製ダンパー
475	MNNN - 3420	2008/9/18		富山大学付属病院病棟	教育施設研究所	教育施設研究所	SRC	7	-		13,250			富山県 富山市	LRB 天然ゴム系積層ゴム すべり支承
476	MNNN - 3431	2007/8/26	JSSI-構評-07011-1	(仮称)南篠崎町2丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築設計事務所	RC	6	0		1,702	18.46		東京都 江戸川区	鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
477	MNNN - 3432	2008/9/24	JSSI-構評-08006	(仮称)青木様菊名3丁目計画	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	5	-	520.7	2337.0	14.5	14.945	神奈川県 横浜市	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
478	MNNN - 3447	2008/9/24	JSSI-構評-08008	(仮称)樋口様大船2丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	7	-	330.6	1718.02	22.87	22.98	神奈川県 鎌倉市	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
479	MNNN - 3448	2008/9/24	JSSI-構評-08007	(仮称)小泉様箕輪町3丁目計画	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	3	-	354.3	905.9	9.18	9.425	神奈川県 横浜市	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
480	MNNN - 3481	2008/10/20	JSSI-構評-08009	(仮称)岩橋様邸	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	2	-	307.8	438.6	9.56	9.65	東京都 江戸川区	積層ゴム復元材 回転機構付すべり支承
481	MNNN - 3491	2008/10/30		日立神田ビル	アム・ザイン 日立建設設計		S	11	1		4,530			東京都 千代田区	鉛プラグ入積層ゴム
482	MNNN - 3493	2008/10/30	BVJ-BA08-001	三豊総合病院	佐藤総合計画	佐藤総合計画	RC	8	1		45,244	31.30		香川県 観音寺市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鋼製ダンパー
483	MNNN - 3500	2008/10/31	UHEC評価-構20020	(仮称)内神田3丁目プロジェクト	芦原太郎建築事務所	芦原太郎建築事務所 織本構造設計	RC	11	-	89.0	779.6	33.4	36.9	東京都 千代田区	高減衰ゴム系積層ゴム支承 転がり支承
484	MNNN - 3501	2008/10/31	UHEC評価-構20019	(仮称)九段北4丁目プロジェクト	芦原太郎建築事務所	織本構造設計	RC	6	1	610.0	3949.7	20.7	24.4	東京都 千代田区	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム支承
485	MNNN - 3507	2008/10/31	K-0811-5	名古屋港管理組合本庁舎等整備事業本庁舎・港湾会館	日建設計	日建設計	S(CFT)/RC/SRC	12	-		16329	50.0		愛知県 名古屋市中 区	鉛プラグ入り・天然ゴム系・ オイルダンパー・鉛ダンパー
486	MNNN - 3508	2008/10/31	JSSI-構評-08010	(仮称)吉富北栄プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 日本システム設計	RC	5	-	406.2	1837.16	15.023	15.518	千葉県 浦安市	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
487	MNNN - 3509	2008/10/31	JSSI-構評-08011	(仮称)綱島プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 伸構造事務所	RC	7	-	158.4	850.9	19.75	20.765	神奈川県 横浜市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 回転機構付すべり支承
488	MNNN - 3524	2008/10/31	ERI-J08035	JSR森力山地区新社宅	竹中工務店	竹中工務店	RC	8	-		5673.2	26.885		三重県 四日市市	鉛入り積層ゴム
489	MNNB - 3526	2008/11/17	ERI-J08020	(仮称)八戸市中心市街地地域観光交流施設	針生承一建築研究所・アトリエノルド・アトリエエタク設計共同 星野建築構造設計事務所		SRC	5	1	1552.0	7506.0	29.1	32.6	青森県 八戸市	天然積層ゴム 鋼製U型ダンパー
490	MNNN - 3558	2008/11/13	ERI-J08037	(仮称)株式会社ブリヂストン グローバル・モノづくり研修センター	松田平田設計	松田平田設計	RC	6	-	2510.9	14590.1	32.1	33.6	東京都 小平市	高減衰系積層ゴム支承
491	MNNN - 3563	2008/11/13	ERI-J08038	(仮称)Dプロジェクト高島平 物流センター	大和ハウス工業	高環境エンジニアリング	SRC	6	-	5276.7	31536.0	41.0	41.8	東京都 板橋区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 低摩擦弾性すべり支承
492	MNNN - 3563	2008/11/13	ERI-J08038	(仮称)Dプロジェクト高島平 物流センター	大和ハウス工業	大和ハウス工業	高強度PC	6	-		31536.04	41.0		東京都 板橋区	天然ゴム・鉛入り積層ゴム 低摩擦弾性すべり支承
493	MNNN - 3564	2008/10/30	JSSI-構評-08003	(仮称)遠田様免震マンション	スターツCAM	スターツCAM エスバス建築事務所	RC	8	0		2,795	24.22		埼玉県 八潮市	鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
494	MNNN - 3565	2008/11/20	JSSI-構評-08012	(仮称)植村様マンション	スターツCAM	スターツCAM ジェーエスディー	RC	6	-	540.1	2576.53	17.46	18.005	東京都 江戸川区	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
495	MNNN - 3566	2008/11/20	JSSI-構評-08014	(仮称)瑞江地区画整理プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	3	-	338.8	875.57	9.69	9.97	東京都 江戸川区	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
496	MNNN - 3579	2008/10/31	GBRC建評-07-022B-004-01B (変4)	(仮称)本町1丁目ビル	竹中工務店	竹中工務店	耐震壁+S	14	1		10248.3	59.2		大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム 免震U型ダンパー オイルダンパー
497	MNNN - 3594	2008/11		(仮称)一番町計画(A館:(仮称)真澄寺 東京別院)	大成建設	大成建設	S	8	2		7,370	36.89		東京都 千代田区	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 転がり支承 オイルダンパー
498	MNNN - 3600	2008/11/28	JSSI-構評-08013	(仮称)山田様マンション	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	12	-	292.2	3204.15	37.993	37.993	愛知県 名古屋市中 区	鉛プラグ入り積層ゴム・ 回転機構付すべり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件 名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積(m ²)					延べ床面積(m ²)
499	MNNN - 3611	2008/11/17		(仮称)宮崎市神宮東一丁目マンション	塩見設計	塩見設計	RC	19			13,025	57.51		宮崎県宮崎市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
500	MNNN - 3626	2008/12/5	ERI-J08047-01	(仮称)ジャパンゴアテックス㈱ 津工場	フジ総合企画設計・戸田建設	戸田建設	RC	6	-	2132.68	10018.38	27.8	31.7	三重県津市	積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
501	MNNN - 3628	2008/12/5		徳島県立中央病院			RC	9	-		約36,500			徳島県徳島市	オイルダンパー他
502	MNNN - 3649	2008/12/18	GBRC建評-08-022B-010	三井倉庫株式会社(仮称)茨木レコードセンター	清水建設	清水建設	RCSS	6	-		19,213	30.1		大阪府茨木市	高減衰・鉛プラグ入り天然ゴム オイルダンパー
503	MNNN - 3668	2008/12/22	JSSI-構評-08015	(仮称)東葛西8丁目須賀様ビル	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	7	-	219.3	1271.06	20.77	21.32	東京都江戸川区	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
504	MNNN - 3708	2009/2/5	ERI-J08052	(仮称)ラフィネ松本本店	峯生庵	構造フォルム	RC	14	-	682.1	7572.2	41.3	42.0	長野県松本市	高減衰積層ゴム
505	MNNN - 3709	2009/2/5		(仮称)三菱電機㈱中津川製作所 飯田PV第2工場	三菱地所設計(飯島設計)	三菱地所設計(飯島設計)	RC	4	-		23,970	29.0		長野県飯田市	積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
506	MNNN - 3722	2009/1/7	ERI-J08036-01	(仮)芝大門ビル	野村不動産 戸田建設	野村不動産 戸田建設	S	11	2	1347.1	16315.6	46.7	54.6	東京都港区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
507	MNNN - 3728	2009/2/5	GBRC建評-08-022B-011	(仮称)大阪中崎町計画	三菱地所設計	竹中工務店	RC.S	13	0		10,293	41.9		大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
508	MNNN - 3736	2009/2/10	JSSI-構評-08017	(仮称)上祖師谷1丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 伸構造事務所	RC	4	-	289.3	997.2	11.69	12.33	東京都世田谷区	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
509	MNNN - 3737	2009/2/10	JSSI-構評-08019	(仮称)国領町5丁目杉崎様マンション	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	337.4	1184.1	14.4	14.895	東京都調布市	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
510	MNNN - 3741	2009/1/20		石橋金属興業草加工増再構築(1期)新A棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	4	-		6,003	18.9		埼玉県草加市	LRB 天然ゴム系積層ゴム
511	MNNN - 3744	2009/2/10	ERI-J08054	相模原キャンパス一般教育部新棟	日成建築設計事務所	鹿島建設	RC	7	-	2271.4	13437.7	31.8	32.9	神奈川県相模原市	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
512	MNNN - 3745	2009/2/10		(仮称)御殿山プロジェクトAブロック	日建設計 大成建設	大成建設	RC	9	1		63,935	37.5		東京都品川区	鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承
513	MNNN - 3763	2009/2/12	ERI-J08053	島根大学医学部附属病院病棟	岡田新一設計事務所	織本構造設計	RC.S	9	0		17,366	35.40		島根県出雲市	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承 減衰こま
514	MNNN - 3764	2009/2/17	JSSI-構評-08018	(仮称)石神井台3丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ジェーエスディー	RC	5	-	614.5	2095.9	14.85	15.095	東京都練馬区	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
515	MNNN - 3776	2008/11/21	BCJ基評-IB077601	いの町立国民健康保険 仁淀病院	東畑建築事務所	東畑建築事務所	S	3	1		6,045	16.30		高知県香川郡	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 転がりすべり支承 粘性ダンパー
516	MNNN - 3784	2009/2/23		(仮称)全日空観町計画	大成建設	大成建設	SRC	8	1		45,421			神奈川県川崎市	LRB
517	MNNN - 3797	2009/2/23		(仮称)御殿山Cブロック	大成建設	大成建設	地下SRC造、地上S造	6	2		20,000	37.0		東京都品川区	積層ゴム支承 弾性すべり支承
518	MNNN - 3800	2009/2/23	ERI-J08063	(仮称)深沢マンション	生和建設	酒井建築工学研究室	RC	10	-	132.8	1132.9	31.7	36.2	東京都品川区	高減衰積層ゴム
519	MNNN - 3801	2009/2/23		(仮称)NTT新高津ビル	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	RC	9			10,736	47.7		大阪府大阪市	積層ゴム 直動転がり支承
520	MNNN - 3827	2009/3/2		大塚製薬 徳島第十研究所		鹿島建設	SRC	5		2,462.41	10,337.65			徳島県徳島市	高減衰積層ゴム すべり支承
521	MNNN - 3833	2009/3/2	ERI-J08058	JA尾道総合病院	大旗連合建築設計	大旗連合建築設計	RC	8	-	9502.2	36718.8	39.1	42.1	広島県尾道市	高減衰積層ゴム
522	MNNN - 3835	2009/3/2	JSSI-構評-08020	(仮称)関口様高田駅前プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	6	-		1,483	18.9		神奈川県横浜市中区	鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
523	MNNN - 3852	2009/3	GBRC建評-08-022B-012	福岡赤十字病院	日建設計	日建設計	S	8	0		6,243	32.8		福岡県福岡市	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
524	MNNN - 3856	2009/3/9		(仮称)プレミスト稲川		アーキプラン一級建築事務所	RC	17			6,433			静岡県静岡市	OD NRB LD SD
525	MNNN - 3868	2009/3/9	JSSI-構評-08022	(仮称)松原様東品川二丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	10	0		1,503	31.1		東京都品川区	鉛プラグ入り積層ゴム
526	MNNN - 3872	2009/3/9	UHEC構評-横20034	足利赤十字病院	日建設計	日建設計	RC	9(病棟) 4(中央診療・外来棟)	-		13,707	41.2		栃木県足利市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
527	MNNN - 3894	2009/3/24	BCJ基評-IB0785-01	桃北陸銀行アルプスビルバックアップセンター	日建設計	日建設計	SRC RC	6	-	2050.0	10207.0	29.6	37.6	富山県富山市	鉛プラグ入り積層ゴム
528	MNNN - 3940	2009/5/7	JSSI-構評-08023	(仮称)中野様マンション	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	8	0		1,884	24.0		千葉県我孫子市	鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
529	MNNN - 3960	2009/5/15	ERI-J08067	株式会社潤工社KOC第2期	フジ総合企画設計	エス・エー・アイ構造設計事務所	RC	7	-	-	-	32.0	32.7	茨城県笠間市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
530	MNNN - 3961	2009/5/7	ERI-J08060	浜松市医師会館	竹下一級建築士事務所	飯島建築事務所	S SRC	7	1	923.7	5987.8	35.8	36.6	静岡県浜松市	高減衰ゴム系積層ゴム支承
531	MNNN - 3980	2009/5/7		(仮称)F1免震重要棟	東電設計 鹿島建設	東電設計 鹿島建設	SRC	2	0		3,671	12.0		福島県双葉郡	鉛入積層ゴム 天然系積層ゴム 剛すべり支承 オイルダンパー
532	MNNN - 3984	2009/4/9	ERI-J08057-01	(仮称)国際医療福祉大学三田病院	安井建築設計事務所	安井建築設計事務所	RC	11	2	3327.2	36728.4	46.9	53.2	東京都港区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
533	MNNN - 4027	2009/5/14	JSSI-構評-08026	シャリエ三島本町	東レ建設	東レ建設	RC	14	-		4,832			静岡県三島市	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 回転機構付すべり支承(BSL)
534	MNNN - 4050	2009/5/7		(仮称)虎ノ門一丁目計画	日建設計	日建設計	S	12	2		10,155	54.00		東京都港区	鉛プラグ入り積層ゴム 鉛ダンパー
535	MNNN - 4063	2009/5/15		(仮称)浜岡事務本館免震棟	中部電力 鹿島・中電不動産共同企業体	中部電力 鹿島・中電不動産共同企業体	SRC	4	-	1,587.75	6,134.53	19.25	22.85	静岡県御前崎市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 剛すべり支承 オイルダンパ

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積(㎡)					延べ床面積(㎡)
536	MNNN - 4069	2009/5/15	ERI-J08047-01	(仮)ジャパンゴアテックス 津工場	フジ総合企画設計 戸田建設	戸田建設	RC	6	-	2132.7	10018.4	27.8	31.7	三重県津市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支 オイルダンパー
537	MNNN - 4075	2009/5/15		インテックグループ高岡ビル		押田建築設計	S	5			約8,280			石川県高岡市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支
538	MNNN - 4076	2009/5/15		中央合同庁舎第1号館北別館(耐震改修)	久米設計	久米設計	SRC	8	1		14,139			東京都千代田区	積層ゴム 直動転がり支
539	MNNN - 4077	2009/6/9		JR東海社員研修センター(仮称)	梓設計	梓設計	SRC	10			約45,000			静岡県三島市	LRB SL
540	MNNN - 4106	2009/6/24	GBRC建評-09-022B-001	神戸市危機管理センター	日建設計	日建設計	S	9	1		1,132	42.1		兵庫県神戸市	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
541	MNNN - 4119	2009/6/24		川崎市立井田病院	山下設計	山下設計	RC	7	1	6600	32700			神奈川県川崎市	RRB OD
542	MNNN - 4139	2009/10/12	BCJ基評-IB0795-02	鳥羽警察署庁舎棟	三重県県土整備部営繕室 大建設計	三重県県土整備部営繕室 大建設計	RC	3	0		2,939	14.4		三重県鳥羽市	高減衰積層ゴム
543	MNNN - 4151	2009/7/21		ファミリー東瀬魚崎館免震化工事計画		竹中工務店	RC	9	1	1,840.04	9,426.00			兵庫県神戸市	オイルダンパー
544	MNNN - 4168	2009/7/21	JSSI-構評-09001	(仮称)青木様玉川4丁目ビル	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	3	0		810	13.2		東京都世田谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支
545	MNNN - 4182	2009/7/21	ERI-J08077	川崎幸病院 新築計画	山下設計	山下設計	RC	11			20,065	54.8		神奈川県川崎市	天然ゴム系積層ゴム LRB オイルダンパー 直動転がり支
546	MNNN - 4183	2009/7/21	UHEC評価-構21001	(仮称)市谷プロジェクト	芦原太郎建築事務所	織本構造設計	RC	9	1	529.0	3516.0	38.4	43.4	東京都新宿区	鉛プラグ挿入型積層ゴム支 弾性すべり支
547	MNNN - 4184	2009/7/21		高槻市消防本部庁舎		松田平田設計	RC	6	-		7,705			大阪府高槻市	NRB ESL
548	MNNN - 4193	2010/1/13		(仮称)吹田市・南金田2丁目マンション計画	カノンアソシエイツ	和田建築	RC	14			19			大阪府吹田市	SL
549	MNNN - 4207	2009/7/2	BCJ基評-IB0780-02	気象庁清瀬庁舎(仮称)	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	RC	2	1	2028.4	5904.6	12.0	17.0	東京都清瀬市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
550	MNNN - 4210	2009/7/21	BCJ基評-IB0799-01	香美市新庁舎	日本設計	日本設計	RC	5	-	1326.7	6199.6	23.9	26.4	高知県香美市	天然ゴム系積層ゴム支 鋼製U型ダンパー・体型天然 ゴム系積層ゴム支 すべり系支 鉛ダンパー
551	MNNN - 4231	2009/7/30	ERI-J09003	横浜ベイサイドマリーナ2期地区(仮称)マリーナクラブリゾートホテル	LKA総合デザイン研究所	TIS&PARTNERS 免震エンジニアリング	RC	3	-	1501.3	2852.1	14.2	24.4	神奈川県横浜市中区	鉛入り積層ゴム すべり支
552	MNNN - 4274	2009/9/8	ERI-J09006	(仮称)山田赤十字病院	日本設計 (協力 竹中工務店)	日本設計	S RC	5	-	14797.6	52987.4	22.7	34.6	三重県伊勢市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
553	MNNN - 4278	2009/9	HP評-09-002	(仮称)花咲団地マンション建替え事業C棟	日建ハウジング	日建ハウジング	RC	11	-		2,560	30.6		神奈川県横浜市中区	鉛プラグ入り 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支
554	MNNN - 4288	2009/9/25	ERI-J09009	精神医療センター(仮称)新館	昭和設計	昭和設計	RC	7	-	12845.0	55313.5	29.2	33.9	東京都世田谷区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支 オイルダンパー
555	MNNN - 4289	2009/9/8	ERI-J09005	(仮称)八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部・八戸消防署	INA新建築研究所	酒井建築工学研究室	RC	5	-	1807.4	6482.5	21.4	22.0	青森県八戸市	天然積層ゴム
556	MNNN - 4354	2009/9/25		欧州連合(EU)駐日欧州委員会代表部建設プロジェクト	大成建設	大成建設	RC	6	1		10,296	22.00		東京都港区	積層ゴム支 弾性すべり支 オイルダンパー
557	MNNN - 4359	2009/9/25	JSSI-構評-09003	三洋化成工業株式会社 本社本館 免震化計画	大日本土木	大日本土木	RC	5	1		5,938	21.8		京都府京都市	天然ゴム系積層ゴム 回転機構付すべり支BSL
558	MNNN - 4360	2009/8/12	JSSI-構評-08024	(仮称)八潮大野様マンション	スターツCAM	スターツCAM 伸構造事務所	RC	9	0		1,414	26.4		埼玉県八潮市	鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支
559	MNNN - 4372	2009/9/25	ERI-J08078	(仮)豊田中央保健センター(新東庁舎)	山下設計	山下設計	SRC	8	2		24,702	38.2		愛知県豊田市	天然ゴム系積層ゴム LRB 鋼材ダンパー 弾性すべり支
560	MNNN - 4379	2009/10/28	JSSI-構評-09004	(仮称)小澤様本宿町2丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM	RC	10	0		2,891	29.6		東京都府中市	積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支
561	MNNN - 4400	2009/10/7	HP評-09-004	(仮称)花咲団地マンション建替え事業A棟	日建ハウジング	日建ハウジング	RC	11	1		1,191	30.9		神奈川県横浜市中区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支
562	MNNN - 4401	2009/10/7	HP評-09-005	(仮称)花咲団地マンション建替え事業B棟	日建ハウジング	日建ハウジング	RC	10	-		936	30.8		神奈川県横浜市中区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支
563	MNNN - 4423	2009/10/26	ERI-J09014	(仮称)明治安田生命新東陽町ビル	竹中工務店	竹中工務店	S	12	1		96,241	55.0		東京都江東区	鉛プラグ挿入型積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支 オイルダンパー
564	MNNN - 4432	2009/10/15	UHEC評価-構21009	慶應義塾大学(三田)新南校舎(仮称)	日建設計	日建設計	S SRC	7	1	2176.1	15042.1	32.9	37.5	東京都港区	天然ゴム系積層ゴム支 弾塑性系減衰材
565	MNNN - 4444	2009/10/28	GBRC建評-09-022C-001	SPRC4PJ	竹中工務店	竹中工務店	SRC,RC	5	0		44,623			大阪府豊中市	鉛プラグ挿入型積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
566	MNNN - 4450	2009/10/28	UHEC評価-構21014	(仮称)学校法人藤村学園12号館新築計画	雄建築事務所	雄建築事務所 福島構造設計事務所 高環境エンジニアリング	RC	6	-	1486.9	7869.0	27.5	28.8	東京都国立市	鉛プラグ入り積層ゴム支 天然ゴム系積層ゴム支 すべり支 流体系ダンパー
567	MNNN - 4452	2009/10/28	ERI評-構J09019	(仮称)豊田鉄工株式会社社技合同棟計画	フジタ	フジタ 高環境エンジニアリング	柱SRC+梁S	8			15,264	35.0		愛知県豊田市	天然ゴム系積層ゴム 鉛入り積層ゴム 弾性すべり支 粘性ダンパー
568	MNNN - 4453	2009/10/28	ERI-J09015	広尾3丁目計画	大林組	大林組	RC	3	2	1201.9	4561.2	9.2	9.8	東京都渋谷区	鉛入り積層ゴム 高減衰積層ゴム すべり支
569	MNNN - 4454	2009/10/28	ERI-J09017	(仮称)株式会社ニチレイ・ロジスティクス関東 東陽島物流センター	東亜建設工業	東亜建設工業 (協力 アール・エス・アイ、 ティー・アール・イー)	S PC	5	-	8371.9	36250.7	34.9	38.1	神奈川県川崎市	天然積層ゴム 弾性すべり支 積層ゴム支-体型免震U型 ダンパー
570	MNNB - 4455	2009/11/6		(仮称)シティホール	隈研吾建築設計都市設計事務所		RC+S	4	1		35,716	21.00		新潟県長岡市	すべり支 オイルダンパー
571	MNNN - 4458	2009/10/28	JSSI-構評-09006	(仮称)等々力1丁目計画	本多図夢建築デザイン事務所	ダイナミックデザイン	RC	5			2,577	14.5		東京都世田谷区	LRB NR BSL

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要					軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材
							構造	階	地下	建築面積(m ²)	延べ床面積(m ²)				
572	MNNN - 4478	2009/10/15	BCJ基評-IB0777-03	(仮称)F2免震重要棟	東電設計	東電設計 清水建設	RC (一部S.SRC)	3	0		2,977	15.70		福島県 双葉郡	LRB SL OD
573	MNNN - 4490	2009/11/30	ERI-J09024	(仮称)秋田町SA	四電ビジネス	四電ビジネス 酒井建築工務研究所	RC	8	-	440.4	2775.3	26.1	29.4	徳島県 徳島市	高減衰積層ゴム
574	MNNN - 4492	2009/11/30	UHEC評価-構21017	(仮称)さぬき市民病院	共同建築設計事務所	織本構造設計	S RC	4	-	5243.4	14884.8	18.9	21.0	香川県 さぬき市	鉛プラグ入り積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 転がり支承 減衰ゴマ
575	MNNF - 4504	2009/11/30	UHEC評価-構21018	(仮称)中野プロジェクト 区域4	戸田建設	戸田建設	S	10	2		39,026	44.12		東京都 中野区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
576	MNNN - 4510	2009/11/30	UHEC評価-構21016	(仮称)辻堂神台一丁目地区B-2街区計画	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	15	-	2169.3	11108.9	44.9	45.0	神奈川県 藤沢市	天然ゴム系積層ゴム支承 すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
577	MNNN - 4556	2010/1/15		(仮称)あいおい損保成増ビル		大成建設	RC	10	-		8,246	46.73		東京都 板橋区	NRB ESL
578	MNNN - 4580	2010/1/21	ERI-J09028	(仮称)船田マンション	大和ハウス工業	大和ハウス工業 構造計画研究所	RC	7	-	294.6	1833.8	20.9	21.4	東京都 墨田区	鉛プラグ入り天然積層ゴム
579	MFNN - 4584	2009/12/18		(仮称)エンバイアコープ建替計画	大成建設	大成建設	RC	13	2		12,055	47.7		東京都 新宿区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり
580	MNNN - 4601	2010/1/21	JSSI-構評-09008	(仮称)小林様免震MS	スターツCAM	スターツCAM 伸構造事務所	WRC	5	0		938	16.0		神奈川県 川崎市	鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
581	MNNN - 4602	2010/1/21	JSSI-構評-09007	(仮称)品川区荏原5丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	6	0		1,283	17.1		東京都 品川区	鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
582	MNNN - 4621	2010/1/28	UHEC評価-構21021	(仮称)東海大学伊勢原職員寮	大成建設	大成建設	RC	10	-	1329.7	8242.9	29.2	30.4	神奈川県 伊勢原市	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承
583	MNNN - 4624	2010/2/2	ERI-J09027	武蔵野大学有明キャンパス	大成建設	大成建設	RC	13	1	1822.2	17970.8	52.9	53.6	東京都 江東区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
584	MNNN - 4632	2010/2/22	UHEC評価-構21029	(仮称)美竹ビルマンション建替事業施工再建マンション	UG都市建築	小堀謙二研究所	RC	17	3	2036.4	27080.4	59.4	64.9	東京都 渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 オイルダンパー
585	MNNN - 4651	2010/2/22		伊方発電所新事務所(仮称)			RC	7	-		約6,770	32.00		愛媛県 西予市郡	SL
586	MNNN - 4658	2010/2/24	ERI-J09033	新潟大学医歯学総合病院外来診療所	教育施設研究所	教育施設研究所	RC	6	1	11140.1	276877.7	35.3	35.9	新潟県 新潟市	鉛入り積層ゴム オイルダンパー
587	MNNN - 4665	2010/3/3		(仮称)帝京大学板橋キャンパス大学棟	山下設計 石本建築事務所	山下設計 石本建築事務所	S	10	有		92,304			東京都 板橋区	NRB
588	MNNN - 4679	2010/3/3	ERI-J09030	公立高島総合病院	内藤建築事務所	内藤建築事務所 エスパス建築事務所	RC	5	-	4080.5	13995.8	25.5	27.0	滋賀県 高島市	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム支承 直動レール式転がり支承
589	MNNN - 4683	2010/3/30	ERI-J09035	(仮称)南大塚女子学生会館	総研設計	総研設計	RC	9	-	325.6	2580.0	28.5	29.0	東京都 豊島区	鉛入り積層ゴム
590	MNNN - 4705	2010/3/3	JSSI-構評-09011	(仮称)宇田川様マンション	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	6	0		1,446	18.86		東京都 江戸川区	LRB BSL
591	MNNN - 4707	2010/3/3	JSSI-構評-09012	(仮称)松浦様マンション	スターツCAM	スターツCAM	RC	5	-	152.5	730.3	15.5	16.5	東京都 江戸川区	回転機構付すべり支承 復元ゴム
592	MNNN - 4738	2010/3/3	BCJ基評-IB0821-01	新三重県立博物館(仮称)	日本設計	日本設計	SRC	2	1		11,583	18.91		三重県 津市	NRB SD LD
593	MNNN - 4778	2010/5/10		新中津市民病院	佐藤総合計画		RC	5	-		19,776	-		大分県 中津市	NRB LRB ESL
594	MNNN - 4780	2010/4/23	BCJ基評-IB0820-01	甲府地方合同庁舎		三菱地所設計	RC	10	0		18,380	41.46		山梨県 甲府市	
595	MNNN - 4795	2010/5/10		中笠邸本宅	三角屋	竹中工務店	WRC	2	1		1,657			愛知県 半田市	SLR その他
596	MNNN - 4803	2010/4/19	JSSI-構評-09010	中川様マンション	スターツCAM	スターツCAM	RC	3	0		689	9.68		東京都 江戸川区	LRB BSL
597	MNNN - 4816	2010/5/10	JSSI-構評-09015	(仮称)小田嶋様免震マンション	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	6	0		1,758	18.21		東京都 足立区	LRB BSL
598	MNNN - 4840	2010/3/30	BCJ基評-IB0786-02	(仮称)浜岡事務所本館免震棟	中部電力 鹿島・中電不動産JV	中部電力 鹿島・中電不動産JV 小堀謙二研究所	RC SRC	4	-	1587.8	6134.5	19.3	22.9	静岡県 御前崎市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承 オイルダンパー
599	MNNN - 4841	2010/5/24	GBRC建評-09-022C-008	(仮称)京阪神不動産西心斎橋ビル	日建設計	日建設計	S.SRC,RC	10	1		1,876	47.3		大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム支承 オイルダンパー 鋼材ダンパー 鉛ダンパー
600	MNNN - 4848	2010/6/22	ERI-J09042	那覇市新庁舎	国建	国建 構造計画研究所	RC	12	2	4964.9	38742.4	51.4	56.8	沖縄県 那覇市	鉛入り積層ゴム
601	MNNN - 4857	2010/5/28	JSSI-構評-09017	(仮称)静岡駅南口ホテル	レーモンド設計	ダイナミックデザイン	RC	13	-		5,321			静岡県 静岡市	BSL LRB
602	MNNN - 4858	2010/5/24	JSSI-構評-09016	(仮称)白子様緑が丘2丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM	RC	5	0		1,494	14.40		東京都 目黒区	LRB BSL
603	MNNN - 4905	2010/6	GBRC建評-10-022C-002	新佐賀県立病院好生館(仮称)病院棟	日建設計	日建設計	S.SRC,RC	9	0		11,931	35.0		佐賀県 佐賀市	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
604	MNNN - 4929	2010/7/1	TBTC基評-2-2B-10001	第一生命相互館建替計画、相互館110タワー	清水建設	清水建設	OFT	12	3		24,420			東京都 中央区	LRB NRB OD
605	MNNN - 4948	2010/6/9	BCJ基評-IB0779-03	(仮称)F1免震重要棟	東電設計	東電設計 鹿島建設	SRC (一部S)	3	0		3,601	10.67		福島県 双葉郡	NRB LRB SL OD
606	MNNN - 4962	2010/6/30	BCJ基評-IB0784-03	阿佐ヶ谷プロジェクト	杉浦英一建築設計事務所	構造計画研究所 清水建設	RC	3	-	255.0	506.4	8.9	9.0	東京都 杉並区	天然ゴム系積層ゴム支承 空気ばね スライダー ロッキング抑制付オイルダンパーシステム 水平方向オイルダンパー
607	MNNN - 4963	2010/6/30	BCJ基評-IB0810-02	(仮称)竹田総合病院2期	伊藤喜三郎建築研究所	伊藤喜三郎建築研究所	RC	11	-	5382.7	41588.6	46.3	47.0	福島県 会津若松市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
608	MNNN - 4986	2010/7/14	JSSI-構評-09014-1	(仮称)鈴木様弦巻4丁目免震プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	5	0		2,324	14.80		東京都 世田谷区	LRB BSL
609	MNNN - 4988	2010/7/30		介護老人保健施設(仮称)ケアセンターベル 新築計画		NCU・高環境エンジニアリング	RC	6	-		8,237			東京都 青梅市	NRB ESL

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件 名	設計	構造	建築概要					軒高(m)	最高高さ (m)	建設地 (市まで)	免震部材
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)				
610	MNNN - 4990	2010/7/30	UHEC評価-構21043	新総合太田病院(仮称)	日建設計	日建設計	RC	7	-	8184.4	32761.2	29.5	36.6	群馬県 太田市	天然ゴム系積層ゴム支承 剛すべり支承 鋼製U型ダンパー
611	MNNN - 5035	2010/8/20	UHEC評価-構22005	(仮称)津田沼区画整理31街区プロジェクト(C棟)	フジタ	フジタ	RC	20	-	787.1	13979.9	59.5	65.5	千葉県 習志野市	鉛プラグ入り積層ゴム支承 弾性すべり支承
612	MNNN - 5036	2010/8/20	UHEC評価-構22006	(仮称)津田沼区画整理31街区プロジェクト(D棟)	フジタ	フジタ	RC	17	-	947.2	11740.8	51.1	57.2	千葉県 習志野市	鉛プラグ入り積層ゴム支承 弾性すべり支承
613	MFNB - 5050	2010/7/30	BCJ基評-IB0801-03	(仮称)大林組技術研究所新本館	大林組	大林組	S RC	3	-	3273.3	5526.4	13.7	18.5	東京都 清瀬市	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー アクチュエータ 剛性調整パネ トリガー機構
614	MNNN - 5064	2010/9/22	ERI-J10003	(仮称)南千里駅前公共公益施設整備事業	大建設計 奥村組	大建設計 奥村組	S (一部SRC)	8	2		13,302	37.71		大阪府 吹田市	天然ゴム系積層ゴム 鉛入り積層ゴム
615	MNNN - 5074	2010/9/13	UHEC評価-構22003	(仮称)津田沼区画整理31街区プロジェクト(A棟)	フジタ	フジタ	RC	20	-	1156.1	15379.2	59.5	65.5	千葉県 習志野市	鉛プラグ入り積層ゴム支承 弾性すべり支承
616	MNNN - 5081	2010/9/22	ERI-J10010	徳島中央広域連合本部・東消防署庁舎	松田平田設計	松田平田設計	RC PC	3	-	920.2	2375.9	15.1	16.2	徳島県 吉野川市	錫プラグ挿入型積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 直動転がり支承
617	MNNN - 5083	2010/9/30	ERI-J10005	公立甲賀病院	内藤建築事務所	内藤建築事務所 織本構造設計	RC	5	-	8088.5	29103.0	20.6	21.6	滋賀県 甲賀市	鉛プラグ入り積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 転がり支承 減衰こま
618	MNNN - 5103	2010/9/2		メディセオ名古屋ALC(仮称)	Okamoto総合建築事務所	大本組	S	4	-		24,617			愛知県 清須市	天然ゴム系積層ゴム
619	MNNN - 5115	2010/8/24	ERI-J0905	社会医療法人 泉和会 千代田病院	伊藤善三郎建築研究所	伊藤善三郎建築研究所	RC	6	-		16,708	27.74		宮城県 日向市	NRB DNR SL OD
620	MNNN - 5121	2010/10/12	BCJ基評-IB0832-01	帝京平成大学中野キャンパス新築計画	日本設計	日本設計	RC (一部S)	12	1		62,290	50.52		東京都 中野区	SnRB(錫プラグ入り積層ゴム) RB(積層ゴム) 鋼製U型ダンパー 体型RB 剛すべり支承 直動転がり支承
621	MNNN - 5128	2010/3/3	JSSI-構評-09009-1	(仮称)西臨株マンション	スターツCAM	スターツCAM 日本システム設計	RC	6	0		1,743	18.51		千葉県 浦安市	LRB BSL
622	MNNN - 5132	2010/10/29	ERI-J10011	県立淡路病院	安井建築設計事務所	安井建築設計事務所	PCaPa (一部S)	8	-	11165.1	34967.7	32.0	40.6	兵庫県 洲本市	挿入型積層ゴム 天然積層ゴム支承 直動転がり支承
623	MNNN - 5179	2010/11/4	JSSI-構評-10004	(仮称)アリアソフンプレミアム日吉	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	6	0		2,040	17.90		神奈川県 横浜市	LRB BSL
624	MNNN - 5192	2010/11/4	JSSI-構評-10002	(仮称)中山株免震マンション	スターツCAM	スターツCAM 伸構造事務所	RC	9	0		2,550	26.89		千葉県 流山市	LRB BSL
625	MNNN - 5193	2010/11/4	JSSI-構評-10005	(仮称)上原株高松1丁目計画	スターツCAM	スターツCAM 構造フォルム	RC	5	0		1,244	14.35		東京都 練馬区	LRB BSL
626	MNNN - 5196	2010/11/11	ERI-J10017	(仮称)南葛西4丁目プロジェクト	高松建設	高松建設 総研設計	RC	10	-	393.1	2094.9	28.8	29.2	東京都 江戸川区	高減衰ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 剛すべり承 鉛ダンパー
627	MNNN - 5207	2010/11/16	ERI-J10004	下越院病本体棟【付属棟】	堤建築設計事務所	建構造研究所 免震エンジニアリング	S RC	6	-	5514.9	17233.7	24.6	30.1	新潟県 新潟市	鉛入り積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
628	MNNN - 5211	2010/11/15	BCJ基評-IB0840-01	藤沢病院新病棟	建築一家	織本構造設計	RC	6	0		7,981	25.50		神奈川県 藤沢市	LRB NRB ESL OD
629	MNNN - 5217	2010/11/19	JSSI-構評-10008	社会福祉法人 兼愛会 (仮称)特別養護老人ホームしょうじゅの里鶴見	新環境設計	ダイナミックデザイン	RC	4	-		5,819			神奈川県 横浜市	BSL LRB
630	MNNN - 5226	2010/11/25	JSSI-構評-10006	(仮称)アリアソフン・プレミアム八潮	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	5	0		1,693	15.60		埼玉県 八潮市	LRB BSL
631	MNNN - 5227	2010/9/16	JSSI-構評-10007	(仮称)西瑞江5丁目澤井株マンション	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	8	0		1,408	24.82		東京都 江戸川区	LRB BSL
632	MNNN - 5240	2010/11/30	ERI-J10019	(仮称)ディスコ興工場新C棟	大林組	大林組	S	7	0		15,325	27.30		広島県 呉市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
633	MNNN - 5251	2010/11/19	GBRC建評-10-022C-005	日本原子力発電(株) 敦賀発電所 緊急時対策室建屋新設工事計画	竹中工務店	竹中工務店	RC	3	0		1,102	12.00		福井県 敦賀市	NRB LRB OD
634	MNNN - 5254	2010/12/16	HR評-10-005	(仮称)新豊洲センタービル	清水建設 東電設計	清水建設 東電設計	CFT	11	0		41,200	44.71		東京都 江東区	LRB NRB OD
635	MNNN - 5256	2010/12/13	ERI-J10020	千葉労災病院	岡田新一設計事務所	織本構造設計	RC	7	-	3556.9	19330.5	30.1	41.4	千葉県 市原市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承 オイルダンパー
636	MNNN - 5263	2010/12/1	ERI-J10023	ウィングルート	生和コーポレーション	酒井建築工務研究室 カラム建築構造事務所	RC	10	1	322.0	1717.8	36.2	37.2	神奈川県 川崎市	高減衰ゴム系積層ゴム
637	MNNN - 5286	2010/11/18	ERI-J09043-01	伊東市新病院	大建設計	大建設計	RC	5	-	6262.9	20350.9	20.4	27.9	静岡県 伊東市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承
638	MNNN - 5303	2011/1/14	ERI-J10024	社会保険山梨病院新病院建設計画	松田平田設計	松田平田設計	RC	6	1	3083.8	13032.6	23.7	29.7	山梨県 甲府市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承
639	MFNN - 5304	2010/12/28	BCJ基評-IB0841-01	甲府市新庁舎	日本設計・竜巴一級建築士事務所・山形一級建築士事務所・進藤設計事務所・馬場設計JV	日本設計・竜巴一級建築士事務所・山形一級建築士事務所・進藤設計事務所・馬場設計JV	地上:S 地下:RC	10	1		28,120	48.95		山梨県 甲府市	
640	MNNN - 5326	2011/1/25	UHEC評価-構22023	(仮称)高知電気ビル本館建替計画	大成建設	大成建設	RC	8	1	1086.7	8518.3	32.0	36.0	高知県 高知市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
641	MNNN - 5328	2011/1/25	ERI-J10032	(仮称)針ヶ谷ビル計画	大栄建築事務所 鹿島建設	鹿島建設	RC	5	-	1990.5	7925.9	24.9	26.0	埼玉県 さいたま市	高減衰ゴム系積層ゴム
642	MNNN - 5351	2010/12/22	BVJ-BA10-011	TOKAI富士横割マンション	日本国土開発	日本国土開発	RC	14	0		5,505	42.32		静岡県 富士市	LRB ESL
643	MNNN - 5369	2011/1/7	BCJ基評-IB0634-01	市立根室病院	石本建築事務所	石本建築事務所	RC	4	1	3470.4	13280.8	22.8	28.1	北海道 根室市	天然ゴム系積層ゴム 錫プラグ入り積層ゴム 直動転がり支承
644	MNNN - 5373	2011/2/8	ERI-J10035	(仮称)下田メディカルセンター	戸田建設	戸田建設	RC	4	-	3770.2	8613.7	17.7	18.1	静岡県 下田市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
645	MNNN - 5386	2011/2/25	BCJ基評-HR0639-01	医療法人社団 誠善会 新東京新病院計画	清水建設	清水建設	RC	7	-	5097.2	24808.8	29.8	34.3	千葉県 松戸市	高減衰ゴム系積層ゴム

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件 名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ (m)	建設地 (市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)					延べ床面積 (㎡)
646	MNNN - 5388	2011/2/15	BOJ基評-IB0638-01	浦河赤十字病院	石本建築事務所	石本建築事務所	RC	7	-	3918.7	15827.9	28.6	33.6	北海道 浦河郡	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承 弾塑性系減震材 オイルダンパー
647	MNNN - 5394	2011/2/22	UHEC評価-横22029	(仮称)川崎区小田栄計画 A棟	長谷工コーポレーション	長谷工コーポレーション	RC	19	-	1778.6	25412.9	56.6	57.1	神奈川県 川崎市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 弾性すべり支承 オイルダンパー
648	MNNN - 5395	2011/2/22	UHEC評価-横22030	(仮称)川崎区小田栄計画 B棟	長谷工コーポレーション	長谷工コーポレーション	RC	19	-	983.0	14326.1	56.6	57.1	神奈川県 川崎市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 弾性すべり支承 オイルダンパー
649	MNNN - 5396	2011/3/7	ERT-J10036	藤田保健衛生大学病院放射線棟	竹中工務店 名古屋一級建築士事務所	竹中工務店 名古屋一級建築士事務所	RC (一部S)	6	1	1357.9	8636.9	26.5	31.0	愛知県 豊明市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然積層ゴム オイルダンパー
650	MNNN - 5402	2010/12	GBRC建評-10-022C-006	福岡大学筑紫病院新病院	日建設計	日建設計	RC,S,SR C	9	0		3.890	44.0		福岡県 筑紫野市	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
651	MNNN - 5431	2010/12/24	BOJ基評-HR0645-01	豊岡市現本庁舎	日本設計	日本設計	RC	3	0		1.579	16.96		兵庫県 豊岡市	NRB RRB SD LD OD
652	MNNN - 5513	2011/1/27	ERT-J10045	WAZAC函館五稜郭ミヤビ計画	中山建築デザイン研究所	道央設計	RC	18	-	819.8	12179.8	58.0	59.5	北海道 函館市	鉛入り積層ゴム すべり支承
653	MNNN - 5535	2011/4/28	ERT-J10049	大阪府警察学校	三菱地所設計 清水建設	三菱地所設計 清水建設	RC S	4	-	15125.7	41103.6	18.1	21.8	大阪府 泉南郡	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
654	MNNN - 5605	2011/6/14	ERT-J10067	(仮称)新順心病院	昭和設計	昭和設計 鹿島建設	RC	6	-	2336.9	9767.2	28.1	28.8	兵庫県 加古川市	繰入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承
655	MNNN - 5607	2011/6/13	ERT-J10056	(仮称)掛川市・袋井市新病院	久米設計	久米設計	RC S	8	-	11713.4	43545.5	36.6	38.9	静岡県 掛川市	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム支承 十字型転がり支承 U型鋼材ダンパー オイルダンパー
656	MNNN - 5620	2011/6/13	UHEC評価-横22042	つがる西北五広域連合中核病院	横河建築設計事務所	織本構造設計	RC	10	-	6198.3	36831.9	45.2	45.7	青森県 五所川原市	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム オイルダンパー 弾性すべり支承
657	MNNN - 5629	2011/6/17	ERT-J10075	(仮称)泉一丁目計画Ⅱ	三井住友建設	三井住友建設	RC (一部S)	18	-	337.6	5176.5	57.0	62.1	愛知県 名古屋市中	高減衰ゴム系積層ゴム支承 すべり支承
658	MNNN - 5639	2011/6/20	ERT-J10065	仙台市立病院	山下設計	山下設計	RC	11	1	8322.4	52353.9	54.6	55.3	宮城県 仙台市	繰入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承
659	MNNN - 5654	2011/5/31	ERT-J10028-01	(仮称)南多摩病院救急医療センター計画	アトリエ9建築研究所	織本構造設計	RC (一部 S、SRC)	8	1	1095.9	6623.1	32.4	33.3	東京都 八王子市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
660	MNNN - 5662	2011/6/30	ERT-J10073	聖隷浜松病院	LAU公共施設研究所 公共設計	飯島建築事務所 竹中工務店	RC	10	2	2968.5	22984.9	37.7	38.3	静岡県 浜松市	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム支承 弾性すべり支承 直動転がり支承 オイルダンパー
661	MNNN - 5704	2011/7/22	ERT-J11077	(仮称)新 大阪晩間病棟	フジタ	フジタ	RC S	11	-	2691.2	22663.6	44.5	49.5	大阪府 大阪市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
662	MNNN - 5902	2011/10/3	BOJ基評-HR0649-02	安田倉庫加須第二営業所増築棟(第1期)	大成建設	大成建設	RC	5	-	2310.5	10243.5	30.1	30.6	埼玉県 加須市	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承
663	MNNN - 5951	2011/10/28	ERT-J11019	岐阜県立下呂温泉病院	安井・熊谷設計	安井建築設計事務所	RC (一部S)	6	-	6694.4	19594.0	26.1	26.4	岐阜県 下呂市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承 オイルダンパー
664	MNNN - 5968	2011/10/28	BOJ基評-IB0783-02	新潟県美咲合同庁舎2号館	日建設計	日建設計	RC	10	-	2169.4	20444.3	44.2	49.3	新潟県 新潟市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
665	MNNN - 6021	2011/12/27	ERT-J11027	(仮称)Dプロジェクト新子安	大和ハウス工業	大和ハウス工業 NCU	PCaPC RC	5	-	7490.6	27361.5	33.2	33.7	神奈川県 横浜市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付きすべり支承
666	MNNN - 6039	2011/12/27	ERT-J11028	大崎市民病院	久米設計 戸田建設 大建設計	久米設計 戸田建設 大建設計	RC	9	-	9027.0	43447.8	41.9	46.4	宮城県 大崎市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 剛すべり支承 オイルダンパー
667	MNNN - 6069	2012/1/6	ERT-J11020	JA松本市本社社屋	波場建築設計事務所 斎藤デザイン室	ちの設計 みつる	RC	5	-	439.5	1884.8	24.2	24.7	長野県 松本市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
668	MNNN - 6105	2012/1/20	ERT-J11035	川金ホールディングス本社ビル	戸田建設	戸田建設	RC	5	-	255.7	1258.5	20.0	20.7	埼玉県 川口市	天然積層ゴム 剛すべり支承 オイルダンパー
669	MNNN - 6138	2012/1/26	ERT-J11031	小樽市立病院	久米設計	久米設計	RC	7	1	6910.5	30324.8	34.6	41.2	北海道 小樽市	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム支承 オイルダンパー
670	MNNN - 6146	2012/2/23	ERT-J11039	社会医療法人財団厚仙会 恵寿総合病院 新病院	伊藤喜三郎建築研究所・竹中工務店設計共同企業体	伊藤喜三郎建築研究所・竹中工務店設計共同企業体	RC	7	-	3699.6	16044.7	30.4	31.0	石川県 七尾市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
671	MNNN - 6149	2012/2/8	BOJ基評-HR0686-01	(仮称)赤坂氷川町計画	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	11	1	361.1	2952.5	37.1	40.2	東京都 港区	鉛プラグ入り積層ゴム
672	MNNN - 6175	2012/2/14	ERT-J11037	板橋区本庁舎南館	山下設計	山下設計	RC PC S	7	1	2134.8	13375.0	30.2	30.8	東京都 板橋区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然積層ゴム オイルダンパー
673	MNNN - 6194	2012/2/23	ERT-J11051	(仮称)板橋区仲宿サービス付き高齢者向け住宅	積水ハウス	エスバス建築事務所	RC	11	-	277.5	2482.0	35.5	36.0	東京都 板橋区	高減衰ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承 直動転がり支承
674	MNNN - 6238	2012/3/12	ERT-J11046	東千葉メディカルセンター(地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター)	久米設計	久米設計	S SRC	7	1	8128.0	27870.8	32.7	36.8	千葉県 東金市	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承 オイルダンパー U型鋼材ダンパー
675	MNNN - 6278	2012/3/29	ERT-J11060	(仮称)山手冷蔵株式会社 新川崎ロジスティックセンター	東亜建設工業	東亜建設工業 NCU	PCaPC RC	7	-	4743.3	20531.1	33.6	41.1	神奈川県 川崎市	天然ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム一体型U型ダンパー オイルダンパー 弾性すべり支承
676	MNNN - 6333	2012/4/26	ERT-J11064	加東市新庁舎	梓設計	梓設計	RC	5	1	2045.1	8992.2	25.5	25.5	兵庫県 加東市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支承
677	MNNN - 6336	2012/3/29	BOJ基評-IB0813-02	志村総合庁舎	山下テクノス	ジャスト 免震エンジニアリング	SRC (一部S)	5	-	838.6	4101.7	26.6	28.6	東京都 板橋区	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件 名	設計	構造	建築概要					軒高(m)	最高高さ (m)	建設地 (市まで)	免震部材
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)				
678	MNNN - 6410	2012/6/5	BCJ基評-HR0710-01	横浜市衛生研究所	伊藤喜三郎建築研究所	伊藤喜三郎建築研究所 織本構造設計	RC (一部 PC)	7	-	1356.7	7653.8	30.0	35.5	神奈川県 横浜市	鉛プラグ挿入型積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
679	MNNN - 6437	2012/6/18	ERT-J11076	(仮称)二字玉川第一スカイハイツ建替 事業	スペーステック	東急建設	RC	17	1	982.5	9954.4	52.5	57.8	東京都 世田谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
680	MNNN - 6450	2012/6/18	BCJ基評-HR0712-01	佐賀大学(鍋島1)医学部附属病院診療 棟	佐賀大学	日本設計	RC (一部S)	4	-	2528.4	7044.2	20.1	25.9	佐賀県 佐賀市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承 直動転がり支承 粘性ダンパー
681	MNNN - 6504	2012/9/10	ERT-J11070	(仮称)九番丁MGビル	バウ建築企画設計事務所	西建築設計事務所	S RC	6	-	719.8	4313.0	22.5	26.4	和歌山県 和歌山市	鋼製U型ダンパー—体型天然系 積層ゴム支承 高面圧低摩弾性すべり支承 U型鉛ダンパー
682	MNNN - 6877	2012/11/16	BCJ基評-HR0708-03	(仮称)三郷市新三郷ららシティ2丁目計 画	三井住友建設	三井住友建設	RC	19	-	1871.4	21851.3	59.7	65.1	埼玉県 三郷市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承 オイルダンパー

超高層免震建物一覧表

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件 名	設計	構造	建築概要						建設地 (市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)	軒高 (m)			最高高さ (m)
1	HNNN - 0026	2000/10/25	BCJ基評- HR0016	(仮称)MM21 39街区マンション計画 A棟	三菱地所	三菱地所 前田建設工業	RC	30	-		32136.5	99.8	99.9	神奈川県 横浜市	天然ゴム 鋼棒ダンパー 鉛ダンパー
2	HNNN - 0026	2000/10/25	BCJ基評- HR0016	(仮称)MM21 39街区マンション計画 B棟	三菱地所	三菱地所 前田建設工業	RC	30	-	7957.6	32185.0	99.8	99.9	神奈川県 横浜市	同上
3	HNNN - 0026	2000/10/25	BCJ基評- HR0016	(仮称)MM21 39街区マンション計画 C棟	三菱地所	三菱地所 前田建設工業	RC	30	-		32253.8	99.8	99.9	神奈川県 横浜市	同上
4	HFNB - 0030	2000/10/30	BCJ基評- HR0015	(仮称)日本工業倶楽部会館・永楽ビルディング新築工事	三菱地所	三菱地所	S	30	4	4951.9	110103.6	141.4	148.1	東京都 千代田区	天然ゴム LRB
5	HNNN - 0057	2000/11/20	BCJ基評- HR0034	(仮称)アイビーハイムイーストタワー新築工事	奥村組	奥村組	RC	20	-	1462.7	9313.2	64.2	68.9	北海道 札幌市	LRB 天然ゴム
6	HNNN - 0058	2000/11/20	BCJ基評- HR0035	(仮称)アイビーハイムウエストタワー新築工事	奥村組	奥村組	RC	20	-	1473.1	9313.4	64.2	68.9	北海道 札幌市	LRB 天然ゴム
7	HNNN - 0064	2000/12/7	BCJ基評- HR0036	(仮称)Rプロジェクト C・D棟増築工事 C棟	菅原賢二設計スタジオ	T・R・A	RC	31	-	1382.5	25090.2	100.0	108.5	大阪府 大阪市	天然ゴム すべり支承
8	HNNN - 0064	2000/12/7	BCJ基評- HR0036	(仮称)Rプロジェクト C・D棟増築工事 D棟	菅原賢二設計スタジオ	T・R・A	RC	35	-	1337.2	29709.1	114.2	122.7	大阪府 大阪市	天然ゴム すべり支承
9	HNNN - 83	2001/1/5	GBRC建評- 00-11B-03	(仮称)北花田グランアヴェニュー6号棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	26	-	2295.2	15496.4	78.8	84.8	大阪府 堺市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 鋼棒ダンパー
10	HNNN - 0085	2001/1/5	BCJ基評- HR0051	(仮称)船橋本町Project	ティーエムアイ	フジタ	RC	23	1	610.0	9977.2	69.1	74.3	千葉県 船橋市	天然ゴム LRB
11	HNNN - 0101	2002/2/2	BCJ基評- HR0054	(仮称)相模原橋本地区分譲 共同住宅(B棟)新築工事	竹中工務店	竹中工務店	RC	32	-	1024.9	26916.1	99.5	104.3	神奈川県 相模原市	天然ゴム 滑り支承
12	HNNN - 0101	2002/2/2	BCJ基評- HR0054	(仮称)相模原橋本地区分譲 共同住宅(C棟)新築工事	竹中工務店	竹中工務店	RC	32	-	1024.9	26630.4	99.5	104.3	神奈川県 相模原市	天然ゴム 滑り支承
13	HNNN - 103	2001/2/22	GBRC建評- 00-11B-04	京阪くずはEブロック集合住宅A棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	24	-	7103.8	12028.4	72.7	76.4	大阪府 枚方市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 鋼棒ダンパー
14	HNNN - 105	2001/2/22	GBRC建評- 00-11B-05	京阪くずはEブロック集合住宅T棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	42	1	7103.8	32719.7	133.3	136.8	大阪府 枚方市	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー オイルダンパー
15	HFNN - 0120	2001/2/16	BCJ基評- HR0046	(仮称)藤和神楽坂5丁目マンション新築工事	フジタ	フジタ	RC	26	1	1829.0	30474.5	82.9	89.0	東京都 新宿区	天然ゴム LRB
16	HNNN - 0134	2001/5/29	BCJ基評- HR0047	(仮称)西五軒町再開発計画 住居棟	芦原太郎建築事務所	織本匠構造設計事務所 住友建設	RC	24	2	1066.9	22365.9	75.3	81.0	東京都 新宿区	LRB 直動転がり支承(CLB) 増幅機構付減衰装置(RDT)
17	HNNN - 0138	2001/3/13	BCJ基評- HR0056-01	(仮称)横浜金港町マンション	東海興業 飯島建築設計事務所	東海興業 飯島建築設計事務所	RC	21	1	1383.1	20508.6	65.8	71.3	神奈川県 横浜市	高減衰 オイルダンパー
18	HNNN - 0145	2001/3/28	BCJ基評- HR0078	(仮称)ガーデンヒルズ三河安城タワー	名倉設計	間組	RC	20	-	711.5	9700.0	60.5	66.3	愛知県 安城市	天然ゴム 鋼棒ダンパー 鉛ダンパー
19	HNNN - 0159	2001/4/5	BCJ基評- HR0084	(仮称)東神奈川駅前ハイツ	山下設計	山下設計	SRC	19	1	1960.9	19675.3	70.5	76.3	神奈川県 横浜市	天然ゴム 鉛ダンパー オイルダンパー
20	HFNN - 0174	2001/4/19	BCJ基評- HR0080	ライオンズタワー仙台台広瀬	IANA新建築研究所東北支店	IANA新建築研究所 大成建設	RC	32	1	1949.1	47053.5	99.3	109.9	宮城県 仙台市	弾性すべり支承 天然ゴム
21	HNNN - 0198	2001/5/29	BCJ基評- HR0109	日本メナード化粧品本社ビル	大成建設	大成建設	SRC	14		806.4	9550.3	63.4	67.4	愛知県名古屋 市	天然ゴム 弾性すべり支承
22	HFNN - 0219	2001/6/15	BCJ基評- HR0050	(仮称)香春口三萩野地区 ﾎﾞｲﾙﾎｰﾙﾎｰﾂﾜｰｷﾝｸﾞ事業	内藤 梓 竹中設計	内藤 梓 竹中設計	RC	27	1	3205.3	31527.6	88.8	96.7	福岡県 北九州市	天然ゴム LRB 滑り支承
23	HFNN - 235	2001/6/26	BCJ基評- HR0107	(仮称)東池袋2-38計画	大成建設	大成建設	RC	26	2	1016.0	18367.2	88.4	93.0	東京都 豊島区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
24	HFNB - 0248	2001/7/9	BCJ基評- HR0079	シンボルタワー(仮称) (免震は低層棟)	シンボルタワー設計共同企業 体	シンボルタワー設計共同企業 体	RC	7	2		1087.5			香川県 高松市	LRB 天然ゴム 弾性すべり支承
25	HFNN - 0269	2001/8/8	BCJ基評- HR0041	(仮称)大井一丁目ビル新築工事	熊谷組	熊谷組	SRC	14	2	3684.1	28177.4	62.2	72.0	東京都 品川区	天然ゴム LRB
26	HNNN - 276	2001/8/23	BCJ基評- HR0118	相模原橋本地区分譲共同住宅(D棟)	竹中工務店	竹中工務店	RC	24	-	10349.4	24036.1	76.7	81.7	神奈川県 相模原市	積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 滑り支承
27	HFNN - 0281	2001/8/21	BCJ基評- HR0119	紅谷町九番地区優良建築物等整備事業 施設建物	安宅設計	安宅設計 フジタ	RC	22	1	982.38	14,508	69.89	74.89	神奈川県 平塚市	鉛入り積層ゴム 積層ゴム
28	HNNN - 0331	2001/11/7	BCJ基評- HR0028-01	(仮称)新杉田駅前地区市街地再開発	松田平田・ｼﾝｸﾞﾏ建築企画設計 共同事業体	松田平田・ｼﾝｸﾞﾏ建築企画設計 共同事業体	RC	30	1	2019.8	37328.7	65.7	105.5	神奈川県 横浜市	天然ゴム LRB オイルダンパー
29	HNNN - 0344	2001/11/28	BCJ基評- HR0144-01	(仮称)大田区蒲田4丁目計画	三井建設	三井建設	RC	23	1	1141.4	17336.8	73.6	78.1	東京都 大田区	LRB オイルダンパー
30	HNNN - 348	2001/12/21	GBRC建評- 01-11B-013	関西医科大学枚方新病院	竹中工務店	竹中工務店	RC	13	1	9469.0	71318.0	60.2	70.5	大阪府 枚方市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入積層ゴム
31	HNNN - 350	2001/12/21	GBRC建評- 01-11B-014	(仮称)大拓メゾン吉野	竹中工務店	竹中工務店	RC	27	-	1004.7	14765.5	85.4	86.0	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 鉛入り積層ゴム オイルダンパー
32	HFNN - 370	2002/1/18	BCJ基評- HR0046-02	(仮称)藤和神楽坂5丁目マンション	フジタ	フジタ	RC	26	1	1829.0	30474.5	82.9	89.0	東京都 新宿区	鉛入り積層ゴム 積層ゴム
33	HNNN - 397	2002/2/8	BCJ基評- HR0158	(仮称)小田急海老名各分譲マンションB街区	鹿島建設 小田急建設	鹿島建設 小田急建設	RC	22	1		20530.0			神奈川県 海老名市	鉛プラグ入り積層ゴム
34	HNNN - 398	2002/2/8	BCJ基評- HR0159	(仮称)小田急海老名各分譲マンションC街区	鹿島建設 小田急建設	鹿島建設 小田急建設	RC	23	1		14857.0			神奈川県 海老名市	鉛プラグ入り積層ゴム
35	HFNN - 0408	2002/2/26	BCJ基評- HR0161-01	(仮称)プレステ加茂タワー	ノム建築設計室	T・R・A 太平工業 エスバス建築事務所	RC	20		2607.2	18576.9	62.6	68.7	京都府 相楽郡	天然ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー
36	HFNN - 0417	2002/2/26	BCJ基評- HR0130-02	(仮称)恵比寿1丁目共同ビル	東急設計コンサルタント	新井組	S SRC	18	1	1640.0	28260.1	75.9	85.4	東京都 渋谷区	天然ゴム LRB キ型直動転がり支承
37	HNNN - 419	2002/3/6	ERL-評第 01002号	(仮称)ディーグラフォート横浜	戸田建設	戸田建設	RC	21	-	902.2	13702.7	71.4	76.4	神奈川県 横浜市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
38	HFNB - 0436	2002/3/6		(仮称)汐留住友ビル開発計画	日建設計	日建設計	S,SRC, RC	27	3		99,400	128,10		東京都 港区	

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要						建設地 (市まで)	免震部材
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)	軒高 (m)	最高高さ (m)	
39	HFNN - 437	2002/3/6	BCJ基評- HR0157-01	(仮称)品川駅東口B-4地区計画	大成建設	大成建設	S	19	1	2701.0	39933.0	91.1	92.1	東京都品川区 天然ゴム系積層ゴム 弾性滑り支承
40	HNNN - 0446	200/4/5	BCJ基評- HR0170	(仮称)品川区西五反田三丁目集合住宅	東急設計コンサルタント	東急設計コンサルタント	RC	23		880.0	13835.0	69.4	75.4	東京都品川区 LRB 転がり支承
41	HFNN - 0509	2002/7/3	BCJ基評- HR0190	パ ندا イ新 本 社 ビ ル	大成建設	大成建設	S	14		934.3	13430.0	64.0	64.0	東京都台東区 高減衰 直動転がり支承
42	HNNN - 541	2002/8/22	ERI-評第 02011号	(仮称)幕張ベイタウンSH-3④街区新築工事 (B棟)	UG都市建築 限研吉建築都市設計事務所	フジタ	RC	22	-	1058.0	15520.3	69.2	73.8	千葉県千葉市 鉛入り積層ゴム
43	HNNN - 554	2002/10/25	GBRC建評- 02-11B-006	(仮称)グランドメゾン大手通一丁目	日建ハウジングシステム 日建設計	日建設計	RC	25	-	873.1	15375.9	81.2	89.5	大阪府大阪市 積層ゴムアイソレータ 転がり支承 オイルダンパー
44	HNNN - 568	2002/10/9	ERI-H02011	シエールタワー小倉	竹中工務店	竹中工務店	RC	33	1	836.5	20786.8	115.7	124.8	福岡県北九州市 天然ゴム系積層ゴム 弾性滑り支承 鋼製U型ダンパー
45	HFNN - 0586	2002/10/9	BCJ基評- HR0132-02	(仮称)新宿7丁目計画 住宅棟	フジタ	フジタ	RC	29	1	1172.6	15314.2	89.8	95.1	東京都新宿区 LRB 滑り支承
46	HNNN - 587	2002/11/7	GBRC建評- 02-11B-011	(仮称)ルネJR尼崎駅前	近藤剛生建築設計事務所	アクア 前田建設工業	RC	27	-	3093.2	27730.7	84.3	88.5	兵庫県尼崎市 鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鋼棒ダンパー 弾性すべり支承
47	HNNN - 0596	2002/12/5	BCJ基評- HR0201-1	(仮称)品川区平塚3丁目マンション計画	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	24		1161.5	12097.6	71.2	77.9	東京都品川区 天然ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
48	HNNN - 0601	2002/11/7	BCJ基評- HR0208-1	山之口A地区第一種市街地再開発事業	間組	間組	RC	20		1709.8	25498.0	60.3	61.0	大阪府堺市 天然ゴム 高減衰 弾性すべり支承 オイルダンパー
49	HFNN - 0612	2002/11/29	BCJ基評- HR0206-01	(仮称)天王洲計画	日本設計	日本設計	RC	23	1	759.5	12548.4	77.2	81.7	東京都品川区 LRB
50	HFNN - 0621	2002/12/18	BCJ基評- HR0203-01	ひぐらしの里西地区第一種市街地再開発事業 施設建築物	日本設計	日本設計	RC	25	3	1235.1	22618.7	86.9	94.0	東京都荒川区 天然ゴム LRB
51	HNNN - 0639	2002/12/26	GBRC-02- 11B-013	(仮称)ディーグラフォート神戸三宮	竹中工務店	竹中工務店	SRC	43	-	1926.6	40,654	144.6	152.0	兵庫県神戸市 天然ゴム系積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
52	HNNB - 641	2002/12/25	BCJ基評- HR0013	神保町一丁目南部地区第一種市街地再開発事業東棟	山下設計	山下設計	S	23	3	4149.6	88647.2	97.0	108.3	東京都千代田区 天然ゴム 鉛ダンパー
53	HFNN - 0644	2003/1/28	BCJ基評- HR0165-02	(仮称)麹町1丁目再開発ビル計画	日建設計	日建設計	S	15	2	1535.6	23879.9	67.1	67.6	東京都千代田区 天然ゴム 鉛ダンパー
54	HNNN - 0658	2003/1/27	BCJ基評- HR0220-01	信濃毎日新聞社本社ビル	日建設計	日建設計	S	12		1593.0	16453.0	60.4	61.0	長野県長野市 天然ゴム 一体型免震U型ダンパー 鉛ダンパー
55	HNNN - 0680	2003/2/28	BCJ基評- HR0222-01	東海大学医学部付属新病院	戸田建設	戸田建設	RC	14	1	9209.2	69142.2	74.3	75.2	神奈川県伊勢原市 天然ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
56	HFNN - 0710	2003/5/14	BCJ基評- HR0227-01	東京工業大学(すずかけ台)総合研究棟	東京工業大学 施設部 松田平田設計	東京工業大学 施設部 松田平田設計	S RC	20		1742.2	15746.3	85.3	94.9	神奈川県横浜市 天然ゴム 一体型免震U型ダンパー オイルダンパー 鋼材ダンパー
57	HNNN - 0714	2003/4/17	BCJ基評- HR0225-01	川口1丁目1番第一種市街地再開発事業分譲住宅棟	エイアンドティ建築研究所	T・R・A	RC	34		9896.6	91801.8	111.9	113.6	埼玉県川口市 天然ゴム LRB
58	HFNN - 0730	2003/5/14	BCJ基評- HR231-01	三島本町地区優良建築物建設工事 高層棟	ポリテック・エイディディ	ポリテック・エイディディ	RC	21	1	2993.0	32058.3	79.5	89.1	静岡県三島市 LRB
59	HFNN - 0747	2003/5/23	GBRC建評- 03-11B-004	海岸通・エレガノ神戸における超高層建築物	竹中工務店	竹中工務店	RC	25	1	1728	17,552	83.89	88.29	兵庫県神戸市 RB SSB 鋼製U型ダンパー
60	HFNN - 0770	2003/6/30	BCJ基評- HR238-01	(仮称)スターズ新浦安ホテル	日本設計	日本設計	RC	24		4352.0	28525.1	86.0	87.6	千葉県浦安市 天然ゴム すべり支承 転がり支承 オイルダンパー
61	HNNN - 772	2003/6/30	ERI-H03007	(仮称)大森プロジェクトA棟	東急設計コンサルタント	東急設計コンサルタント	RC	25	2	2101.4	34939.9	78.4	78.9	東京都大田区 鉛プラグ挿入型積層ゴム 直動転がり支承
62	HNNN - 773	2003/6/30	ERI-H03008	(仮称)大森プロジェクトB棟	東急設計コンサルタント	東急設計コンサルタント	RC	25	1	1788.2	30939.9	78.4	78.9	東京都大田区 鉛プラグ挿入型積層ゴム 直動転がり支承 U型鋼材ダンパー
63	HFNN - 0793	2003/8/27	BCJ基評- HR242-01	紅谷町三番地区優良建築物等整備事業建築物	安宅設計	T・R・A	RC	23	1	654.4	13218.6	75.6	76.2	神奈川県平塚市 天然ゴム LRB
64	HNNN - 794	2003/8/27	BCJ基評- HR0243-01	(仮称)北堀江1丁目計画	前田建設工業	前田建設工業	RC	32	1	1153.7	22073.6	99.4	109.0	大阪府大阪市 鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
65	HNNN - 0810	2003/9/1	BCJ基評- HR245-01	(仮称)芝浦工業大学豊洲キャンパス校舎棟	芝浦工業大学新キャンパス 整備設計共同体	(代表)日建設計	S	14	1	8841.6	57355.3	67.3	67.3	東京都江東区 天然ゴム 一体型免震U型ダンパー 鉛ダンパー 弾性すべり支承
66	HNNN - 817	2003/9/19	GBRC建評- 03-11B-006	(仮称)大拓メゾン関目マンション	竹中工務店	竹中工務店	RC	22	-	750.9	10268.6	69.1	74.1	大阪府大阪市 高減衰ゴム系積層ゴム オイルダンパー
67	HFNN - 839	2003/9/19	GBRC建評- 03-11B-007	(仮称)イトーピア西天満	浅井謙建築研究所	清水建設	RC	24	1	543.6	12003.2	75.2	84.4	大阪府大阪市 天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承 U型ダンパー
68	HNNN - 0889	2003/12/3	GBRC-建評 03-11B-008	(仮称)土佐堀パークタワー	熊谷組	熊谷組	RC	35	1	922.45	20592.82	114.56	118.25	大阪府大阪市
69	HFNN - 899	2003/12/12		武蔵浦和駅第8-1街区第一種市街地再開発事業	安井・地域計画建築研究所 設計共同企業体	安井・地域計画建築研究所 設計共同企業体	RC・S 一部SRC	31	2	約12,300	90312.0			埼玉県さいたま市 天然ゴム系積層ゴム 他
70	HNNN - 938	2004/1/23	HP評-03- 001	(仮称)立川錦町プロジェクト	安宅設計	フジタ	RC	21	1	972.6	13072.6	63.6	68.7	東京都立川市 鉛プラグ入り積層ゴム
71	HNNN - 962	2004/3/4	GBRC建評- 03-11B-014	(仮称)天満一丁目	竹中工務店	竹中工務店	RC	26	-	409.6	8911.7	80.2	84.6	大阪府大阪市 積層ゴム オイルダンパー
72	HNNN - 0974	2004/3/1	HP評-04- 001	ライオンズタワー仙台青葉	創建設計	銭高組	RC	22	1	1140.08	16,997	68.95	78	宮城県仙台市 天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承
73	HNNN - 0982	2004/2/10	BCJ基評- HR272-01	(仮称)東京ミッドタウンプロジェクト C棟	日建設計	日建設計	RC	30	2	2816.2	57532.3	104.4	107.4	東京都港区 天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー U型鋼棒ダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件 名	設計	構造	建築概要						建設地 (市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)	軒高 (m)			最高高さ (m)
74	HNNN - 999	2004/3/24	ERI-H03041	(仮称)西区新町マンション	竹中工務店	竹中工務店	RC	33	-	715.3	17622.8	99.5	105.1	大阪府 大阪市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
75	HFNN - 1031	2004/5/10	BCJ基評- HR280-01	大崎駅東口第3地区 第一種市街地再開発事業 賃貸住宅棟	大林組東京本社	大林組東京本社	RC	28	1	2980.2	32950.6	93.7	99.0	東京都 品川区	鉛プラグ挿入型積層ゴム
76	HNNN - 1034	2004/4/14	ERI-H03050	十日町一丁目地区優良建築物等整備事業施設建築物	アール・アイ・エー 創建設計	アール・アイ・エー 塩見	RC	23	1	1080.9	18242.4	77.1	85.2	山形県 山形市	鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承
77	HNNN - 1061	2004/5/21	BCJ基評- HR287-01	(仮称)神宮前センチュリーマンション	鹿島建設	鹿島建設	RC	22	2	738.8	12723.7	69.0	74.1	東京都 渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承
78	HNNN - 1071	2004/6/8	基評- HR0291-01	(仮称)横浜山の内開発C街区計画IS棟	三菱地所設計	三菱地所設計 前田建設工業	RC	32	1	1626	33.207	99.90		神奈川県 横浜市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 鋼材ダンパー
79	HNNN - 1072	2004/6/8	基評- HR0292-01	(仮称)横浜山の内開発C街区計画IS棟	三菱地所設計	三菱地所設計 前田建設工業	RC	23	-	1179.74	13.083	70.60		神奈川県 横浜市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
80	HNNN - 1078	2004/6/8	BCJ基評- HR293-01	(仮称)キャピタルマークタワー	日建ハウジングシステム 佐藤総合計画	佐藤総合計画 鹿島建設	RC	47	1	4300.0	99980.0	160.3	167.2	東京都 港区	鉛プラグ入り積層ゴム 滑り支承
81	HNNN - 1100	2004/7/16	ERI-H04012	(仮称)幕張ベイタウンSH-3①街区A棟	UG都市建築 隈研吾建築都市設計事務所 藤本壮介建築設計事務所	フジタ	RC	21	-	1008.4	17066.4	65.9	70.6	千葉県 千葉市	鉛入り積層ゴム
82	HNNN - 1107	2004/7/30	GBRC建評- 04-11B-001	(仮称)西梅田超高層マンション	竹中工務店	竹中工務店	RC	50	1	1795.6	52524.6	168.5	177.4	大阪府 大阪市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支承
83	HNNN - 1134	2004/8/18	GBRC建評- 04-11B-005	(仮称)阿倍野松崎町マンション	浅井謙建築研究所	浅井謙建築研究所 奥村組	RC	43	1	1695.9	38768.5	151.6	161.8	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー 粘性ダンパー
84	HNNN - 1153	2004/8/31	ERI-H04015	(仮称)みなとみらい21地区40街区開発計画 (1期棟)	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	30	-	5200.0	74040.0	99.8	107.3	神奈川県 横浜市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 鋼材ダンパー
85	HNNN - 1154	2004/8/31	ERI-H04016	(仮称)みなとみらい21地区40街区開発計画 (2期棟)	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	30	-	5500.0	74040.0	99.8	107.3	神奈川県 横浜市	同上
86	HNNN - 1160	2004/8/31	GBRC建評- 04-11B-004	(仮称)南堀江タワー	日建ハウジングシステム	竹中工務店	RC	38	1	1531.6	30782.7	135.9	135.9	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 U型ダンパー
87	HFNN - 1174	2004/9/24	ERI-H04019	(仮称)チャミング・スクウェア南声屋	蔵建築設計事務所	蔵建築設計事務所 大林組	RC	25	-	9118.1	38967.8	79.3	85.7	兵庫県 芦屋市	鉛入り積層ゴム すべり支承
88	HNNN - 1181	2004/10/6	GBRC建評- 04-11B-007	(仮称)アーバンライフ南本町3丁目	竹中工務店	竹中工務店	RC	33	-	590.9	12467.3	99.7	105.8	大阪府 大阪市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
89	HNNN - 1182	2004/10/6	基評- HR0313-01	(仮称)横浜山の内開発C街区計画LN棟	三菱地所設計	三菱地所設計 前田建設工業	RC	38	1	2838.8	38.765	118.70		神奈川県 横浜市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 鋼材ダンパー
90	HNNN - 1183	2004/10/6	基評- HR0314-01	(仮称)横浜山の内開発C街区計画IN棟	三菱地所設計	三菱地所設計 前田建設工業	RC	23	-	1269.03	13.545	70.00		神奈川県 横浜市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
91	HNNN - 1189	2004/10/6	GBRC建評- 04-11B-006	(仮称)大淀南集合住宅	竹中工務店	竹中工務店	RC	44	0	1027.51	32.388	140.25		大阪府 大阪市	RB SSB オイルダンパー 摩擦ダンパー
92	HFNN - 1200	2004/10/20	ERI-H04018	(仮称)甲府北口三丁目目セインツタワーⅡ	エイアンドティ建築研究所	T・R・A	RC	25	-	840.1	15924.8	88.5	94.0	山梨県 甲府市	鉛プラグ挿入型積層ゴム 弾性すべり支承
93	HNNN - 1244	2004/11/24	ERI-H04034	港1丁目タワーマンション	小野設計	ピーエス三菱 構造計画研究所	RC	31	-	814.2	16718.0	92.3	97.3	福岡県 中央区	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
94	HFNN - 1255	2004/12/7		岐阜駅西地区市街地再開発事業	森ビル都市企画・竹中工務店 JV	竹中工務店	RC	43	1	5,412	57,600	163		岐阜県 岐阜市	オイルダンパー他
95	HFNN - 1262	2004/12/27	BCJ基評- HR0320-01	(仮称)飯田橋2丁目計画	戸田建設	日建設計	RC	25	2	501.7	11,098	85.50		東京都 千代田区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー 鋼材ダンパー
96	HNNN - 1280	2005/2/8	ERI-H04047	(仮称)南船橋プロジェクト S棟	ゼファー	構造フォーラム	RC	22	-	1968.9	37437.4	70.9	75.9	千葉県 船橋市	高減衰積層ゴム すべり支承
97	HNNN - 1281	2005/2/8	ERI-H04048	(仮称)南船橋プロジェクト N棟	ゼファー	構造フォーラム	RC	22	-	2753.1	42569.5	70.9	75.9	千葉県 船橋市	高減衰積層ゴム
98	HNNN - 1282	2005/2/8	ERI-H04041	(仮称)南船橋プロジェクト E棟	ゼファー	構造フォーラム	RC	22	-	1083.5	19527.1	70.9	75.9	千葉県 船橋市	高減衰積層ゴム
99	HNNN - 1283	2005/2/8	ERI-H04042	(仮称)南船橋プロジェクト W棟	ゼファー	構造フォーラム	RC	22	-	1080.5	21112.7	70.9	75.9	千葉県 船橋市	高減衰積層ゴム
100	HFNN - 1295	2005/3/17		小田急相模原駅北口A地区第一種市街地再 開発事業施設建築物	パシフィックコンサルタンツ	織本匠構造設計事務所	RC	20	4		36,190			神奈川県 相模原市	積層ゴム 直動転がり支承
101	HNNN - 1330	2005/3/14	GBRC建評- 04-11B-010	(仮称)上本町分譲住宅	エヌ・ティ・ティ・ファシリティーズ 清水建設	エヌ・ティ・ティ・ファシリティーズ 清水建設	RC	41	1		37390.0			大阪府 大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支承
102	HNNN - 1351	2005/4/5	GBRC建評- 04-11B-011	(仮称)神戸市中央区熊内町7丁目マンション	竹中工務店	竹中工務店	RC	21	-	424.3	6090.2	63.4	68.4	兵庫県 神戸市	高減衰ゴム系積層ゴム
103	HNNN - 1370	2005/4/8	GBRC建評- 04-11B-013	(仮称)豊崎分譲マンション	エヌ・ティ・ティ・ファシリティーズ	エヌ・ティ・ティ・ファシリティーズ	RC	25	-	772.0	15669.2	80.3	86.3	大阪府 大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム 井型直動転がり支承
104	HFNN - 1455	2005/6/13	BCJ基評- HR0338-01	平成17年度大手町地区第一種市街地再開発 事業施設建築物	石本建築事務所	石本建築事務所	RC	20	1	4839.8	46573.2	76.9	82.8	静岡県 沼津市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支承 流体系減衰材
105	HNNN - 1488	2005/7/11	ERI-H05010	(仮称)くずはW街区マンション建設計画	大林組	大林組	RC	21	-	3443.2	28157.2	69.0	74.5	大阪府 枚方市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承
106	HFNN - 1498	2005/7/20	BCJ基評- HR0344-01	代々木ゼミナール代々木2丁目プロジェクト	大成建設	大成建設	SRC S(一部 OFT柱) RC	26	3	1213.2	27446.5	131.1	131.1	東京都 渋谷区	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性滑り支承 オイルダンパー
107	HNNN - 1585	2005/9/26	ERI-H05021	(仮称)スペーシア目黒	イクス・アーク都市設計	イクス・アーク都市設計 奥村組	RC	25	1	805.6	19765.0	82.3	86.6	東京都 目黒区	高減衰積層ゴム オイルダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件 名	設計	構造	建築概要						建設地 (市まで)	免震部材
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)	軒高 (m)	最高高さ (m)	
108	HNNN - 1593	2005/9/30	GBRC建評-05-11B-009	ジオタワー西宮北口	竹中工務店	竹中工務店	RC	26	1		25091.9	85.0		兵庫県西宮市 天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム オイルダンパー 鋼製U形ダンパー
109	HFNN - 1702	2006/1/10	BCJ基評-HR0309-02	高島二丁目地区第一種市街地再開発事業施設建築物	アール・アイ・エー	アール・アイ・エー 織本構造設計	RC	36	2	3967.3	54313.9	131.8	143.0	神奈川県横浜 鉛プラグ挿入型積層ゴム すべり系支承 減衰コマ
110	HNNN - 1721	2006/1/23	BCJ基評-HR0369-01	(仮称)上本町西タワープロジェクト	前田建設工業	前田建設工業	RC	31	-	1317.8	22853.6	99.8	106.8	大阪府大阪市 鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
111	HNNN - 1758	2006/2/20	ERI-H05037	西区新町プロジェクト	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	25	-		12543.0	76.5		大阪府大阪市 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
112	HFNB - 1783	2006/3/15	BCJ基評-HR0368-02	(仮称)朝日放送新社屋	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	S RC	16	1	6689.0	44838.0	75.3	95.3	大阪府大阪市 天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承 転がり系支承 流体系減衰材
113	HNNF - 1804	2006/2/20	BCJ基評-HR0387-01	(仮称)北品川三丁目計画	日建ハウジングシステム	前田建設工業	RC	36	1		26264.0	113.3		東京都品川 鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 鉛ダンパー
114	HNNN - 1811	2006/3/30	JSSI-構評-05004	中原消防署・ホテル	梓設計	梓設計	SRC, RC	21	-	1350.0	14195.0	77.3	76.2	神奈川県川崎市 天然ゴムすべり支承 転がり支承 オイルダンパー
115	HNNN - 1839	2006/4/28	GBRC建評-05-11B-018	(仮称)大阪西天満タワー	徳岡昌克建築設計事務所	建築構造企画 山田建築構造事務所	RC	23	1		4781.9	71.4		大阪府大阪市 天然ゴム系積層ゴム すべり支承
116	HNNN - 1848	2006/5/8	BCJ基評-HR0395-02	新本部ビル(仮称)	松田平田設計	松田平田設計	S	14	1		27745.0	78.0		福岡県福岡市 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
117	HNNN - 1850	2006/4/28	BCJ基評-HR0399-01	(仮称)江東区豊洲1丁目計画A棟	三井住友建設	三井住友建設	RC	23	-		31626.1	72.3		東京都江戸川区 鉛プラグ入り積層ゴム
118	HNNN - 1852	2006/5/8	GBRC建評-06-11B-004	(仮称)シーエル住居棟	コスモランド	竹中工務店	RC	23	1		9.646	68.85		大阪府大阪市 鉛プラグ入りゴム
119	HNNN - 1863	2006/6/16	BCJ基評-HR0397-01	(仮称)五橋三丁目マンションA(B棟)	日企設計	前田建設工業	RC	30	-	4117.7	29555.4	97.5	104.6	宮城県仙台市 鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
120	HNNN - 1864	2006/5/26	BCJ基評-HR0400-01	阪神西宮駅前プロジェクト	西松建設	西松建設	RC	23	-	765.1	11688.5	77.8	84.3	兵庫県西宮市 高減衰積層ゴム オイルダンパー
121	HNNN - 1866	2006/6/16	BCJ基評-HR0396-01	(仮称)大森共同住宅	日総建	大林組	RC	25	1	837.8	18206.7	84.3	88.2	東京都大田区 天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ挿入型積層ゴム
122	HNNN - 1872	2006/6/8	BCJ基評-HR0403-01	(仮称)アメックス経浜ステーションタワー	竹中工務店	竹中工務店	RC S	23	-	652.6	7586.9	74.4	75.2	福岡県福岡市 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
123	HNNN - 1883	2006/4/17	BCJ基評-HR0404-01	東静岡タワー	東畑建築事務所	戸田建設	RC	27	-	834.7	16229.0	93.0	95.4	静岡県静岡市 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
124	HFNN - 1908	2006/7/11	UHEC評価-構17010	(仮称)川崎戸手4丁目再開発事業(A敷地)	IAO竹田設計	和田建築技術研究所	RC	22	2	934.6	15070.6	69.2	77.7	神奈川県川崎市 高減衰ゴム系積層ゴム すべり系支承 粘性系ダンパー
125	MNNN - 1918	2006/7/21	GBRC建評-06-11A-005	(仮称)大阪市城東区中央2丁目計画(東棟)	APEX	フジタ	RC	16	0		8.167	47.70		大阪府大阪市 鉛入り積層ゴム 滑り支承
126	HNNN - 1929	2006/7/11	GBRC建評-06-11B-009	新神戸駅前タワー	清水建設	清水建設	RC	42	1		38600.0		146.0	兵庫県神戸市 天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
127	HNNN - 1935	2006/8/14	BCJ基評-HR0412-01	(仮称)西参道プロジェクト	前田建設工業	前田建設工業	RC	24	1		13428.6	75.6	81.8	東京都渋谷区 鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 鉛ダンパー
128	HNNN - 1939	2006/8/14	GBRC建評-06-11B-010	(仮称)ライオンズタワー六野	竹中工務店	竹中工務店	RC	47	-		49966.9	161.9		愛知県名古屋 天然積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承 直動転がり支承
129	HNNN - 1960	2006/9/11	BCJ基評-HR0425-01	(仮称)サンデュエル長町駅前計画	菅野宏史建築設計事務所	ピーシー建築技術研究所 仙台同人設計	RC	20	-		11828.1	64.1		宮城県仙台市 鉛プラグ入り積層ゴム
130	HFNN - 1964	2006/9/21	BCJ基評-HR0415-02	(仮称)アデニウム萬代橋タワー	浅井謙建築研究所	浅井謙建築研究所 構造地盤研究所(監修) 奥村組(協力)	RC	24	1		16.359	79.89		新潟県新潟市 高減衰ゴム オイルダンパー
131	HNNN - 1969	2006/9/20		(仮称)ザ・松屋タワー	IAO竹田設計	IAO竹田設計	RC	28	1		17750.0			大阪府大阪市 天然ゴム系積層ゴム 弾性滑り支承 オイルダンパー
132	HNNN - 1970	2006/9/11		(仮称)千里中央ノースタワー	竹中工務店	竹中工務店	RC	49	1		56217.0	157.4		大阪府吹田市 天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム 弾性滑り支承 減衰コマ
133	HNNN - 1971	2006/9/20	UHEC評価-構18008	(仮称)戸手4丁目南地区計画	IAO竹田設計	和田建築技術研究所	RC	22	-	1186.9	17346.4	69.2	75.2	神奈川県川崎市 高減衰ゴム系積層ゴム すべり系支承 粘性系ダンパー
134	HNNN - 1972	2006/8/30	UHEC評価-構18007	(仮称)JV東雲1街区プロジェクト	大成建設	大成建設	RC	41	1	3086.0	53235.1	139.6	147.0	東京都江東区 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
135	HNNN - 1977	2006/9/21	BCJ基評-HR0424-01	(仮称)中幸町マンション計画	三井住友建設	三井住友建設	RC	38	2		47927.0	122.9		神奈川県川崎市 鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
136	HNNN - 1980	2006/9/20	UHEC評価-構18010	日本赤十字社和歌山医療センター新棟	横河建築設計事務所 戸田建設	横河建築設計事務所 戸田建設	S	13	1		52.490	63.81		和歌山県和歌山市 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
137	HNNN - 1985	2006/9/20		(仮称)宝塚市武庫川町計画A棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	32			34.985	110.80		兵庫県宝塚市 高減衰ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
138	HNNN - 2023	2006/11/7	BCJ基評-HR0433-01	(仮称)船橋市湊町2丁目計画	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	38	1		41196.0	129.8		千葉県船橋市 天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
139	HNNN - 2028	2006/11/7		(仮称)ヴェルパーク東千代町B棟		竹中工務店	RC	32				100.2		広島県広島市 オイルダンパー他
140	HNNN - 2051	2006/11/16	UHEC評価-構18021	(仮称)細工谷計画	長谷工コーポレーション	長谷工コーポレーション	RC	35	-	1082.9	21385.6	115.6	122.9	大阪府大阪市 鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
141	HNNNN - 2054	2006/11/16	BCJ基評-HR0442-01	(仮称)青山プロジェクト	青木淳建築計画事務所	鹿島/A/E	RC+S	9F	B1F	515.51	4.947			東京都渋谷区 鉛プラグ入り積層ゴム 剛すべり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件 名	設計	構造	建築概要						建設地 (市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)	軒高 (m)			最高高さ (m)
142	HNNN - 2075	2006/12/12	UHEC評価-構18018	(仮称)川崎戸手4丁目再開発事業(B敷地)	IAO竹田設計	和田建築技術研究所	RC	20	-	999.3	16223.8	61.0	64.6	神奈川県川崎市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰ゴム系積層ゴム 回転機構付すべり系支承 粘性系ダンパー
143	HNNN - 2089	2007/1/10	ERI-H06005	(仮称)あいおい損保新仙台ビル	ゼファー 安藤建設	ゼファー 安藤建設	S	14	-	1054.1	12824.8	59.6	66.0	宮城県仙台市	鉛入り積層ゴム
144	HNNN - 2090	2006/12/12	ERI-H06001-01	(仮称)D' グラフォート郡山西口	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	26	-	816.0	12480.2	91.8	92.3	福島県郡山市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 弾性すべり支承 鋼材ダンパー
145	HFNN - 2091	2006/11/20		神宮前一丁目民活再生プロジェクト(警察施設)	安井建築事務所	安井建築事務所	RC	15	2		26791.0			東京都渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム
146	HNNN - 2096	2007/1/9	BCJ基評-HR0447-01	(仮称)神戸市須磨区行幸町マンション	浅井謙建築研究所	浅井謙建築研究所 鴻池組	RC	36	-	1203.7	23400.3	115.4	120.5	兵庫県神戸市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 直動転がり支承 オイルダンパー
147	HFNN - 2126	2007/1/19	BCJ基評-HR0448-01	(仮称)セレストタワー高崎	安宅設計	T・R・A	RC	21	1	895.0	15010.7	67.7	73.0	群馬県高崎市	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承
148	HNNN - 2129	2007/1/22	BCJ基-HR0262-03	(仮称)糸屋町プロジェクト	安井建築事務所	熊谷組	RC	40	2	1621.9	44832.9	126.3	135.5	大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
149	HNNN - 2134	2007/1/22	UHEC評価-構18024	(仮称)グランドメゾン京町堀タワー計画	長谷工コーポレーション	長谷工コーポレーション	RC	30	-	1454.6	22997.2	98.8	104.9	大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
150	HNNN - 2144	2007/1/22	BCJ基-HR0450-01	(仮称)ディーグランセ上町台ハイレジデンス	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	28	1		16298.0	92.3		大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
151	HNNN - 2148	2007/1/22	BCJ基評-HR0456-01	二子玉川東地区第一種市街地再開発事業施設建築物Ⅲ街区A棟	アール・アイ・エー 東急設計コンサルタント 日本設計	日本設計	RC	28	1		29608.0	92.7		東京都世田谷区	鉛プラグ入積層ゴム 転がり系支承 流体系減衰材
152	HNNN - 2149	2007/1/22	BCJ基評-HR0457-01	二子玉川東地区第一種市街地再開発事業施設建築物Ⅲ街区B棟	アール・アイ・エー 東急設計コンサルタント 日本設計	日本設計	RC	42	1		48905.0	144.0		東京都世田谷区	鉛プラグ入積層ゴム 転がり系支承 流体系減衰材
153	HNNN - 2150	2007/1/22	BCJ基評-HR0458-01	二子玉川東地区第一種市街地再開発事業施設建築物Ⅲ街区C棟	アール・アイ・エー 東急設計コンサルタント 日本設計	日本設計	RC	28	1		29415.0	97.1		東京都世田谷区	鉛プラグ入積層ゴム 転がり系支承 流体系減衰材
154	HNNN - 2175	2007/1/15		(仮称)東戸塚西口駅前計画	類設計室	類設計室	RC	26	1		34069.0	99.9		神奈川県横浜市	
155	HNNN - 2190	2007/3/14	GBRC建評-06-11B-019	(仮称)宝塚市武庫川町計画B棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	33	0		39.625	108.71		兵庫県宝塚市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム
156	HNNN - 2208	2007/3/14		(仮称)華ヶ崎タワー	竹中工務店	竹中工務店	RC	37	1	1,246.27	34,026.86	121.65	121.65	大阪府大阪市	弾性すべり支承 積層ゴム
157	HFNN - 2209	2007/2/5		(仮称)アデニウム熱海シーサイドタワー	東急設計コンサルタント	東急設計コンサルタント	RC	30	3	4,085	74,231	99.1	99.8	静岡県熱海市	LRB 天然ゴム系積層ゴム すべり支承
158	HNNN - 2212	2007/3/14		(仮称)ライオンズタワー勾当台通		大林組	RC	29	-		18,410.57			宮城県仙台市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
159	HFNN - 2240	2007/3/29	BCJ基評-HR0389-01	(仮称)ICタワー計画	竹中工務店	竹中工務店	RC SRC S	41	1	7022.3	53236.1	144.7	145.3	福岡県福岡市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 U型ダンパー オイルダンパー
160	HNNN - 2253	2007/4/3	UHEC評価-構18027	(仮称)大島2丁目計画	浅沼組	浅沼組	RC	20	1	780.3	12233.2	64.6	70.2	東京都江東区	天然ゴム系積層ゴム 高減衰ゴム系積層ゴム オイルダンパー
161	HNNN - 2291	2007/4/27	BCJ 基評-HR0492-01	レーヴ日進	前田建設工業	前田建設工業	RC	24F	-		19,929	73.6		愛知県日進市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
162	HNNN - 2298	2007/4/10	BCJ基評-HR0341-02	(仮称)MM21・41街区プロジェクト	東急設計コンサルタント 三井住友建設	東急設計コンサルタント 三井住友建設	RC	31	1	5338.9	81998.8	99.6	106.1	神奈川県横浜市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
163	HNNN - 2307	2007/4/10	ERI-H06007-01	(仮称)港1丁目14マンション	小野設計	ピーエス三菱	RC	30	1		19,077	90.00		福岡県中央区	高減衰積層ゴム オイルダンパー
164	HNNN - 2316	2007/5/31		(仮称)TJ八王子プロジェクト	大林組	大林組	RC	21	1	2,073.94	14,451.75			東京都八王子市	積層ゴム 直動転がり支承
165	HNNN - 2319	2007/5/31		(仮称)阪神御影駅前住宅棟	竹中工務店	竹中工務店	RC+S	47	-		63100.0	165.5		兵庫県神戸市	弾性滑り支承 他
166	HNNN - 2338	2007/6/15		(仮称)茶屋町東地区再開発ビル 商業住宅棟	和田建築研究所 日本設計	和田建築研究所 日本設計	RC	31	1	2,355	約28,700	113.9		大阪府大阪市	オイルダンパー他
167	HNNN - 2339	2007/6/15		(仮称)西尾市桜木町三丁目	野口建築事務所、浅沼組	野口建築事務所 浅沼組	RC	20	0	2,779	10,816			愛知県西尾市	
168	HNNN - 2349	2007/6/22		(仮称)千葉中央タワープロジェクト	入江三宅設計事務所	入江三宅設計事務所	RC	43	1	1964.3	53592.9			千葉県千葉市	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 鋼棒ダンパー
169	HNNN - 2362	2007/7/3	BCJ 基評-HR0505-01	(仮称)クラブオリエントビル№71	山本建築工房	前田建設工業	RC	33F	-		13,034	98.6		福岡県北九州市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鋼材ダンパー
170	HFNB - 2421	2007/8/23		(仮称)みなとみらいODKビル	大成建設	大成建設	RC	21	2		95,151	97.70		神奈川県横浜市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
171	HNNN - 2434	2007/8/20	ERI-H07003	(仮称)千早タワー A棟	日建ハウジングシステム アール・アイ・エー	日建ハウジングシステム	RC	31	-		28347.77 (計画全体)	104.40		福岡県福岡市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
172	HNNN - 2468	2007/9/27	ERI-H07006	(仮称)グランスイート千種	澤田建築事務所 奥村組	奥村組	RC	30	-	759.31	17,121	99.89	101	愛知県名古屋市	高減衰ゴム オイルダンパー
173	HNNN - 2470	2007/9/27	ERI-H07007	(仮称)安堂寺町計画(住宅棟)	フジタ	フジタ	RC	26	1	887.3	17860.7	82.5	88.3	大阪府大阪市	鉛入り積層ゴム
174	HNNN - 2493	2007/10/4	GBRC建評-07-022A-012	(仮称)堂島タワー	奥村組 ライフデザイン研究所	奥村組	RC	31	-		20,089	99.57		大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム オイルダンパー
175	HNNN - 2494	2007/10/4	GBRC建評-07-022A-007	(仮称)ヴィークタワー南堀江	清水建設	清水建設	RC	32	0		32,200	112.75		大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム オイルダンパー
176	HNNN - 2500	2007/10/10	GBRC建評-07-022A-014	(仮称)福島区福島4丁目マンション	LAN設計	フジタ	RC	25	0		14,815	76.19		大阪府大阪市	鉛入り積層ゴム 滑り支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件 名	設計	構造	建築概要						建設地 (市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)	軒高 (m)			最高高さ (m)
177	HNNN - 2516	2007/10/5		(仮称)つくば研究学園駅前プロジェクト(D4街区)A棟	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	20	1		12866.2	62.5		茨城県 つくば市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
178	HNNN - 2517	2007/10/5		(仮称)つくば研究学園駅前プロジェクト(D4街区)B棟	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	20	1		9424.8	62.5		茨城県 つくば市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
179	HNNN - 2518	2007/10/5		(仮称)つくば研究学園駅前プロジェクト(D4街区)C棟	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	24	1		9424.8	74.5		茨城県 つくば市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
180	HNNN - 2519	2007/10/5		(仮称)つくば研究学園駅前プロジェクト(D21街区)D棟	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	24	1		26226.1	74.5		茨城県 つくば市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
181	HNNN - 2532	2007/11/5	ERI-H07010	(仮称)UV小倉	山本建築工房	アークブレイン	RC	20	-	1742.0	16471.9	61.6	67.4	福岡県 北九州市	鉛入り積層ゴム すべり支承
182	HNNN - 2534	2007/11/5	ERI-H07008	マークス秋葉原	F&N総合設計	ジェーエスディー	PCaPs	25	-	329.9	4824.5	70.7	76.4	東京都 千代田区	天然ゴム積層ゴム 免震U型ダンパー 免震鉛ダンパー
183	HNNN - 2543	2007/11/22	GBRC建評-07-022A-Q19	JR久留米駅前第一街区第一種市街地再開発事業施設建築物	安井建築設計事務所	安井建築設計事務所	RC	35	1		43,827	115.11		福岡県 久留米市	高減衰積層ゴム 鉛プラグ積層ゴム支承
184	HFNB - 2569	2007/11/28		丸の内2-1地区(丸の内SF計画)	三菱地所設計	三菱地所設計	S	34	4		204786.0	157.1		東京都 千代田区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
185	HNNB - 2579	2007/12/13		(仮称)大阪駅改良・新北ビル・アクティ大阪		安井建築設計	S・RC	29	3		138,537	144.4	約150	大阪府 大阪市	オイルダンパー他
186	HNNN - 2615	2007/12/17	BCJ基評-HR0533-01	(仮称)有明一丁目計画	前田建設工業	前田建設工業	RC	33	-	2719.8	51695.6	113.1	119.0	東京都 江東区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
187	HNNN - 2621	2008/1/11		愛知県中央信用組合新本店	井上建築・青島設計	井上建築・青島設計	RC	5			3,289			愛知県 碧南市	積層ゴム 直動転がり支承
188	HNNN - 2663	2008/1/11	ERI-H07012	(仮称)東静岡駅前計画	清水建設	清水建設	RC	28	0		24,000	98.95		静岡県 東静岡市	天然ゴム系積層ゴム 鉛入り積層ゴム オイルダンパー
189	HNNN - 2697	2008/1/24	ERI-H07013	(仮称)千早タワー B棟	日建ハウジングシステム アール・アイ・エー	日建ハウジングシステム	RC	31	-		28347.77 (計画全体)	104.40		福岡県 福岡市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
190	HNNN - 2700	2008/1/24		ソフトウェア情報開発株式会社本社ビル	松田平田設計	大成建設	S	10	1		3,181			東京都 港区	積層ゴム 直動転がり支承
191	HFNB - 2720	2008/2/12	TBTO基評11A-07001号	(仮称)FXプロジェクト	清水建設	清水建設	RC	20	1	11343.1	135268.6	97.1	105.1	神奈川県 横浜市	高減衰ゴム系積層ゴム すべり系支承 オイルダンパー
192	HNNN - 2732	2008/1/31	BCJ基評-HR0539-02	(仮称)下山手通プロジェクト	IAO竹田設計	前田建設工業	RC	37F	-		24,204	118.9		兵庫県 神戸市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
193	HNNN - 2741	2007/12/3	BCJ基評-HR0541-01	仙台一番町プロジェクト	戸田建設	戸田建設	RC	29	1	1274.0	30337.0	99.3	105.6	宮城県 仙台市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
194	HNNN - 2743	2008/3/31		国立国際医療センター	厚生労働省大臣官房会計課 施設整備室、日建設計	厚生労働省大臣官房会計課 施設整備室、日建設計	SRC	16	2	11,616	78,371	78.15	79	東京都 新宿区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
195	HNNN - 2763	2008/2/5	BCJ基評-HR0529-01	(仮称)タワーザファースト静岡	東畑建築事務所	淺沼組 構造計画研究所	RC	26	-	1227.3	17439.9	94.3	94.5	静岡県 静岡市	高減衰系積層ゴム オイルダンパー
196	HNNN - 2766	2008/2/5	ERI-H07015	(仮称)千葉みなとプロジェクト	ピーエス三菱	ピーエス三菱	RC	22	-	4,450	34,721	67.06		千葉県 千葉市	LRB すべり支承
197	HNNN - 2779	2008/1/29		(仮称)安堂寺2丁目プロジェクト	積水ハウス	積水ハウス	RC	32	1	568.79	15,203.73	99.98	105	大阪府 大阪市	高減衰積層ゴム
198	HNNN - 2914	2008/3/25		(仮称)レクセルマンションみどりの計画	熊谷組	熊谷組	RC	25			23587.05	76.98		茨城県 つくば市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム オイルダンパー
199	HNNN - 2925	2008/4/15		(仮称)勝どき一丁目地区プロジェクト	梓設計	梓設計	RC	45	2	2,244	54,431	154.2	160	東京都 中央区	天然ゴム系積層ゴム 他
200	HNNN - 2933	2008/4/23		(仮称)アデニウム天神橋筋6丁目	奥村組	奥村組	RC	30	1	953	19,786		103	大阪府 大阪市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
201	HNNN - 2934	2008/3/25	GBRC建評-07-022A-Q16-Q1B	(仮称)若草町地区市街地再開発事業北街区タワー住宅棟	竹中工務店		RC	33	1	576	28,818	109.75		広島県 広島市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
202	HFNB - 2982	2008/7/11		(仮称)汐留浜離宮計画	日建設計	日建設計	S	21	2	2,454	47,969	114.00	120.0	東京都 中央区	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 鋼材ダンパー 鉛ダンパー
203	HNNN - 2991	2008/4/22		(仮称)神戸磯上タワー	アール・アイ・エー熊谷組設計 企業体	アール・アイ・エー熊谷組設計 企業体	RC	29	1	1,222.58	19,967	95.20	95.20	兵庫県 神戸市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 鋼製ダンパー
204	HFNN - 3004	2008/5/7		(仮称)業平橋押上地区開発計画(新タワー計画)	日建設計	日建設計	S、 SRC、 RC	31	3	31,833	229,410	148.00	160	東京都 墨田区	NRB
205	HNNN - 3041	2008/6/2	GBRC建評-08-022A-Q22	番里園東地区第一種市街地再開発事業 施設建築物(3街区)住宅棟	竹中工務店	竹中工務店	RC・S	37	0		51,039	88.00		大阪府 寝屋川市	天然ゴム系積層ゴム 減衰こま
206	HNNN - 3049	2008/6/9	CIAS構評-20-0001	(仮称)クリオ富ヶ谷計画建築物	久米設計	久米設計	RC	27	4	1310.0	29095.0	88.5	92.9	東京都 渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
207	HNNN - 3056	2008/5/22		帝京大学医学部附属病院新館	石本建築事務所・山下設計 JV	石本建築事務所・山下設計 JV	RC	19	2	11517.8	111,888	80.00		東京都 板橋区	積層ゴム 直動転がり支承
208	HNNN - 3195	2008/9/24	評価一構-18	日本赤十字和歌山	横河建築設計 戸田建設 共同設計	横河建築設計 戸田建設 共同設計	S	13	1	5020	52490	63.8	68.4	和歌山県 和歌山市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
209	HNNB - 3197	2008/8/19		西新宿八丁目成子地区第一種市街地再開発事業施設建築物	日建設計	日建設計	SRC	40	3	9,827	180,043	188.8	195	東京都 新宿区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり
210	HNNN - 3298	2008/8/6	BCJ基評-HR0454-02	(仮称)アデニウム相模原計画	INA新建築研究所	INA新建築研究所	RC	22	-	1105.6	12940.7	70.0	75.8	神奈川県 相模原市	高減衰系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
211	HNNN - 3329	2008/8/21		(仮称)ディーグラフォート肥後橋	環境開発研究所	竹中工務店	RC	46	1		25,640			大阪府 大阪市	積層ゴム 増幅機構付粘性ダンパー
212	HNNN - 3333	2008/8/26	UHEC評価-構20011	中日新聞社品川開発計画	日建設計	日建設計	S	19	3	3743.6	69396.0	88.1	99.0	東京都 港区	鉛プラグ入り積層ゴム 鋼製U型ダンパー
213	HNNN - 3334	2008/9/4	BCJ基評-HR0564-01	(仮称)東雲2丁目計画	前田建設工業	前田建設工業	RC	31F	-		45,370	104.3		東京都 江東区	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー オイルダンパー
214	HNNN - 3337	2008/9/4	BCJ基評-HR0566-01	(仮称)加納本町計画	前田建設工業	前田建設工業	RC	23F	-		20,974	79.8		岐阜県 岐阜市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件 名	設計	構造	建築概要						建設地 (市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)	軒高 (m)			最高高さ (m)
215	HNNN - 3373	2008/9/4		(仮称)レクセルマンション相模原駅前計画	熊谷組	熊谷組	RC	28			17561.72	89.95		神奈川県 相模原市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム
216	HNNN - 3489	2008/10/30	GBRC建評-08-022A-007	オリックス西本町1丁目ビル	竹中工務店	竹中工務店	RC・SRC・S	29	3	1,440	41,556	131.1	133	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
217	HNNN - 3490	2008/10/30		真砂町プラザ第1地区優良建築物等整備事業に伴う施設建築物	佐藤総合計画	構造計画研究所	RC	21			11,884			静岡県 静岡市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
218	HNNN - 3523	2008/10/31	ERI-H08014	(仮称)三田台プロジェクト	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	18	1		4,894	61.78		東京都 港区	天然ゴム系積層ゴム支承 低摩擦弾性すべり支承 鉛ダンパー オイルダンパー
219	HNNN - 3531	2008/10/23		旧大和田小学校跡地施設(仮称)	NTTファシリティーズ	日総建	SRC	12	3	3,013	27,400	65.91		東京都 渋谷区	NRB SLR
220	HNNN - 3556	2008/11/13	ERI-H08015	(仮称)東区香椎浜3丁目E棟	アーキスタイル	奥村組	RC	32	-	2139.2	56415.1	104.8	111.1	福岡県 福岡市	天然積層ゴム 高減衰ゴム
221	HFNB - 3576	2008/12/22		(仮称)大崎西テクノロジーセンター	日建設計	日建設計	S・RC	25	2	10,772.7	123,877.69	139.2	139.35	東京都 品川区	天然ゴム系積層ゴム 鋼製U型ダンパー・体型積層 ゴム 鋼製U型ダンパー オイルダンパー
222	HNNN - 3577	2008/11/20	GBRC建評-08-022A-008	(仮称)ライオンズ浅間町	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	26	-		14,097	86.50		愛知県 名古屋	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ挿入型積層ゴム 弾性すべり支承 転がり支承 鋼材ダンパー
223	HNNN - 3642	2008/12/17		(仮称)ライオンズ福岡公園	INA新建築研究所	酒井建築工学研究室	RC	20	1		9,630			宮城県 仙台市	高減衰積層ゴム 鋼棒ダンパー
224	HNNN - 3683	2009/1/7	ERI-H08020	(仮称)南砂2丁目計画	戸田建設	戸田建設	RC	25	0		17,071	81.23		東京都 東区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
225	HNNN - 3695	2009/1/28	ERI-H08022	(仮称)神戸市中央区海岸通マンション計画	LAN設計	フジタ	RC	26	0		23,881	79.64		兵庫県 神戸市	鉛入り積層ゴム 天然系積層ゴム 滑り支承
226	HNNN - 3718	2008/12/22		(仮称)都島Ⅱ計画	長谷工コーポレーション	長谷工コーポレーション	RC	38		2,157.64	48,500.20	133.53	133.53	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 他
227	HFNB - 3770	2009/3/9		(仮称)京橋二丁目16地区A棟	清水建設	清水建設	RC	22	3	2,169.07	51,365.24	106.25	106.25	東京都 中央区	オイルダンパー他
228	HFNF - 3782	2009/2/26	BCJ基評- HR0352-03	(仮称)仙台共同ビル計画	大成建設	大成建設	S RC	24	2	1977.5	29,384.9	97.3	102.9	宮城県 仙台市	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承
229	HNNN - 3854	2009/3/3		(仮称)西浅草三丁目計画	フジタ	フジタ	RC	37	2	2,456	68,912	129.75	134	東京都 台東区	LRB ESL
230	HNNN - 3907	2009/4/24	BCJ基評- HR0586-01	武蔵小杉F1地区分譲マンション	日本設計	日本設計・鴻池組東京本店 一級建築士事務所	RC	20	0	893	13,262	66.4		神奈川県 川崎市	鉛プラグ入り積層ゴム 直動転がり系支承 オイルダンパー
231	HNNN - 3995	2009/5/7	UHEC評価- 構20045	(仮称)与野上落合住宅建替計画	前田建設工業	前田建設工業	RC	32	-	4998.9	42,799.5	99.5	105.7	埼玉県 さいたま市	鉛プラグ入り積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 流体系ダンパー
232	HNNB - 4161	2009/9/18		(仮称)三田ベルジュビル	竹中工務店	竹中工務店	S・RC・ SRC	33	4	2657.81	55,811		163.95	東京都 港区	NRB LRB OD 減衰こま
233	HNNN - 4230	2009/7/30	ERI-H08034	(仮称)麹町二丁目ビル	大建設計	大建設計	RC	14	2	1838.6	24,244.9	66.5	77.8	東京都 千代田区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
234	HNNN - 4366	2009/9/25	GBRC建評-09-022A-008	新聞西電力病院	日建設計	日建設計	RC・S・ SRC	18	2	4,429	39,286	81		大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー オイルダンパー
235	HNNN - 4376	2009/9/25	ERI-H09005	相模大野駅西側地区第一種市街地再開発事業施設建築物	アール・アイ・エー	織本構造設計	RC	26	1		68,043	95.86		神奈川県 相模原市	LRB NRB ESL VD
236	HNNN - 4392	2009/10/15	BCJ基評- HR0600-01	大井町西区第一種市街地再開発事業施設建築物	協立建築設計事務所	協立建築設計事務所 構造計画研究所	RC	28	2	2258.0	33,269.7	96.1	101.7	東京都 品川区	高減衰系積層ゴム オイルダンパー
237	HFNN - 4435	2009/10/23	BCJ基評- HR0560-03	新阪急大井ビル(仮称)	大林組	大林組	RC	30	-	8249.9	64,211.6	98.8	99.2	東京都 品川区	天然ゴム系積層ゴム 転がり系支承 弾塑性系減衰材 オイルダンパー
238	HNNN - 4443	2009/10/28		(仮称)ライオンズタワー定禅寺通	創建設計 大林組	創建設計 大林組	RC	29	-	1,106	6,518	94.96		宮城県 仙台市	NRB LRB
239	HNNB - 4511	2009/12/18	GBRC建評-09-022A-009	(仮称)中之島フェスティバルタワー	日建設計	日建設計	S,SRC, RC	39	3		5,725	199.2		大阪府 大阪市	鉛プラグ入り積層ゴムアイン レータ オイルダンパー
240	HNNN - 4543	2009/11/30	BCJ基評- HR0582-02	(仮称)北堀江4丁目集合住宅	奥村組	奥村組	RC	20	-	774.0	11,934.4	65.6	71.1	大阪府 大阪市	高減衰系積層ゴム オイルダンパー
241	HNNN - 4645	2010/2/22	ERI-H09012	旭通4丁目地区第一種市街地再開発事業施設建築物	環境再開発研究所 東急設計コンサルタント	織本構造設計	RC	54	1	5734.6	73,418.6	175.9	190.0	兵庫県 神戸市	鉛入り積層ゴム すべり支承 減衰こま
242	HNNN - 4671	2010/2/22	HR0613-01	武蔵小杉駅南口地区西街区第一種市街地再開発事業施設建築物	日本設計	日本設計	RC・ SRC・S	39	2		66,465	148.96		神奈川県 川崎市	NRB OD
243	HNNN - 4746	2010/3/15		清水駅西第一地区第一種市街地再開発事業施設建築物	梓設計	梓設計	RC	25	1	2,903.48	31,636.66	94.9		静岡県 清水市	天然ゴム系積層ゴム 他
244	HNNN - 4821	2010/5/17	ERI-H09019	(仮称)中央区晴海二丁目マンション計画(C1街区)	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	49	2	5,035	97,836	169	175	東京都 中央区	LRB ESL OD
245	HNNN - 4854	2010/6/2	ERI-H09021	(仮称)ウィスティリア伝馬町	木内建設	木内建設 構造計画研究所	RC	25	-	566.9	10,505.3	83.9	89.8	静岡県 静岡市	高減衰系積層ゴム オイルダンパー
246	HNNN - 4855	2010/6/9		(仮称)神戸東灘区・甲南町計画	日建ハウジングシステム	熊谷組	RC	29	1	596	14,530	99.95	99.95	兵庫県 神戸市	NRB
247	HFNN - 4876	2010/6/22	HR0614-01	武蔵小杉駅南口地区東街区第一種市街地再開発事業施設建築物(住宅棟)	武蔵小杉駅南口地区東街区市街地再開発事業設計共同企業体	武蔵小杉駅南口地区東街区市街地再開発事業設計共同企業体	RC	38	2	5,527	75,100		142	神奈川県 川崎市	
248	HNNN - 4984	2010/8/3	BCJ基評- HR0618-01	(仮称)北大塚計画	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	23	1		20,258	73.98		東京都 豊島区	NRB LRB

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件 名	設計	構造	建築概要							建設地 (市まで)	免震部材
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)	軒高 (m)	最高高 さ (m)		
249	HNNN - 5075	2010/9/13	UHEC評価- 構22004	(仮称)津田沼区画整理31街区プロジェクト (B棟)	フジタ	フジタ	RC	24	-	1070.5	22752.4	71.7	78.2	千葉県 習志野市	鉛プラグ入り積層ゴム支承 弾性すべり支承
250	HNNN - 5084	2010/9/22	ERI-H10002	(仮称)ゼスタタワー浄水駅前	野口建築事務所	野口建築事務所 構造計画研究所	RC	21	-	649.9	8366.9	65.5	66.0	愛知県 豊田市	高減衰積層ゴム 天然積層ゴム
251	HNNN - 5119	2010/10/12	BJJ-BA10- 006	大井町1番南第一種市街地再開発事業	清水建設	清水建設	RC	29	0	2,168	27,144		100	愛知県 名古屋	LRB NRB OD
252	HNNN - 5176	2010/10/29		大阪駅北地区先行開発区域プロジェクトノC ブロック			RC	48	1	3,199.9	73,907.02	174.20		大阪府 大阪市	NRB SL
253	HNNN - 5213	2010/11/19	ERI-H10008	阿倍野B2地区第2種市街地再開発事業D4-1 棟	アール・アイ・エー	西松建設 アール・アイ・エー	RC	27	1	1,224	18,496	87.90	96.30	大阪府 大阪市	LRB NRB OD
254	HNNN - 5368	2011/1/11	BCJ基評- HR0616-02	(仮称)藤枝駅前一丁目計画	三井住友建設	三井住友建設	RC	20	-	1358.0	16422.1	62.8	68.7	静岡県 藤枝市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
255	HFNN - 5399	2011/1/21	BCJ基評- HR0608-02	大崎駅西口南地区第一種市街地再開発事業 施設建築物	協立建築設計事務所 清水建設	協立建築設計事務所 清水建設	RC	25	2	3691.5	58456.6	85.1	86.0	東京都 品川区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり系支承
256	HNNB - 5482	2011/2/23	BCJ基評- HR0604-03	東京電機大学東京千住キャンパス(W棟)	横総合計画事務所	日建設計	S RC	14	1	4666.8	34839.7	59.9	61.0	東京都 足立区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 転がり系支承 弾塑性系減衰材 オイルダンパー
257	HNNN - 5564	2011/5/26	ERI-H10020	静岡呉服町第一地区第一種市街地再開発事 業に伴う施設建築物	石本建築事務所	石本建築事務所	RC	29	1	3721.6	54231.5	99.2	99.8	静岡県 静岡市	天然積層ゴム すべり支承 鋼製ダンパー オイルダンパー 転がり支承
258	HNNN - 5642	2011/6/21	ERI-H10027	(仮称)大阪市北区扇町2丁目計画	熊谷組	熊谷組	RC (一部 S)	31	1	1173.4	26921.7	104.4	114.9	大阪府 大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支承 免震U型ダンパー 減衰こま
259	HNNN - 5848	2011/9/20	ERI-H11003	京橋町地区優良建築物等整備事業に係る施 設建築物	都市生活研究所	西松建設	RC (一部 S)	21	-	984.4	14417.1	69.4	75.7	広島県 広島市	鉛入り積層ゴム すべり支承
260	HNNN - 5870	2011/9/26	UHEC評価- 構23006	二子玉川東第二地区市街地再開発事業(Ⅱ -a街区)施設建築物	日建設計 アール・アイ・エー 東急設計コンサルタント	日建設計 アール・アイ・エー 東急設計コンサルタント	RC	30	2	22438.0	156422.4	128.9	137.0	東京都 世田谷区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
261	HNNN - 5999	2011/11/25	ERI-H11011	(仮称)インプレスト芝浦建築計画	浅井謙建築研究所	浅沼組	RC	25	1	478.9	9997.2	87.6	88.2	東京都 港区	天然ゴム系積層ゴム 高減衰ゴム系積層ゴム オイルダンパー
262	HFNB - 6193	2012/2/23	BCJ基評- HR0595-05	虎ノ門・六本木地区第一種市街地再開発事 業 施設建築物	森ビル	森ビル 山下設計	RC PC	6	2	7346.6	143289.6	27.6	31.7	東京都 港区	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承 弾塑性系減衰材 オイルダンパー
263	HNNN - 6482	2012/6/29	ERI-H11022	(仮称)プレミスタワー浜松中央	竹中工務店	竹中工務店	RC	25	-	823.5	12351.9	89.7	91.2	静岡県 浜松市	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 転がり支承 オイルダンパー

委員会の動き

(2013.1.1～2013.3.31)

運営委員会

委員長 深澤 義和

運営委員会は2/19、3/12に開催された。12月までの第3四半期決算および1～3月の各種行事、活動を確認した。平成25年度の事業計画および予算案について審議した。平成25年度は、創立20周年記念事業を行うため、その内容について議論を重ねている。また、年度替りに伴い、第1種正会員として選出された理事、監事が所属会社を退職するケースがあるため、その場合の扱いについて審議した。平成25年度は、役員任期途中であるため、個人会員として入会し、役員を継続することを理事会に諮ることとした。

技術委員会

委員長 北村 春幸

東日本大震災から2年が経過し、応答制御建築物調査委員会委員の最終報告会「応答制御建築物の今後の取り組みー東北地方太平洋沖地震での課題ー」が2月28日（木）に工学院大学で開催された。調査委員会が終了したが、そこで整理された課題については、引き続き検討が行われる。免震・制振建物の観測記録のより精度の高い評価・分析、ダンパーなどの減衰性能を持つ免震部材については、維持点検時の調査方法や損傷評価方法などの検討、免震エキスパンションジョイントは指針が作成されるなどである。このように貴重な震災の教訓を生かす活動を続けていきたい。

免震設計部会

委員長 藤森 智

●設計小委員会

委員長 藤森 智

津波発生地域における免震建物設計に当っての基礎検討を開始した。現行の津波避難ビルガイドラインに示された建物を免震化したモデルについて、各種免震デバイス毎の対津波荷重を求める解析を進めている。また免震部材接合部に用いるボルトについて、今後認定取得が可能かの検討を行っている。

●入力地震動小委員会

委員長 久田 嘉章

2013年2月27日に第77回入力地震動小委員会を開催し、「免震建築物のための設計用入力地震動作成ガイドライン」の原稿案と内部査読結果の確認を行った。次回委員会で再度修正した原稿を審議する予定である。

●設計支援ソフト小委員会

委員長 酒井 直己

①耐風設計指針の「免震層の簡易風応答評価方法の解析ソフト」試作版について検討を継続中。

②簡易応答予測法の追加検証に使用する長周期・長時間地震動について検討中。

耐風設計部会

委員長 大熊 武司

79号でご報告した新年度の活動方針（耐風設計指針の更新準備・英文化、今秋予定されている20周年記念国際シンポジウムでの指針概要の発表）にしたがって活動を進めているが、新たに、指針講習会の6月開催を予定した。

施工部会

委員長 原田 直哉

JSSI免震構造施工標準（2013年版）の編集は、出版社と原稿の最終調整に入っており、今年度の「免震部建築施工管理技術者」講習会に間に合わせるよう進めている。また、免震工事施工計画書とQC工程管理表は、施工標準に記載できないため、のような形式で配布するか、検討中である。

免震部材部会

委員長 高山 峯夫

●アイソレータ小委員会

委員長 高山 峯夫

アイソレータ小委員会では、積層ゴムやすべり・転がり支承の規格案について引き続き議論をしている。規格案の作成にはまだ時間がかかると思われるものの、この規格により設計者、製造者、施工者の間に免震部材の性能に関する共通の認識ができるようなものを目指したい。

●ダンパー小委員会

委員長 荻野 伸行

2/28に開催された、「応答制御建築物の今後の取組みに向けて」に関して、ダンパー関連の報告書を作成した。また、検討課題である既存の鋼材ダンパーのボルトの緩み対策（固定方法）および鉛ダンパーの亀裂対策等も継続して検討中である。更に、オイルダンパーについては、限界速度における性能確認を進めている。防耐火部会（オイルダンパー耐火性能WG）で検討しているオイルダンパーの火災時挙動に関する報告書作成については、継続して協力している。

応答制御部会

委員長 笠井 和彦

パッシブ制振評価小委員会

委員長 笠井 和彦

制振部材品質基準小委員会

委員長 木林 長仁

「パッシブ制振構造の設計施工マニュアル」の改定に向けた活動を1/25（10名）、2/22（7名）、3/22（5名）に行った。特に、技術データシートの更新とともに、また、制振部材取付け部の留意事項を章として独立した内容とすることで検討している。目標として8月中の原稿まとめを目標としている。また、JSSIハンドブックの原稿検討等を行った。

防耐火部会

委員長 池田 憲一

すべり支承の耐火構造認定試験用共通試験体の仕様を検討中。オイルダンパーの耐火性については最終報告書を作成中。

普及委員会

委員長 須賀川 勝

協会創立20周年記念事業実施に向けて協力していくことを委員会で決定し、部会の3委員長がイベント部会に参加する。また今後必要に応じて協力することになった。通常の活動については各部会の報告による。

出版部会

委員長 加藤 晋平

出版部会の全体会議は1月23日（水）に開催された。2月25日（月）発行予定の会誌79号の進捗状況の確認、次の80号の内容及び執筆依頼について検討した。

出版物「免震建築の基本がわかる本」は、現在初稿を作成中で、協会の総会時期にあわせて

の発行を予定していること、東北地方太平洋沖地震関連で観測記録及び東北大学免震建物の状況なども報告された。

社会環境部会

委員長 久野 雅祥

2月21日に第31回委員会を開催した。来年度の事業計画、活動計画について討議した。

2月8日にパシフィコ横浜で開催された震災対策技術展で「東日本大震災で実証された免震構造」と題して講演を行った。報告記事は80号に掲載予定になっている。

国際委員会

委員長 斉藤 大樹

国際委員会が中心になり進めていた「考え方・進め方 免震建築」の英訳作業が終わり、英語版の出版の用意が整った。また9月に仙台の東北大学で開催される第13回世界免震・制振会議の開催まで半年を切り、国際委員会は実行委員会としてその準備を本格化している。被災地の仙台で開催される会議でもあり、会員諸氏の積極的な参加をお願いしたい。参加申込みは公式ホームページ13wcsi-jssi20.com/で受け付けている。

資格制度委員会

委員長 長橋 純男

資格制度委員会（運営幹事会及び6部会で構成）は、当協会が認定する「免震部建築施工管理技術者」および「免震建物点検技術者」の資格に関わる講習・試験及び更新講習会（毎年度計4回）の実施、及びその合否判定の事業を担当している。当該期間（1月～3月）には、1月26日

（土）にベルサール新宿（東京）を会場として、今年度最後の講習・試験『第11回免震建物点検技術者講習・試験』が314名の受験者の参加を得て実施された。この試験については、2月21日開催の当委員会「運営幹事会」における審議により、299名を合格と判定し、その旨を受験者に通知した。

この結果、「免震建物点検技術者」の登録者数は総計1,611名となり、免震部建築施工管理技術者3,423名ともども、あわせて五千人に近い建築技術者が全国各地において免震建物の健全な普及発展に寄与されることとなる。

原子力関係施設免震構造委員会

委員長 北山 和宏

2013年2月26日に幹事会を、3月11日に本委員会をそれぞれ開催し、報告書の原案、および「原子力関係免震構造建物の施工・維持管理ガイドライン」と「原子力関係免震構造建物の設計ガイドライン」との内容を審議した。報告書原案には、施工・維持管理、要求性能および設計手法に関する各々の検討について詳細に記述することにした。

なお本委員会の設置期間は2年であり、2013年3月末をもって活動を終了する。しかし、上記の二つのガイドラインを広く社会に公開するためには、さらに検討内容を吟味して必要に応じて編集し直すことや、「高性能免震装置の開発ロードマップ」については引き続いて検討する必要があるとの認識から、2013年4月以降も何らかの形で委員会活動を継続したいという要望があり、この旨を協会側に連絡した。

委員会活動報告 (2013.1.1～2013.3.31)

日付	委員会名	開催場所	人数
1月9日	技術委員会/免震部材部会/ダンパー小委員会	事務局会議室	12
1月10日	『設計者のための免震・制震構造ハンドブック』編集委員会	〃	7
1月15日	原子力関係施設免震構造委員会/施工維持WG（作業会）	建築家会館3F小会議室	7
1月15日	技術委員会/防耐火部会/耐火認定試験体WG	事務局会議室	10
1月15日	応答制御建築物調査委員会/免震構造設計部会/ 免震エキスパンション ガイドライン作成委員会/本委員会	建築家会館1F大ホール	14
1月16日	応答制御建築物調査委員会/免震構造設計部会	〃	23
1月16日	技術委員会/応答制御部会/パッシブ制振評価小委員会/制振普及WG	事務局会議室	9
1月18日	表彰委員会	建築家会館3F大会議室	8
1月22日	技術委員会/防耐火部会/オイルダンパー耐火性能WG	〃	7
1月22日	技術委員会/施工部会	建築家会館3F大会議室	10
1月23日	普及委員会/出版部会/「MENSIN」79号編集WG	事務局会議室	5
1月23日	記念事業委員会/広報部会	〃	6
1月23日	普及委員会/出版部会	〃	16
1月23日	技術委員会/免震部材部会/アイソレータ小委員会	建築家会館1F大ホール	10
1月24日	技術委員会/免震設計部会/入力地震動小委員会	建築家会館3F大会議室	14
1月25日	技術委員会/防耐火部会	事務局会議室	15
1月25日	技術委員会/応答制御部会/制振部材品質基準小委員会	〃	10
1月29日	技術委員会/免震設計部会/設計支援ソフト小委員会	〃	5
1月30日	普及委員会/運営幹事会	〃	8
1月31日	技術委員会/免震設計部会/設計小委員会	〃	12
2月1日	国際委員会	〃	9
2月5日	資格制度委員会/点検技術者試験部会	建築家会館3F小会議室	4
2月6日	『設計者のための免震・制震構造ハンドブック』編集委員会	事務局会議室	7
2月7日	技術委員会/免震部材部会/ダンパー小委員会	〃	10
2月8日	応答制御建築物調査委員会/本委員会	スタジアムプレイス青山 9階 901	20
2月12日	応答制御建築物調査委員会/免震構造設計部会/ 免震エキスパンション ガイドライン作成委員会/本委員会	事務局会議室	14
2月13日	応答制御建築物調査委員会/免震構造設計部会/LRB小振幅多数回繰返しWG	〃	9
2月15日	原子力関係施設免震構造委員会/要求性能WG	〃	9
2月18日	近未来問題検討委員会	建築家会館3F小会議室	8
2月18日	資格制度委員会/点検技術者審査部会	〃	3
2月18日	記念事業委員会/イベント部会	建築家会館3F大会議室	7
2月18日	技術委員会/応答制御部会/パッシブ制振評価小委員会/制振普及WG	事務局会議室	6
2月19日	運営委員会	〃	12
2月19日	技術委員会/施工部会	建築家会館1F大ホール	14
2月20日	普及委員会/社会環境部会	事務局会議室	5
2月21日	原子力関係施設免震構造委員会/設計指針WG	〃	12
2月21日	資格制度委員会/運営幹事会	〃	8
2月22日	原子力関係施設免震構造委員会/施工維持WG	〃	14
2月22日	技術委員会/応答制御部会/制振部材品質基準小委員会	〃	8
2月25日	技術委員会/防耐火部会/耐火認定試験体WG	〃	12
2月26日	原子力関係施設免震構造委員会/幹事会	〃	8
2月27日	技術委員会/防耐火部会	〃	10
2月27日	技術委員会/耐風設計部会	食品衛生センター 5階 小会議室	5
2月27日	高強度ボルト接合委員会/設計WG	建築家会館3F小会議室	6
2月27日	技術委員会/免震設計部会/入力地震動小委員会	建築家会館3F大会議室	13
3月4日	技術委員会/免震部材部会/水平二方向加力時の免震部材の特性と検証法WG/ 高減衰ゴム系積層ゴム支承SWG	事務局会議室	10
3月5日	技術委員会/防耐火部会/オイルダンパー耐火性能WG	〃	9
3月7日	記念事業委員会	〃	10
3月11日	原子力関係施設免震構造委員会	建築家会館1F大ホール	30
3月12日	運営委員会	事務局会議室	13
3月13日	技術委員会/免震設計部会/設計小委員会	〃	11
3月15日	技術委員会/免震部材部会/ダンパー小委員会	〃	13
3月15日	応答制御建築物調査委員会/免震構造設計部会/ 免震エキスパンション ガイドライン作成委員会/本委員会	建築家会館3F大会議室	14

日付	委員会名	開催場所	人数
3月19日	技術委員会/施工部会	事務局会議室	11
3月22日	技術委員会/応答制御部会/制振部材品質基準小委員会	〃	5
3月25日	国際委員会	〃	9
3月25日	技術委員会/防耐火部会	建築家会館3F大会議室	13
3月26日	技術委員会/免震部材部会/アイソレータ小委員会	事務局会議室	11
3月26日	技術委員会/免震設計部会/設計支援ソフト小委員会	建築家会館3F小会議室	7
3月28日	技術委員会/免震設計部会/入力地震動小委員会/SWG	事務局会議室	2
3月28日	修士論文賞審査委員会	〃	10

入 会

会員種別	会員名	業種または所属
第2種正会員	梅野 岳	梅野岳耐震コンサルタント
〃	深澤 義和	
賛助会員	(株)ナルコ岩井	メーカー/EXP.J
〃	(株)ビルマックス	建機レンタル業
〃	(株)増岡組	建設業/総合
〃	横浜ガルバー(株)	メーカー/溶融亜鉛めっき

会員種別変更

会員種別	会員名	業種または所属
第1種正会員から賛助会員へ	オーケーレックス(株)	メーカー/免震材料(ダンパー)

会社合併(第1種正会員2社が合併し、1社となる)

会員種別	会員名	業種または所属
第1種正会員	安藤建設(株)、(株)間組 ↓ (株)安藤・間	建設業/総合

退 会

会員種別	会員名	業種または所属
第2種正会員	尾形 素臣	
〃	桑原 文夫	
〃	翠川 三郎	
〃	吉岡 研三	
賛助会員	東武谷内田建設(株)	建設業/総合
〃	三菱重工業(株)	メーカー/総合機械製造

会員数 (2013年4月30日現在)	名誉会員	1名
	第1種正会員	90社
	第2種正会員	211名
	賛助会員	88社
	特別会員	7団体

入会のご案内

入会ご希望の方は、次項の申込書に所定事項をご記入の上、事務局までご郵送下さい。
入会は、理事会に諮られます。理事会での承認後、入会通知書・請求書・資料をお送りします。

会員種別		入会金	年会費
第1種正会員	免震構造に関する事業を行う者で、本協会の目的に賛同して入会した法人	300,000円	(1口) 300,000円
第2種正会員	免震構造に関する学術経験を有する者で、本協会の目的に賛同して入会した個人 理事の推薦が必要です	5,000円	5,000円
賛助会員	免震構造に関する事業を行う者で、本協会の事業を賛助するために入会した法人	100,000円	100,000円
特別会員	本協会の事業に関係のある団体で入会したもの	別 途	—

会員の特典など

	総会での 議決権	委員会 委員長	委員会 委 員	会誌送付部数	講習会・書籍等
第1種正会員	有/1票	可	可	4冊/1口 10冊/2口 20冊/3口	会員価格
第2種正会員	有/1票	可	可	1冊	会員価格
賛助会員	無	不可	可	2冊	会員価格

お分かりにならない点などがありましたら、事務局にお尋ねください。

一般社団法人 日本免震構造協会 事務局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館2階

TEL：03-5775-5432

FAX：03-5775-5434

E-mail：jssi@jssi.or.jp

一般社団法人 日本免震構造協会 入会申込書〔記入要領〕

第1種正会員・賛助会員・特別会員への入会は、次頁の申込み用紙に記入後、郵便にてお送りください。入会の承認は、理事会の承認を得て入会通知書をお送りします。その際に、入会通知書・請求書等を同封します。

記載事項についてお分かりにならない点などがありましたら、事務局にお尋ねください。

1. 法人名（口数）…口数記入は、第1種正会員のみです。

2. 代表者／第1種正会員の場合

下記の①または②のいずれかになります

第1種正会員につきましては、申込み用紙の代表権欄の代表権者または指定代理人の□に✓を入れて下さい

①代表権者 …法人（会社）の代表権を有する人

例えば、代表権者としての代表取締役・代表取締役社長等

②指定代理人 …代表権者から、指定を受けた者

この場合は、別紙の指定代理人通知（代表者登録）に記入後、申込書と併せて送付して下さい

代表者／賛助会員の場合

賛助会員につきましては、代表権者及び指定代理人の□欄は記入不要です。

代表権をもっていない方をご登録いただいても構いません。例えば担当者の上司等

3. 担当者は、当協会からの全ての情報・資料着信の窓口になります。

例えば……総会の案内・フォーラム・講習会・見学会の案内・会誌「MENSHIN」・会費請求書などの受け取り窓口

4. 建築関係加入団体名

3団体までご記入下さい

5. 業種：該当箇所に○をつけて下さい { } 欄にあてはまる場合も○をつけて下さい

その他は（ ）内に具体的にお書き下さい

6. 入会事由…例えば、免震関連の事業展開・〇〇氏の紹介など

一般社団法人 日本免震構造協会 事務局（平日9:30～18:00）

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館 2階

TEL：03-5775-5432 FAX：03-5775-5434

E-mail：jssi@jssi.or.jp

一般社団法人 日本免震構造協会 入会申込書

申込書は、郵便にてお送り下さい。

*本協会で記入します。

[illegible]

※貴社、会社案内を1部添付してください

一般社団法人 日本免震構造協会「免震普及会」に関する規約

平成11年2月23日
規約第1号

第1（目的）

社団法人日本免震構造協会免震普及会（以下「本会」という。）は、社団法人日本免震構造協会（以下「本協会」という。）の事業目的とする免震構造の調査研究、技術開発等について本協会の会報及び活動状況の情報提供・交流を図る機関誌としての会誌「MENSIN」及び関連事業によって、免震構造に関する業務の伸展に寄与し、本協会とともに免震建築の普及推進に資することを目的とする。

第2（名称）

本会を「(社)日本免震構造協会免震普及会」といい、本会員を「(社)日本免震構造協会免震普及会会員」という。

第3（入会手続き）

本会員になろうとする者（個人又は法人）は、所定の入会申込書により申込手続きをするものとする。

第4（会費）

会費は、年額1万円とする。会費は、毎年度前に全額前納するものとする。

第5（入会金）

会員となる者は、予め、入会金として1万円納付するものとする。

第6（納入金不返還）

納入した会費及び入会金は、返却しないものとする。

第7（登録）

入会手続きの完了した者は、本会員として名簿に登載し、本会員資格を取得する。

第8（資格喪失）

本会の目的違背行為、詐称等及び納入金不履行の場合は、本会会員の資格喪失するものとする。

第9（会誌配付）

会誌は、1部発行毎に配付する。

第10（会員の特典）

本会員は、本協会の会員に準じて、次のような特典等を楽しむことができる。

- ① 刊行物の特典頒付
- ② 講習会等の特典参加
- ③ 見学会等の特典参加
- ④ その他

第11（企画実施）

本会の目的達成のため及び本会員の向上の措置として、セミナー等の企画実施を図るものとする。

附則

日本免震構造協会会誌会員は、設立許可日より、この規約に依る「社団法人日本免震構造協会免震普及会」の会員となる。

一般社団法人 日本免震構造協会「免震普及会」入会申込書

申込書は、郵便にてお送り下さい。

申 込 日 (西暦)		年 月 日	*入会承認日	月 日
*コード				
ふ り が な 氏 名		印		
勤 務 先	会 社 名			
	所属・役職			
	住 所	〒 -		
	連 絡 先	TEL () - FAX () -		
自 宅	住 所	〒 -		
	連 絡 先	TEL () - FAX () -		
	業 種	該当箇所に○をお付けください 業種Cの括弧内には、分野を記入してください A：建設業 B：設計事務所 C：メーカー () D：コンサルタント E：その他 ()		
会誌送付先	該当箇所に○をお付けください	A：勤務先 B：自 宅		

*本協会にて記入します。

会員登録内容に変更がありましたら、下記の用紙にご記入の上FAXにてご返送ください。

送信先 一般社団法人 日本免震構造協会 事務局 宛
FAX 03-5775-5434

会員登録内容変更届

送付日（西暦） 年 月 日

●登録内容項目に○をおつけください

1. 担当者 2. 勤務先 3. 所属 4. 勤務先住所
5. 電話番号 6. FAX番号 7. E-mail 8. その他（ ）

会 員 種 別 ： 第1種正会員 第2種正会員 賛助会員 特別会員 免震普及会

発 信 者 ： _____

勤 務 先 ： _____

T E L ： _____

●変更する内容 （名刺を拡大コピーして、貼っていただいても結構です）

会 社 名 _____

（ふりがな）
担 当 者 _____

勤務先住所 〒 _____

所 属 _____

T E L _____（ ）

F A X _____（ ）

E - m a i l _____

※代表者が本会の役員の場合は、届け出が別になりますので事務局までご連絡下さい。

行事予定表 (2013年6月～2013年8月)

■ は、行事予定日など

6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29

- 6/4 平成25年度通常総会、協会賞表彰式、優秀修士論文賞表彰式、懇親会（東京：明治記念館）
- 6/4 第15回日本免震構造協会協会賞公募
- 6/14 免震建築物の耐風設計指針講習会（東京）

※6/17は、協会設立記念日

7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

- 7/1 平成25年度「免震部建築施工管理技術者」講習・試験案内送信、HP掲載

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

- 8/10 第15回日本免震構造協会協会賞募集／受付締め切り
- 8/26 会誌「MENSIN」No.81発行
- 8/30 平成25年度「免震部建築施工管理技術者」講習・試験申込受付締め切り

◇「2013年日本建築学会大賞・日本建築学会賞（論文）」受賞のお知らせ

事務局

当協会 第2種正会員の2名の方が受賞されました。

○2013年日本建築学会大賞：

秋山 宏 氏（東京大学 名誉教授）

「エネルギーの釣合いに基づく構造物の耐震設計法の確立と普及に対する功績」

○2013年日本建築学会賞（論文）：

永野 正行 氏（東京理科大学 教授）

「地震動の増幅特性と地盤・構造物の地震時挙動の解明に関する一連の研究」

◇平成24年度日本地震工学会「功績賞」及び「論文賞」受賞のお知らせ

事務局

当協会が、この度、一般社団法人日本地震工学会功績賞を、また、西川会長が、論文賞を受賞いたしました。5月24日に贈呈式が執り行われ、賞状を授与されました。

功績賞：「免震建築物の普及活動と東北地方太平洋沖地震における免・制震建築物の挙動調査とその公表による地震工学への貢献」

論文賞：「長周期地震動の経験式の改良と2011年東北地方太平洋沖地震の長周期地震動シミュレーション」

◇平成25年度通常総会開催のお知らせ

事務局

日 時：平成25年6月4日（火）16:00～

場 所：明治記念館 2階「鳳凰の間」

東京都港区元赤坂2-2-23（JR信濃町駅より徒歩5分）

※総会終了後、協会賞の表彰式・優秀修士論文賞表彰式および懇親会を予定しています。

◆ 平成25年度「免震部建築施工管理技術者講習・試験」のお知らせ

資格制度委員会

日 時：平成25年10月13日（日）11:00～17:00

場 所：ベルサール渋谷ファースト 2階

東京都渋谷区東1-2-20 住友不動産ファーストタワー

※受験資格・申込み方法等、詳細は7月1日にホームページに掲載予定ですのでこちらをご覧ください。

<http://www.jssi.or.jp/>**◆ 平成25年度「免震建物点検技術者講習・試験」のお知らせ**

資格制度委員会

日 時：平成26年1月25日（土）11:00～16:00

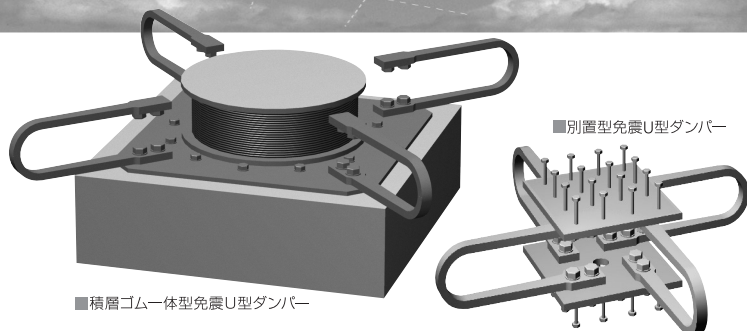
場 所：砂防会館

東京都千代田区平河町2-7-5

※受験資格・申込み方法等、詳細は10月1日にホームページに掲載予定ですのでこちらをご覧ください。

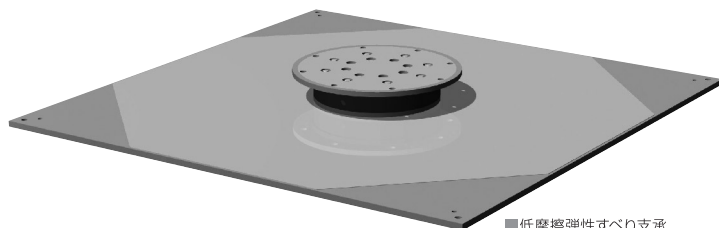
<http://www.jssi.or.jp/>

新日鉄住金エンジニアリングの 免震シリーズ



■積層ゴム一体型免震U型ダンパー

■別置型免震U型ダンパー



■低摩擦弾性すべり支承

さまざまな設計・施工ニーズに応える 2タイプの 免震U型ダンパー

① 高品質

地震時に安定した復元力特性で地震動エネルギーを吸収し揺れを低減します。また、温度や振動数の依存性も少なく、繰り返しに対する疲労特性にも優れています。さらに製造バラツキは±10%以内、安定した性能を誇ります。

② 高い設計自由度

免震U型ダンパーのサイズ、本数や配置、組み合わせにより、建物形状に合わせた最適な設計が可能です。

③ 無方向性

免震U型ダンパーの360度すべての方向に対し、ほぼ同等の履歴特性を示します。

④ 低コスト

従来の免震鋼棒ダンパーに比べ、降伏せん断力当たりの価格が安く、経済的です。

⑤ 点検が容易

地震後の損傷程度を目視にて確認できます。また、万が一の地震後におけるダンパー部分の取り替えも可能です。

地震を受け流して建物を守る 高性能・低コストの 低摩擦弾性すべり支承

① 高性能

独自開発の「低摩擦すべり機構」(特許申請中)により、極めて低い動摩擦係数を実現。さまざまな周期の地震でも、安定した性能を発揮します。

② 優れた耐久性・メンテナンスフリー

すべり板の表面には耐久性に優れた「特殊表面コート」を採用しました。すべり材には、長期にわたる使用でも極めて安定した性能を発揮する「PTFE材」を使用。高品質の天然ゴムを積層ゴムに採用しています。

③ 低コスト&省スペース

独自開発の「低摩擦すべり機構」により、低コストを実現。高面圧対応のすべり材及び積層ゴムを使用することで、製品のコンパクト化を実現しました。

④ 幅広い免震効果

免震建物の長周期化の実現により、低層から高層まで、幅広い建築物の免震効果が向上。免震建築物の最適化が容易です。

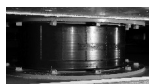
確かなアンサーを、あなたへ。 建築・鋼構造事業部 エンジニアリング商品部

東京都品川区大崎一丁目5番1号 大崎センタービル 〒141-8604
Tel.03-6665-4360 ☎0120-57-7815 <http://www.nsec-steelstructures.jp>

新日鉄住金エンジニアリング株式会社



地震を止めることはできない。でも、地震を伝えないことはできる。



©JR東日本

巨大な建物を地震から守るもの。それが「ゴム」と聞いたら、少しびっくりしますか？ その名も「免震（めんしん）ゴム」。薄いゴムと鉄板を、デザートのみルフィユのように幾層にも積み重ね、地震の力を伝えにくくすることで、建物や人々の安全を守る装置です。ブリヂストンの免震ゴムは世界中の建物で採用され、2012年秋にリニューアルした東京駅の駅舎にも使われています。タイヤで培った最新技術が可能にしたブリヂストンの免震ゴム。今日も、いろんなビルや建物の下から、人々の安心を支えています。

ブリヂストンの免震ゴム、生まれ変わった東京駅の駅舎にも。



株式会社ブリヂストン

【ブリヂストンお客様相談室】フリーダイヤル 0120-39-2936
受付時間：月～金（祝日・当社指定休日は除く）9:00～17:00

www.bridgestone.co.jp

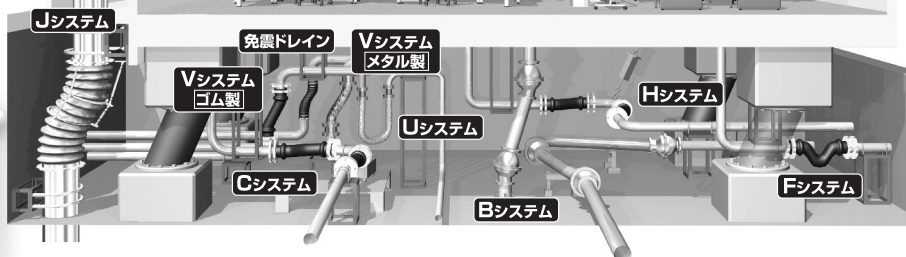
BRIDGESTONE

あなたと、つぎの景色へ

TOZEN

免震継手システム SQ2

SEQULEX2 セキュレックス2



免震・層間・ 変位吸収継手の パイオニア

Fシステム

大変位性、施工性などに優れた性能を発揮する横引き・斜め配管取付用免震システム。

Hシステム

サスペンションと継手を組み合わせて高い免震性能を発揮。スプリング内蔵型免震システム。

Cシステム

国内免震システム第一号の豊富な実績と確かな信頼性のコントロール、ステージ型、免震システム。

Vシステム

低コスト化を追求した縦配管・垂直取付け免震システム。

Uシステム

継手一本で低コスト化を実現。さらに省スペースでも対応可能な免震システム。

免震ドレイン

簡易的な施工で変位吸収が可能な排水用免震継手。

Jシステム

空調・排煙・煙道・煙突用免震システム。

Bシステム

【縦型】伸縮型ボールジョイントを採用し省スペース化を実現した免震システム。

Bシステム

【横型】高温、高圧、大口径に適したボールジョイントを採用した免震システム。

住宅免震用配管継手

ハウズドレイン（排水用）

短面間で最大免震量500mmまで対応可能な
縦取付け専用の排水免震継手。



ハウズドレインF（排水用）

縦取付けはもちろん、横取付け（水平）も可能（最大免震量700mm）。
評価方法基準における維持管理対策等級3にも適応。



アクトホース（給水用）

「ねじれ」を防止する回転機能付き。
最大免震量500mmまで対応可能な免震継手。



株式会社 TOZEN

E-mail
gr.info@tozen.co.jp

URL
http://www.tozen.info/

★HPからはDXFデータをごダウンロードできます。
各種電子カタログもご覧になれます。

ISO9001
認証取得

東日本事業所 〒110-0008 東京都台東区池之端1-2-18 MG池之端ビル4階
TEL: 03-3824-2091 (代表) FAX: 03-3824-2115
仙台出張所 〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井字広瀬前125番地-10
TEL: 022-288-2701 (代表)
北海道エリア TEL: 050-3386-1561 (代表)

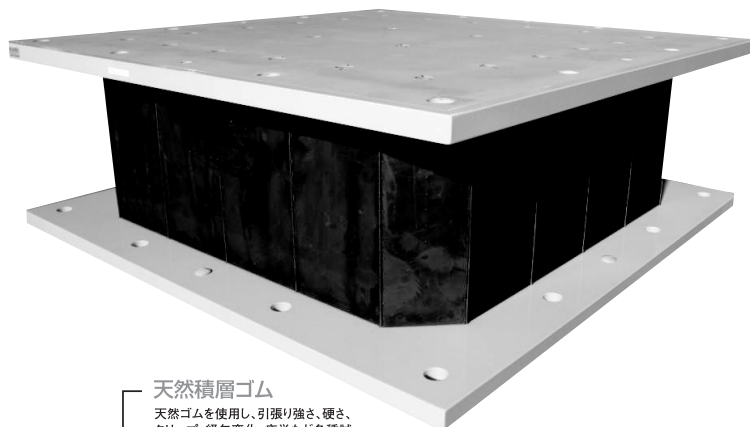
西日本事業所 〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-5-14
TEL: 06-6578-0310 (代表) FAX: 06-6578-0312
中部エリア TEL: 050-3538-1561 (代表)
九州エリア TEL: 050-3538-1616 (代表)

先進の免震設計に、信頼で応える オイルスの免震装置

〈角型〉鉛プラグ・積層ゴム一体型免震装置

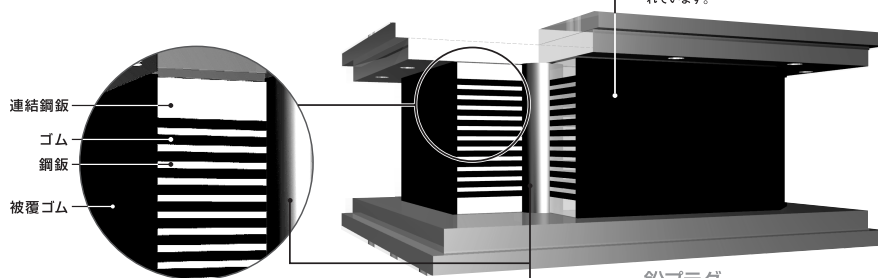
LRB-S

- 従来のLRBの性能を維持するとともに、躯体と免震装置の経済的な設計が出来るエコノミーデザインです。
- 水平全方向で安定した特性を示し、大変形に対する信頼性も確認されています。
- レトロフィットなどでの柱の収まりが良く、耐火被覆などが容易で、低コスト化できます。
- 丸型に対し、ワンランク下のサイズで対応できるため、設置面積を小さくできます。



天然積層ゴム

天然ゴムを使用し、引張り強さ、硬さ、クリープ、経年変化、疲労など各種試験により十分な耐久信頼性が確認されています。



鉛プラグ

高純度の鉛を使い、各種試験において減衰材料として優れた特性と耐久性が確認されています。



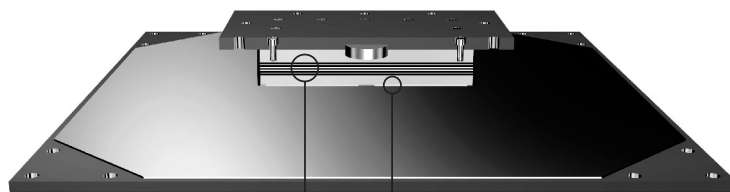
大型試験機によるLRBの大変形性能試験

滑り天然積層ゴム型免震装置

SSR

長周期化を可能にする、
オイルス弾性すべり支承

- 摩擦係数 $\mu=0.01$ 、 $\mu=0.03$ 、 $\mu=0.13$ と豊富なバリエーションとサイズをご用意しています。
- 最大鉛直荷重33,500kNまで揃えています。
- 小さな荷重でも変形量を確保し、免震化を可能にします。



天然積層ゴム

天然ゴムを使用し、引張り強さ、硬さ、クリープ、経年変化、疲労など各種試験により、十分な耐久信頼性が確認されています。

摺動材（オイルス滑り材）

オイルス滑り材は、耐荷重性、耐磨耗性、摩擦係数、速度特性など各種試験により、十分な耐久信頼性が確認されています。

※SSRはLRBやRBなどの免震装置と組み合わせて使用します。

OILES オイルス工業株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1-6-34 品川イースト6F <http://www.oiles.co.jp/>
免震事業部 TEL.03-5781-0314

ADC 免制震デバイス社の

慣性付き 粘性制震装置

低速度の揺れでも
高効率のエネルギー吸収

- ◆超高層建物の長周期地震動対策に有効
- ◆1基あたりの減衰性能が高く、少ない設置数でも効果が大
- ◆小型軽量で、新築にも耐震改修にも対応
- ◆他の制振装置と併用が可能
- ◆想定以上の過大入力に対する安全機構

建物の変形によって生じる装置軸方向の伸縮をボールねじ機構により高速回転運動に変換。

発生する回転慣性力が粘性減衰機構を効率よく駆動して大きなエネルギー吸収力を生み出します。



iRDT (慣性こま) は、従来の粘性制震装置RDT (減衰こま) の回転部分を外側に配置して大きな回転慣性質量を付加した装置。

iRDT 慣性こま

inertial Rotary Damping Tube

● 転がり免震装置

CLB 直動転がり支承

● 積層ゴム免震装置

SnRB 錫プラグ入り積層ゴム

LRI 鉛プラグ入り積層ゴム

NRI 天然ゴム系積層ゴム

● すべり支承免震装置

SLR 弾性すべり系積層ゴム

ADC 免制震デバイス社の 免震・制震装置

■ 慣性付き粘性制震装置

iRDT 慣性こま

● 粘性制震装置

RDT 減衰こま

VDW 粘性制震壁

● 粘性減衰装置

RDT 減衰こま

ADC

Aseismic Devices Co., Ltd.

株式会社 免制震デバイス

<http://www.adc21.co.jp>

【本社】〒102-0075 東京都千代田区三番町6番26号

住友不動産三番町ビル5階 TEL:03-3221-3741

【技術センター】〒329-0432 栃木県下野市仁良川1726

超高層ビルはもちろん
低層建物にも
存分に性能を発揮します。

写真:タイヤ技術センター(兵庫県伊丹市)

技術の結晶 高減衰と 低剛性の 融合を実現!

高減衰ゴム系積層ゴム支承

ゴム分子間相互のエネルギー吸収能力を高めた特殊配合ゴムを使用した免震積層ゴム支承。揺れ幅の制御に加えて、地震後の敏速な静止機能も優れています。ダンパー機能一体型で維持管理が容易です。

HRBシリーズ セン断弾性係数 $G: 0.35\text{N/mm}^2$ 認定番号: MVBR-0437
SHRBシリーズ セン断弾性係数 $G: 0.39\text{N/mm}^2$ 認定番号: MVBR-0438
SHRBシリーズ セン断弾性係数 $G: 0.62\text{N/mm}^2$ 認定番号: MVBR-0439

天然ゴム系積層ゴム支承

天然ゴムを使用したベーシックな免震積層ゴム支承。地震後の揺れ静止のために、ダンパーが別途必要です。各種ダンパーとの組み合わせにより、幅広い用途要求に対応できます。

NRBシリーズ セン断弾性係数 $G: 0.34 \sim 0.44\text{N/mm}^2$ 認定番号: MVBR-0342
(0.29N/mm^2 開発中)

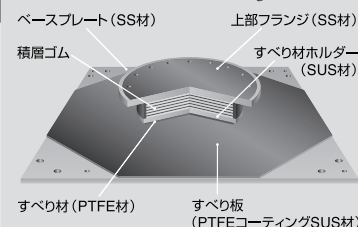
低層建物にも適応する低剛性性能

適度な荷重を与えることで免震効果を発揮する免震積層ゴム支承は、低層建物や軽量建物では免震化が困難な場合があります。

東洋ゴムの「高減衰ゴム系積層ゴム支承 ($G: 0.35$ 仕様)」は業界トップクラスの低剛性性能で、荷重の小さい建物への適用も容易にしています。

弾性すべり支承

すべり板と組み合わせた免震装置。地震時の小さな変位には、弾性体である積層ゴム支承が変形し、揺れに追従。さらに大きな変位が発生した場合は、すべり材がすべり板の上をスライドするハイブリッドタイプです。



SLBシリーズ 摩擦係数 $\mu 0.01$ 認定番号: MVBR-0236

東洋ゴム工業株式会社

お問い合わせ 東洋ゴム化工品販売株式会社

本社 〒162-8622 東京都新宿区天神町10番地 安村ビル
TEL: 03-3235-1751

大阪支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島1-5-30 堂島プラザビル11F
TEL: 06-4799-6552

札幌支店 011-747-1040 東北支店 022-292-1855 中部支店 052-973-2900
中国支店 086-292-5111 四国支店 087-869-1595 九州支店 092-411-8303

※商品の規格・仕様は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

<http://www.toyo-kohan.co.jp/>

国土交通大臣の柱耐火3時間認定を取得!

【適合免震装置：天然ゴム系、高減衰ゴム系支承】

免震建築物の積層ゴム用耐火被覆材

メンシנגガードS

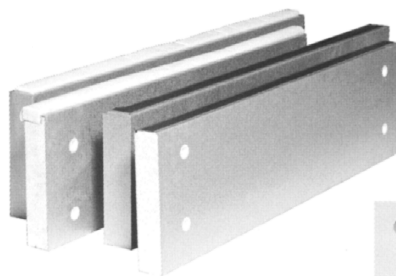
国土交通大臣認定
天然ゴム系：
FP180CN-0349
高減衰ゴム系：
FP180CN-0350



- 中間層免震の場合、積層ゴムにメンシングガードSを施す事により免震層を駐車場や倉庫として有効利用ができます。
- 従来の耐火材に比べ美しくスマートに仕上がります。
- 表面にガルバリウム鋼板を使用しているため、物が当たった時の衝撃に対しても安全です。
- 専用ボルトによる固定のため、簡単に脱着ができ積層ゴムの点検が容易に行えます。

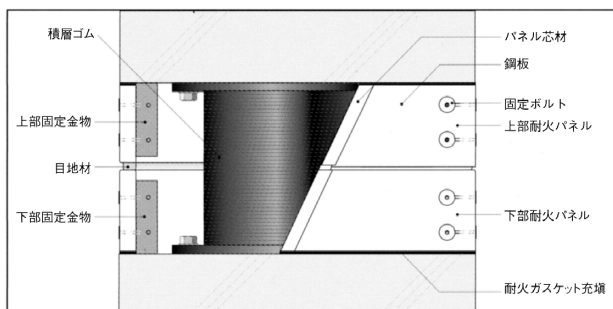
性能

- 耐火試験を行い、耐火3時間性能を確認しています。
- 変位追従性能試験を行い、地震時の変位に追従する事を確認しています。



目安寸法

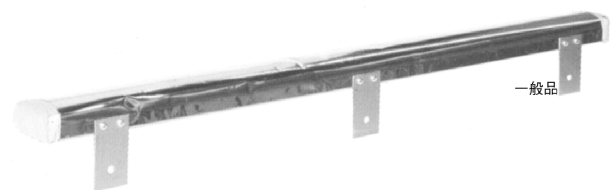
積層ゴム径	変位 (mm)	標準寸法 (仕上がり外寸)
600 φ	±600	1,310×1,310
650~800 φ		1,510×1,510
850~1000 φ		1,710×1,710
1100~1200 φ		1,910×1,910
1300 φ		2,110×2,110



※材質 耐火芯材：けい酸カルシウム板 表裏面銅板：ガルバリウム鋼板

免震建築物の防火区画目地

メンシンメジ

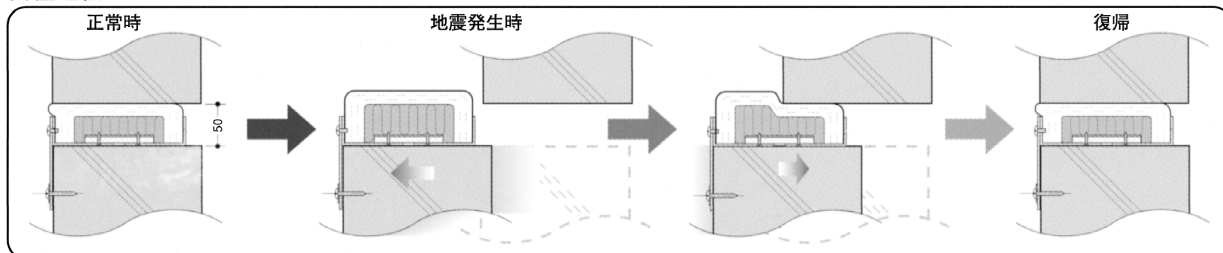


- 耐火1時間性能試験を行い、非加熱面温度（裏面温度）が告示で定める可燃物燃焼温度（建告1432号）以下であることを確認しています。
- 400mm変位試験を行い、変位前後で異常が無い事を確認しています。

(単位:mm)

種類	厚さ	幅	長さ
一般品	62.5	100	1,040

変位追従モデル



◎メンシングガード S、メンシンメジのご使用に際し、詳細は以下までご相談下さい。



ニチアス株式会社

本社 / 〒105-8555 東京都港区芝大門1-1-26

建材事業本部 ☎ 03-3433-7256

設計開発部 ☎ 03-3433-7207

東京営業部 ☎ 03-3438-9751

名古屋営業部 ☎ 052-611-9217

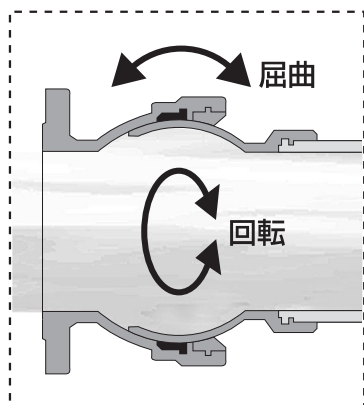
大阪営業部 ☎ 06-6252-1301

九州営業部 ☎ 092-521-5648

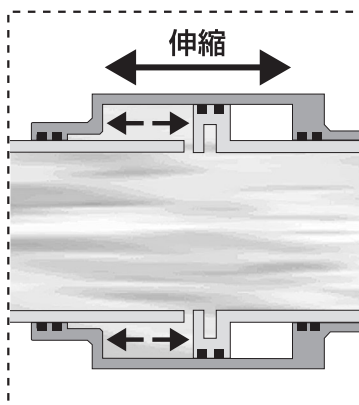
省スペース型 新メカニカル免震継手

ボールジョイントと伸縮ジョイントを一体化。
三次元(X・Y・Z・回転軸)作動。

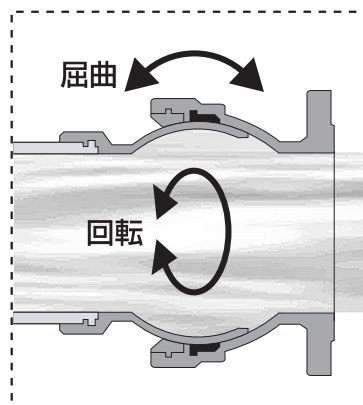
- 摺動タイプで反力はなく作動抵抗がほとんどない。 ●無反動型は圧力変動と水の体積変化を吸収する。
- 金属製で強度、耐久性に優れ、メンテナンスフリー。 ●無反動型は内圧による推力がほとんど発生しない。



ボールジョイント

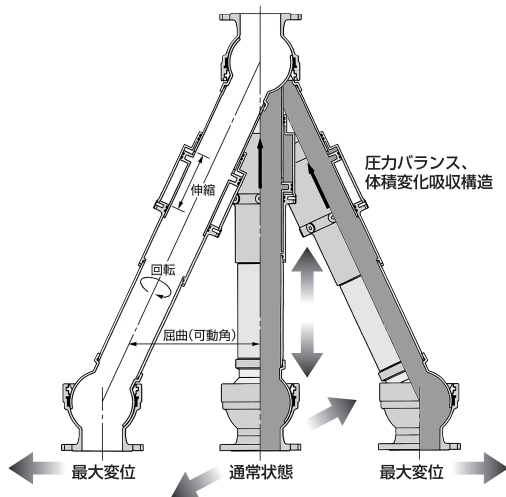


伸縮ジョイント
(圧力バランス、体積変化吸収構造)

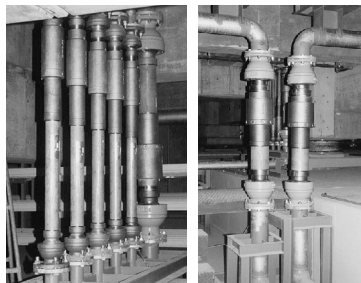


ボールジョイント

■作動図

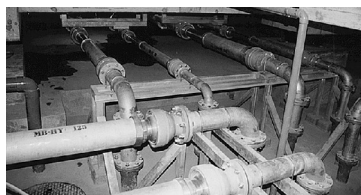


■施工例



MB-MK (給水用)

MB-MK (消火用)



MB-HY (排水用)

■種類・サイズ・用途 (単位:mm)

圧力配管用 縦型[無反動型] (MB-MK)

呼び径	免震量 ±400・±500・±600			伸縮量	可動角(°)
	面間(±400)	面間(±500)	面間(±600)		
25	960	1180	1400	0~150	±25°
32	980	1200	1420		
40	1000	1220	1440		
50	1020	1240	1460		
65	1060	1280	1500		
80	1130	1350	1570		
100	1160	1380	1600	0~200	±25°
125	-	1380	1600		
150	-	1380	1600		
200	-	1430	1620		

開放配管用 縦型(MB-HT)

呼び径	免震量 ±400・±500・±600			伸縮量	可動角(°)
	面間(±400)	面間(±500)	面間(±600)		
25	960	1180	1400	0~200	±25°
32	980	1200	1420		
40	1000	1220	1440		
50	1020	1240	1460		
65	1060	1280	1500		
80	1130	1350	1570		
100	1160	1380	1600	0~200	±25°
125	1160	1380	1600		
150	1160	1380	1600		

開放配管用 横型(MB-HY)

呼び径	免震量 ±400・±500・±600			伸縮量	可動角(°)
	面間(±400)	面間(±500)	面間(±600)		
25	1520	1820	2120	±400 ±500 ±600	±25°
32	1550	1850	2150		
40	1560	1860	2160		
50	1630	1930	2230		
65	1700	2000	2300		
80	1920	2220	2520		
100	1990	2290	2590	±400 ±500 ±600	±25°
125	2000	2300	2600		
150	2070	2370	2670		

※免震量や呼び径が大きい場合はお問い合わせ下さい。

(財)日本消防設備安全センター 認定番号/PJ-119号 PJ-120号 PJ-121号
危険物保安技術協会 評価番号/危評第0017号

無反動型免震ジョイント ボール形可とう伸縮継手

メンシンベンダー

PAT.

●お問い合わせは本社営業統轄部へ



本社 〒529-1663 滋賀県蒲生郡日野町北脇206-7 TEL(0748)53-8083
札幌営業所 TEL(011)642-4082 大阪支店 TEL(072)677-3355
東北営業所 TEL(022)306-3166 中国支店 TEL(082)262-6641
東京支店 TEL(03)3970-9030 九州支店 TEL(092)501-3631
名古屋支店 TEL(052)712-5222

■URL <http://www.suiken.jp/> ■E-mail otoiawase@suiken.jp

GOMENKA 護 免 火

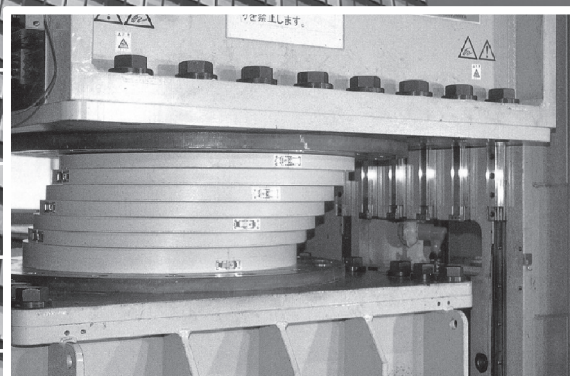
免震構造用耐火被覆システム

耐火構造認定 柱3時間

- 天然ゴム系積層ゴム支承
FP180CN-0482 (RC柱)
FP180CN-0483 (SRC柱)
- 高減衰積層ゴム支承
FP180CN-0480 (RC柱)
FP180CN-0481 (SRC柱)

- ◆フレキシブル板とけい酸カルシウム板を主構成材料とした優れた耐火性
- ◆フッ素樹脂のすべり効果により免震装置の水平変形にしっかり追随
- ◆分割されたリング状耐火被覆材をバックルで固定するだけの簡単施工

適用できる構造が増えました。鉄筋コンクリート(RC)柱に加えて、鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)柱への適用が可能となりました。



護免火の変形追随性試験

■角形



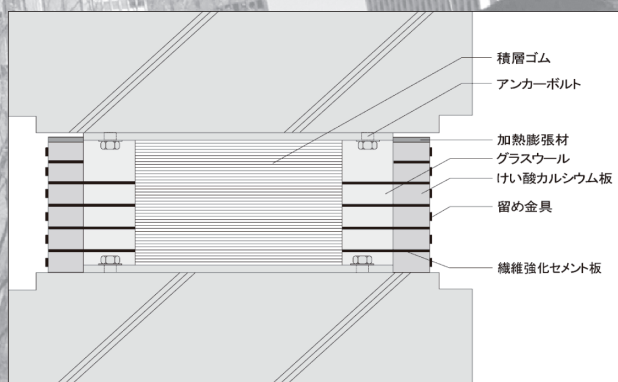
■丸形



■仕上げ形状および寸法

(単位:mm)

積層ゴム支承の種類	仕上げ形状	仕上がり寸法
天然ゴム系積層ゴム支承 (ゴム径:φ500~φ1600)	角形 丸形	フランジ外径(外寸)+210 フランジ外径(外寸)+250
高減衰積層ゴム支承 (ゴム径:φ600~φ1600)	角形 丸形	フランジ外径(外寸)+210



燃やさない技術。
ビル免震構造を火災から護ります。

優れた免震構造は、地震だけでなく火災にも強い。

「護免火」は免震構造を火災から護るために開発された耐火被覆材です。3時間の加熱において、積層ゴム表面を150℃以下に保ちました。優れた追随性を発揮し、定期点検にも優れた簡単施工です。

AGAM エーアンドエー 工事株式会社

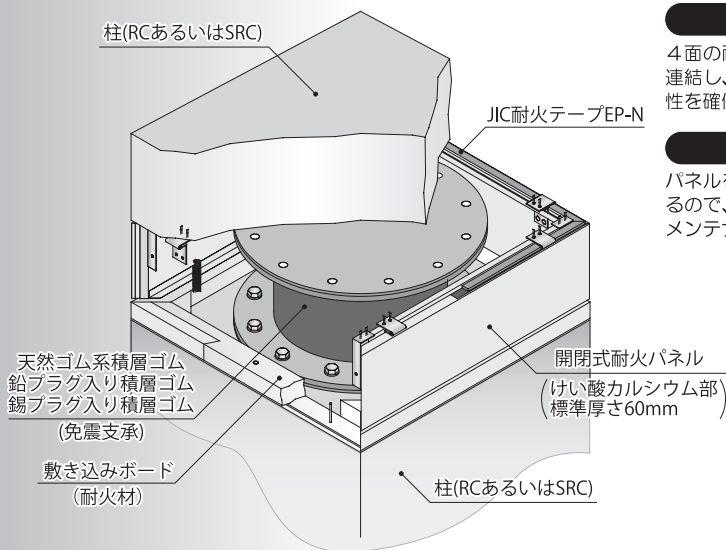
営業部・技術部 〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央2-5-5 電話 045(503)7730

- ◆東日本支店 電話 045(510)3365
仙台営業所 電話 022(284)4075
- ◆中部支店 電話 052(324)6221
- ◆西日本支店 電話 06(6311)5271
九州営業所 電話 092(721)5201

開閉式耐火パネル仕様 / 柱・天然ゴム系積層ゴム免震装置耐火被覆システム

めんしんたすけーN

耐火 3 時間
高層マンション OK



変形追従型

4面の耐火パネルをスプリングで連結し、大変形への追従性と復元性を確保しています。

コンパクト

けい酸カルシウム板を採用し、柱外寸 1155mm というコンパクトサイズにも対応できます。

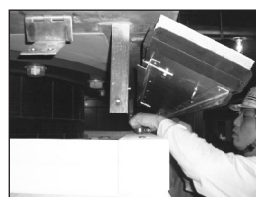
メンテナンス

パネルをはずすことなく確認できるので、定期的な点検や地震後のメンテナンスが容易です。

<実大試験状況>



阪神大震災の際の計測値の1.3倍の地震動を2回与えても、耐火システムは保たれました。

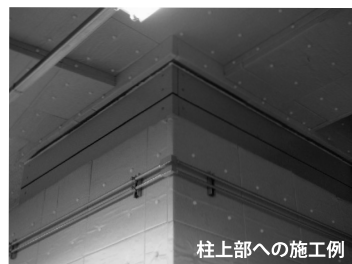
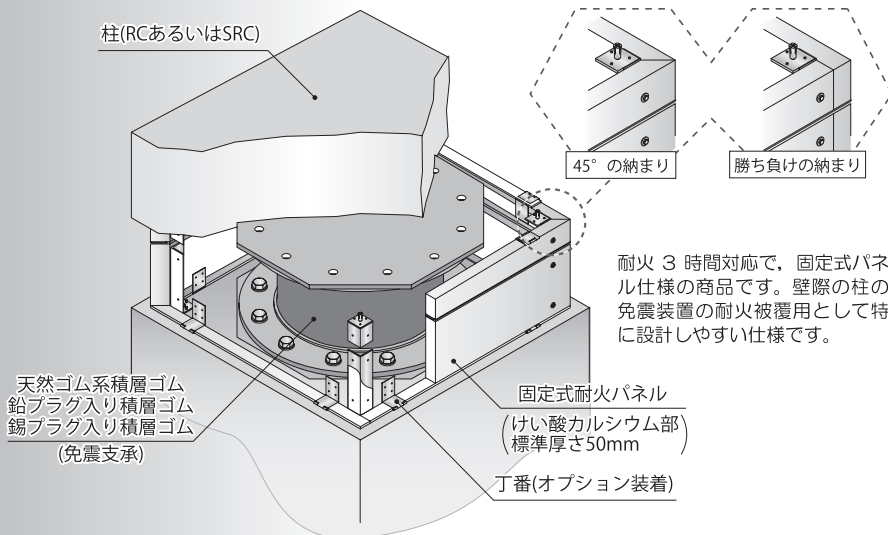


固定式耐火パネル仕様 / 柱・天然ゴム系積層ゴム免震装置耐火被覆システム

めんしんたすけーN₂

耐火 3 時間
高層マンション OK

コーナー形状は2タイプから選べます。



柱・高減衰ゴム系積層ゴム免震装置用「めんしんたすけーHD」
すべり支承免震装置用「めんしんたすけーS」もあります。

JIC
日本インシュレーション株式会社
www.jic-bestork.co.jp

東京 東京都中央区新川1丁目14番5号(金盃第3ビル3F)
TEL. 03(3553)7531 TEL. 03(3553)4530

岐阜 TEL. 058(327)5686 大阪 TEL. 06(6633)7322
仙台 TEL. 022(779)6651 福岡 TEL. 092(452)8651

会誌「MENSHPIN」 広告掲載のご案内

会誌「MENSHPIN」に、広告を掲載しています。貴社の優れた広告をご掲載下さい。

●広告料金とサイズなど

- 1) 広告の体裁 A4判(全ページ) 1色刷
掲載ページ 毎号合計10ページ程度
- 2) 発行日 年4回 2月・5月・8月・11月の25日
- 3) 発行部数 1,200部
- 4) 配布先 社団法人日本免震構造協会会員、官公庁、建築関係団体など
- 5) 掲載料(1回)

スペース	料 金	原稿サイズ
1ページ	¥84,000(税込)	天地 260mm 左右 175mm

※原稿・フィルム代は、別途掲載者負担となります。※通年掲載の場合は、20%引きとなります。正会員以外は年間契約は出来ません。

- 6) 原稿形態 広告原稿・フィルムは、内容(文字・写真・イラスト等)をレイアウトしたものを、郵送して下さい。
広告原稿・フィルムは、掲載者側で制作していただくことになりますが、会誌印刷会社(株)大應に有料で委託することも可能です。
- 7) 原稿内容 本会誌は、技術系の読者が多く広告内容としてはできるだけ設計等で活用できるような資料が入っていることが望ましいと考えます。
出版部会で検討し、不適切なものがあつた場合には訂正、又は掲載をお断りすることもあります。
- 8) 掲載場所 掲載場所につきましては、当会にご一任下さい。
- 9) 申込先 一般社団法人 日本免震構造協会 事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館2階
TEL 03-5775-5432 FAX 03-5775-5434

広告を掲載する会員は、現在のところ正会員としておりますが、賛助会員の方で希望される場合は、事務局へご連絡下さい。

大地震に備える

～ 免震構造の魅力 ～

免震建築の普及のため、建築主向けに免震構造を分かり易く解説したもの (約9分)



[日本語版]

価格(税込)：会 員 ￥2,000
非会員 ￥2,500
アカデミー ￥1,500

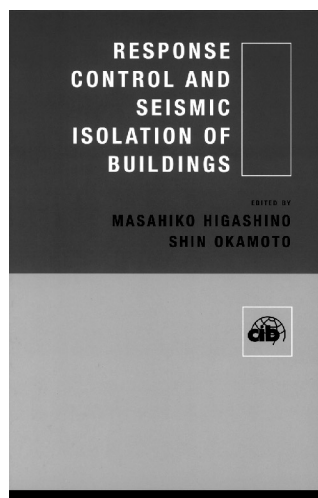
発 行 日 ： 2005年8月



[英語版]

価格(税込)：会 員 ￥1,500
非会員 ￥2,000
アカデミー ￥1,000

発 行 日 ： 2006年11月



国際委員会は2000年よりCIB(建築研究国際協議会)のTG44 (Performance Evaluation of Buildings with Response Control Devices)の活動もしていましたが、今回その成果として免振に関する世界の現状を記した書籍がTaylor&Francis社より出版されました。各国の技術基準比較と設計・解析方法などの紹介、免震建物の地震応答観測結果、装置の紹介、各国の設計例データシートなどが示されている。(英語版)

発 行 日 ： 2006年12月

販 売 ： Taylor & Francis

編集後記

プロ野球の長嶋茂雄さんと松井秀喜さんが国民栄誉賞を受賞しました。安倍首相と原監督と始球式を行っているシーンが目につかびます。長嶋茂雄さんは初の天覧試合でサヨナラホームランを打ち、松井秀喜さんは日本シリーズMVPとワールドシリーズMVPとなる等、大事な試合で見事に活躍しました。免震建築も大地震と言う大事に大きな被害もなく継続的に住み、業務が出来るということからもちょっと飛躍しすぎとは思いますが国民栄誉賞ものではないかと思われます。

今回、巻頭言でジョサイア・コンドル先生の話が出ておりますが、コンドル先生に学んだ辰野金吾先生が

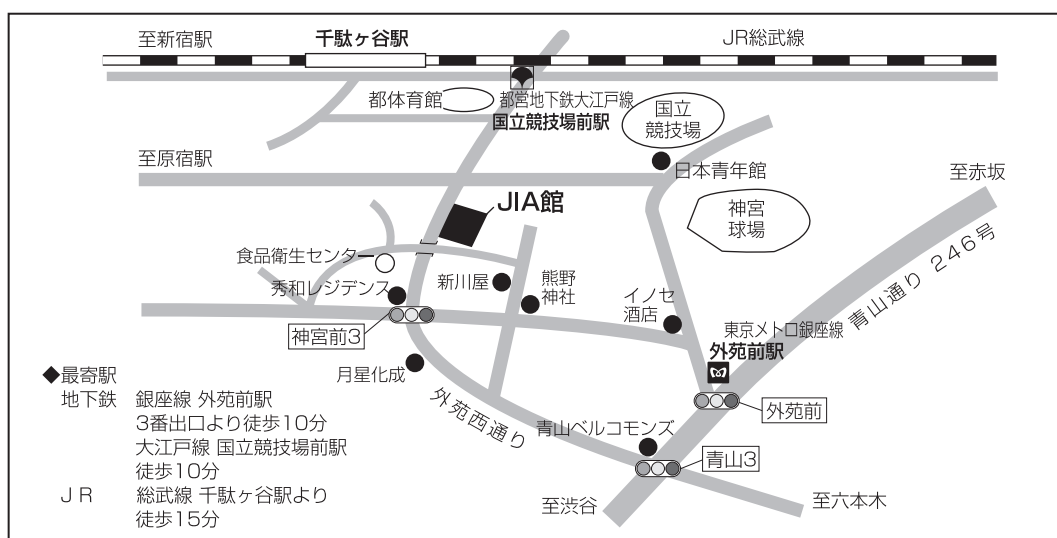
設計した東京駅丸の内駅舎は百年の歴史を経て保存復原されて免震建物として甦りました。また清水建設新本社も明治から昭和に本社を構えていた京橋に[ecoBCP]をコンセプトに地域を守る防災拠点となる免震建物として完成しました。これらの建物も大地震と言う大事に力を発揮することが期待されています。

東日本大震災後、設計見直しを行い、より耐震性能が高い免震建物とした「正栄食品工業本社」を訪問取材した今回の編集WGは、加藤(巨)、小山、齋藤、竹内、酒井、千馬さんの6名の方々でした。御苦勞様でした。

出版部会委員長 加藤 晋平

寄贈図書

日本ゴム協会誌	第86巻 第1号	(社) 日本ゴム協会
日本ゴム協会誌	第86巻 第2号	(社) 日本ゴム協会
日本ゴム協会誌	第86巻 第3号	(社) 日本ゴム協会
日事連 建築士事務所の全国ネットワーク	2013.1	(社) 日本建築士事務所協会連合会
日事連 建築士事務所の全国ネットワーク	2013.2	(社) 日本建築士事務所協会連合会
日事連 建築士事務所の全国ネットワーク	2013.3	(社) 日本建築士事務所協会連合会
月刊 鉄鋼技術	2013 1月号	鋼構造出版
月刊 鉄鋼技術	2013 2月号	鋼構造出版
月刊 鉄鋼技術	2013 3月号	鋼構造出版
RE	2013.1 No.177	(財) 建築保全センター



2013 No.80 平成25年5月31日発行

発行所 一般社団法人日本免震構造協会

編集者 普及委員会 出版部会

印刷 (株)大 應

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館2階

一般社団法人 日本免震構造協会

Tel : 03-5775-5432

Fax : 03-5775-5434

<http://www.jssi.or.jp/>

